

同盟旬報

第一卷 第四號 (No. 4)

(昭和十二年七月廿三日)

主要目次

北支事變	
宋哲元撤退を約す……………	二
卅七師撤退開始……………	二
熊參謀次長抗日勸說……………	二〇
郎坊衝突事件……………	二三
宮崎水兵行方不明事件……………	二三
香月司令官撤退要求通告……………	二六
廣安門不法射擊事件……………	二六
通州衝突事件……………	二九
北平在留邦人保護收容……………	二九
帝國政府聲明……………	三三
宋に最後通牒手交……………	三三
駐屯軍聲明……………	三三
北平四圍清掃戰……………	三三
宋・秦・馮北平脫出……………	三六
天津清掃市街戰……………	三六
平津一帶完全占據……………	三三
蔣介石談話發表……………	三三
北平治安維持會成立……………	三四
通州兵變……………	三四
外紙論調……………	三四
日英會談開始延期……………	四
米・日支平和解決希望……………	三
英下院日支問題討議……………	三
第七十回帝國議會……………	四
衆院正副議長決定……………	四
首相施政方針演說……………	四
外相外交方針演說……………	四
貴院將兵感謝決議……………	四
藏相財政方針演說……………	四
衆院將兵感謝決議……………	四
第一次追加豫算成立……………	四
日銀總裁更迭……………	五
金準備評價額決定……………	五
下旬對外貿易……………	五
文展審査員決定……………	五
美術調査會設置……………	五
愛蘭反英派騷擾……………	五
英支鐵道借款成立……………	六
佛銀準備金再評價……………	六
國際經濟調查局案……………	六

部門目次

宮廷	一
樞密院	一
北支事變	二
特別議會	四
一般政治	五
內政	五
財政	五
國防	六
司法	六
教育	六
産業行政	六
交通・通信・航空	六
政黨	六
人壽	六
經濟	六
社會	六
海外日本人	六
滿洲	七
英國・英帝國	七
フランス	七
ドイツ	七
スペイン	七
イタリア	七
ソ聯邦	七
歐洲諸國	八
アフリカ	八
米國	八
國際平和工作	八
國際會議	八
航空	八

昭和十二年
七月下旬

重要日誌

七月廿一日

◇宋哲元第卅七師の後方撤退を約す。

◇日英會談停頓状態に陥る。

◇佛國、銀準備金再評價換行。

同 廿二日

◇ベルギー皇帝「國際經濟調查局」設置を提案。

◇日本經濟使節一行、英皇市に謁謁。

同 廿三日

◇衆議院議長選挙、小山松壽氏(民政)議長に、金光庸夫氏(政友)副議長に當選す。

同 廿四日

◇驅逐艦「山雲」進水。

◇國民政府能參謀次長北平に入り、冀察當局と會談の結果、廿九軍の態度硬化す。

同 廿五日

◇第七十一回特別帝國議會開院式を舉行せらる。

◇日支軍那坊に於て衝突、我方戦死四、負傷九名を出す。

◇上海に於て我陸戰隊員、宮崎一等水兵行方不明となる。

◇颱風北九州を荒し、本土各地に水害あり。

同 廿六日

◇管月司令官宋哲元に對し、廿九軍撤退要求を通告す。

◇我廣部部隊北平廣安門に於て、廿九軍の不法射撃をうけ、戦死二、負傷十六名を出す。

◇内田良平氏死去。

同 廿七日

◇政府臨時閣議を開き、北支事變に對する帝國の方針を累ねて中外に闡明す。

◇日銀總裁更迭、結城豊太郎氏新總裁仰付けらる。

◇北平在留邦人、大使館區域に保護收容せらる。

◇通州駐屯獨立卅九旅、我方の撤退要求に應ぜず、我方戦死傷者十餘名を出す。

◇冀察兩院、將兵感謝決議を行ふ。

◇宋哲元辭意を表明す。

◇駐日ソ聯大使スラヴツキー氏に決定。愛蘭に反英騒ぎ起る。

同 廿八日

◇滿洲國皇帝陛下、我皇室に對し、時局に關する御親電を寄せらる。

◇管月司令官宋哲元に對し、最後通牒通告。

◇駐屯軍聲明を發表。

◇我軍北平四圍の一齊清掃を行ふ。

◇對比、日米綿布協定更改。

◇小泉三申辭逝。

◇北支事變發追加預算費衆議院を通過成立

◇天津清掃市街執行はる。

◇通州保安隊叛亂、我特務機關長細木中佐甲斐少佐以下、邦人二百餘名恨みを吞んで消ゆ。

◇蔣介石、抗日聲明を發表。

◇宋哲元、秦德純、瀋治安等北平を脱出す。

◇長谷川第三艦隊司令長官、在支邦人保護に關する聲明を行ふ。

同 卅一日

◇秩父宮兩殿下、インダーラーケン御饗、オランダへ向はせらる。



久遠宮家御慶事

久遠宮朝親王妃殿下には廿一日午前四時八分御分姫女王御誕生あらせられた、御母子とも御健全にあらせられる

三内親王葉山へ

照宮、孝宮、順宮三内親王殿下には廿二日御揃ひにて午前九時卅五分吳竹寮御出門同九時五十二分東京驛御發電車にて同十時五十一分返り驛御着葉山御用邸附屬邸へ成らせられた

久遠宮第四王女御命名

七月廿一日御誕生あらせられた久遠宮第四王女の御命名の儀は御七夜の廿七日午前十時宇川別當奉仕して澁谷區宮代町の御殿に於て行はせられ英子女王と御命名あらせられた

天皇陛下へ御親電

北支事變の進展につれて日支の關係は愈々逼迫したが友邦日滿兩國の關係は愈々深く兩國の交誼親善は益々密接なる折柄滿洲國皇帝陛下には北支事變に關し廿八日天皇陛下へ御親電なる御親電を寄せられ之に對し天皇陛下には廿九日御答電を御發送あらせられた旨宮内省から發表された

明治天皇御例祭

北支の變に鞏固結束してこれに當つてある卅日長くも明治天皇祭にあたり宮中で皇靈殿に於ていとも厳かなる御祭典を執り行はせられた、此の朝高松宮同妃兩殿下を始め奉り各皇族方には御正装輝かしく午前八時半前後して御參内松平宮相

宮内勅任官同奉任育總代等參進三條堂典長以下掌典部員奉仕し神樂殿の裡に神饌幣物を供し奉り堂典長祝詞を奏し奉れば午前十時天皇陛下には黃櫨染御袍の御東帯を召され内陣の御座に參進、恭々しく御拜禮あらせられた、次いで皇后陛下の御拜禮あり皇太后陛下御代拜大原權堂侍拜禮申上げ各皇族方並に諸員の拜禮あつて御儀は滞りなく終へさせられた、尙この日桃山御陵に於いても堂典奉仕して御祭典が行はれた

秩父宮同妃兩殿下御動靜

秩父宮講府御視察 ジェネラール(三三) グリンドルワルドに御滞在の秩父宮同妃兩殿下には廿七日午前御御行でジェネラールに御成り國際勞働局を御訪問遊ばされた

秩父宮オランダへ

ベルン(三三) 秩父宮同妃兩殿下には去る十四日英國御退去以來スイス山間の勝地グリンドルワルドに約三週間滞在御靜養遊ばされたが廿一日午前グリンドルワルドを御出發オランダ訪問の途に上らせられた、兩殿下にはオランダ御訪問後更にブリュッセル、パリに赴かせられた



陪審法改正案可決

樞府定例本會議は廿一日午前十時宮中東溜の間に開會天皇陛下に於かせられては、臚中にも拘らず定期親臨あらせられ左記御諮詢二件を上程

一 陪審法中改正法律案(犯罪の性質種雜且つ連累者多數にして陪審裁判に附すること不適當と認むる場合は上級裁判所長官の裁定を経て除外し得るやう

改正するもの

二 裁判所構成法中改正法律案(去る七十議會に提出して不成立となつたもので内容は、(イ)判事の代理權の範圍擴張、(ロ)入事行政の運用を圓滑ならしめるため判檢事の停年退職を二期に改める、(ハ)控訴院檢事局監督書記を書記長に昇格せしめることの三點)右第一案については照田委員長から審査委員會の經過並に結果を報告し

委員會に於いて本案承認に當り二委員より政府當局に對し陪審制度の本質につき再檢討を加へること及び最近人權蹂躪の非難が續出し將來國民の司法部に對する信頼上容易ならざる事情であるから今後かゝることなきやう致しむべきであるとの注意的希望意見が開陳された

旨を述べ採擇に入り原案通り可決次いで第二案は村上書記官長から審査報告の後可決天皇陛下入御あらせられ十時卅分散會した

財界影響聴取

廿一日宮中に於ける樞密院本會議散會後午前十時四十分より控室に於て樞府側の希望に依り實屋樞相は各顧問官に對し今次の北支事變と財界に及ぼす影響について詳細なる説明をなし「財界に對する壓迫は格別のこととはなく財界に對する壓迫と云ふ様なこともなくまた爲替關係も大した變動はない、唯英米兩國の市場では多少値下りを生じて居るがこれも何等嚴重する程のことではない」旨を述べ次に陸軍省岡本中佐より去る十四日以後に於ける北支の日支兩軍兵備配置狀況及び最近の北支情勢につき「我軍は既定方針に則り飽までも事變不擴大、現地解決方針で臨んでゐる」と説明各顧問官の質問に答へ午後零時半終了した

滿拓案外四件可決

樞府定例本會議は廿八日午前十時宮中東溜の間に開會天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り左記御諮詢案五件を上程第一案は河合委員長より他の四案は村上書記官長よりそれれ、審査報告の後審議しいづれも原案を可決し天皇陛下入御あらせられ同卅分散會した、尙樞密院は緊急の案件なき限り八月末まで本會議を休會する

一 滿洲拓殖公社設立に關する協定締結公文交換の件 (滿洲國開發のため實本金五千萬圓の日滿兩國法人の拓殖實社を設立し現在の滿拓會社はこれに包含されるもの) 一 奏任文官特別任用令中改正の件(文部省真經諸學校に事務官を新設するもの)

一 朝鮮總督府官制中改正の件(職員的增加) 一 樺太廳官制中改正の件(同) 一 南洋廳官制中改正の件(同)

樞府の事變質問

廿八日の樞府本會議席上元田顧問官より一 今回の北支事變發生以來南京は外交上重要且つ複雑性を加へ各國大公使の動きも頗る頻繁となつてゐるに拘らず重大使命を有する川越駐支大使が天津に滞在し外交折衝を大使館員に委してゐるのは何故であるか至急任地に歸任せしめては如何

一 北支事變發生以來現地の狀況について充分調査し軍部に完全なる聯絡を圖る必要上天津に滞在せしめてゐるがなるべく速かに歸任せしめたい旨を述べて該辭を求め次で北支事變その後の經過につき廣田外相より約三十分間に亘り詳細聴取した

同盟通信社の組織と機構

社團法人同盟通信社は、東京、大阪をはじめ、日本全國各地に亘る約二百社の有力新聞社、並に、日本及び朝鮮の兩放送協會の協力によつて、組織されてゐる國家公共の機關である。その目的とするところは、國の内外に正確公平なる報道を普及徹底し、以て、内に公正なる輿論を作用すると共に、外に、國際的理解を増進せんとするにある。日々の全國の新聞や、朝夕のラヂオの放送によつて、「ロンドン一日發同盟」とか、「上海三日發同盟」として發表される海外のニュースは、いづれも、同盟通信社の手によつて蒐集されたものである。この略稱「同盟」の名を以て、全世界に知られてゐる同盟通信社は、九千萬同胞のために、東西兩半球に跨る五十餘箇國の出來事を最も正確且つ迅速に報道すべく、全世界の隅々に迄完全なニュース網を張り纏らしてゐる。「同盟」は、單に海外のニュースのみならず、日本全國津々浦々にも、綿密な通信網を張り纏らして、中央から地方へ、地方から中央へと、間斷なく流れる國內のニュースを蒐集頒布してゐる。かくて、世界の動きは、「同盟」を通じて、瞬時に日本全國に報せられると同時に、日本の聲は、「同盟」の手を経て、刻々に、全世界に傳へられつゝあるのである。

北支事變



地 現

我方は監視

西五里店(七三) 二十日午後
後の戦闘後鈴木參謀は戦闘
經過を説明した後今後の方
針に就き次の如く決意を語
つた

我が方は引續き敵軍に敵軍を監視し
つゝあるが若し敵が更に攻撃して來れ
ば直ちに之に鐵滅的打撃を加へる準備
がある

北平市内平穩に歸す

北平(七三) 北平城内の治安は廿日午後
の日支兩軍衝突にも拘らず公安隊の手に
より極めて平穩に維持され市内は午後十
時半に至るもなほ多數の人員通りがあり廿
九軍の戒厳が撤去されてから治安はかへ
つて立派に維持されてゐるといふ皮肉な
現象を呈してゐる

宋撤退を約す

北平(七三) 十九日夜發せられた蘆溝橋
附近に於ける支那軍の不法攻撃に對する
我が方の最後の通牒に對しては期限たる
廿日正午に至るも支那側よりの回答來ら
ざるのみならず却て數回に亘る不法射撃
が繰返された結果遂に我が部隊は起つて

警備射撃を敢行し支那軍陣地を潰散させ
たがその後に至り宋哲元は衙門口、八寶
山一帶にある馮治安麾下の第卅七師を二
十一日午前七時から正午迄の間に後方に
撤退せしめ石友三部下の保安隊を入替へ
る事を約した、依つて我が方は之が實行
見届けと誤解防止のため日本側代表中島
櫻井、笠井三軍顧問は程希賢旅長以下
の支那側委員と共に廿一日早朝現地に赴
く筈である、右卅七師と保安隊の入替へ
が圓滿に實行されれば蘆溝橋附近に於け
る日支衝突の危険だけは除かれ事態擴大
を免れる譯である

卅七師撤退開始

北平(七三) 廿日宋哲元より我が方に公
約した所による衙門口に在つた馮治安麾
下の第卅七師と石友三部下の保安隊との
入れ替へは廿一日正午迄には完了される
模様である、而して衙門口の右馮治安部
隊は一先づ西苑の兵營に引揚げる豫定と
謂はれる

八寶山方面の第三十七師

衙門口(七三) 八寶山方面の第三十七師
部隊は日本代表中島、笠井兩軍顧問及
び支那側代表程希賢旅長立會の下に午前
十時から撤退を開始した

蘆溝橋及び永定河右岸の三

十七師は今朝十時頃から西北に向け引上
げを開始した、蘆溝橋には二十九軍と入
れ替る石友三麾下の保安隊入城治安維持
に當る筈であるが我が軍は支那側の背信
違約に今まで數回に亘り手を焼いてゐる
のでこれに完了までは依然手を弛めず監
視を續けてゐる

宋哲元の口約に從つて第

卅七師に代つて衙門口の警備に當ること
となつた石友三麾下の保安隊は第二十九
軍と服裝が同じなもので上衣を脱ぎ帽子に
白帯を巻いて目印としながら午前十時頃
から漸次第三十七師部隊の後に入りつゝあ
り正午までに入れ替り完了の豫定である
三十七師部隊は一先づ西苑の兵營に集結
した上二十日頃から更に西方保定方面
に移駐する豫定といはれる

宋哲元の命令が比較的完全

に徹底したと見え蘆溝橋一帶の第卅七師
は正午頃整然と撤退を開始した、之が爲
蘆溝橋方面に於ける日支兩軍衝突の危機
は一と先づ除かるゝに至つたが残るは梅
津、何應欽協定を蹂躪して目下續々と北
上しつゝある中央軍の問題である

事態逆轉

天津(七三) 支那側の報道に依れば北平
附近の支那軍部隊は本日中に撤退の筈だ
が蘆溝橋附近の支那部隊は依然として陣
地の補修増強に努めてゐる、昨夜我軍の
射撃によつて破壊された宛平縣城の望樓
は目下土囊で補修し而も該部隊は依然と
して不信極まる行動を繰り返して小銃射撃
を行つてゐる

確實なる情報によれば中央

軍の高速展優秀機七機が廿日南昌方
面から山東省青州に到着更に南京方面よ
り高射砲十數門が山東省の防空のため韓
復榘の許に秘かに輸送され山東方面は俄
然緊張を見せつてゐる

第二十九軍の總帥宋哲元の

命令も抗日に目的眩んだ第一縣部隊には
遂に徹底せず八寶山並に宛平縣城對岸の
支那軍は撤退を肯んぜず事態は再び逆轉
して又もや最悪の危機に直面するに至つ
た

部下抗日に燃ゆ

八寶山及び宛平縣城對岸の

支那軍は撤退見届けの爲め現地に赴いた
中島、笠井兩顧問及び程希賢等の日支代
表一行の撤退勧告に對し「我々は何等命
命を受けてゐないから絶対に撤退せぬ」
とて肯んぜざるのみならず反つて兵士を
督勵して陣地の増強構築を急ぎつゝあり
二十九軍長たる宋哲元の命令が麾下の部
隊に徹底せぬことがいよいよ明瞭となつ
た、最高長官の命令すら肯んぜぬ軍隊が
日本軍の眼目に頑強つてゐる以上何時如
何なる不祥事を惹起するやも知れず事態
の急迫を思はしむるに至つた

北支事變を惹き起して以來

蘆溝橋一帶に於て頑強なる抵抗を續けて
來る第二百十九團吉興文は「宛平城は義
地なり、我々は城と存亡を共にす、前線の士
氣は益々昂れり」と豪語し宋哲元の命を
聽かず今なほ盛に抗日の氣勢を揚げてゐ
る、その他宛平縣城内には多數の人民戰
線派、共產系學生が蟄居し第二十九軍と
共に抗日共同戦線を張つてゐることも明白
であるからこれを掃蕩する最後の巨彈が
宛平城、蘆溝橋永定河右岸の抗日軍の根
據地に對し下されるのではないかと見ら
れる

松井機關長抗議

北平(七三) 衙門口附近一帶の第廿九軍
は廿一日午前十時西苑兵營に向け引揚げ
を開始し午後一時迄には全部完了したが
永定河左岸、八寶山及び右岸蘆溝橋附近
一帶の支那軍は撤退命令に接せずと稱し
約定の實行を爲さず又もや最も懸念され
てゐた支那側の約定不履行に達着し事態
は頗る憂慮すべき状態に立ち至つた、我
軍當局は重なる支那側の不誠意に「決意
の秋至れり」と憤激してゐる、支那側が

八寶山方面の支那軍撤退状

況の現地視察に赴いた中島顧問の午後九
時半現在に於ける報告によると同地一帯
の支那軍は集結を開始し今晩中に「一先づ
八寶山の北方黃寺に移駐し明朝更に移駐
先につき命令を待つ事になつたと

松井特務機關長、今井武官

櫻井顧問等三武官より緊談の結果宋哲元
は撤退を肯んぜぬ八寶山及び蘆溝橋對岸
の麾下の第二十九軍部隊全部を廿一日午
後八時までに必ず撤退せしめる旨誓約し
たので三武官は忍び得ざるを忍んで果し
て實行されるか否かを嚴重監視する事と
した

股長官宋に勧告

通州(七三) 冀東防共自治政府長官股長
紳氏は北支の如き通電を發した
對し大要の如き通電を發した

現下の中國は國防の空虚、財政の紊亂

政令の紛糾極點に達し國民黨自身崩壞
の途を過つてゐる、この時兵を動かして
抵抗すれば國內兵火相次ぎ收拾し得
ざるに至らう、宋委員長この時勢の重
大を認識して望むらくは隨機處斷し既

宋撤退開始を通告

北平(七三) 廿一日午後八時半宋哲元は
今井陸軍武官に對し、蘆溝橋對岸の支那
兵は既に撤退し八寶山の支那部隊も午後
八時半より撤退を開始する旨通告して
來た

八寶山方面の支那軍撤退状

況の現地視察に赴いた中島顧問の午後九
時半現在に於ける報告によると同地一帯
の支那軍は集結を開始し今晩中に「一先づ
八寶山の北方黃寺に移駐し明朝更に移駐
先につき命令を待つ事になつたと

往に鑑み將來を察知し國民黨に頼らず速に事件を解決し政を民に還し共和政體を恢復せよと中國の前途に貢獻するところ進に大である、千載一遇の時再び來らず、閣下の存にまたこの一刻を争ふであらう

日支要人暗殺計畫

天津(三) (廿一日夜天津總領事館發表) 元馮玉祥軍の高級參謀蔡樹堂は直接行動を計畫する十七日偽名して川越大使に會見を求めたが警官に逮捕された、右犯人は第廿九軍第百十三旅長劉振三とも聯絡し一味多數と共に天津に乘込み日支要人を暗殺後方を擾亂しようと言ふ抗日分子なる事判明我が當局は之等分子の絶滅を期して居る

支那中央

英大使・蔣介石會見
南京(三) 駐英英國大使ヒューゲッセン氏は廿一日午後五時蔣介石を訪問し今回の事變に對する支那側の方針態度等を聴取すると共に本國政府の訓令に基き英國側の態度を説明する所あつた

日高・英大使會見

南京(三) 日高參事官は廿一日午後十時駐英英國大使ヒューゲッセン氏を訪問し現下の日支問題について懇談を遂げたヒューゲッセン大使は

今回の事變勃發するを避善先北載河より急遽南京に歸任して以來日支兩當局と密接な聯絡をとり時局の推移に深甚な注意を拂つて居たと述べ、日高參事官は北支に於ける日支兩當局の和平交渉の推移及び王寵惠外交部長との會見經過を説明した後今回の事變に對する我方の見解を詳細に述べ英國

側に於ても日本の意のあるところを充分諒解し慎重なる態度を持されたいと希望した

軍事委員緊急會議

南京(三) 蔣介石は中央軍官學校の官邸に於て軍政部長何應欽から前線の報告並に中央軍の戰備に就き報告を受け次いで外交部長王寵惠から日本との外交交渉經過及び英米ソ聯駐日大使と駐在國政府との折衝顛末に關する報告を受けた後午後八時軍事委員會緊急會議を招集

- 一 對日戰備の強化
- 一 英米ソ聯に對する外交工作の推進
- 一 各部隊の戰時配備擔當

中央政治委員會

南京(三) 廿二日の中央政治委員會は蔣介石出席の下に午前九時より十一時迄前後二時間に亘り北支問題、對日態度を中心議題として慎重に討議を行つた、會談の内容は秘密に附されたいが確實在るに務閣外務部長王寵惠より事變發生以來今日に至る迄の對日折衝經過及何應欽より軍軍施設に關して夫々説明あり次で討論の結果北支問題對日對策につき左の如く國民政府最高機關としての最初の正式態度を決定したと

- 一 五全大會、五中全會の宣言に従ひ蔣介石の臨田聲明及外交部の對日露書の趣旨に則り自ら進んで戦ひを求めず不擴主義を以て對處する
- 二 但し日本は口には不擴大を唱へつゝ益々北支に増兵し積極的挑戰進擧の態度有るに鑑み中國は自衛上國家總動員を

行ひ總ての抗戰準備を整ふべし

内容不報告

南京(三) 宋哲元が北平に於て我が方代表に對し第二十九軍を撤退せしめる旨申出でた事に對し南京側は依然現地交渉を認めずとの態度を持して居り假令日本警察間に圓滿な現地解決が出来たとすても南京政府に關する限り問題は依然未解決の儘殘る譯で今後警察に對する中央の壓迫は益々強化されると共に多數の中央軍北上に依つて北支の時局は一層緊張を加へ南京政府對警察及日本の紛争を新たに展開する事となり、而してこの形勢を早くも豫見した宋哲元は李季軍を冀察代表として南京に常駐せしめてゐるに拘らず日本側との和平解決交渉を中央に報告せず、名實共に獨立政権として振舞つて居るので南京側がその解決條件内容を知らんと腐心してゐる有様は全國統一を叫ぶ南京としては寧ろ滑稽な感を懷かせてゐる程である

抗日情勢

山東死守を命令
上海(三) 中央軍參謀部は華北對日作戰の右翼山東省が「日本軍に脅威された場合應戰するは勿論にむなく日本軍を上陸せしめても第一防禦線たる濰縣の線に於て死守し少く共一週間は日本軍を此の線に膠着せしむべし、中央軍は直ちに第一師の精銳をして側面より挾撃せしむ」との軍令を韓復榘に發した

山西南路軍集結

天津(三) 太原方面から歸還せるもの言に據れば中央軍第八十四師(師長高桂滋)は十八日午後以來大同方面に續々鐵道輸送され山西省寧武に下車しつゝあり、又歸還列車は各地からの避難民を滿載して南下してゐる、一方支那側から得た情報によれば去る十八日平漢線元氏驛附近に於て我が酒井機を射撃した部隊は第卅二軍の第百四十二師(師長呂濟)でありその際酒井機の應射により兵士十名、馬十八頭の負傷を出したと謂はれる、昨日來平漢線を北上する列車の數は相當多く支那新聞は之を旅客列車と稱してゐるが上りの情報及び酒井機の空中撮影によつて中央軍を滿載せる軍用列車なることと明瞭である

太原に空軍根據地

漢口(三) 當地に達した情報に據れば支那側は山西省太原に空軍前線根據地を設けし落陽より飛行機數十機を送つた事が判明した、又中央軍二個師は既に山西省内に入り配備ついたたが之等の部隊は我軍を側面から攻撃する意圖の下に集結されたものと見られる

廣東でも戰時體勢

廣東(三) 蔣介石は廣東省當局に對し軍需品輸入の幹線として廣九、粵漢兩鐵道の防備強化を命じて來た、廣東に於ける戰時體勢は益々強化されて居り廿一日夜までに判明せる狀況は左の如くである

- 一 石牌の西南航空飛行場及び白雲山の歐亞航空飛行場は何れも廿一日より使用を中止し廣東東江の天華飛行場に集中統制に便ならしむ
- 一 日本人には切符は賣るが憲兵が妨げるので結局飛行機には乗れぬ状態だ、廣東經濟公署は廿一日廣東自動車業組合に對し廣九、粵漢兩鐵道破壞の際に於ける軍需品非常輸送計畫を命令した
- 一 粵漢、廣九兩鐵道の接續聯絡は軍需品輸送のため出來得るだけ行事を急ぎ九月末の完成豫定を短縮し七月中に完成せよと南京から命令があつた
- 一 從來粵漢線のみ保護に當つてゐた羅卓英の率ゆる中央軍は七月廿日以後廣九鐵路の保護にも當ることとなつた

抗日放送に大害

上海(三) 國民政府無線電信委員會は交通部と協力北支事變勃發以來國內における抗日救亡放送を續けつゝあつたが最近に至り政府より同會に對し「抗日放送を激増せよ」との密令を發したので抗日放送は連夜激烈を極め上海其他各地民衆の抗日意識はそのため俄然昂揚されつゝある

吉興文病院で談話

上海(三) 支那側消息によれば宛平縣城守備に當つてゐる第卅七師第二百十九團守備長吉興文は廿日夜七時の戰闘に際し負傷し醫院に於て左の如く語つてゐる

我々は假令最後の一名となつても抵抗

を止めぬ、我軍に現在最も缺乏してゐるのは藥品、注射針、防毒マスク、望遠鏡である。宛平城内の秩序は目下安靜で防備堅固である

抗敵後援會を結成

上海【七・三】 國民黨部の抗日運動の全國的組織の線に沿つて上海に於ても抗日團體が續々結成されてゐるが過日發表された蒋介石の聲明により民衆の全面的支持を受け王賈紳等十五名を代表とする上海市商會の提唱による抗敵後援會は廿二日午前九時を期し結成大會を開催王賈紳を主席に推し決議宣言を始め組織、規定等を討論する事となり各抗日團體に對し代表派遣を要請する等の準備に忙殺されてゐる、同會は表面市商會を中心としてゐるがその裏面には上海事變當時抗日戰線の第一線に活躍した上海地方協會書記長黃炎培等市附の代物が熱心な抗日の糸を操つて居り上海に於て速早く結成された同會は全支各都市に於ける抗日運動に更に拍車をかけ各地に於ける抗敵後援會の組織をリードするものとして各方面より注視されてゐる

漢口邦人任意引揚

漢口【七・三】 引揚げ問題討論の官民時局委員會は廿一日午後四時半屆留民團に於て開催三時間半に亘り討論の結果一婦女子の任意引揚げは之を認む一との申合せを爲し全般的引揚げはなほ時局の推移を見る必要ありといふに意見一致し同八時散會した

日本租界包圍

漢口【七・三】 日本租界に對する支那側の警戒は益々嚴重となり廿日來租界近接の平和街並に鐵路街には第九十八師の兵士により土壕陣地が築きされ漢中學校

同文會經營の中學校)への通路も兵士のため交通遮斷するに至つた、なほ租界を取巻くトーチカ(當時は交通整理臺)の構築も數多く夜も武裝兵が物々しい警戒を續けてゐる

南京戰時氣分稍溢

南京【七・三】 蒋介石の歸京を契機として南京市内は俄然緊張を來たし廿一日正午被警令が布かれ著剣の憲兵保安隊が至るところ警戒の眼を光らせてゐる、街團とは出動の際の武裝兵が右往左往、家族と別れを惜しむ光景が其處々に見受けられる、軍用トラツクは城内より揚子江岸の碼頭と停車場の間を引つ切りなしに往來し銃具を擔いで三々伍々中山路を揚子江岸に向ふ兵士と軍需品の輸送とで下關は雜沓し道行く市民の足取りも慌しく南京は全く戰時氣分稍溢してゐる

許大使廣田外相訪問

許世英駐日支那大使は廿一日午前十時廿分分外相官邸に廣田外相を再度訪問約一時間に亘り重要會談を遂げた、即ち許大使は廿日朝南京に於て王外交部長が日高參事官に手交せる南京政府の覺書の趣旨を説明しこれに對し廣田外相は

帝國政府

今次再變は帝國政府の主張する如く現地協定に依り解決されるべきもので南京政府がこれに對し中央政府の承認を必要となすは不可解且不當である、帝國政府は重ねて南京政府に對し現地解決を妨害するが如き言動及び我軍に對する挑發的行動の即時停止を嚴重要求せざるを得ない

と力説し支那側の反省を強く要求した、これに對し許大使は廣田外相の意の存するところを本國政府に急急傳達すべき旨

を約した模様で同十二時會見を終へた

外國大使情報聽取

駐日獨逸大使フオン・デイルクセン氏は廿一日午後三時外務省に廣田外相を訪問之と相前後して駐日英國代理大使ドツツ兵は朝内次官を、又駐日ソ聯代理大使テツチマン氏は東郷陸軍局長を訪問をそれぞれ北支に於ける現地情勢その他の情報を聽取して辭去した

支那側の背信事實

陸軍では蘆溝橋事件現地協定成立以後に於ける支那側の背信不法事實に關し廿一日午後一時三十分左の如く發表した

▲七月九日 午前五時を期し蘆溝橋附近の部隊を撤退する如く我要求を容れしに拘らず午前六時を過ぐるも撤退せざるのみならず却て兵力を増加し(日支双方より委員を派し實行を督促し正午過多漸く保安隊と交代撤退す)

▲七月十日 午前七時支那軍龍王廟占領次で蘆溝橋附近の部隊に對し攻撃し來る(牟田口部隊長自ら手兵を擧げ適應して午後九時龍王廟を占領す)

▲七月十一日 午後八時我要求受諾の文書を提出せるに拘らず午後十一時五里店附近の我が部隊に攻撃し來たる(我は應戦せず)

▲七月十三日 我歩兵一小隊馬村通過の際第三十七師警戒部隊より射撃を受く(我方戦死三名)

▲七月十四日 我騎兵隊團河村通過の際支那軍を知るに南方に進行前進せるが後方警戒斥候に對し突如射撃を爲す(我方戦死一名)

▲七月十九日 蘆溝橋より西五里店西側に在る我警戒部隊に對し射撃を爲す、また引續き蘆溝橋附近より迫撃砲を以て我に對し射撃す(山崎大尉重傷△我は應戦せず△駐屯軍は遂に奮起し支那軍が加ふる不信行爲を繰返す時は廿日以後軍は自衛上獨自の行動を採ることと冀察當局に通告す△午後十一時約諾實行に關する細目協定調印)

國民支援

新聞協會時局決議 日本新聞協會は廿一日午前十一時日本電報通信社に理事會を開催現下時局に關し左の如く決議を行ひ直ちに之を近衛首相杉山陸相、米内海相に傳達した

決讞

我日本新聞協會は東亞時局の安定と國際公道の戦争に基き帝國政府の措置を支持し陸海將兵を後援し更に全國人心を振起統一し極力其目的を貫徹せん事を期す

海外動向

日英會談開始を延期 ロンドン【七・三】 英國下院廿一日午後の質問時間に於てイーデン外相は再び北支事變に言及し、事變によつて支那に於ける英國の治外法權は何等變更を受けぬ旨を言明した(續いて保守黨議員レオナード・ブラツク氏は

英國政府は北支紛争に關聯し九ヶ國條約、ケロッグ不戰條約、聯盟規約によつて何等かの義務を負つて居るか、質問したのに對しイーデン外相は英國政府は今回の事件に關し九ヶ國條約、不戰條約によつて何等行動を要求されて居らぬ、聯盟規約に付ても同様である

北支事件費支出 政府は北支派兵に要する經費の預算外支出を要し陸軍省所管において一千九百九十二、二百二十三圓を第二豫備金より支出するに決し勅裁を経て廿一日官報を以て公示した

北支在任邦人保護費 拓務省では朝鮮總督府所管として北支事變に伴ふ北支在任人にして半島關係者の

と答へ、ブラツク議員は更に鋒先を轉じ政府は北支の現状に鑑み日英會談を開始する得共付再考慮する用意ありやと質問したのに對しイーデン外相は次の通り言明した

北支に於て今日の事態が續く限り日英交渉を開くことは時宜を得ないと思ふ余は日本政府に對し以上は英國政府の見解なる旨告げざるを得ない立場にある

ブラツク議員は更に

一外國が友好國に於て大規模な軍隊を動かすことは軍事的侵略行為とならぬか

と追及したるに對しイーデン外相は

答辭の限りでない

と言明を拒否した、次で自由黨議員ジョフレイ・マンダバ氏より北支事變を國際聯盟理事會にかけては如何との質問ありイーデン外相は之に賛成せず次の如く答へた

政府は刻下の極東情勢に就いては聯盟國政府たるものと否を問はず常時兩議を遂げて居る、現に外交機關を通じ日々商議して居るが目下の情報に徴し問題を聯盟理事會に持ち出す事は事態を改善する所以とは考へない

交涉延期を通告

ロンドン【七三】 吉田大使はイーデン外相の招きに應じ廿一日午後六時英國外務省を訪問會談を遂げた會談内容は發表されぬがイーデン外相は二十一日議會に於ける答辭の趣旨に從ひ北支の情勢が一段落つくまで日英會談開始延期を通告と思惟する旨を傳へたものと解される、これより先當井參事官を午後三時カドカン外務次官を訪問本省よりの情報を傳へて種々意見の交換を行つた、廿一日議會に於けるイーデン外相とブラツク保守黨議員

との質疑應答其他の質問等から見て英國の關心は今や支那軍の北支撤兵後北支に如何なる事態を醸すかに集中されて居るが如くであり、事態澄清の曙光は歓迎するがさて地方的解決後の北支の政治的地位殊に中央との關係に多大の懸念を抱いてゐると見られる

ハル・日支大使會談

ワシントン【七三】 齋藤大使は廿一日米國務省にハル長官を訪問、極東部長ホーベンク博士も同席し北支の事態發展に關する新情報を提供すると共に意見の交換を行つた、席上ハル長官は「北支に於て日本軍歩哨が米國婦人二名を手荒に取扱つた」との事件にも言及したといはれる、尤も事件は大體現地で落着いた旨國務省へ報告が到着して居るので單に形式的にこの問題が持出されたものと解される、續いて王正廷支那大使もハル長官を訪問同様懇談を遂げた

ドイツ米に申入れ

ワシントン【七三】 ドイツ大使テイクホフ氏は廿一日午後國務省にハル長官を訪問ウエルス次官を交へて極東の情勢につき會談を遂げた、席上テイクホフ大使は北支に於ける日支兩軍衝突が世界戰爭の口火となる危険性を包蔵する所以を指摘、此際各國が日支紛争に付斂正中立の態度を守るべき旨を強調しこれがためドイツ政府は米國政府と協力を密まぬ旨言明したと謂はれる、ドイツ政府が實際危機に際し米國政府と協力の態度を示したことは茲數年來最劇の事としてハル長官もこれを多とした模様である

米國政府は日々事態の推移を慎重注視してゐる、平和確保に貢献し得る機會があれば如何なる機會をも逸せぬ積りだがその時期が到来する迄は進んでどうすると言ふことは無い

次で記者團から先般ハル長官が北支事變に關し國際情勢について行つた一般の聲明につき

その後等か聲明の趣旨に基き行動を執つたか

との質問が出たがハル長官「否」と答へたのみで何等言明しなかつた

治外法權を撤廢せよ

ニューヨーク【七三】 ニューヨーク州選出共和黨有力議員ハミルトン・フィツジエ氏は廿一日新聞記者團との會見に於て北支事變に言及左の如く述べた

北支那に於ける事態が萬一日支兩國の戰爭に發展する場合米國がこれに捲込まれることは極力回避すべきである、これがため米國が外國領土に軍隊を駐屯させる舊式の政策を固守することは頗る危険だから米國政府は速かに支那駐在の米國軍艦並に軍隊を撤收し且つ支那に於ける米國の治外法權を放棄すべきである

ドイツ益々好意的

ベルリン【七三】 ドイツ政府は北支事變に對し中立主義を標榜して來たが北支情勢の進展に連れ漸次防共の線に沿ひ態度を明瞭にしつゝありドイツ政府の所謂中立主義は益々日本に好意的となつてきた北支情勢に對するドイツ政府側の觀測を綜合すれば次の通り

一 北支で日支間の一戦は不可避と見られるが然し交戦區域は北平の南方に擴大しても結局北支に止まらう

一 日本の北支進出は對ソ策上滿洲國

の羽翼擁護の止むに止まれぬ必要に出たものである

一 獨支貿易關係其他從來の關係は保持するが日本との情報連絡は絶えず確保する

北支事變に對し列國干渉の可能性は全くないではないが若し干渉の嚆には却つて國際紛争の禍根を作る惧れありドイツ政府は之に反對する

ソ聯沈黙を續く

モスクワ【七三】 ソヴェト政府當局は北支事變に對しては依然として沈黙を續け只管事態の推移を注視してゐるが、結局政府の方針は驚愕な中立政策を堅持するに在ると解される、ソヴェト各紙も右政府の意向を反映してか最近論說も一切沈黙を守つてゐる

和知參謀東上

天津【七三】 和知支那駐屯軍參謀は廿二日午前六時天津飛行機で東上した

鐵道電信復舊

北平【七三】 平漢線は事變以來斷續斷續の線路破損でこれ不通となつてゐたが廿二日朝來日本軍機の下に復舊工事が開始された、本日中に復舊開通の豫定である

八寶山支那軍撤退

北平【七三】 廿一日夜の約諾に基き八寶山附近の支那軍は同夜中に黃村に集結を完了し又盧溝橋以南地區一帯の部隊も廿二日午前現在袁辛店方面に向つて撤退中である、然し黃村に集結せる部隊が西苑へ向け撤退開始の報はまだない

撤退見届監視

北平【七三】 八寶山及び盧溝橋對岸にあつた支那軍はやゝ後退したがこれは撤退の第一段階を踏んだまでのこと以後果して約束通りの撤退を完了するか否かは充分見届ける必要がある、わが軍は依然緊張の度をゆるめず嚴重監視を續けてゐる

卅七師北平撤退通告

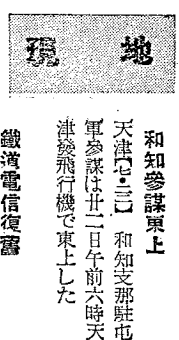
北平【七三】 第廿九軍代表は廿二日午前北平日本軍當局に對し廿二日より北平城内の第廿九軍は城外に撤退を開始する旨通告し來つた、事態當時から城内には劉自珍麾下の四ヶ團五千名が蟄居し市内要所々々に土嚢を築き日本居留民に多大の脅威を與へたが愈々城外に撤退代つて卅七師以外の部隊が兵數を限定されて城内に入る豫定である

馮軍に替り趙軍北平入城

北平【七三】 馮治安の第卅七師が北平城内撤退後には趙登禹の第卅二師が入城替つて駐屯することとなり既にその先頭部隊が北平城外に到着し第卅七師の撤退完了を待ちつゝある

寺平大尉注意

北平【七三】 寺平大尉は廿二日午後四時松井特務機關長の代理として進徳社に宋哲元を訪問廿二日朝來南苑に到着しつゝ、



近の線路破損でこれ不通となつてゐたが廿二日朝來日本軍機の下に復舊工事が開始された、本日中に復舊開通の豫定である

豐臺【七三】 今午の觀團に於て支那軍が破壊して不通となつてゐた盧溝橋北平間同南苑間の電線修理の爲め廿二日朝九時笠井顧問は廿九軍同參謀と同道北平より現地に到着修理作業を監督中で今日中に完成の見込み

ある前鋒部隊が滿治安部隊の交替として早くも北平入城の氣體を示してゐるのに對し嚴重注意を喚起した、この結果趙部隊の入城は滿部隊の完全な撤退後となる模様である

馮軍第一列車出發

北平(三) 北平城内より撤退する滿治安部隊下第卅七師の一部五百名を載せた最初の列車は廿二日午後五時卅分保定方面に向け南下した、平漢線の北平西停車場を發した同部隊は第卅七師の二百廿四團らしく泊驛砲隊一連、機關銃隊一連を交へてゐた

中央軍の動向注視

北平(三) 卅七師の撤退は廿一日夜來漸次實行されてゐると傳へられるが他方中央軍は依然北平を繼續し保定、石家莊には彈藥、食糧等が續々輸送されつゝある狀況に鑑み我方では廿九軍部隊の撤收により一應現地の問題は片付くとも中央軍の北上、挑戰行動が停止されざる限り全面的解決は期待し得ずとの見解に達し周到な準備のもとに中央軍の動向を注視してゐる

南京現地協定を承認

北平(三) 南京政府は廿一日午後宋哲元に對し北支事變解決に關する現地取極めを承認する旨通告し來つたと謂はれる冀察當局が之に對し如何なる態度を執るかは暫らく別個の問題として我が軍當局では

抑も今次事變は冀察と日本との關係を惡化し北支の中央化を圖らんとした南京政府の策謀に端を發し事變の責任の一半は廿九軍の外明らかに南京政府に在るに拘らず南京政府は終始冀察を牽制若しくは煽動する態度に出で日本の

雖然たる態度が表明されるに及んで速かに態度を一變して冀察に對する壓迫を停止し現地協定を承認すると云ふ名目の下に我が銳鋒を緩利する術策を弄した形跡が認められるとなし我方としては南京政府が現地協定を承認すると否に拘らず客觀的狀態が日本にとり満足すべき狀態に立至るまでは飽くまで獨自の立場をもつて事變の徹底的解決に邁進する方針で苟くも既に北支の平和を愛好し日支の關係を改善せんとする誠意を有するものならば南京政權下の統一手段として排日毎日の惡辣なる手段に訴へるが如き從來の態度を根本的に改め事實を以てその誠意を示すのが當然である、而して差當りの問題としては特に梅津、何應欽協定蹂躪の如き無誠意なる措置は即時訂正せねばならぬものであるとしてゐる

抑留邦人釋放要求

北平(三) 事件發生以來第廿九軍系の當局者が共した邦人不法抑留の行爲は事變の解決と共に我が方より抗議すべき重大問題であるが曩に釋放された被抑留邦人九名の他廿二日現在尙ほ歸還せぬ邦人は少くも三名以上ありその生死全く不明で我方は引續き隨時支那側に對し釋放方を嚴重要求してゐる

支那中央

出先三當局會議
南京(三) 大城戸陸軍、中原海軍兩武官は廿二日朝十時相前後して大使館に日高參事官を訪問約一時間に亘つて三人鼎座重要會議を開き先づ日高參事官より前夜英國大使ニゲッセン氏と會見した點末及び事變に關聯し英國を中心として動向及び有關國際事情を報告終つて各々入手せる情報の交換を行ひ冀察と日本現地當局との交

涉及び之に對する中央の態度に就き外交軍事兩方面より檢討を加へたが出先三當局よりは直に各本省に宛て重要進言を行つた

宋哲元停戰を報告

南京(三) 宋哲元は廿一日夜に至り軍事委員會に對し日支兩軍間に停戰協定成り双方から代表を派遣し兩軍前線部隊の撤退を監視し保安隊をして接防せしむ旨報告し來つた、軍事委員會は局面的急轉直下に雖然たる有様だが問題の重點を日本軍撤收如何に置いて居る様子である

國府軍事首腦會議

南京(三) 廿二日午前九時より蔣介石司令官の下に軍事委員會緊急會議を開催宋哲元より報告された日本軍と第廿九軍との停戰協定成立問題を中心に重大協議を行つたが硬軟兩派に別れ激論の結果蔣介石の裁斷に依り暫らく靜觀することに決定した

上海財界冷靜

上海(三) 事變の前途遊踏し鈍く輿地方面には多少民心動搖の兆見受られるも上海は目下の波瀾を演じた經濟界も時日初その衝撃に波瀾を演じた經濟界も時日の經過と共に先走つた悲觀人氣を訂正して正確に事件の消化を行はんとして居り現在日支人間の取柄は手控へられてゐるが經濟斷交の如き重大事態に臨むことは殆んど豫想されて居らず底流には何處となく力強いものが看取される、國民政府安定の支柱であり支那經濟の中心勢力たる上海の斯かる冷靜は全支の民心の混亂を防ぎ國民經濟の動搖輕減に有力な作用を爲して居る、之が根本的原因は國民政府當局が排日行爲の取締りを嚴重にし

三日以來緊張の極に達した時局は今朝に至り寧ろ緩和した
中央の大勢協定に傾く
南京(三) 日支間の停戰に關して宋哲元より軍事委員會に協定成立の旨報告があつたがその内容については何等言及されて居らずこれに對し外交部當局は表面一如何なる地方協定も中央の承認を絶對必要とする
一 苟くも領土主權を毀損する條項は斷じて承認しない
との強硬意見を固執してゐる、然し國民政府内部の大勢は英國側の意向をも考慮し根本國策に相反しない限り現地協定を承認しようといふに傾いてゐるとみられ
但し中央は約諾三項中最後の防共及び排日取銷の範圍と其具體的内容に就き懸念し更に今回の事件で北支那に新たな政治的局面が展開し冀察政權が事實上中央の支配を離脱する事なきやを重視し居り最惡の場合に處する爲め依然戰備を繼續して居る

抗日情勢

蔡廷楷香港着
香港(三) 故國の風雲を望んで外遊の途マニラから引き返した抗日の巨頭蔡廷楷は廿一日香港着出迎の舊十九路軍參謀長及び兩廣軍事當局代表と會談した後特に中央から特派された高健侯と會見蔣介石の意向を聽取した蔡廷楷は廿二日には更に在香港の陳銘樞と會見したが蔣介石の招電に接してゐるので廿三四日には飛行機で南京に向ひ抗日の一軍職に就任する筈である、但し傳へられるが如き十九路軍再編成は行はれない模様である

極力治安の維持に努めて居る事と經濟界の混亂防止の爲め全力を擧げて統制に乗出して居る事並に内外人共に日本は今後更に新發展を見ることも恐らく北支のみには止まるべく中南支に迄擴大して上海がその渦中に捲込まれる事は先づないものである、併せ一方には抗日分子の潛行的活動が漸次開始されて居るので北支に於ける兩軍の衝突が今後も繰返され事變の收拾遲延するに至れば彼等の煽動乃至威嚇によつて一般の對日感情惡化は免れず排日貨に就ても華商は固より一般民衆はその不利を知悉してゐるが抗日分子の強制手段に依つて不本意ながら之に引き摺られ或は不法行爲の頻發となる懼れあり目下經濟界の全視線は北支軍事行動の推移と共にこの一點に集中されてゐる

廣九、粵漢鐵道守備

香港(三) 廣九鐵路沿線警備中の鄧龍光の第百五十六師は蔡漢謀の南支防衛會議の結果汕頭移駐に決し廿、廿一、廿二

三日間に亘り全軍黃埔に集結軍用船三隻に分乗廿二日汕頭に向け出帆した、尙羅卓英麾下の第十一師と羅輝輝麾下部隊が廣九線と粵漢線の警備しつつあり軍事委員会は北支事變の擴大を顧慮し將來全支沿岸各港を封鎖された場合香港を起點に粵漢、廣九兩線を中央軍の統制下に置き南方出路の生命線とすることとなり之が死守を嚴命し來つた

中央軍濟南着

濟南【七三】 廿二日午前六時廿分十四輛連結の中央軍特別立列車が津浦線停車場に到着したが前部五輛には旗幟を取つた數百名の中央軍兵士及裝甲自動車四輛高射砲數門その他軍需品を満載して居り一先づ幸莊兵營に入つた

邦人保護

▲有野韓復榘訪問

濟南【七三】 北支情勢の悪化に急遽歸任した有野濟南總領事は翌月副領事より現地情勢を詳細聴取の上本廿二日午前九時省政府に韓復榘主席を訪問本省の訓令に基き事件の不擴大、東洋平和の確立等帝國政府の一貫せる方針を説明すると共に山東に於ける治安に關しては從前通り双方とも慎重事に處し大勢に進行するが如き不祥事の發生を嚴に戒められた旨強調する處あり會談三時間に及び正午辭去した

▲濟南邦人引揚

濟南【七三】 北支事變の勃發と共に居留民の引揚げに關し濟南總領事館當局は依然任意引揚げの方針を採つてあるが廿一日夜迄の濟南に於ける引揚げ人員總數は四百四十九名である、尙張店は七十名、博山は卅名で各々婦女子のみである

▲漢口邦人避難開始

漢口【七三】 昨日の邦人婦 子の任意引揚合せ以來引揚空気が激かに濃厚となり三井物産社員の家族四家族がトツプを切つて明日出帆の大活汽船黃浦號で上海に向ふこととなり其他の會社員の家族も續々避難準備を始め出した

▲武漢警備隊言明

漢口【七三】 漢口駐在練日海軍武官は廿二日午後四時武漢行營主任何成濬を訪問二時間に亘つて意見交換を遂げたが練日武官より漢口の治安維持に就いて何主任の所信を質したところ何主任は

從令職局の擴大を見せようともこれが武漢三鎮まで波及する事なしと信ずる、又當地に於て事端を醸す事は絶対に避ける方針である

と邦人保護を言明した

▲上海抗日後援會成立

上海【七三】 上海市商會を中心とする各界抗日後援會發起式は廿二日午前九時上海市商會に於て舉行至、虞洽卿、錢水銘等參集主禮、杜月笙、王曉籟より本會組織の旨を説明した後左の如き決議を通過し同十一時抗日氣勢を揚げて散會した

決議

- 一 大會宣言を全國に通過す
- 二 全國商會に對し一致動員抗日救國に當るやう通告す
- 三 蔣院長がなした十九日の抗敵演説を全體的に支持す
- 四 抗日救國義捐金を募集す
- 五 漢奸の毀革制裁を勵行

▲創立大會が大亂闘

上海【七三】 抗日救國を目標として全國的團結を圖らんとする各界抗敵後援會創立大會は昨廿二日上海市政大禮堂に於て全國各方面の代表者二千餘名出席の下

に閉會されたが端なくも席上硬軟兩派に議論對立し遂に騒々の大亂闘となつて輿論不統一の醜態を曝露するに至つた、既に從來廣日貨排斥により苦汁を吞まざれて結局排日貨の不利を自覺せる正論と一部排日を業とせる不逞抗日分子と國産品關係業者との結託による反對派との抗争が遂に表面化して爆発するに至つたものである、斯かる現象は從來到底見られなかつた所でこの乘期せざる波瀾に狼狽した當局者は極力事實を隠蔽し眞誠に努めてゐるが輿論の眞の騷擾を示唆するものとして注目される

▲上海附近に臨時戒嚴

上海【七三】 淞滬警備司令部、公安局保安隊等支那側軍警各機關は廿一日聯合會議を開議時局の不安に乘じて不穩分子暗躍の微あるに鑑み上海及び近接六縣に臨時戒嚴を施行すると同時に民衆に諸言に惑はず輕率妄動を慎み當局を信頼して各自生業にいそめとの安民布告を發し治安の完備に乘出した

▲日貨排斥決議

上海【七三】 上海共同租界居住の支那人によつて組織されて居る上海特別一區市民聯合會は廿一日午後緊急會議を開議時局對策として日貨ボイコットの即時實施を決議し直ちにその旨國民政府に電覆實施方を稟請した

▲山内抗敵後援會

香港【七三】 汕頭に於ける抗日氣勢は汕頭事件解決の遲延と共に益々奮った感ある反日と化してゐる、廿二日香港入港の謝東九が廣した情報によれば廿二日同地軍政各界聯合の下に抗敵後援會が組織されて以來加速的に活動しつつあり即ち支那側は李漢魂の百五十五師が主力を潮州より汕頭に集中し更に廿二日廣東より鄧龍光の百五十六師が同地移駐したのに

勢を得て汕頭郊外に堅固な防禦陣地を構築して益々挑戰的排日氣勢を昂めてゐる

▲國府對輸出禁止

上海【七三】 國民政府は廿二日突如對移出並に輸出禁止を發令し即日實施した缺は支那の重要輸出品の一で全產額の大部分は日本に輸出され年額六七千萬元に達してゐる

帝國政府

參謀總長宮御參内

閉院參謀總長宮殿下には廿二日午後三時九分宮中に御參内天皇陛下に拜謁仰付けられ北支事變その後の情勢に關して御奏上種々御下問に奉答同五十七分御退出遊ばされた

和知參謀談

支那駐屯軍參謀和知禮三平佐は廿二日午後六時八分羽田着の旅客機で天津より上京したが羽田で左の如く語つた

中央部の招電で上京したので二三日は滯京する豫定だ、今度の任務については何も言へないがまづ現地の情勢を報告しやうと思ふ

廣濟橋附近の支那軍が撤退するといふ事はうらやが支那軍一般の抗日氣勢は頗る熾烈で北平城内などもまだ邦人の住宅の前に土籐を築き機關銃を構へて居るといふ有様だから斷じて樂觀することは出来ない、假りに支那軍が約諾通り全部撤退することがあるにしてもそれだけでは問題の解決にならない

先づ第一に廣濟橋の不決射擊事件が何等解決の緒にもついて居ない、第二には北支事變の條約に基く平津地方の交通の問題、同地方の居留民保護等がある、第三には中央軍の保定進出による梅津阿德協定の蹙縮がある、是等が徹底的に解決されねばならぬ、然るに

冀察南京のいづれにも之等に對する誠意の認むべきものはない、これを要するに現下の情勢ではどの角度から見ても問題はまた長引くものと見なければならぬ

國民支援

東京府市會時局決議

北支事變の重大性に鑑み東京府會會員協議會は廿二日午前十時四十分開會府會としてるべき態度につき協議した結果次の決議文を滿場一致可決直ちに香月司令官に打電する手續をとつた、尙東京市會も同日午後一時全員協議會を開議府會と同様の態度を決定した

決議文

東京府會は皇國日本の進展と東洋永遠の平和を確保せむため毅然として北支事變に對處する帝國政府の重大決意を支持し滿腔の信頼を獻け併せて深甚なる敬意を表す

基督教聯誼時局決議

日本基督教聯誼會も北支第一線の皇軍を慰問すべく廿二日午前八時神田錦町の聯盟本部に常議員會を開會協議した結果宣言文を發して全國基督教機關を動員一萬圓の國防費と五萬圓の慰問袋を募り現地へ慰問使を派遣することを決定した

統後赤誠百十萬圓

北支事變勃發以來去る十日から廿二日夜までに統後の國民から送られた皇軍慰問の金品總額は實に百萬圓を突破するといふ滿洲事變當時にも見られなかつた熱誠を示されてゐる、廿二日現在の内譯は、國防獻金七百五十九件總額六十六萬六千

五百九十四圓二十八錢、學術獎勵費千四百三十三圓、總額三萬九千七百七十九圓九十九錢、恤兵金三千六百六十圓、總額四十一萬二千二百七十四圓二十九錢に上つてゐる。なほ關東軍取扱費、慰問恤兵金は廿一日現在で五萬七千九百五十四圓四十二錢に達した

海外動向

支那聯盟へ提訴か

ジュネーブ【二】 聯盟防では北支事變の成行に對し深甚な關心を拂ひつゝ支那の態度を注視してゐるが支那は平和的解決が不可能となつた場合には聯盟へ提訴するのではないかと観測してゐる。其の場合支那は聯盟國と非聯盟國の紛争處理に關する聯盟規約第十七條及制裁に關する第十六條の援用を求めらるゝが聯盟理事會は一九三一年の滿洲事變當時に比し其の構成も完備してゐるから當時のやうな不手際はやらないと自負してゐる。かゝる情勢を反映して聯盟の一部では既に侵略國に對する武器禁輸並に被侵略國に對する財政援助を主張してゐるが一般には日支關係の破局が回避されるのを希望してをり平和的解決の凡ゆる手段が盡きるまでは聯盟が出しやばるやうなことはあるまいと見られる

英國の對支貿易

ロンドン【二】 英國保守黨議員ジョセフ・ツプウォース氏は廿二日午前の下院質問時間に於て北支事變の英國對支貿易に及ぼす影響につき

日本の支那に於ける行動は停止する所を知らず其のため英國の貿易は重大影響を受ける實情にあるが英國政府は滿洲の場合と同様今後同種の行動を承認

することは拒否するとの立場を明かにしては如何

蘭明を避け次の如く答へた

御質問の如き事象は未だ現實に發生して居ない、従つてツプウォース議員の質問は假定の問題について政府が採るべき態度を豫め明言せよと言はれるのではないと思ふから特に御返事はしない

戰爭保險條項停止

ベルリン【二】 ハンブルグ海上保險組合は北支の形勢に鑑み極東向貨物に對し普通保險約款中の戰爭保險條項を停止するに決定廿二日その旨關係各方面へ通知した、今回の決定は日本の朝鮮を各支那、滿洲國向けのもの、同方面から發送される貨物一切に適用される



地

現

中央軍編入を言明

北平【二】 宋哲元が廿一日夜冀察首領部を自邸に招致し天津に於て香月司令官と會見以來の日支交渉經過を説明したが外人記者消息によれば宋哲元は席上商震軍、孫連仲軍以下その他日下河北省内に進駐してゐる中央軍各軍が宋哲元の指揮下に編入され北上を命ぜられてゐると報告したといはれる、之が事實とせば宋哲元が進駐中央軍の北上を阻止せざるに於ては宋哲元自身梅津何應欽協定を蹂躪したる事になる譯で中央軍と廿九軍との關係が果して下ノ點まで進んでゐるか今後事態が擴大惡化する否かは一に宋哲元の對中央態度

如何にかゝるものと見られる

辛店以南に向つたが行先は判然しない

北平【二】 城内駐屯の第卅七師が撤退を始めたので北平は十七日間の陰鬱な空気が漸く解放された、昨日迄は夜十一時ともなれば全市青龍刀を背にした支那兵の戒嚴下に北平は死の街と化してゐたのであるが今夜は戒嚴令とは響ばかりで保安隊と少數の憲兵による警備隊も全く平常と變りなく北平は久し振りで安らかな夢が結ぶる状態となつた

松井大佐實行督促

北平【二】 特務機關長松井大佐は廿三日午後五時半進德社に宋哲元を訪問北平城内及び前線部隊の速かなる撤退完了を促すと共に約諾の各條項に互り實行方を促進した

平津地方集熱

天津【二】 平津地方の気温は日に日に上昇し廿二日は室内温度百度を突破屋外は百卅度といふ文字通りの酷熱地獄を現出し廿三日は前日にも増して水銀柱はぐんぐん上りに上り炎熱の前線に活躍中の我が將士の勞苦は亦一入で軍當局も此の暑さに對する設備の萬全を期し夫々手配を行ひ將士の活躍に遺憾なきを期して居る

南京政府の出様が問題

北平【二】 現地協定成立に依り北支方面の危機は一應解消されたが北支事變の今後を決定する重要機因となるものは冀察當局が日本に與へたる約諾實行の如何

卅七師續々撤退

北平【二】 廿三日午前七時十五分第卅七師、第二百十八團の第二營七百名は北平前門驛を出發平漢線涿州に向つた、次で午前九時卅分發の第二列車では第百九旅第二百十八團第一營、第三營の混合部隊七百名が同じく涿州に向出發した、なほ廿二日午後五時四十分前門驛より涿州に向つた支那軍隊は長辛店で下車したが之は爾後の輸送に必要な車輛返送のためとみられる

冀察當局の南京政府並に中央軍に對する態度

一 冀察當局の南京政府並に中央軍に對する態度

一 冀察當局の南京政府並に中央軍に對する態度

一 冀察當局の南京政府並に中央軍に對する態度

一 冀察當局の南京政府並に中央軍に對する態度

一 冀察當局の南京政府並に中央軍に對する態度

は左の如くである

▲保定附近 商震麾下の第四百四十一師、第四百四十二師、孫連仲麾下の第卅七師、龐炳勳麾下の第卅九師

▲保定附近 李默庵麾下第七師、萬福耀麾下の第十三師及び第廿二師

▲大名附近 商震麾下第百卅九師以上總兵力約十五萬で省境に根據地を置き保定鄭州間の北支制空權を掌握せる中央軍航空隊は三隊(約卅機)である

學生抗日尚續く

北平【二】 北支の抗日學生運動は今次事變の協約に基き冀察當局は取締を行ひつゝあると稱して居るが北平市内には

一 前敵抗日將士移動後援運動

一 北平學生前線服務團

一 第廿九軍抗敵後援會

一 第廿九軍抗敵後援會

一 第廿九軍抗敵後援會

一 第廿九軍抗敵後援會

一 第廿九軍抗敵後援會

一 第廿九軍抗敵後援會

支那中央

北平【二】 米國大使南

北平【二】 米國大使南

北平【二】 米國大使南

北平【二】 米國大使南

北平【二】 米國大使南

北平【二】 米國大使南

北平【二】 米國大使南

に就く何等具體的の報告を行はない爲め國民政府内には協定内容に對する疑念が漸く深まるに至つた、一方宋哲元が中央と打合せず獨斷專行日本軍と協定を取結んだことに對する非難が高まり監察院は今後の成行如何で宋哲元の彈劾を決議する形勢である

南京妥協事情

南京(七)三 蔣介石は事變勃發以來廬山にあつて内外の情勢を注視應機萬全の策を講じて居たが南京歸還後黨部、國府、軍界の首腦部と屢次協議した結果現地解決法を繞る日本軍との衝突を極力回避する妥協方針を決定した、尤も孫科、馮玉祥等の抗日派、陳立夫を中心とする黨部の強硬派は依然主戰論を主張して居るが大勢は妥協に傾き第二段の問題として各方面とも日本軍前線部隊の撤收如何を懸念して居る、蔣介石が遂に妥協案に決定した事情左の如し

- 一 國際情勢に關する在外大使からの報告が不利なこと
- 一 英米兩國共極めて消極的で特に英國大使ヒューゲツセン氏は蔣介石に對し効果的に事件不擴大を勸告したと言はれること
- 一 上海支那財界の有力な反戰論が張公權、吳鼎昌を通じて國民政府に傳へられたこと
- 一 中央軍の設備不十分なること
- 一 中央集權化の過程には依然幾多の矛盾が残存し大小不軍閥の整理がまだ完了して居ないこと
- 一 且日本軍と衝突し戦局が擴大する場合之等諸軍閥は別個の政治的意圖の下に結束する權あり共產軍隨時の共同作戰提議も俄に信を置き難く愈々長期抗争に入る場合全國統一戰線の持續は更に困難と見られること

斯くて蔣介石としては武力を以て現地協定の履行を妨害し得ぬ以上之を默認する外はない譯たが國民政府當面の最大關心事は日本軍が梅津河津協定に基き中央軍の北上部隊の撤收を要求する場合の對策及び北支今後の政治的動向にあり、國民政府が大掛りな動員工作をした事も全くこの第二段の局面に備へる對策だと見られる

首鼠兩端の國府

上海(七)三 廿九軍の撤退進歩により北支の情勢は漸く前途に曙光を帯び來つたが中央の情勢は未だ遽かに樂觀を許さず殊に求めて梅津・河津協定を蹂躪して中央軍の北支進出を續行しつゝある南京側の不可解の態度は却つて北支の危機を新段階に發展せしむる動因を爲すものと注視される、即ち國民政府内には軍政部長陳誠を首領とし中歐蔣校によつて支持される主戰派と政學會系及び浙江財閥一派の非戰論者が對立して互ひに譲らず南京政府の態度決定を鈍らし首鼠兩端を持つ曖昧至極のものとなつてゐる、この國民政府の一方現地協定を默認し且つ宋哲元の態度に賛意を表明し乍ら他方に於て協定成立を妨害するが如き矛盾した軍事行動を執る不徹底の態度は折角一縷の光明を見せて來た局面を再び逆轉せしむる虞れが多分にあるとされてゐる

一 中央集權化の過程には依然幾多の矛盾が残存し大小不軍閥の整理がまだ完了して居ないこと

一 且日本軍と衝突し戦局が擴大する場合之等諸軍閥は別個の政治的意圖の下に結束する權あり共產軍隨時の共同作戰提議も俄に信を置き難く愈々長期抗争に入る場合全國統一戰線の持續は更に困難と見られること

上海財界の打撃輕微

上海(七)三 事變勃發より今日に至る半ヶ月餘の上海財界は可成りの波瀾動搖を演じ證券、商品とも殆んど一齊に下落し一般の狼狽人氣を反映してゐるが然し之を以て財界の根本的悪化を見做す事は尙早で時日の経過と共に不安人氣解消とは行かない迄も漸次落ち着いた見込みあり、事變當初最も注視された爲替崩落の不安は資金の外貨への逃避旺盛で磅爲替は一志二片四分の一の最低統制點に低落し變慮すべし状態に陥つたが政府系銀行の必死の防戦賣りによつて危機を脱し最近はややゆるみ、事變以來外貨に乘換へられた資金は凡そ四千萬元前後と推定されて居るが政府の爲替資金には尙相當の餘力があるので目先統制點維持は困難でない比較的樂觀されて居る、尙支那銀行から外銀への預金の移動もポツポツ行はれて居るが之も政府の監視嚴重で大した額には上らないと見られ通貨不安は現在の處著しく輕減された観がある、尤も部分的には大衆銀行の如き資金の大部分を公債に投資して居た爲め事變以來の公債暴落によつて廿日途に營業停止の止むなきに至つた例もあるが之は資本金僅かに五十萬元の三流銀行で之小銀行の休業倒産は平時に於てもよくある例でその影響は局部的に止まり今日この財界金融界の實勢を以てしては全般的に及ぼす影響は頗る輕微と見て居る、他方一般の商品取引に於てもその基調を混亂せしめるやうな現象は未だ見受けられず唯時局的的確な見透し困難から業者自身の警政と金融類等による取引減廢から蒙る打撃は免れ得ないが夫れとても最近の好況により邦商、華商共に可成りの打撃に持堪へるだけの

持欠力が持たれて居るので一般の人氣を惡化せしめる程には至つて居ない、要するに今日迄の處事變の經濟界に與へた影響は時局警政による消極的なものに止まり根本的な打撃はまだまだ現はれて居ない、問題は今後の局面の發展如何に係つて居るが時局が此の程度で收拾されれば財界の活動は即時常態に回復するに至るであらう

抗日狀勢

馮玉祥電見を具申

上海(七)三 馮玉祥は廿三日午前十一時廬山から急遽南京に歸還直ちに蔣介石と會見北支時局に關し自己の所見を具申した、今次事變の當事者たる第廿九軍が彼の舊部下である爲め馮玉祥は持論の抗日決議に一層拍車を掛けた強硬論を強調し對日即戰を執行すべしと蔣介石の決意を促したと云はれる

上海(七)三 今回事變に最も深き裏面關係を有する一人にて廿九軍育ての親たる馮玉祥は廿二日南京歸還を前に廬山に於て支那紙記者に左の如き毒舌を弄した

日本は又々九・一八事件の常套手段を華北に演せんとして大兵を集結し一氣に目的を達せんとして居る、然し余は日本人中に明奮の士、日本政府中に明達之士ある事を信じて居る、日本軍に對しては各個の力を盡し國家復興に全國一致邁進すべきである

帝國政府

和知參謀報告 廿二日天津より入京した和知支那駐屯軍參謀は廿三日午前九時參謀本部に出頭し井次長、石原第一部長以下關係部、課長に會見現地の情勢を詳細報告重要打合せを行つた

梅津次官官長と打合 政府は今件事變に際し去る十九日天津で締結せられた現地細目協定の内容を發表して中外の誤解を一掃すると共に北支問題處理に對する帝國政府の方針と其公正なる態度を闡明することとなつたが右に關し梅津陸軍次官は廿三日午後三時半首相官邸に風書記官長を訪問して種々打合せを遂げた

細目協定陸軍發表 陸軍省では北支事變に關し天津で行はれた現地細目協定につき廿三日午後左の如く發表した

陸軍省發表 支那駐屯軍よりの報告によれば今回の北支事變に關し監察院においては責任者の誹罪、處罰の外今次事變の原因は

あつたので今明日中に急選舉つて下山し原隊に復歸するに決した

漢奸中央委員會組織 漢口(七)三 漢口の排日氣運は北支事變を契機に俄然強調廿一日漢奸殺滅委員會を組織したが廿二日には新に極秘裡に中央委員會が組織され日本人と取引するものは漢奸と見做す旨決議した、一方當局も石炭、穀類、金屬等の對日取引嚴禁の密令を發したと謂はれてゐる、之等の排日運動は黨部共產黨指導の下に漸次民衆運動化せんとしてゐる

所謂監監社、共產黨其他の抗日系各種團體の指導に胚胎する處多きに鑑み將來これが對策取締りを徹底することを協定せり、則ち冀察側はこれが實行の爲七月十九日文書に依り左記具體的事項を自發的に申出でたり

一 日支國交を阻害する人物を排す
二 共產黨は徹底的に彈壓す
三 排日各種機關、諸團體及各種運動並之が原因と目されるべき排日教育の取締をなす

又別に冀察側は今回日本軍と衝突したるは主として第卅七師に屬するものなれば將來双方の間に意外の事件發生を避くる爲同師を北平より他へ移駐する旨通告し來り昨廿二日午後五時以降列車により逐次南方に移動せりなりと駐屯軍は目下之が實行を嚴重に監視中なり

實行如何を監視

我が支那駐屯軍は今大變動勃發以來不撓大、現地解決の兩原則を堅持し終始隱忍自重東亞和平の確立の爲めに努力し來つた結果漸く去る十九日冀察側に於て自發的に解決便法を申出でこれが實行を確約するに至つたが從來誠々不信行爲を繰返へした冀察側に果して確約通り之を實行する誠意と決意ありや否や尙ほ嚴重に之が實行を監視する要ありとして居る、而して駐屯軍としても東亞和平の大局的見地より冀察側の申出を一應諒承し之が實行を監視すると共に南京側が現地機關の實行を妨害して最惡の事態を惹起する事無きやを嚴重監視しつつあるが南京政府にして我方の現地解決、不撓大方針の眞意を曲解し更に中央軍其他排日機關を依然北支に潜入せしめ北支の事態を再び悪化するが如き態度に出でる場合には東亞の安定を妨害するものとして毅然これを

海外動向

ル大統領演説
ワシントン(一)三三) ルーズヴェルト大統領は廿三日午後新聞記者團との定例會見に際し極東の事態好轉に安堵の色を示しながら左の如く語つた

極東の事態は少くとも現在の所發着いた様子だ、この調子なら週末のヨット周遊も取止めないで済むだらう

内山佛外相訪問

パリ(一)三三) 内山代理大使は廿三日午後フランス外務省にデルボス外相を訪問極東の情勢に就き種々説明した

地 現
上海(一)三三) 蔣介石は參謀次長熊斌を北支に特派する事となり熊斌は廿三日飛行機で南京より北上同日夕刻保定より列車で北平に到着

熊次長抗日勸説

北平(一)三三) 南京側代表として急遽飛來せる參謀次長熊斌は廿三日長辛店から自動車で北平に到着直ちに宋哲元並に冀察要人と會見し徹底的抗日を極力勸説しつた

卅七師撤退狀況

天津(一)三三) 今朝現在の情報による支那軍の撤退狀況は左の如くである
一 第二百十八團は廿日第一列車、廿二日第二、第三列車で撤退了した
一 其他の滿治安部隊は今迄の處撤退の機は無いが逐次撤退するものと見られる

支那側撤退に應ぜず
北平(一)三三) 第卅七師の撤退は廿三四の兩日に亘り係長坡の第二百十八團が撤退したのみで西苑の第卅七師司令部は勿論張後雲の獨立第廿五旅及び北平城内の劉自珍の獨立第廿一旅など何れも撤退の模様ないばかりでなくその準備さへしてゐない有様である、而も八寶山にあつた第百十旅の如きは廿一日夜中彈的に約二里位撤退したのみで其後撤退せざるのみならず附近一帯に盛んに陣地を構築しつゝあり、又長辛店一帯にも堅固なる陣地の構築を急ぎつゝあり、更に趙登禹の第百卅二師は日本側との約束を無視し既に第百七十九、六百八十一の二箇團を北平城内に入れたので結局北平城内の第廿九軍は撤退どころか却つて一箇團の増加を見た結果となり支那側の態度は全く不可解を極め一時小康を認められたかに見られた事態は又もや面白からざる局面に立ち至つた

吉興文軍も不撤退

北平(一)三三) 蘆溝橋事件を惹起した第卅七師吉興文の第二百十九團は一時後退と見せかけたが依然永定河左岸に張り張り些かも撤退の模様がない

電話線切斷頻々

豐臺(一)三三) 確報によれば第卅七師の撤退は依然渺々しからず五列車より輸送された兵力は約一團に過ぎない、又蘆溝橋對岸には明かに約二箇營の滿治安軍があり左岸蘆溝橋に入る形勢を示してゐる、

更に八寶山、衙門口後方の田村附近に相當の部隊が集結し西苑に入るを肯ししない一方我が天津、豐臺間の軍用電話線は頻々として切斷されるのみならず保線のため出動した部隊に對し包圍姿勢をとり威嚇する等支那軍の不信行爲は再び激化の兆があるので我が軍は至嚴な決意を向めてゐる

宋に約諾實行督促

北平(一)三三) 支那軍の撤退狀況は午後に至るも何等誠意の認むべきもなく松井特務機關長、今井陸軍武官、池田駐屯軍參謀は本日午後三時進徳社に於て宋哲元と會見約諾の即時實行方を嚴重督促する處あり午後四時半辭去した

支那中央

天津(一)三三) 支那駐屯軍大野參謀は廿四日午後三時北平に赴き宋哲元と會見し蘆溝橋附近支那軍の完全なる撤退方實行を嚴重督促した

高司令我に要請

南京(一)三三) 日高參事官は廿四日午後三時外交部亞洲司長高宗武の請ひにより高司令長を自宅に訪問時局打開に關し約一時間亘つて會談した、高は蘆山に於て蔣介石、汪精衛等國民政府首腦者と會見和平解決に關する意見を具申歸京後も引續き努力中であるが國民政府側は

事件不擴大和平解決を希望してゐるから日本側も増兵等の我國民を刺戟するが如き行動を慎まれ度いと述べたに對し日高參事官は、事件不擴大は日本側の建前とする所であり南京側が現地協定を承認しては梅津何隱款協定を遵守し中央軍の北上を行はぬやう希望すると共に蔣介石の聲明にある北支要人の更迭を不可とする態

度は冀察の特殊性を認めて居る中央と
しては甚だ不可解である
と中央側の不遜なる態度に反省を求める
處あつた

國府協定處理協議

南京(二四) 國民政府は廿四日午前九時
各要人を招集河北現地協定案の處理につ
き正式協議の結果次の重大方針を決定し
たと傳へられる

一 從來冀察の外交々渉を絶対に否認す
る建前を固執してきたが右政策は徒ら
に時局を紛糾させる虞れがあるから何
等かの便法を講じ現地協定を黙認する
方が賢明である

一 但し一般國民を納得させるには協定
黙認につき何等か法理的の操作が必要
である、外交部から特使を河北に派遣
し現地を視察せると共に日支兩軍當
局と意見を交換させることが第一段の
措置として必要である

而して日本科長董道寧は廿四日午後來週
中河北に赴き旨言明したが目下のところ
中央側の大勢は現地協定案を黙認する方
向に傾きつゝある

國府冀察に懐疑

上海(二四) 國民政府は現地協定成立に
關し何等の正式報告に接し居らずと發表
して對内的體面を繕ひ乍らも暗黙裡に協
定成立に賛意を表し極力日本軍との正面
衝突を回避し居り而も日本軍來らば應戦
の準備ありと豪語して表面強がりを見せ
つゝ内面妥協の模様を呈して居る、然し
乍ら時日の経過に従ひ協定成立に關して
國民政府と宋哲元との間に事實上何等の
打合せ無かつた事が明白となり宋哲元を
始め冀察及び第廿九軍首腦者に對する國
民政府の疑念は頗る濃厚となつて來た、
この間の空氣を反映して兩三日來南京、

上海支那紙は筆を揃へて「廿九軍は日本
の甘言に陥る勿れ」と警告的言辭を擧げ
又「南京の正式承諾を得ざる日支協定は
効力なし」と妨害的態度を示し事變勃發
當初は第二の蔡廷鍇、十九路軍と祭り上
げられた宋哲元及び第廿九軍の名聲も昨
今では至つて低調で卅七師の撤退、冀察
要人の罷免、北支學生の軍事訓練中止等
を中央に相対し北支側と談合するが如
きは以ての外で若し斯かる事實有りとな
れば漢奸と言はざるを得ずと爲し宋哲元
打倒の色彩を帯びた論調が漸次有力とな
り今次事變を纏つて國民政府對冀察首腦
者とのギャップは相當深められたものと
解される

宣傳部長答辯

南京(二四) 國民黨宣傳部長邵力子日
支事變に關する質問に對し左の如く答辯
した

問 中央は河北に於ける現地協定案を依
然否認する方針か
答 中央は必ずしも現地協定を絶対に承
認しない譯ではない、協定の内容には
純粹に地方的な條項もあろう、之等に
就いては格別の問題はないが領土主權
に關係ある重大問題に就ては是非共中
央の承認が必要だ

問 今回の協定に就てはどう考へるか
答 まだ公報を受けなから細目に亙つ
て意見を述べた事は出来ない
問 中央軍の北上は徒らに事態を紛糾擴
大する恐れあり自發的に撤収しては如
何
答 中央軍の北上は日本軍の増強に對す
る國民政府當然の自衛手段で現状の儘
中央軍を原駐地に引揚げる事は至難だ
日本軍が撤収しなすれば中央軍も何
時でも引揚げるやう

問 國民政府は日支兩國の關係を全面的
に調整する希望はないか
答 日本政府では國交調整の見地から特
使を派遣される意向だと云ふが外交手
段により和平的に國交を調整する事は
大いに歓迎する所である、但し日本政
府が海軍を出して城下の盟を致させる
やうな氣持では交渉の進展を期待出來
ない、互恵平等の立場から平和的に話
合ひを進める事を希望する
問 日支兩國關係の將來に就き見透し如
何
答 昔から喧嘩をせねば眞個に仲よくな
れないと云ふが兩國の關係も雨降つて
地固まる事を切望して止まない

蔣、共產黨と提携

上海(二四) 今回の事件に對して國民政
府が共產黨を如何に利用するかは興味を
以て見られてゐたが事變勃發と同時に共
産黨の活動は第廿九軍内に於けるアラク
ション活動となり左翼學生による抗日ア
ジとなつて活潑な動きを示してゐた矢先
廬山會議に出席し國民政府との接近に努
力を續けてゐた共產黨の大立者周恩来が
密かに在上海のソ聯遠東共產黨出張所と
無電による緊密な聯絡をとりつゝあつた
が共產黨運動による抗日義勇軍の結成及
び駐防問題に關して蔣介石と折衝の結果
果然蔣介石と周恩来の國共兩巨頭の間に
左の如き申し合せが成立し實行に移りつ
つある注目すべき事實が判明した

一 共產黨は抗日義勇軍を北上せしめ察
北冀東地區の内部擾亂に當らつしめる
二 都市に於ける共產黨員はバルチザン
隊を組織し日本租界の内部擾亂に當る
三 其の代償として國民政府は山西省内
に紅軍の一大駐防地の設置を許容する
斯くて早くも徐向前の率ゐる紅軍主力は
山西省に進み北支の事態を監視中である
が同軍指導部は既に北平に潛入り清華大

抗日狀勢

學を根據として學生義勇軍の編成に努め
る一方第廿九軍中の少壯將校三百餘名の
赤化に成功したと傳へられてゐる、なほ
情報によれば駐支ソヴェト大使館付陸軍
武官レービン少將は支那軍當局の懇請に
より對日全面開戦に際しては支那空軍の
前線に立つべくソ聯で教育養成せる優秀
な支那人、鮮人、ブリヤート人より成る
約百名のパイロット派遣に同意したと傳
へらる

濟南彈藥搬出

濟南(二四) 濟南市内省政府後方二百米
の地點にある彈藥庫より廿二日拂曉を皮
切りに連日約十五臺のトラックで小銃及
機關銃彈丸等續りに搬出されてゐるがそ
の状況左の如くである

一 辛莊兵營に向け搬出されるものは右
兵營より更に貨車に積み替へ安城まで
鐵道輸送の上更にトラックで荏縣縣、
博平縣を経て柳城に搬送された彈藥庫
に運ばれるもの
一 濟南忠魂碑西南方約一里の地點に最
近築造された彈藥庫に運ぶもの
右は城内彈藥庫が空襲されるのを避けん
とするもので既に搬出されし彈丸は百五
十萬發に達してゐると

廣東學生日貨排斥

廣東(二四) 日本空軍の來襲防止を名に
廣東に於ては連日防空演習が續けられ盛
に民衆の抗日意識を煽つてゐる、又廿一
日成立を見た禦侮救亡會の學生會員が當
局の指導下に戸毎に日貨不賣買のデモ勸
告を行ひつゝあり從來公然と店頭に飾ら
れてゐた日本品は何れも姿を消し沙面に
於ける邦人商店洋行の對支那人取引も急
激に減少しつゝある、また秘密テロ團の

汕頭排日態々猛烈

香港(二四) 汕頭に於ける日貨排斥排日
行爲は其の後益々猛烈を極め廿二日以來
抗敵後援會指導の下に汕頭苦力公會は日
本船及び日本品の荷揚を拒絶し反日氣勢

跳梁により次の諸事件が頻發して居る
一 埠頭苦力の日本品運搬拒否
一 市内に於ける日本品の不賣買
一 日本人との經濟關係斷絶
一 日本人宅使用人の連環銃殺
一 日本人發信の電信電話遮斷

中村領略警告

廣東(二四) 中村廣東總領事は廿四日午
前十時半頃省政府に歐陽陽代理主席を訪
問禦侮救亡會成立以來一層拍車をかけた
廣東省内に於ける排日鋭化に對し嚴重
取締を要求し「此の儘推移すれば南支に
於ても極めて不幸なる事態に立至る事は
必然である」と警告を發した、右に對し
廣東當局は「省内の全機能を擧げて事態
の緩和に努力する」旨言明したが省内に
おける排日は南京中央部黨部よりの強硬
指令に基づくもので支那側取締の効果の
如きは全く期待されない有様である

李、白等敵本行動

廣東(二四) 廣西の李宗仁、白崇禧は北
支事變勃發以來連日の如く蔣介石に對し
「廣西軍に動員令を下し北上命令を發せ
よ」と通電して自らの抗日意識の強烈な
るを全國に宣傳し又第廿九軍と日本軍と
の間に現地協定成立するや忽ち協定反對
を唱へて蔣介石の軟弱ぶりを痛罵し非難
したが更に第廿九路軍長蔡廷鍇の歸國を
機會に廣東に於て廿四日より目下失業中
の舊十九路軍將領を狩り集め大軍を擁し
て北上すると豪語して敵本主義的抗日煽
動に大軍となつてゐる

汕頭排日態々猛烈

香港(二四) 汕頭に於ける日貨排斥排日
行爲は其の後益々猛烈を極め廿二日以來
抗敵後援會指導の下に汕頭苦力公會は日
本船及び日本品の荷揚を拒絶し反日氣勢

を擧げてゐるがこれが爲め廣東九は廿三日香港發を延期し荷揚作業に多大の支障を來してゐる。荷油頭形勢は第百五十五、第百五十六兩師の移駐に依り益々危険性を孕みつゝある、中村廣東總領事は廿三日外交特派員公署に右問題を嚴重抗議する處あつた

帝國政府

支那側撤兵遲々

支那側の撤兵狀況に關し廿四日陸軍省着電によれば第廿九軍は廿三日僅かに第卅七師の第二百十八團(事變前保定に駐屯)を原駐地に復歸せしめたが、廿四日においては撤兵實行の準備すら認め得ず第卅二師(任邱大名間に駐屯せるものにして事變と共に北平南方四十五キロ口固安及び北の地に進出ありしもの)の如きは日本側との約に背き廿二日夕に既に二ヶ團を北平城内に入る、等實行の誠意なきこと疑はしきものがある、松平特務機關長より支那側に対し嚴重抗議中

專横追加豫算提出

大藏省では廿四日午後總務官邸に豫算省議を開き北支事件費に關する十二年度追加豫算に就て協議した結果一般會計豫算として總額七千餘萬圓を計上することに方針を決定したが尙廿五日午後引續き省議を開いた上最後の決定をなした廿六日の閣議に附議して廿七日衆議院に昭和十二年年度豫算追加第一號として提出することになつた、而して右事件費の内容は陸海外務三省豫算として五千餘萬圓計上する外に新たに大藏省豫算として北支事件費第一豫備金二千萬圓を設置せんとするものであつて、此外特別會計豫算に於ても朝鮮總督府及び關東局の豫算として若干額計上されることとなつてゐる、尙事件

費支出の財源は特に北支事件公債と稱し之に要する起債法案を今議會に提出する方針である

上田囑託南京歸來談

廿四日午後一時半長崎に入港した上海丸で外務省調査部第四課長加藤三郎氏並に南京に出張中だつた外務省會計課囑託上田貞之助氏が歸來したが上田氏は南京の情勢について左の如く語つた

私は廿日南京を出發したが南京は非常な緊張で特に邦人の外出には一々支那憲兵の尾行がつつ々々にはリ、リ、監視の眼が光つてゐる等實に運氣味悪くお話しになりませんが、私は昨年十月南京大使館及び蕪湖領事館の敷地買収の衝に當り支那側と折衝しましたが蕪湖の方は纏つたが南京の方は未解決のまま歸つて來ました、最近長江一帯から南方にかけて支那は砲臺を構築して防備を固めて居りますが土地の貸借に於ても外交部では比較的容易に纏るが軍政部の方で國防上の見地からとて、最近の支那の軍備擴張は驚くべきものがあります

國民支援

感謝決議案上程決定

北支事變派遣將兵並に在滿將兵に對する衆議院の感謝、慰問の決議案に關しては廿四日議長官舎に於て行はれたる政民兩黨幹事長並に櫻内民政黨院内主任職務の會見席上之が方法に就き意見交換の結果來る廿六日常任委員長の選舉を俟つて本會議場小山議長より之を提案し金光副議長起つて提案理由を説明の上各員起立して可決すること

一致した

軍事扶助團體中會

軍事扶助中央委員會では北支事變の重大性に鑑み銃後の後援に萬全を期するため廿四日日本赤十字社、帝國軍人後援會、報效會、愛國恤兵會、義濟會、愛國婦人會、大日本國防婦人會、帝國在郷軍人會、濟生會、啓成社等關係十團體の代表を内務省に招集して總會を開き特に陸海軍兩省、内務省の首腦部も出席して別項の申合せを全會一致可決すると共に全國の地方委員會を總動員して緊密なる連絡協力を保ち積極的の軍事扶助計畫を實施することに決定之に要する費用六十八萬二千九百七十九圓の支出をも可決正午散會した

▲申合

我等軍事扶助關係團體は夙に軍事扶助中央委員會を組織し連絡提携以て軍人及其の遺族の援護事業に従事する所なるも現下時局の推移に鑑みその責務の愈々重大なるを痛感す仍てこの際益々一致協力各自その分擔する事業の遂成に邁進し以て銃後の後援の全きを致さんことを期す

對支問題有志大會

對支國民運動の魁を期する對支問題有志大會は廿四日午後一時より上野精養軒で開會

興行街獻金

淺草興業組合加盟卅館のうち江川、松竹大勝、帝國、常盤、花月の六館は廿五、六の兩夜北支事變ニュースを上映又新宿興業組合加盟十五館でも廿六日から七月七日迄各館交互に「ミッドナイト・ショー」を行ひその金收入を陸軍省に寄附することになつた、興業中では從業員も無報酬で勞力奉仕する

本多館太郎、大藏公盟男等發起諸氏の外交界各方面より助會者一千五百名を超え菊地勇輔館長席に着き宣言決議及び香月支那駐屯軍司令官宛感謝慰問の電報發送の件を可決した後決議の趣旨を達成するまで運動繼續を申合せ出席各員を實行委員とする「對支同志會」を結成同五時散會した

全滿特殊會社獻金
新京(七)四 北支事變の勃發と共に全滿の特殊會社銀行廿七社では四十萬圓を獻金しやうと奔走しつゝあるが四十萬圓は突破しやうと言ふ物凄い景氣である、關東軍ではこの莫大な獻金を出来るだけ有効な使途に充てたいと願を捨ててゐるが資材整備殊に航空兵器の充實に充てたいとの意向である

青島でも恤兵金

青島(七)四 北支事變の發生以來青島でも各方面から特務機關に續々と恤兵金が集つてゐるが廿四日までに既に五千三百餘圓に達した

登錄労働者の獻金

廿四日午前十時陸軍省恤兵部に、日暮里職業紹介所の登錄労働者石塚繁三郎さん(三)外五名が訪れて金卅一圓卅五錢を獻金した、同紹介所の自由労働者三百八十三名は北支事變勃發と同時に「俺達も獻金しやう」と相談が纏り毎日僅かな日給の中から食費や一杯の泡盛代を節約獻金したものと判り血のじむ愛國心に係官をホロりとさせた

田村に野壕構築

北平(七)四 八寶山に通ずる阜成門は廿五日より開放されたが八寶山北側に當る田村附近街道上には第廿九軍兵士のため三重の野壕が構築されて居り歩哨が繁重なる取調べを行ふので事實上通行禁止に等しい有様である、附近農民の談によれば田村には何基野壕下の第百七旅の二ヶ大隊が駐屯し前方の八寶山陣地と連絡をとり日夜抗日的氣勢を示してゐるやうである

熊斌翼察首腦會議

北平(七)四 參謀次長熊斌の來平を迎へ宋哲元は第廿九軍將領並に翼察要人を召集し廿四日午後武衣庫の自邸に於て重要會議を開議會議には熊斌、宋哲元の他秦德純、湯治安、趙登禹等出席熊斌の質問に對し日本側との交渉經過一切を報告今後の對策に付き長時間に亘り激論した

熊斌離平

熊斌離平

卅七師の怪奇行動
豐臺(七)四 第卅七師の一部と豐しき支那軍は廿四日午後五時頃一文字山前方の鐵道線に盛んに陣地を構築しつゝあり午後六時より午後九時頃迄宛平縣城内は非常な騒ぎで石景山方面に一發烽火が上がるや續いて宛平縣城東南方望樓と城門の前方に紅白の火點信號が頻りに交された、此の奇怪な事實に對して我が豐臺本部隊は極度に緊張し依然警戒を續けてゐる

現地

熊斌離平

北平【七・三】 蔣介石の軍大指令を受けて廿三日來平し宋哲元始め冀察要人と會見して大活動を續けてみた國民政府參謀次長熊斌は本日午前漢口で歸任の途についた

冀察軍政最高會議

北平【七・三】 天津市長張自忠は午後七時特別列車で清平直ちに遼寧社に於て宋哲元、秦德純、齊燮元、馮治安、劉汝明、韓登鵬等と共に冀察軍政首腦部會議を開き深更迄重大協議を續行したが今次事件の冀察側最後の方針を決定するものとして注目されてゐる

日支軍部衝突

天津【七・三】 即坊に於て支那軍不法射撃を開始し日支兩軍目下交戦中

支那中央

宋子文蔣會見

上海【七・三】 宋子文は廿五日午前八時半、歐亞航空会社の旅客機で上海發同九時半南京に到着直ちに軍官學校内の軍事委員長官邸に蔣介石を訪問日支問題に就いて重要協議を遂げた後午後二時南京發歸滬した、右會見に於て宋子文は、

一 軍事費の抽出に關聯し支那經濟、金融界の情勢

一 上海で外人各方面を打診した結果を報告説明した上

日本軍が飽く迄侵略的行動に出る場合は國民政府として領土主權保全の見地から防衛手段に出る事は當然だが諸般の情勢から見て出来る限り和平解決を圖られ度い

と浙江財閥を代表して北支時局につき消極的意見が相當有力な旨を述べたものと見られてゐる

日高、英獨大使會談

南京【七・三】 日高參事官は英國大使ヒュ一ゲツセン氏の希望に基き廿五日午前十一時英國大使館に同大使を訪問正午まで約一時間に亘り懇談を遂げた後更に午後五時より約一時間獨逸大使トラウトマン氏と會見協議を重ねた、右席上日高參事官は天津、北平よりの情勢に基き北支の情勢に就き次の如き説明を行つた

一 第廿九軍は一旦現地協定を履行するかに見えたとが兩三日來再び兵力を増強し陣地を構築して挑戰的態度を示してゐる

一 帝國政府は飽くまで不擴大方針に基き和平解決を期待してゐるが第廿九軍が不信行動を止めない以上は事態は再び悪化するかも知れない

之に對しヒュ一ゲツセン英國大使は國民政府内の情勢に就き説明し現地の解決條件に就いては廿三日頃より宋哲元から國民政府に抽象的な報告があり國民政府も目下之が對策を考慮してゐる様子なる旨を傳達した模様である

邦人保護の注意喚起

南京【七・三】 日高參事官は廿五日午後外務部に高宗武亞洲司長を訪問時局に鑑み上海、南京等の邦人保護に萬全を期し成部、北海事件の如き不祥事件を再發せざるやう警告した

宮崎水兵行方不明事件

上海【七・三】 行方不明となつた陸戰隊水兵は廿四日午後十時過ぎ北四川路内山書店と購買組合との間で支那人に暗殺された上その死體を除去されたのだと言はれる、眞偽目下調査中

上海陸戰隊本部發表

上海【七・三】 一等水兵宮崎貞夫(廣島縣出身)は廿四日午後九時頃北四川路購買組合附近で自動車で支那人に拉致され行方不明となつた、現場に於て泥塗れの襟飾と帽子を拾得した

行方不明前後の様態

遺留品發見者談 上海【七・三】 行方不明の水兵の遺留品發見者岡崎善雄君は語

今夜十時頃北四川路と狄思威路との角購買組合の前で泥に塗れた海軍帽と白い襟飾とを發見し直ちに内山書店に駆け込んで陸戰隊本部に急報しました、海軍帽の裏には宮崎と言ふ名前がありまして、本人に何事もなければと念じて居ります

警察側談

上海【七・三】 狄思威路のわが警察當局の談によれば廿四日午後九時廿分狄思威路で宮崎一等水兵は支那人數名に暴行を加へられ人事不省の儘自動車で何れにか拉致された

事件詳報

上海【七・三】 宮崎一等水兵は廿四日午後九時廿分狄思威路二名と共に狄思威路を陸戰隊本部を指して歸る途中突如横合から十數名の支那暴民現はれ矢先に三人に打つてかゝつた、三名は極力抵抗したが多勢に無勢で支那暴民は宮崎一等水兵だけを擡て用意のトラックにぶち込み何れともなく拉致し去つた

陸戰隊警備

上海【七・三】 陸戰隊は急報に接し直ちに救急車を現場に派遣すると共に非常召集を行ひ約一箇大隊を直ちに出勤せしめ鐵甲と銃剣の扮装も物々しく陸戰隊本部附近から北四川路狄思威路、寶樂安路方面を警戒し通行支那人を一々誰何警署に身體検査を行つて居る、本部附近は殆んど通行止めの様で現場に出勤した以外の部隊は全部警備にあつて待機して居る

捜査開始

上海【七・三】 總領事館警察署は急報に接し署員を非常召集臨時捜査本部を現場附近川久飲食店に置き陸戰隊及び工部局警察と協力して捜査を開始した

上海【七・三】 岡本總領事は事件勃發と同時に陸戰隊本部及び海軍武官室を訪問打合せを終つて後電話を以て工部局警察と連絡犯人捜査に協力を打合せたが深更から總領事館で北村警察部長、田島署長と鼎足對策を協議してゐる

上海【七・三】 宮崎一等水兵行方不明の報に岡本總領事は廿四日午後十一時半總領事館に登臨北村警察部長田島署長を招致し事件經過を聴取した後市長代理金鶴鈞に對し電話を以て事情を説明市長代理は支那側警察機關をあげて捜査協力に當る旨口約した

急報に接し陸戰隊武田先任

上海【七・三】 急報に接し陸戰隊武田先任參謀は直ちに市長代理金鶴鈞に電話を以て通知した所金は遺憾の意を表明すると共に警戒並びに本人の行方捜査、犯人逮捕に協力を約した、他方岡本總領事は午後十一時過ぎ倉皇として陸戰隊本部に入り大川内司令官と鳩首協議してゐる

上海【七・三】 大川内陸戰隊司令官及び本隊海軍武官は本日午前十時五十分總領事館に岡本總領事を訪問宮崎水兵事件の犯人捜査及び逮捕に關する總領事館當局の援助を正式に求めると共に三家鼎座の上今後の方針につき重要協議を遂げた

上海【七・三】 宮崎一等水兵は廿五日午前に至るも姿を見せず前後の事情から拉致と認定されるに至り岡本總領事は廿五日午前十一時から上海市長代理金鶴鈞及び工部局事務局長フエツセンを慰訪犯人捜査並びに逮捕に就き正式申入れをなすところあつた

陸戰隊警戒を解く

上海【七・三】 陸戰隊は廿五日午前七時を期し街頭非常警戒を解き普通警戒に就き巡邏隊の数を増加しただけで至極平穩である、然し總領事館警察の捜査追究は漸次嚴重を加へ支那側警察もこれに協力全市に亘り捜査網が張られた

敵遺憾を表明

上海【七・三】 岡本總領事は本日午前十一時市政府に市長代理金鶴鈞を訪問宮崎水兵失踪事件に關して犯人の捜査及び逮捕方につき正式申入れをなす處あつたが市長代理は事件の發生に關して遺憾の意を表した後「市政府として出来る限りの方策を盡して犯人の捜査逮捕に努力する」旨言明する處あり岡本總領事は正午辭去した

陸戰隊に捜査本部

上海【七・三】 行方不明となつて以來既に一晝夜宮崎水兵の消息は奇跡な譯の主要人物岡崎善雄の行方と共に依然として何等手掛もなく事件發生直夜夜の雲を纏むような状態のまま第二夜を迎へたが我が陸戰隊を始め工部局、總領事館警察、憲兵隊の四當局は廿四日夜來の非常捜査の無收穫にもめげず廿五日夜は當局の捜査主

任より成る捜査本部を陸軍隊内に設置し一畫表に互る捜査の結果を待寄り協議を爲し更に租界内外に亘つて岡崎善雄の身許突き止めに水も漏らさぬ捜査網を張り同時に抗日アロ國、不逞鮮人グループを監視することとなつた、一方捜査本部では支那側警察と緊密な連絡を保ち支那人による流言蜚語の取締りを強北しつゝあるが邦人居留民は驚くべき沈着と統制振りを示し陸軍隊の警備も平常に復しつゝあつたに引き換へ支那人は動搖を復し開北一帶特に江漢路附近の住民は黄色車、自動車等佛租界方面へ避難を續けそのため四川路一帶は日没と共に混雑を極めてゐる

岡崎青年に疑感

上海(七五) 事件を陸軍隊本部に急報した柳田一等水兵の報告によれば廿四日午後九時半頃四川路を通行中購買組合の手前に着掛つた盧岡崎善雄なる一青年が泥塗れの帽子と襟飾とを購買組合の前で拾つたと稱して柳田水兵に手渡した、柳田水兵は驚いて直ちに最寄の内山書店に駆け込み電話を陸軍隊本部にかけたが電話中岡崎なる青年は母の急病と稱して何れにか逃去り爾來全く行方不明、本人は身元五尺三寸、白ズボンにテニス帽、日本語は流暢だが朝鮮人か支那人かも知れない、同人に對する疑感深まり或は犯人の一味ではないかと疑はれるに至つた

帝國政府

種々意見交換を行ひ特に米内海相は上海に於ける我が水兵拉致事件に關し

閣僚會議

政府は廿五日閣院式終了後正午より首相官邸に閣僚會議を開催近衛首相以下各閣僚參集午會をもつた後時局問題を中心に雜談的に

水兵一名が拉致された事件に關しては目下真相の究明に努めてゐるが當局としては時局に鑑み最も慎重に事に處する方針である

宮崎事件海軍省發表

海軍省は宮崎水兵事件に關し廿五日午前三時左の如き副官談を發表した

副官談

廿四日午後九時過ぎ上海北四川路狄思威路交叉點附近に於て上海特別陸軍隊員宮崎一等水兵が支那人のため拉致せられたりとの居留民よりの届出により陸軍隊は直に警戒配備につき支那側當局及び工部局とも連絡し真相調査中なる旨理地より入電ありたり

海軍の方針

上海陸軍隊員拉致事件に關し海軍では廿五日前十一時海軍省副官談を發表海軍の方針を明かにした

海軍省副官談

上海に於ける宮崎水兵拉致事件は其の後極力真相探明中にして何分事情複雑なる上海に於ける事件ではあり時局にも鑑み海軍としては本件取扱ひは充分慎重を期し真相の判明に努め最も適切なる處置を講ずべく理地に於ては此の隊人心の動搖防止に努めて居る

處置司令長官に一任

上海陸軍隊員拉致事件に關し海軍では廿五日前十一時頃頃りの如く海軍省副官談を發表海軍の處置方針を明にしたが同日朝來山本大官、豊田軍務局長、島田軍令

部次長、近藤軍令部第一、野村同第三、降幡同第四各部長等省部首長は日曜にも拘らず登壇接受せる公電並に電報に基き協議し先づ事件真相究明第一の建前とする事とし當面の處置は一切支那沿岸並に長江筋非常警備の重任にある第三艦隊司令長官長谷川清中將の善處に一任する事となつた

北支狀勢惡化

確實なる筋の消息によれば中國共產黨は南京政府その他にパンフレットを送付したがその内容は左の如くである

今次事變に對する救亡宣傳工作のため全國各種學校に共產黨組織を推進擴大し「學生救亡後援會」を組織し民族解放先鋒隊の指揮下に夏期休暇あけと共に抗日大宣傳を行ひ抗日戰爭の發動をうながすこと

又共產黨は第二十九軍に黨員數一、七、七、七の二名を派遣しその勢力の擴張を圖り廿九軍内に三百名の幹部を獲得その他學校及び舊下級公務員及び智識層約二千名の同志を求め滬玉祥を中心としてその勢力の擴大を企圖してゐる

尙參謀次長熊斌の來平により北平の空氣は益々硬化し宋哲元の威令が部内に行はれないのは單に部下幹部の抗日的態度に依るのみでなく背後に於て南京の壓力が強く反映してゐる有様と謂はざるを得ない状態にある

北支情勢陸軍省着電

廿五日前十一時分陸軍省着電に依れば支那側の情勢は左の如くである

一 北平にありし支那側部隊は昨廿四日撤退の模様を運轉車數の不足を名とし一列車をも運轉せず

二 第百廿二師(師長趙登禹)の獨立第廿七旅は約略に反して既に北平に入城し

第二旅は廿四日固安(北平南方永定河の南岸)に到着し、第一旅は平漢線を北上中の如し

國民支援

我が太原機關の使用人に對し逃亡を強要する他、昨廿四日機關長が支那側總督公署參謀長と會見のため午後五時頃綏靖公署に至らんとするや公安局側のため計畫的に阻止せられたり

衆議院各派交渉會は廿五日正午院内に開會特に加藤、一ノ宮の陸海軍兩政務次官も出席北支事變勃發後派遣されたる陸海軍將兵に對する慰問決議の件に就き協議の結果廿六日大程の豫定を變更して

廿七日國務大程の施政方針演説後實録に入るに先立ち特に陸海軍兩大臣より北支事變に對する報告を受け議長發議の下に之を即時可決すること

決し次で院議を以て天機奉例を行ふことについて協議午後零時四十分散會した

帝邦鄉軍結束

日支の風雲益々險惡な折柄國論統一を目指し憤起した三百萬全國鄉軍は廿五日の日曜日全國各地に於て鄉軍大會を開催去る十五日閣院總裁官殿下より賜つた御激勵の御言葉を奉戴するとともに有事に備へる力強い宣言決意を宣明した、この朝

東京では全市市五區聯合分會代表約五千の會員が涼風快い午前六時頃からそれぞれ軍服に身を裝めて續々九段國神社の神域に集合鄉軍會長井上大將、副會長中野、小泉兩中將、小橋東京市長、桑木第一師團長代理、東京府聯合支部部長、齋藤彌平少將等の來賓參列午前六時半から宮城遙拜、君が代齊唱に賛から式を開始し宣言決意を宣明午前八時からは林立する分會旗を確して全員一隊に分れ豊田市の會員二千四百名は熱河戰の勇將山内少將に指揮せられ半藏門前から、新市城會員二千六百名は吉田大佐指揮で九段坂下から宮城二重橋前に行進聖徳の萬歳と轟運の無窮を祈り奉つて萬歳を三唱八時卅六分解散した、尙大會代表は宣言決意を携へ首相、外相、陸海兩相、兩院議長、樞相を訪問、手交し當局を激勵した

天津鄉軍分會決議

天津(七五) 帝國在郷軍人會天津分會は廿五日後臨時緊急會を開き北支事變の徹底的解決と東亞永遠の和平を期すべき旨の宣言決議をなし陸海軍首腦並に郷軍關係各方面に打電した

帝國農會聲明

帝國農會は廿五日前本部に道府縣農會長協議會を開き北支事變に關して左記聲明を決議支那駐屯軍司令官及び第三艦隊司令長官に感謝敬謝を發した

聲明

東西の時局重大にして寔に舉國一致對外に對處すべき秋なり、吾人は茲に政府の斷乎たる措置に信頼し一致協力國難の克服に邁進せんことを期す

を實施して兵農兩全を期し眞に國運の恢弘に努められんことを望む

明倫黨激闘決議

明倫會では北支事變の重大性に鑑み廿五日午後四時より海上ビル中央亭に於て評議員會を開催陸軍大將田中重武氏外本部評議員百數十名出席滿場一致を以て決議文を可決直ちに香月支那駐屯軍司令官宛打電した

六月六日

郎坊事件

地

現

支那駐屯軍發表(一) 天津七・三(支那駐屯軍廿六日午前二時發表)

郎坊に於て我軍用電線を修理のため派遣せられたる通信部隊及びその擁護部隊たる五ノ井部隊は廿五日午後十一時半支那軍隊より手擲彈、機關銃、迫撃砲を以て不法射撃を受け我軍は止むなく之に應戦中にして我が増援部隊は現場に急行中なり、なほ死傷者相當ある見込

駐屯軍發表(二)

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前三時發表) 目下我が軍用電線は支那軍のため切断されたため郎坊との連絡絶え状況不明なり

鯉登部隊急行

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前八時) 五ノ井部隊は通信隊擁護の爲め郎坊驛に於て憲兵より支那軍に應戦危機に瀕した爲め廿六日午前三時鯉登部隊は急進(○)驛發軍用列車で急援の爲め出動した

天津郎坊の我軍は支那軍の迫撃砲、機關銃の猛射の中を敢然應戦中であるが何分にも我方は兵力少數のため五ノ井部隊全滅の惧あり増援に急行中の鯉登部隊の現場に到着まで持ち耐え得るか否かは相當憂慮されてゐる、なほ鯉登部隊の郎坊到着は午前四時半(日本時間午前五時半)頃の見込

支那軍は張自忠麾下

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前六時) 郎坊の支那軍は張自忠の第三十八師百十三旅(旅長劉振三)の第二十二十六團(團長相振倫)である

發砲停止命令不徹底

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前六時) 支那軍の不法發砲事件に張自忠は極度に驚愕し直ちに右部隊に對し發砲中止方を發命したが命令徹底せず午前三時(日本時間午前四時)現在日支兩軍依然對峙中

北平天津間不通

北平七・三(廿五日夜の郎坊の砲撃により) 廿六日午前五時四十分天津車站發北平行の三等混合列車並に午前六時北平前門停車場發天津行き國際列車は運轉中止となり、また北平、天津間長距離電話も廿六日午前七時不通となつた

我が飛行隊出動

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前六時) 本早朝我が飛行隊の一部は爆彈を搭載郎坊に向へり我が増援部隊は未だ戰場に達しあらずも郎坊附近は目下銃砲聲盛なり

我が飛行隊兵營爆擊

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前六時) 本日午前五時過ぎ郎坊上空に達せる我が飛行機よりの報告によれば我が増援部隊の先頭は既に戰場に到着しあり、五ノ井部隊は依然停車場を占據し砲撃中である郎坊の支那軍兵營には支那兵充滿し我が飛行機は遂に兵營を自指して爆彈を投下多大の損害を與へた模様である、なほ我が飛行機は支那軍から射撃を受けたが損害なし

不法部隊の撤退要求

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前六時半發表) 支那駐屯軍司令部は昨夜より我が不法なる挑戰行爲を行へる第卅八師(張自忠部隊)第百十三旅を永定河右岸に撤退するよう宋哲元に要求を發せり

五ノ井部隊決死應戰

豐臺七・三(支那駐屯軍司令部發表) 郎坊の支那軍は一箇聯隊に達する有力部隊であるが更に續々増援し來れる模様で我が五ノ井部隊に對し益々猛射を浴せつゝあり、彼等の砲聲散々として豐臺まで聞えてゐる、五ノ井部隊は寡兵を以て目下決死應戰中

戰鬪擴大

豐臺七・三(廿六日午前五時過ぎ) 我々の音響と共に空高く飛翔し來たつた我が空軍の勇猛果敢なる爆撃は敵軍に多大の衝動と打撃とを與へたが卅八師も續々應援軍到着しつゝあり戰鬪は全面的に展開せんとして居る

鯉登部隊敵陣地包圍

天津七・三(支那駐屯軍司令部午前八時) 鯉登部隊は總崩れとなり多數の死體を遺棄敵遺留の高梁畑を西北方に向け算を棄して逃走中、天津より救援に出動せる○部隊は一舉殘敵を殲滅すべく酷熱を

陣地の左翼を包圍する如く攻撃前進開始せり

事變以來最初の火爆撃

天津七・三(坂口、上原、三輪の各空軍部隊は五ノ井部隊の苦戦を知や決然起ち廿六日午前六時半より相前後して勇躍銀翼を連ね一齊に○(飛行場を離陸郎坊に轟動する支那軍に向つて事變以來初めの猛烈な火爆撃を敢行し同八時頃砲撃を擧げた

爆撃に支那兵四散

天津七・三(五ノ井部隊は廿五日夜來郎坊に於て軍用電線修理中支那軍の爲め包圍され非常な危地に陥つたが我が飛行隊の爆撃に支那軍は蜘蛛の子を散らした如く四散し忽ち高梁畑の中に逃げ込み爆撃機の目標を眩ましてゐる、救援に赴いた鯉登部隊は午前九時現在支那軍を追撃中である

我軍郎坊占領

天津七・三(支那駐屯軍司令部發表) 郎坊の敵は我が飛行機の爆撃により既に退却を開始したが鯉登部隊は殘敵を攻撃し遂に午前八時過ぎ郎坊を占領せり、尙一部隊を以て黃村に向け追撃中なり

再度の爆撃發行

豐臺七・三(郎坊附近にても尚ほ抵抗中の支那軍に對し我が○機數臺は午前十一時廿分より再度の爆撃を敢行した

支那軍潰走

豐臺七・三(我軍再度の爆撃に郎坊附近の支那軍は總崩れとなり多數の死體を遺棄敵遺留の高梁畑を西北方に向け算を棄して逃走中、天津より救援に出動せる○部隊は一舉殘敵を殲滅すべく酷熱を

同し目下急進中である

追撃打切、名譽の戦傷者

天津七・三(支那駐屯軍司令部午後五時發表) 郎坊附近の戰鬪に於て敗退せる支那軍は四散潰走し鯉登部隊は追撃を打切り歸還せり

二 廿五日來郎坊附近の戰鬪に於ける戦死傷者氏名左の如し

- △戰死 西脇重曹、梶山上等兵、細谷一等兵、若林一等兵
△重傷 岡本軍曹、西上等兵、大川一等兵、加賀見一等兵
△輕傷 吉田上等兵、松田一等兵、畑田一等兵、小林一等兵、米谷一等兵

郎坊事件の原因發表

豐臺七・三(河邊部隊發表) 昨廿五日午後十一時頃通信線保護のため天津より派遣されたる○部隊が郎坊附近にて通信線を補修中突如第三十八師百十三旅(第二十二十六團)の部隊より射撃を受けたるも部隊長は第三十八師を友軍と見て俄かに交戦する事なく郎坊驛より慎重態を偵察したるも敵は不法射撃を止めざるのみか驛を包圍するに至つたので遂に廿六日午前零時過ぎ應戰を開始した郎坊には元來第百十三旅(第二十二十六團)の第一及第二營があるが我部隊を包圍したる敵部隊の兵力は迫撃砲を用ひたる約十七箇連で更に宛半より騎兵を有する約三箇團、武清縣より約一營の部隊が郎坊に向け前進中である、我が軍は支那側の此の不信行為に極度に憤激廿六日拂曉敵道輸送により某部隊を郎坊に急派する一方今朝六時五分機數臺を該地に飛行せしめ爆撃機を發行した、支那軍は我が爆撃に仰天、今朝以來退却を開始した模様

だが我が部隊は依然那坊驛に據つて敵情を監視中である、尙昨夜來の戦闘により我が〇〇部隊は十數名の死傷者を出した

那坊事件詳報

天津(七)云 那坊附近の軍用電線は數日前支那軍より破壊され大爲我軍は去る廿三日修理に赴いたが支那軍の妨害により修理を完了するを得ず廿四日更に豐臺より部隊が出動し支那軍の妨害を受けながら強行修理を遂行廿五日三度修理を完了する爲め通信部隊に擁護部隊として五ノ井部隊を派遣した派遣に先立ち張自忠に通告し且つ現地に於ても交渉した結果同部隊は無事那坊に入ったが廿五日夜十一時半に至り那坊驛南方三百米の支那軍兵營より手榴彈、機關銃、迫撃砲を以て突如不法攻撃を開始するに至つたので五ノ井部隊は直ちに那坊驛を占據之に應戦した、然して那坊は天津、北平間の殆んど中間にあり、天津より六十七キロ、北平より七十二キロの平津線小驛であるが平津方面を扼する軍事上の要所である

我軍首腦部會議

天津(七)云 香月司令官は今曉來橋本參謀長その他幕僚を招致那坊事件につき重要協議を續けて居るが支那軍が再三再四不法不信の行動を重ねて居るのみならず殊に今回は惡辣極まる計畫的挑戦行動に出たので軍も極端に之を重視し事態は今や最悪の局面に達し和平解決を期待する我方の努力も水泡に歸せんとして居る

冀察首腦會議

北平(三)云 宋哲元を中心とする張自忠秦德純、馮治安、劉汝明、趙鄧禹等の冀察首腦部は廿五日深更より進德社に於て徹宵會議を開き那坊事件の對策を協議す

ると共に一方人を派して本事件に關する日本側の態度意向を聴取しつゝあるが、日本側の牢固たる決意を知り極度に狼狽の色を見せてゐる

今井奏會談不調

北平(七)云 今井武官は廿六日午後二時より約一時間に亘り秦德純、張允榮と會見那坊事件に關し支那側に嚴重抗議すると共に解決條件に就き接衝したが決定に至らず物別れのまゝ散會した

支那側の尙套手段拒否

北平(七)云 那坊事件に關し冀察側は松井機關長、今井武官の許に人を派し先づ双方即時停戦し然る後徐々に善後措置を講じたしと例の如くその場逃れの申出を爲したが我方は之を峻拒し

事件の解決は支那軍が即時撤退して誠意を示す事を先決条件とするとの強硬意見を提出我方の主張を容れざる限り如何なる代表とも重ねて會見の必要無しと毅然たる態度を持してゐる、斯くて午前中の交渉は物別れとなり支那側は午後回答を行ふ事となつた

香月司令官最後通告

天津(七)云 支那駐屯軍司令官香月中將は廿六日午後三時宋哲元に對し第廿九軍の全面的撤退を要求する旨の斷乎たる最後の通告を發した

半渡表

天津(七)云 (支那駐屯軍廿六日午後二時半發表) 七月八日蕪溝橋事件以來支那駐屯軍は不擴大現地解決の方針の下に第廿九軍と協定を結び支那軍隊の數回に亘る不法不信行爲に對しても努めて隱忍自重し以て支那側の協定實行を嚴重監視せり、然るに支那側は協定の實行に言を託して遷延せ

るのみならず遂に昨廿五日那坊の支那軍隊は我が通信隊接觸の僅少なる部隊を侮り不法射撃を實施し我軍に損害を與へたり、斯の如きは支那軍が單に侮日抗日の挑戦的行爲たるに止らず我軍との協定實行に全然誠意を缺くものと斷ざるを得ず遂に於て軍はその使命に基き公正なる態度に則り斷然支那側の協定實行の誠意を實し之が迅速確實なる實行を庶幾する爲め左の如き最後の通告を北平特務機關長松井大佐をして第廿九軍長宋哲元に本日午後三時半手交せしめたり

第廿九軍への通告

昨廿五日夜那坊に於て通信交通の接觸の爲め派遣せる一部我軍に對する貴軍の不法射撃に起因し終に兩軍の衝突を見るに至りしは遺憾に堪えず斯の如き事態を惹起するに至れるは貴軍が我軍との間に協定せる事項の實行に對する誠意を缺き依然挑戦的態度の緩和をなさざるに起因す、貴軍に於て依然事態不擴大の意思を有するに於ては先づ速かに蕪溝橋及び八寶山附近に配置する第卅七師を明廿七日正午までに長辛店に後退せしめ又北平城内にある第卅七師は北平城内より撤退し西苑にある第卅七師の部隊と共に先づ平漢線以北の地區を経て本月廿八日正午までに永定河以西の地區に移し爾後引續き之等軍隊の保定方面への輸送を開始せらるべし右實行を見ざるに於ては貴軍に誠意なきものと認め遺憾乍ら我軍は獨自の行動を採るの止むなきに至るべし、此の場合起るべき事態の責任は當然貴軍に於て負はるべきものなり

昭和十二年七月廿六日 日本軍司令官 陸軍中將 香月 清司 第廿九軍長 宋哲元 殿

松井機關長宋に手交

北平(七)云 松井特務機關長は廿六日午後三時半進德社に宋哲元を訪問香月司令官よりの最後の通告を手交した

武官室發表

北平(七)云 (北平武官室發表) 本日午後三時四十分松井特務機關長は大木參謀、寺平輔佐官を帶同して豫め宋哲元に面會を約した後進德社に赴いたが宋哲元は病氣と稱して會見を忌避したるを以て廿九軍代表秦德純、張維藩と會ひ香月司令官より廿九軍長宋哲元宛ての最後の通告を文書を以て手交し午後五時四十分歸還せり、この間宋哲元に會見を求めたるも飽くまで病氣と稱し會見を忌避せるまゝ秦德純、張維藩に該文書を受領し難いと固執して誠意を示さざりしが我方の毅然たる決意に打たれて文書を受領せり

不實の場合には自衛行動

天津(七)云 香月軍司令官より宋哲元に對する最後の通告は廿六日遂に發せられたが第廿九軍第卅七師が果して我方要求通り即時撤退するや否やは極めて疑問で若し彼等が我方要求を肯かざる時は斷乎獨自の自衛行動をとるに一決してゐる

西苑、南苑不穩の形勢

天津(七)云 那坊の支那軍は我が輕便部隊の果敢な攻撃と飛行機の擡撃により全く四散潰滅し殘兵は黃村方面に向け敗走したが西苑南苑附近の第廿九軍主力部隊は漸次不穩の形勢にあり事態は全面的擴大の惧れなしとせず我方は之に對して嚴重警戒監視の態度をとつてゐる

抗日計畫文書發見

豐臺(三)云 那坊の戦闘に於て我冀察部隊は張自忠軍の旅團司令部を占領各種の機密書類を押収したが此中には天津總攻撃の計畫其他裝甲列車頭覆法等の文書のり、新たに中央の指令に基き徹底的抗日計畫を進めつゝあつた具體的な書類が多數發見された

兩軍廣安門衝突

廣安門再び閉鎖 北平(七)云 北平西南の廣安門は廿六日午後四時卅分再び閉鎖された、右は北平市内に流布されてゐる種々の謠言に支那側が不安を感じた爲めと見られる

廣安門外で兩軍衝突

北平(七)云 北平外城廣安門に於て本日午後八時過ぎ頃日支兩國軍隊が遂に衝突した、銃砲聲壯なり

支那軍廣安門に集結

北平(七)云 廣安門の衝突起るや北平城内駐屯の馮治安部隊及び趙鄧禹部隊は續々軍用トラックで廣安門に集結中である

邊に激戦展開

北平(七)云 日本部隊の一部は北平の本兵營に入ることとなり事前に我が松井特務機關長より北平外城廣安門の通過につき交渉し秦德純市長の應諾を得たので櫻井顧問が連絡の爲廣安門に赴いたが支那側の命令徹底を缺き城門は堅く閉ざされて開かれずそのうち入平の我部隊がトラックを連ねて城門に近づき城門守備の支那兵は矢庭に我部隊に向つて小銃及び機關銃の十字砲火を浴びせかける暴舉に出たので我軍はやむなく之に應戦した、

時正に午後八時更に八時半に至り廿九軍は遂に城壁より山砲の亂射を始めた豆を煎るやうな小銃機關銃の響き、大地を揺がすやうな大砲の音に北平城内百二十萬民衆は戰々兢々としてゐる

櫻井顧問行方不明

北平(七)六 廣安門よりの日本軍入城確保のため午後六時半廣安門に赴いた櫻井顧問、川田通澤は日支交戦以來消息を絶ち連絡不能のため午後九時に至るも消息なく安否氣遣はれてゐる

日支双方より聯絡兵

北平(七)六 廣安門で日支兩軍衝突との報に接した日支當局は之を制止すべく双方より即刻聯絡兵を現地に急行せしめた

廣安門事件接衝開始

北平(七)六 陳覺生、張元榮及び鄭文軒の翼察要人三氏は午後八時半我が特務機關を訪問松井機關長と會見し廣安門事件に就き急遽接衝を開始したが午後九時倉皇辭去した

新聞社特派員も行方不明

北平(七)六 行方不明を傳へられてゐる櫻井顧問には同盟通信社川崎特派員、大毎石川特派員、國通三木、J.O八住兩寫眞班員の四氏同行してゐるが何れも連絡なく消息不明で安否を氣遣はれてゐる

北平市民動搖

北平(七)六 突然の砲聲に北平市民は大分動搖を來たし午後九時前各商店は一齊に店を閉ぢ人々は震動の中に戸外に出て異様なざわめきを見せてゐる

外城に戒嚴令

北平(七)六 盛に聞えた廣安門方面の銃砲聲は午後九時過ぎ稍々下火となつたが外城一帯には戒嚴令が布かれ民衆は戸毎に大戸を閉め街燈までも消されて眞暗闇だ廿九軍の嚴重な戒嚴の爲め外城には足一歩も踏み込めぬので現場の様子は今尙ほ全く不明である

北平武官室發表

北平(七)六 (陸軍武官室午後十時發表表) 本廿六日午後六時前我軍の一部警備より北平兵營に入らんとせしに之より先廣安門警備中の支那軍は城門を閉鎖せり、午後六時頃支那側は我方の再三の要求に應じ漸く開門を約諾したれども現地の支那軍は之に拘らず何等誠意を示さず依然開門を肯んぜず爾後日支兩軍間に種々交渉の所午後七時卅五分頃支那側より突如不法にも射撃を開始せし爲我方も止むを得ず之に應戦し午後八時頃以降交戦中なり

駐屯軍司令部發表

天津(七)六 (支那駐屯軍司令部廿六日午後十一時發表表) 居留民保護の任務を以て北平入城を命ぜられたる廣安門部隊は廿六日夕刻北平廣安門附近にありし支那軍と諍戦の上該門より入城せんとすや支那軍は初め門を開き該部隊の約三分二を通過せしめた後突如門を閉鎖し手榴彈及び機關銃を猛射せし廣安門部隊は目下苦戦中にして相當の損害を豫想せらるゝも詳細不明なり

廣安門部隊應戦中

北平(七)六 廣安門の衝突現場に於ける情況は廿六日午後十一時半を過ぐるもなほ判明しないが支那側の情報に綜合するに敵兵の不法射撃を蒙り已むなく應戦した廣安門部隊の將士〇〇名は廣安門より城内に距る約五町の地點王子村附近に散兵

し廣安門城壁上の敵及び續々増援し來れる敵勢に前後より挾撃されつゝも勇奮力闘交戦中の模様である

銃砲聲漸く収まる

北平(七)六 午後十一時半に至り廣安門方面の銃砲聲は漸く収まり全市は無氣味なる沈黙に閉ざされてゐる、現場との聯絡は依然として取れず情況全く不明

邦人義勇隊召集

北平(七)六 午後十時から再度全市に戒嚴令布かれ街々は火の消えた様な不氣味な沈黙にかへつてゐる、邦人義勇隊は既に非常召集を受け大使館其の他官衙は發出し準備に忙殺されてゐる

支那中央

南京(七)六 邸坊事件の情報は廿六日朝來中央に到着しつゝあり南京は異常な緊張を呈してゐる、國民政府は明廿七日行政院會議を開催蔣介石を中心に急遽對策を決定することとなつた

時局全權將に一任

南京(七)六 在南京中央執行、監察兩委員は廿六日朝聯席會議を開催時局緊迫して前途遊離し難き情勢にあるに鑑み時局對應の全權を蔣介石に一任して臨機應變に善處せしめ國民政府は一致して其の指揮の下に對日策に當ると云ふに決定した

喜多武官談

上海(七)六 大使館附武官喜多武官少將は邸坊事件に關し本朝左の如く語つた 現地における協定成立にも拘らず廿九軍は不信行為を敢てしつゝあり日本軍としてはこれが内部不統一によるか宋

哲元の威令行はれざるによるかは問題でない、中央も協定成立後保定附近及び其の後方に中央軍を益々増援しつゝあり河北における中央軍體勢は日を経るに連れて攻撃體勢となつてゐる又黨部及び左翼戰線の宣傳員特務隊の廿九軍將士に對する活動あるため廿九軍の抗日意識は今や中央軍と何等違ふところなきまでに達したと認むべきであり廿九軍のみを特殊のものとして考へる事は根本的に認識不足である

山西將領即時參戰要求

上海(七)六 閻錫山、傅作義以下山西軍の全將領は廿六日宋哲元に對し停戰協定は屈辱的のものであるとして之を確諾し貴下の一擧手一投足は北支全局存亡の分るゝ所國家民族のため尺土たりとも敵人に委ねる勿れ

上海居留民時局委員會

上海(七)六 發達せる時局に鑑み上海に居留者卅二名を以て組織せる時局委員會は廿六日午後四時半より日本人俱樂部に於て岡本總領事を司會として各委員出席第一回會合を開催邦人保護の萬全を期するため有効適切な處置を考究時局に對處するに決定同六時散會した

國共聯合パンフレット

上海(七)六 北支事變を契機として中國共產黨の國府への接近策たる對日聯防政策は着々効果を收めつつあるが最近共產黨の首腦部は國共聯合抗日作戦パンフレットを作成國民政府及び地方軍隊に宛てて配布した、内容左の如し

臨時閣議

廿六日の臨時閣議は午前十一時半分首相官邸に開催近衛首相以下全閣僚出席先づ賀屋藏相より北支事變追加豫算提出に關する説明あり

帝國政府

廿六日の臨時閣議は午前十一時半分首相官邸に開催近衛首相以下全閣僚出席先づ賀屋藏相より北支事變追加豫算提出に關する説明あり

次で杉山陸相より今回の郎坊に於ける日支衝突事件に關し

今度の事件は第卅八師の不法行為に依りて起つたもので未だ詳細不明なるも今後第卅八師が本格的に我軍に抵抗することゝもなれば前途の形勢逆轉すべからざるものがあると思ふ

との報告あり次に米内海相より上海に於ける宮崎一等水兵の行方不明事件に就いて未だ真相をつきとめ得ない旨を報告し零時五十分散會した

總長官殿下御參内

閣院參謀總長官殿下には廿六日午後一時半宮中に御參内天皇陛下に拜謁仰せ付けられ所管事項につき奏上種々御下問に奉答遊はされ同一時二分御退出あらせらる

總長官再々御參内

閣院參謀總長官殿下には廿六日午後七時十四分再度宮中に御參内天皇陛下に拜謁仰付けられ廿六日の郎坊事件につき内奏種々御下問に奉答御退出、之に先立つて杉山陸相も參内天皇陛下に拜謁仰付けられ同様所管事項につき内奏した

郎坊事件陸軍省電

(廿六日午前十一時陸軍省電) 天津北平間の我が軍用電線は事變發生以來屢々支那側のため切斷せられるところとなりしが昨廿五日郎坊附近において再び障害ありしを以てその旨支那側に通告したる後之が修理のため歩兵小部隊の掩護下に通信隊の一部を派遣せり、該部隊は同日午後四時卅分頃郎坊に到着同地に在りし支那軍と交渉の上郎坊驛内に入り故障箇所の發見及修理を實施中午後十一時十分頃支那軍は突如小銃及輕機銃を以て射撃を開始し更に郎坊驛北側三百メートルの支那兵營よりも亦迫撃砲等を以

て我に射撃を加へたるを以て我が部隊も已むなくこれに應射し交戦中にして駐屯軍は直ちに所要の部隊を同地に急派し交通線の確保をなすこととせり

國民支援

北支の形勢急轉回し銃後の真心は灼熱的に燃え上つて廿六日は恤兵金八百八十二件卅萬一千六百七十三圓八十四錢、國防獻金卅一萬四千五百九十九圓廿一錢といふ素晴らしい額に達した

△本郷區丸山福山町の饅屋山田よしえさんは丑の日の純眞國をそっくり獻納△荏原區戸越町の郵便配達夫川隅健吉君は養子一君(三)の望みで修學旅行費にためてゐた一圓八十三錢入りの貯金がめを獻納

△漢軍區向柳原の石井龜吉さん老夫婦は伴がなくお國に還す途がないからと六百圓を獻納

△可愛い幼稚園児の一群は切紙細工の手工帳に銅貨ばかり五圓卅錢差出した

海外動向

杉村大使佛外相訪問
パリ【ロイター】新任パリ駐劄帝國大使杉村陽太郎博士は廿七日フランス外務省にテールボス外相を訪問北支事變に關し最近の情勢を報告懇談した、席上テールボス外相は北支事變につき斡旋方を申出でたが杉村大使はこれを拒絶した模様で會談後大

使は次の如く語つた
未だ親任状を捧呈していないから今日のテールボス外相訪問は公式ではないが北支事變に關し現在に至る迄の経過を説明して置いた、余は西歐の考へ方とが東洋と西歐とは事情が全く違ふ、歐洲理想主義の繩子は未だ全世界の隅々迄及ばず何處かに影があるのだが支那こそ正にその暗黒面である、日本はこの現實と直面しなければならぬのだ、テールボス外相は北支事變に關し斡旋を申し出られたが余は現状を以てしては斡旋も何等の効ないとしてこれをお断りした

郭大使聲明

ロンドン【ロイター】支那大使郭泰祺氏は廿六日午後英國外務省にイーデン外相を訪問、最近の北支情勢につき種々協議を遂げた、會談後郭大使は支那大使館に於て左の公式聲明書を發表した

北支の日本軍は宋哲元との間に極めて挑発的な條件で協定を締結した、國民政府は右協定が支那の主權を殆んど危殆に陥し入れる如きものであると考へるが平和の爲め特に忍んでその條件を事實上承認することゝなつた、然るに兩三日來北支の事態は再び險惡化し、日本の援軍は續々北支に集結しつゝあり、日本軍は更に強硬なる要求を提出すべく準備中と見られる支那政府はあらゆる事態に對し斷乎防衛の用意を有するものだ



地 現 廣安門鎮定

陸軍省發表

(廿七日午前二時十五分發表) 居留民保護の目的を以て豐臺方面より北平へ入城を命ぜられた廣安門部隊は廿六日夕刻支那側の諒解の下に廣安門を閉門せしめ城内に進入せんとすや、支那軍は同隊の約三分の二を入城せしめたるとき突然然門を閉鎖し、手榴彈、機關銃などをもちて之に猛射を浴びせたり、我に多大の損害ある模様なるもその後門内の狀況は不明なり

北平武官室發表

北平【ロイター】北平陸軍武官室午前二時半發表し豐臺より前進せし部隊は支那側の不行為により廣安門にて内外に分斷せられ不法射撃を受けて應戦せしが入城せし一部隊は廿七日午前二時交兵巷兵營に到着せり、入城部隊の中判明せる死傷者は戦死二名、負傷四名、其他新聞記者等負傷三名なり

特務機關一行歸還

【ロイター】廣安門よりの日本軍入城確保のため廿六日午後六時現地に赴いた櫻井顧問は安否を氣遣はれてゐたが廿七日午前四時左大腿部に貫通創を受けて特務機關に歸り手當、中けた事件勃發と共に翼察當局に交渉に出かけた笠井顧問、寺平輔佐官は無事使命を果し廿七日午前二時入城部隊と共に歸還した、行方不明となつた齋藤、彌川兩通譯、吉富特務機關員は

城門を通過して豐臺に到着した旨豐臺から特務機關宛て電話があつた

特派員も生還

北平【ロイター】櫻井顧問と同道して廣安門に赴いた同盟川崎特派員、國通三木寫眞班員、J・O・トキー八住映畫班員は入城部隊と共に兵營に歸還したが川崎特派員は無傷、八住映畫班員は右膝に擦過傷三木寫眞班員は左胸部及び手足をやられ軍病院に入院せるも生命別除なし

川村通譯戦死

北平【ロイター】櫻井顧問と同行した川村通譯は城壁上廿九軍の射撃制止に努めたが支那兵の毆打と拳銃射撃に遭ひ壯烈な戦死を遂げた

我方損害公報

天津【ロイター】(支那駐屯軍司令部午前六時發表) 廣安門部隊の一部は廿七日午前二時頃北平城内に到着せり、將兵戦死四、負傷二、なほ第廿九軍顧問川村通譯は戦死、同櫻井少佐負傷入院、同盟通信社三木寫眞班員重傷、J・O・トキー寫眞班八住映畫班部員輕傷

戦死者氏名

天津【ロイター】(駐屯軍司令部廿七日午前十時半發表) 廣安門の戦闘に於けるわが戦死者左の如し

- △戦死
 - 二等兵 前花 毅
 - 同 向井 俊曉
- △負傷者
 - 廿九軍顧問歩兵少佐 櫻井德太郎
 - 歩兵大尉 早川喜五郎
 - 軍曹 大久保升三
 - 上等兵 白井 喜六

通州衝突

- 同 山本 恒春
- 同 松井 健二
- 一等兵 田淵喜四郎
- 二等兵 中原 勇
- 同 山本 喜作
- 同 山内 達雄
- 同 向井 武
- 同 村山 彦
- 衛生兵 小林 好三
- 同 森岡 勇松
- 同 田村 愛
- 同 古田日章夫
- 同 冀東政府

通州部隊武裝解除
 天津【三三】 我が軍は第廿九軍との親善關係に鑑み停戰協定違反にも拘はず第廿九軍獨立第卅九旅第十營約八百名の通州駐屯を默認してゐたが我方よりの撤退要求に對し甚だ無禮な態度に出たので冀島部隊及び冀東保安隊は今曉三時より同隊の武裝解除に着手した

通州軍機滅

天津【三三】 冀島部隊は通州駐屯の第廿九軍部隊に對し廿七日朝以來斷乎廢懲攻撃を加へ午前十時之を殆んど殲滅した

通州戦死傷者

天津【三三】 冀島部隊は廿七日午前六時半頃より通州の廿九軍部隊に武裝解除を要求したが之に應ぜざるのみならず我が軍に對し射撃を加へるに至つたので遂に飛行隊の協力を相俟つて斷乎廢懲を開始し同十一時頃敵の大部分を殲滅した支那兵の死傷は四百名を下らぬ見込である我が軍は武器彈藥多數押收したこの戰闘に於ける我方の戦死傷者左の通り

▲戦死 田村中尉
 ▲重傷 内田少尉
 下士官以下戦死傷者十名内外

在平邦人收容

邦人引揚命令下る
 北平【二三】 我大使館は在留邦人の生命財産の萬一を顧慮し廿七日午前五時居留民會に對し本日午前中に交民巷の大使館區域に邦人全部を引揚げしむるやう正式發令した

北清事變以來のこと

北平【二三】 我が軍の最後の通牒による北平城内の卅七師撤退期限は本日正午であるが今日までの廿九軍の暴戻無道不信不誠意より見て彼等が期限迄に撤退せざるは勿論却つて北平城内に如何なる不祥事が勃發するや全く計り知れざるため我が大使館は在留邦人の生命財産の萬一を顧慮し廿七日午前五時居留民會に對し本日午前中に交民巷大使館區域に居留民全部を引揚げしむるやう命令した、北平在留邦人の大使館區域への引揚げは實に北清事變以來の事である

三箇所に引揚中

天津【二三】 北平の情勢不安なるため北平在留邦人は廿七日午前中に日本大使館横濱正金銀行支店、日本警察署の三ヶ所に全部集結すべく手配中である、又在留鮮人同胞は元オーストリー兵營に集合中で午前九時頃迄に在留民の約三分の一は集結を終了した

收容終了

天津【二三】 (支那駐屯軍司令部午後一時發表)
 一 北平に於ける我が在留邦人は本日正午頃概ね收容了せり

一 本日午前十時頃邦坊東方約五キロの地點に於て軌道に支那軍の裝置せる爆薬を發見未だ然に之を除去せり

邦人の籠城始まる

北平【二三】 廣安門不法射擊事件を頂點として遂に我方の憤激爆撃點に達し最悪の場合に備ふべく北平在留邦人の交民巷(大公使館區域)避難命令は黎明と共に發せられた、事變勃發以來在留して居た日本人九百八十人、朝鮮同胞千五百人は重要品と手廻品のみを一包に幾年か住みなれた我が家に暫し別れを告げ或は自動車馬車を購つて東交民巷の日本大使館、正金銀行、元オーストリー兵營等の宿舎に陣を接して避難した、居留民會は之れより先宿舎割、食料品の貯藏等萬全手筈を終り聊かの混雜をも呈せず正午迄に全部の收容を終つた、斯くて之から幾日か續く北平在留邦人の籠城は始つたのだ、當地の邦人が避難籠城したのは三十七年前北清事變以來の事である險惡に其極に達して居る事を示して居る

邦人の保護を要求

北平【二三】 北平大使館蘇島參事官は廿七日午前七時北平市長秦德純を訪問して邦人居留民引揚げに關し意外の不祥事等發生せざる様並に遺留品等の保護に就き萬全を期され度しと要求した

南苑を空中より掃射

北平【二三】 蘇島大使館參事官は廿七日午前十時半北平市長代理周閣安を訪問、「日本側は局地解決の方針に基き和平解決に努力を續けて來たが支那側は到底約諾履行の誠意全くなく不信行為相次ぎ在留邦人の生命財産に多大の不安を感じて至つた事實に鑑み今朝居留民に對し避難通告の止むなきに至つた」事理を指摘し支那側の重大反省を求めると共に將來

不測事變發生の場合を考慮し遺留財産は冀察側に於て責任を以て保護されべき旨嚴重申入れ尙冀察側に於ては更に適當と認むる申し入れをすべき權利を留保、これに對し周市長代理は責任を以て保護する旨確約同十一時會見を終つた

宋哲元辭職通告

南京【二三】 宋哲元は廿七日南京政府に對し「現下の難局に際し自分は其任に非ず」との理由を以て冀察政務委員會委員長、第廿九軍長其他一切の本兼職を辭任する旨申出でた

宋哲元對日宣戰通電

北平【二三】 宋哲元は二十七日夜敢然抗日守土の決意を固めたとて全國に協力を求める對日宣戰の通電を發した

上海【二六】

宋哲元は廿七日國民政府當局に對し
 余は日本側の要求を全面的に拒絶に決し廿七日天津、北平兩市内に「廿九軍は日本側の要求を斷乎拒絕せり」との布告を貼出した
 旨報告し來つた

南苑を空中より掃射

北平【二三】 廿七日午後五時頃南苑の三十八師の一部は又復我が部隊の行動を阻止し兵營附近より我が軍に對し猛射を浴せたので我が方も遂に意を決して之に應戦敵陣地目がけて痛烈なる砲撃を加へると共に飛行機數機は地上部隊と協力空中から機關銃の掃射を敢行し敵を沈黙せしめた

支那側反省を示さず
 北平【二三】 時局は愈々最後の關頭に至り暴戻なる廿九軍の徹底的廢懲を目前に控へ風の前の不氣味な一日を送つたが支那側は事變迄に至るも華も反省の色無く邦坊事件に對しても我方が支那側再三の懲罰行爲に憤激忍び難きも何東洋平和の爲爾見地より冀察責任者と數回に亘り會見時局の重大性を指摘陳理を竭して一 責任者の陳謝
 二 當事者の處罰
 三 敗殘不法軍隊の處置

各國民も支那の非を認む

北平【二三】 北支事變勃發とともに各國大使は何れも相前後して南京に集つたために北平に於ける外交的動きは今迄のところ表面的には殆んどないが各國居留民中から自國の北支に對する利害關係は別として今次の事變は明かに支那側に非のあるを認め事變の全面的擴大は勿論好まぬところだが日本の決意を抑へる口實はないとの意見も相當あり「支那側が自國の實力を過信して愈々増長する場合は遅かれ早かれ自國にもお鉢が廻るのは必然で此際寧ろ日本をして支那を覺醒せし

むる事が東亞今後の和平確保の見地から極めて妥當である」と見るものが多い

北平不安に暮る

北平【七・三】 悪鬼の如き支那兵に依つて惹起された廣安門事件の爲北平一帯の地は廿六日夜來最悪の事態に直面するに至り北平在留邦人二千餘名の籠城生活が遂に開始された、大使館區域への引揚げ命令に我が居留民街は廿七日午前中は不安なきわめきを見てゐたが正午過ぎからは通州、豐臺方面にかけ遠雷の様な砲聲が北平の空を揺るがし始めた、空には我が軍の飛行機が一機また一機来する、この頃から追に出好きな支那人も次第に街上から姿を減じて行く、昨日までさつと開かれてゐた各城門は廿七日朝來再び閉鎖されて了つた、また各門樓上の兵員も著しく増員された、支那軍は刻々兵數を増加し市中の警察局の巡捕や武裝した保安部隊までが土薙を築きバケートを構築するなどのしきは一層加はり市中は無氣味な静けさに陥つた、夕闇漸く迫る頃再び砲聲と騒ぎ方角に當つて股々たる砲聲を聞く、かくて不安と危機を感しつゝ北平の夜は戒嚴令下に更けゆく

天津義勇隊召集

天津【七・三】 天津は昨夜來警戒態を極めてゐるが邦人義勇隊は非常召集を受け續々居留民會に集合中である

司令官全員召集

天津【七・三】 北平市中は夜に入つて全く危険混亂に陥り廣安門附近には全然近寄れず我が廣部部隊との連絡も絶えず苦戦中と見られるも詳細不明である、支那軍は續々増援され更に警察隊も加擔せる模様

この計畫的偽購的不信不法行動に對して我方は斷乎膺懲の外なく支那駐屯軍は獨自の行動を執るの已むなきに至れりとなし司令官員は全員召集された

支那中央

日高米大使に説明

南京【七・三】 日高參事官は廿七日午前十時アメリカ大使ネルソン・ジョンソン氏を訪問約一時半に亘つて北支事件の經過頭末を詳細説

明支那側の度重なる不法挑釁行為を指摘帝國政府の公正なる態度と不擴大主義を明かにした、之に對しジョンソン氏は盧溝橋事件或は那坊事件等には深く言及する處なく唯一速かに事件の和平解決を切望する旨を述べた

行政院撤退黙認か

上海【七・三】 當地外人側の確實な消息によると國民政府は廿七日の行政院會議で各地の第廿九軍撤退に關する最後通告を默認の形で承認することに方針を内定、蔣介石にその裁決を仰いだと言はれてゐる

蔣武力抗争を電命

南京【七・三】 蔣介石は廿七日正午宋哲元に宛て「日本軍攻撃に對しては飽迄武力を以て抗争して防地を抛棄するを許さず」と電命した

蔣介石宋に慰留電

南京【七・三】 軍事委員會は廿七日午後蔣介石の命に依り宋哲元に向け左の如き慰留電を發した

貴下の辭職はその時に非ず、北支の軍政、外交はに中央の四項の原則(蔣介石の聲明)によつて處理すべく國家の政策を體して上司の命を遂行し中央

負托の重きに背く勿れ若し處理困難なる事項あらば中央は自ら夫が解決に當るべし

中政會宋哲元援助

上海【七・三】 廿七日午後開議された中央政治會議緊急會議の結果左の如き方針を決定した

- 一 一旦緩急あらば國民政府は全力を竭して宋哲元を支持す
- 一 既に河北に入れる中央軍は之を宋哲元の指揮下に置く

國府絕對硬論に傾く

南京【七・三】 中央執監、國府軍事各委員會議は廿七日午後二時蔣介石主席で開會席上陳立夫より那坊事件に關する宋哲元の經過報告並に停戰交渉報告電報を讀み上げた後時局の對策を討議したが各委員の意見は那坊事件を以て時局は最後の段階に到達せりと云ふ意見に一致し一之れ以上の隱忍を許さず須らく全國の實力を以て時局に對處すべく戰を避けて平和を求むるの迷夢を食ふべきでない」との強硬論が支配し緊張裡に三時間に亘り協議午後五時散會した、兩三日來稍々緩和されてゐた南京の空氣は廿七日午後から俄然緊張してゐる

南京政府逆捻聲明を發す

南京【七・三】 國民政府外交部は廿七日午後十時半重要聲明を發し那坊事件、廿六日通牒、増兵等に觸れ「支那側は平和的勢力にも拘らず日本軍は事態の悪化を計りつゝある、今後の事態に對する責任は日本側にある」と逆捻的挑戰的態度に出た

陳海軍部長急遽歸國

上海【七・三】 財政部長孔祥熙と共に英帝國冠式参列の爲渡英中であつた海軍部長陳紹寬は時局緊迫に鑑み急遽歸國廿七日午前十時四十分ローヤル・エアウェーの定期航空機により香港に歸着した

中央軍山東に進出

濟南【七・三】 今次事變以來形勢觀望中の韓復榘軍は北支時局の緊迫に伴ひ漸く活潑な活動を開始し膠濟、津浦兩線の軍用貨車の運行は漸次頻繁となつて居る、有力筋の情報を綜合すると同軍最近の移動状態は

- 一 膠濟線では第廿二師及び濟南の第八十一師の一部は東へ向ひ濰縣に集結し同地の第七十四師と合して山東の東部を固め
- 一 棗州の第廿師は北上して德州の第廿九師と合し山東北部省境を固め只對日防備隊形を整へつゝある、而して孫桐萱の北上により山東南部は全くがらみき状態で韓復榘は中央軍の集團的出東進出に對し何等手段を講ずる意圖なきものと察せられ韓の態度も漸く疑念の眼を以て見られるに至つた

青島【七・三】

當地官邊に達した情報によれば予學忠麾下の一部隊約一千名は廿六日午後八時過ぎ五十輛の貨車に分乘し津浦線濟南驛に到着、直ちに辛莊兵營に入った、數日來津浦線に於ける軍用列車の往來活潑を極め中央軍の山東進出は愈々露骨となつた

共産黨廿九軍に侵入

漢口【七・三】 廬山に於ける蔣介石と共産黨の大立物周恩來との協議の結果共産黨の進出並びに共産黨の活動放任の方針が決められたので共産黨は既に王明を通じ第三インターの指令を接受北支事變を機會とする全支赤化の目的で俄然猛烈な活動を開始した、而してその具體方策としては

- 一 軍隊の赤化、特に馮玉祥系軍及び第廿九軍の赤化を第一手段とする
- 一 教授、學生の赤化による知識階級の獲得

抗日義勇軍による後方擾亂

上海、漢口、天津、廣東四大都市の赤化(漢口には既にソ聯重要人物が五名潜入した)を目標に既に多數の黨員を北方に派遣し、廿九軍中に數百名の赤化將兵を獲得し共産黨本部の指令に基いて兵士を煽動盲目的戰爭を惹起しつゝあることが明白となつた

上海抗日全市に漲る

上海【七・三】 富婦水兵拉致事件、邦人農團の國旗侮辱事件等當地の抗日行動は表面化し來り中でも支那側保安隊は毎夜市政府方面において活潑なる演習を行ひ非常な緊張を見せてゐる、一方市内目抜の場處には「打倒日本帝國主義」の樂書が形く貼られ通行中の邦人女性に對しても罵言を投げる等の行爲がなされてゐるが數日前市政府附近通行中の苦力六名は曾て日本郵船會社に傭はれ最近も日本人に使用されてゐるといふ罪で保安隊のために檢束せらるる未だに警察に留置されて居る、又日本人に使用されて居る中國人を漢奸として驅逐發行を加へる事も漸次始まり抗日風潮は漸く全市に瀰漫せんとしてゐる

南京【七・三】

廿七日國民政府行政院會議の結果東鐵城の廣東省主席職出により空位にあつた上海特別市長の後任に市長代理たりし俞鴻鈞を正式に任命した

岡本總領事市長に警告

上海【七・三】 岡本總領事は廿七日午前十時

一時上海市長俞鴻鈞に對し保安隊の度重なる暴狀に付き電報を以て警告した、右は停戰地區内の保安隊が最近土襲撃を構築して我が陸隊を刺戟し日本人商の支那人苦力を不法拉致するなど關北一帯の支那人居住者避難の原因を作り挑戰的と見らるべき言動頻發するによるものである

帝國政府

緊急臨時閣議開催
北支情勢重大化による緊急臨時閣議は廿七日早朝召集され午前八時十分頃より近衛首相、杉山陸相、米内海相以下全閣僚相繼いで首相官邸に入り同四十分より會議に入り杉山陸相より北平廣安門事件勃發及その後の情勢を現地報告に基いて詳細に報告し更に陸軍省首腦部において同日午前六時より一時間半に亘つて重要協議を遂げた結果による陸軍の重大決意を披瀝した閣僚の諒解を求め次で米内海相より支那各地における居留民の保護狀況並に今後の對策につき報告をなしたる後大藏外務兩相よりも今回の軍大時局に對處する政府の方針について發言し既定方針に基く臨機處置を講ずることに決定更に正午院外において臨時閣議を開き政府の態度を中外に闡明するため政府聲明を發表することを申合せ同九時四十分散會した

政府聲明

政府は廿七日午後院外において臨時閣議を開き北支事變に對する帝國政府の態度を重ねて中外に闡明するに決し午後一時卅分書記官長談の形式を以て左の如く發表した

内閣書記官長談

北支の安寧は帝國の常に至大の關心を

有する所なり、然るに支那側の徹底せる排日抗日政策は屢々北支の平和を脅威し遂に蘆溝橋事件の勃發を見るに至り、爾來帝國は東亞平和のため事件不擴大、現地解決の方針として平和的處理に努め冀察側に對し支那軍の蘆溝橋附近永定河左岸駐屯停止、將來に關する所要の保障直接責任者の處罰及謝罪の極めて寛大日局地的なる條件を要求したるに過ぎず、冀察側は七月十一日夜右條件を承認したるも之が實行に誠意を示さず今日に及べり一方帝國政府は七月十七日南京政府に對しあらゆる挑戰的言動を即時停止し且現地解決を妨害せざる様注意を喚起したるも、南京政府は現實の事態を無視し帝國政府の主張を容れず、却つて益々戰備を整へ愈々不安を増大せしむるに至り、然れども帝國は尚ほ隱忍平和的解決に努力中支那側は七月廿六日鄭坊に於て電線修理に任ずる我部隊に不法射撃を加へ更に同日夕居留民保護の爲冀察側の諒解を得て北平城内に入城中途の我部隊に對し突如城門を開演し不意に急射するの暴舉に出たり

右兩事件たるや我駐屯軍本然の任務たる北平、天津間の交通線の確保及居留民の保護に對する支那軍の武力妨害にして今や軍は此の任務遂行に協定事項の履行確保に必要な自衛行動を採るの已むなきに至り、固より帝國の期する所は今次事件の如き不祥事發生の根因を免除するに在りて善良なる民衆を敵視するものにあらず、又帝國は何等領土的企圖を有せず、且列國の權益保護には最善の努力を惜まざることを勿論なり

東亞の平和確保を使命とする帝國は事茲に至るも今尙支那側の反省に依り局面を最小の範圍に限定し速かに圓滿なる解決を見んことを切望するものなり

陸軍緊急對策

陸軍省全員召集

陸軍省全員召集陸軍中央部は鄭坊事件に相次ぐ廣安門事件の勃發に依り我方の隱忍自重、不擴大方針にも拘らず支那側の飽くなき不法不信の暴狀に極度に憤激し廿六日夜以來省部を擧げて異常に緊張の色を見せ後軍務局長を始め陸軍省關係局長は廿七日早曉にかけて續々登壇する一方陸軍省全員に對し午前六時までに全部登壇する様非常召集の命令を發した

首腦部會議

陸軍省では北支の緊急事態に對し廿七日午前六時全員の登壇を命じたが同六時より陸軍省首腦部に杉山陸相、梅津次官以下後高軍務、山脇整備、阿南人事、木村兵器飯田兵務、平手經理、大山法務、小泉醫務各局長並に田中軍事、柴山軍務外關係各課長參奏北支の情勢に對し我が軍當局として執るべき措置につき重大會議を行ひ同七時半散會した

陸軍既定方針に邁進

北支の情勢に對し我方は飽くまで和平解決、不擴大方針の下に萬全の對策を講じつつ隱忍自重事態に對處して來たが支那側の飽くことを知らぬ暴戻不信の行動は相次ぐ不法射撃事件として現れ廿六日以來の鄭坊、廣安門事件等は最も彼等の暴逆無道振りを暴露したもので彼にして飽くまでかゝる不信不法なる行爲を繰返すに於ては最早我方の希望する事態の圓滿なる收拾も遂に困難な情勢となるに至つたので出先支那駐屯軍司令部は宋哲元に對する最後通牒に對する彼等の出様を嚴重監視すると共に最後の斷乎たる決意

を固めるに至つて居るが陸軍中央部に於てもかねて決定せる政府の最高方針に基き最悪の事態に處する萬全の對策を練ることとなり廿七日午前八時半より首相官邸に近衛首相以下全閣僚の參集を求め杉山陸相より鄭坊及び廣安門事件等北支の緊急情勢を逐一説明の上陸軍當局として之に對する措置を報告諒解を求め終つて陸相は箇中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ奏進上することとなつた

陸相參内奏上

杉山陸相は廿七日午前九時十八分緊急閣議に於ける報告を終へ同廿五分宮中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ北平廣安門事件その後の情勢並にこれに對處のため最高方針に關して奏進上種々御下問に答察し退下陸軍省に入つた

參謀總長官御參内

閣院參謀總長官殿下には廿七日午前十時廿分宮中に御參内北支事變に關する所管事項に關して奏上種々御下問に答察の後御退下遊ばされた

和知參謀歸任延期

陸軍中央部と打合せのため滯京中の和知支那駐屯軍參謀は廿七日歸任の筈であつたが定期航空缺航のため歸任を延期した

軍令部總長官御參内

伏見軍令部總長官殿下には廿七日午前九時五十分宮中に御參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項に關して御奏上御退下遊ばされた

軍事參議官參集

海軍では廿七日午後三時半海相官邸に軍事參議官大角、末次、高橋、藤田四大將の參集を求め海軍省より米内海相、山本

國民支援

支那暴戾に獻金急ピツテ

鄭坊事件に次ぐ廣安門事件と二度迄の卑怯な騙し討に國民の憤激は火と燃えて廿七日は朝六時から夕六時迄、まる十二時間三宅坂に持込まれた恤兵金が九百五十一件四萬六千七百九十三圓廿八錢、慰問袋が約三千箇、國防獻金は二百九十九件七萬七千八百六十三圓九錢と言ふ目覺しいレコードを造つた、これで廿七日夕迄の北支事變關係の獻金は總額二百五十五萬六千六百五十五圓五錢、慰問袋其他の恤兵品換算價格は約五萬圓に達し當局は今更ながら國民の赤誠に感泣してゐる

府市統後資金募集

東京出動將士後援會では北支の風雲極めて急迫を告げて來たので出征兵士の統後の生活保護に萬全を期するため館府知事連名東京市長、門野東京商工會諸所會頭の連名で一般から事業資金五十萬圓を募集することとなり廿七日要項を發表した五十萬圓中東京府市で四十四萬圓商工會議所關係で六萬圓を募集する筈で締切は九月十五日までである、寄付金の使途は部隊慰問留守家庭訪問、傷病將士慰問遣族慰問、公費費補助、慰問品取扱、戦病死者慰靈等である

東京市會海軍へ獻金

東京市會では陸海軍植兵に對して委員會を開きこの決議によつて廿七日松永、林正副議長を初め各派代表が海軍省を訪れ

て八百圓を献納した
老婆の赤誠
廿七日朝明治神宮秋間權宮司東御門前に
差かゝつた際に六十位の老婆が「兵隊さ
んにあけて下さい」と二百八十圓差出し
た、社務所ではこれを陸海軍に取次いだ

海外動向

英、ソ聯とも接觸
ロンドン【七・七】 イーデン外相は廿七日
午後の下院に於て邸坊事件に付き最近の
情報報告した後、ドツヅ駐日代理大使
をして帝國政府へ善處方を申入れた旨發
表した、イーデン外相の演説要旨次の通
り

邸坊に於て日支兩軍衝突あり更に北平
の城内外双方に於て軍事行動が起る可
能性があるとの報告に接した政府は駐
日代理大使に對し英國政府は斯かる事
態が回避されることを切望する旨日本
政府へ傳達するやう訓令した
一方國民政府に對しても平和的解決に
到達するやう英國政府の重大關心を披
瀝引續き説得に努めて居る、米佛兩國
政府も日本並に國民政府に對し同様の
措置に出でたものと解する、英國政府
は常に各國政府就中米國及びソヴェト
政府と緊密な連絡を採つてゐる又萬一
在留英國臣民の生命財産が危殆に瀕す
る如き事態が発生した場合にこれを保
護する手段は現地に於て既に萬遺憾な
きを期してゐる

以上イーデン外相の言明により英國政府
が北支事變に付きソヴェト政府とも接觸
聯絡に努めて居る事實が初めて判明した

邸坊事件の反響

ロンドン【七・七】 日支兩軍衝突の報は
事態稍好轉を傳へられた後だけに廿七日
のロンドン各紙は一齊にこれを報道、ロ
ンドン各面は重大關心を起してゐる、
但し一般に事態は重大ではあるが危機に
瀕したとは見ず今回の衝突も單なる地方
的事件で日支兩國の全面的危機ではある
まいとしてゐる、日本政府に對する英米
佛三國の共同提議に關してはフランス政
府はかゝる提議には賛意を表してゐる模
樣だが米國政府は其の必要とする獨立行
動を探り得るやう自由の立場を確保する
建前から共同提議には不参加の意を示し
て居る

富井參事官英外務省訪問
ロンドン【七・七】 帝國大使館富井參事官
は廿七日英國外務省極東部を訪問北支に
於ける外交折衝の經過並に軍事情勢を報
告し種々懇談した

米も日支へ平和解決を望む
ワシントン【七・七】 米國政府は北支事變
勃發以來靜觀的態度を堅持、英國政府の
共同動作態度に對しても自由の立場留保
の建前からこれを拒否して來たが北支の
情勢急迫が傳へられる爲めグルー駐日大
使及びジョーンズ駐支大使に對し夫々日
支兩國政府へ平和的解決の希望を表明す
るやう訓令を發した、ハル國務長官は廿
七日新聞記者團との定例會見に於て右に
つき次の如く言明した

政府は東京及北平駐劄大使に對して米
國政府は日支兩國政府が戦闘行動を避
けるやう希望する旨々々表明方訓令し
た、但し以上政府の行動は他國政府の
行動とは何等關係なく國務省が應務橋
事件の當初より取つた政策と矛盾する
ものでもない

新聞記者團との會見は殆んど北支問題に
集中された形で中には九國條約や米國政
府の居中調停案を持ち出し質問したが
ハル長官は眞向より否定、次の如く答へ
た

地

米國政府は九國條約の援用や居中調停
の問題などは未だ考慮してゐない、居
中調停はこの種の場合には兩軍爭當事
國政府が先づ居中調停に訴へる事に意
見一致し且つ中立國政府に對して調停
を依頼する事が必要條件である

國務省聲明
ワシントン【七・七】 米國政府が北支事變
に關し日支兩國政府の善處方を要する
に決したのに對し國務省當局は平和確保
以外他意ない旨極力聲明廿七日次の如く
語つた

ハル長官が日支兩國駐劄大使へ訓令を
出したのは別段英國政府其他何れの國
とも共同動作に出ると言ふのではなく
北平在留米國居留民の安全を期し又世
界平和を保持する一般政策に基き、獨
自の行動に出たものである従つて申入
れ(リプレゼンテーション)と言ふやう
な性質のものではない

支那駐屯軍司令官香月中將
代理北平松井特務機關長は廿八日午前零
時第廿九軍々長宋哲元を對し「第廿九軍
の協定不履行に屢次の挑戰的行動は最
早や我が軍の隱忍し難きところなり、就
中廣安門に於ける支那軍の偽購行動は我

が軍に侮辱するものにして斷じて許す詎
は、軍は茲に獨自の行動を取るの已む
無きに至れり」と通告し尚ほ北平城内に
支那軍存在しある時は城内混亂を惹起し
戰禍を及ぼす虞れあるを以て市民及び在
留外人のため北平城内より支那軍隊全部
を直ちに撤退せしむべき事を警告せり

現

加藤・秦最後會見
北平【七・七】 加藤大使館書記官は廿八日
午前一時秦總領事の要請に基き同氏私邸に
於て約一時間に亘つて會見したが席上秦
總領事は加藤書記官に對し
自分としても出來得べくんば戦は避け
たい、然し四圍の情勢は之を許さない
貴下、此際危機を切り抜ける各案無き
や

駐屯軍聲明發表
天津【七・七】 支那駐屯軍は最後通牒を發
すると同時に左の聲明を發表した

▲支那駐屯軍聲明
七月七日以來盧溝橋附近に於て支那側
の不法射撃に端を發したる日支兩軍の
紛爭事件に關し日本軍が飽追事件不擴
大の方針を堅持し平和解決に萬全の努
力を致したるは衆知の處なり、然るに
支那側は不信不法の行爲を反復し一旦
我が要求を承認即ちしたる後と雖も何
等誠意の認むべきものなし、而も通信
交通を妨害し計畫的挑戰行動に出で殊
に一昨廿五日夜は軍用線修理の爲邸坊
に赴きたる部隊に對し、昨廿六日夕は
北平廣安門附近に於て我が居留民保護
に向へる部隊に對し偽購の手段を講じ
不法の攻撃を取てするが如き抗日毎
日至らざるなし、加ふるに梅津、何應
欽協定を蹂躪して中央軍を北上せしめ
着々戰備を進めるなど暴戾言語に絶す
るものあり、斯くて今や治安は全く亂
れ我が居留民の生命財産は危殆に瀕す
るに至れり、因より北支治安の維持は
日清兩國の重大關心たり、專此處に至
りては和平解決の萬策盡きて應懲の師
を進めるの他なし、眞に遺憾とする處
なり、然りと雖も日本軍の敵とする處
は抗日挑戰の行爲を敢えてせる支那軍
に於て華北一億の民衆に非ず、軍は速
かに治安を回復し東亞民衆の福祉を増
進せん事を期するものなり、北平城内

駐屯軍安民布告
天津【七・七】 支那駐屯軍は廿八日午前五
時頃より左の如き安民布告を平津兩市並
に各主要地點に貼り出したが同時に飛行
機で各方面に撒布した

▲大日本軍布告 第一號
大日本軍司令官香月は茲に鄭重に中華
各界民衆に諭告す
大日本帝國の使命は夙に東亞和平と中
華民衆の福祉進進を確立し兩國親愛よ
り共享幸福の廣域を實現せんとするも
のにして他意なし、然るに中國が日本
軍に對し暴慢非禮にして善なく抗日毎
日至らざるなく本軍司令官は東亞大局
並に華北の安寧の爲め不擴大方針を堅
持して隱忍自重したが支那軍は遂に情
る所なく挑戰し來れり、此の種支那軍
の行動は大日本帝國の尊嚴を侮辱する
のみならず東亞の和平を危殆に陥入れ

地

宋に最後通牒手交
天津【七・七】 (支那駐屯軍
司令官部) 二十八日午前零時發
表)

支那駐屯軍司令官香月中將
代理北平松井特務機關長は廿八日午前零
時第廿九軍々長宋哲元を對し「第廿九軍
の協定不履行に屢次の挑戰的行動は最
早や我が軍の隱忍し難きところなり、就
中廣安門に於ける支那軍の偽購行動は我

が軍に侮辱するものにして斷じて許す詎
は、軍は茲に獨自の行動を取るの已む
無きに至れり」と通告し尚ほ北平城内に
支那軍存在しある時は城内混亂を惹起し
戰禍を及ぼす虞れあるを以て市民及び在
留外人のため北平城内より支那軍隊全部
を直ちに撤退せしむべき事を警告せり

支那駐屯軍司令官香月中將
代理北平松井特務機關長は廿八日午前零
時第廿九軍々長宋哲元を對し「第廿九軍
の協定不履行に屢次の挑戰的行動は最
早や我が軍の隱忍し難きところなり、就
中廣安門に於ける支那軍の偽購行動は我

が軍に侮辱するものにして斷じて許す詎
は、軍は茲に獨自の行動を取るの已む
無きに至れり」と通告し尚ほ北平城内に
支那軍存在しある時は城内混亂を惹起し
戰禍を及ぼす虞れあるを以て市民及び在
留外人のため北平城内より支那軍隊全部
を直ちに撤退せしむべき事を警告せり

地

る外萬劫不復の慘禍を殘す、我軍は上天心に副ひ下民意に應じて茲に斯の如く不仁不義預言狂暴の徒に對して膽慄を加ふることに決せり、然し乍ら我に對して不敵の一般民衆は終始我等の親友にして本軍はこの順良なる民衆に對しては何等侵犯せざるのみならず必ず法を設けて保障し永久に其の福利を圖るものなり、各界民衆は冷靜を持し本軍の眞意を諒解して擾亂を起すことなく各自生業にいそしみ樂土の實現を待望せよ、若し機に乗じ治安を妨害し逆謀不羈の徒を助ける者あれば嚴重に懲罰處分すべし、茲に布告す

昭和十二年七月二十八日
大日本軍司令官

香月清司

尙ほ右の布告の外蘆溝橋事件發生以來の經緯並に中央共產黨の惡虐なる行爲を指摘せる華北民衆に告ぐるの書など四種類が撤布された

今井武官聲明發表

北平(七・二) 廿八日午前六時半今井武官は談話の形式で次の如く聲明發表した

蘆溝橋事件以來支那軍は相次いで度重なる暴戻不遜行爲を繰返したるも我軍は事件不擴大の方針として隱忍自重を忍ぶ可からざるを忿んじて彼等の反省を促し和平解決を期待したるに拘らず彼等は何等の誠意を示さず事件遷延を計るのみならず郎坊殊に廣安門等に於て不信偽隣行爲を敢てし平津の治安衰れて在留邦人の生命財産危殆に直面し和平の途全く盡き已むなく一に斷乎膺懲の舉に出づるに至れり、然れ共我軍の敵は排日を敢てする暴戻不遜天人共に許し難き支那軍で素より民衆に非ず従つて北平城內は支那側が求めて戦火を誘發せざる限り我軍は敢て武力を行

使用する事なし、又列國の權益を尊重しその居留民の生命財産の安全を期するは素より當然にして言を要せず、殊に北支を領土的に占領するが如き意向はこれを有せず

北平四圍清掃

我が飛行機出發

天津(七・二) (支那駐屯軍午前四時發表) 天津地方は雲霧く曇氣甚し、午前四時四十分我が飛行機は晴霧をついて出發せり

高木部隊行宮占領

天津(七・二) (支那駐屯軍午前四時發表) 一 川岸部隊の高木部隊は廿七日午後三時頃より行宮(南苑南方五キロ)の敵を攻撃し砲兵の適切な協力の下に頑強なる敵の抵抗を撃破し午後七時十五分これを占領し引續き内部の掃蕩を實施せり、敵の損害は甚大にして無慮五百に達した、我が軍の損害も亦相當なる模様である

二 廿八日午前二時我が軍用電線は支那軍のため全部切斷せられたり
西苑・南苑爆撃
天津(七・二) (支那駐屯軍司令部午前七時二十分發表)
西苑に對しては坂口部隊午前五時半頃、南苑に對しては午前六時二十分頃爆撃を加へ敵に多大の損害を與へたり

酒井部隊沙河鎮攻撃

天津(七・二) (廿八日午前九時卅分支那駐屯軍司令部發表)
酒井部隊は北平の北方廿キロの沙河鎮に在る第卅七師備治安部隊を今朝來攻撃目下激戦中なり

川岸・河邊部隊南苑攻撃

天津(七・二) (天津駐屯軍司令部午前十一時發表)
川岸部隊及び河邊部隊は今朝南苑附近にある支那軍を攻撃中にして目下激戦中

南苑占領

天津(七・二) (支那駐屯軍司令部午前十一時發表)
南苑附近の敵は漸次北方に退却し我軍は一部を以て南苑を占據すると共に主力を以て敵の退路を遮斷し目下追撃中

司令官航空部隊に謝意

天津(七・二) 廿八日朝惡天候を衝いて南苑並ひに西苑にある第卅七、第卅八兩師主力の根據地を完膚なきまでに爆撃し地上部隊の攻撃占領を容易ならしめた我が航空部隊の活躍に對し香月支那駐屯軍司令官は廿八日〇〇隊長に宛て懇切なる謝意を表明した

第廿九軍交民巷包圍

北平(七・二) 城内の廿九軍は交民巷の周圍を取り巻いて包圍の隊形を取つて居り團を閉ざれた交民巷各入口から城内を窺ふと交民巷に向つて堅固な陣地が夫々構築されてゐる

鈴木部隊清河鎮攻撃

天津(七・二) (午後二時十分駐屯軍司令部發表)
鈴木部隊は鐵路を貫して前進廿八日正午以來清河鎮にある支那軍を猛撃中にして

目下激戦中なり

橋本參謀長通告
天津(七・二) 橋本支那駐屯軍參謀長は廿七日支那側天津警察局長に對し
一 在留日本人保護の必要上特別區及三區の主要日本人工場に我兵力を派遣する事
一 支那街在住の日本人に引揚を命せる事及び日本租界より金湯橋を経て東站に至る道路日本租界金湯橋を経て通州に至る道路は引續き軍隊及軍馬の通行に使用する事
を通報し警察局管内各署に命令を徹底し事端の發生を防止するやう希望した所同警察局長は廿八日我方に對し文書を以て御希望の件諒承する旨回答し來つた

今井武官我意圖を表明

北平(七・二) 廿八日午前七時今井陸軍武官は外人記者の參集を求め日本側の意圖を闡明したがその際記者團との質問應答要點左の通り
問 日本軍は何故廿八日正午前に行動を開始したか
答 廣安門事件で情勢が二變したのと昨日正午迄に撤退すべき八賢山方面の第廿九軍は一向撤退せず城内及び西苑の部隊も撤退準備すらせず本日正午迄に撤退の見込がなかつたためである
問 北平城内の第廿九軍が撤退せぬ場合は北平を攻撃するか、撤退せぬのは正當の攻撃の理由となるのではないか
答 撤退せぬのは敵對行爲と認めるが聲明にもある通り支那側で戦火を交へぬ限り北平攻撃の意思はない

我軍北苑を屠る

北平(七・二) 廿八日朝以來我が左翼部隊は黃村、南苑を衝き、右翼部隊は黃寺、

北苑を屠つて何れも敵を西方に驅迫更に我が左右兩部隊は西苑附近に於て完全に合して敵を一氣に潰滅すべく午後一時より敵を急追中の模様で午後二時半に至るも砲聲衰へず激戦の思はせる

退却兵を爆撃

北平(七・二) 西苑の敵を爆撃し完全にこれを沈黙せしめた我軍は午後一時後半店方面に向け退却中の敵に爆撃を加へ追撃戦に移り一方砲兵部隊は砲門を一齊に開き爆音砲聲は一瞬の轟音となつて北平附近を物々しく揺がしてゐる

南苑完全占領

天津(七・二) (支那駐屯軍司令部午後四時發表)
川岸部隊の南苑掃蕩隊は堅固なる建物を利用して頑強に抵抗せる殘兵を殲滅し午後一時過ぎ南苑全部を完全に占領せり、南苑兵營我飛行部隊の爆撃は我砲彈の命中支那軍自身の放火等によつて荒廢し凄慘を極めてゐる

酒井部隊沙河鎮占領

天津(七・二) (駐屯軍司令部午後四時發表)
酒井部隊は午前十時半沙河鎮を占領せり

鈴木部隊清河鎮占領

天津(七・二) (支那駐屯軍司令部午後四時發表)
鈴木部隊は午後二時頃より清河鎮の敵を攻撃し午後二時半を占領せり

南京政府毒ガス製造

天津(七・二) 塘沽に工場を有する水利化學公司是南京政府の密命により毒瓦斯製造の爲め中間製品たる酸素及びアルカリを製造し之を洛陽の工場に送行し毒瓦斯

として中央軍に供給中のものゝ如く之で我軍を備えんとする計畫と見らる

廿八日戰鬪全記

天津(七・六) 廿八日午前零時最後通牒が發せられるや、應忍自重してゐた我が軍の前線部隊は一齊に行動を開始し廿九軍掃蕩の火蓋を切つた、北平を中心に川岸、河邊兩部隊は暴風雨を突いて南に前進、瀋陽部隊のたまし討に酬ゆるときは今なりと右翼より進む河邊部隊と協力空の勇者坂口部隊の掩護をうけて廿八師の主力駐屯地たる南苑に猛襲を加へ激戦の後午後一時半迄大なる兵響を完全占領し、後日軍旗を奮然高く掲げた、かくて廿九軍自慢の兵響も我が皇軍の前には鎧袖一觸もろくも崩壊し北方に雲崩れを打つて潰走したので廿八日朝米牛房を占領した鈴木部隊は疾風枯葉を捲く勢を以て南進敵軍を追つて正午早くも北郊清河鎮に入り此處に蟠居する支那軍と激戦を交へ午後二時半完全にこれを占領した、更に沙河鎮を酒井部隊は占領して我が軍は北平郊外の要所を完全に把握し傲慢非禮の限りを盡した第廿九軍も僅か半日にして殲滅的打撃を蒙つた

我軍第一線確保

天津(七・六) (廿八日午後七時支那駐屯軍發表) 豐臺方面に於けるわが第一線は東五里店西五里店、一文字山の線を占領しあり、本日晝間八寶山及長辛店方面の敵砲兵より時々射撃を受けたるも戦線には異常なし

支那軍逆襲を撃退

天津(七・六) (支那駐屯軍司令部午後七時發表) 廿七日朝我が軍により撃退された那坊附近にあつた三、四百名の敵は武清方面に

遺走した

が廿八日那坊の我が兵力僅少となるや同地整還を業し俄然攻撃し來つたが我が那坊守備隊は僅少なる兵力を以てよく敵に對し數時間持久敵に大なる打撃を與へたが敵は我が増援隊の來着に驚き再び退走した

廿七師北平城内潜入を企つ

北平(七・六) 南苑より北方に潰走した第廿七師と平線方面より北平に潰走した第廿八師の第廿七師の敗殘兵とは廣安門外西方地區に押し詰められ南北よりの我が軍の挾撃に死物狂ひの抵抗をしつゝ北平城内に遁入を企圖しつゝあるものゝ如く午後七時十分頃より間斷なき小銃、機關銃、大砲の亂射の音猛烈を極めつゝあり我軍は敵の殲滅を期し目下猛襲を加へてゐる

支那側の僞請懇請一蹴

北平(七・六) 冀察側使者は廿八日午後わが特務機關を訪問して廿七師の城内即時撤退を條件に停戦を懇願したがわが方は今に至つては無意味なりと相手にせず之を一蹴したゝめ使者は止むなく悄然と引下つた、形勢非なりと見れば忽ち政治的術策を弄するは支那側の用ひる常套手段で我が方は支那軍に徹底的打撃を加へた後に非れば政治的折衝に入らずとの決意を堅持してゐる

退却兵を殲滅

天津(七・六) (支那駐屯軍午後八時發表) 南苑より北方に退却せし敵を追撃中なりし牟田口、蘆島、福田の各部隊は馬村附近に於て敵の退路を遮断し殆んどこれを殲滅せり、馬村以東の地區には敵の屍體累々として凄惨を極めたり

敵殘兵侵入防止

北平(七・六) 第廿九軍卅八師の本據南苑は我勇敢なる空陸部隊のため遂に陥落した第卅八師の殘餘部隊は僅かに北方に血路を求めて永定門から北平城内に雲崩れ込まんとしたため我軍は直ちに馬村附近に於て其退路を絶ち側面より河邊部隊が挾撃し全滅的打撃を與へ敗殘兵の北平侵入の危機を未前に防止した

第卅八師殆ど潰滅

天津(七・六) 馬村(北平南方二キロ)以東の戰鬪に於て第卅八師自忠軍の主力は殆ど潰滅した

河邊部隊瀋陽掃蕩砲撃

北平(七・六) 廿八日午後五時半馬村附近に於て第卅八師の敗殘兵を殲滅した河邊部隊は直ちに踵を返して豐臺に歸り一文字山に據つて瀋陽砲の支那軍と對峙しつゝあつた我が騎兵部隊と共に同七時二十分砲門を開き痛烈なる砲撃を開始し十時を過ぐるも未だ眼々たる砲聲は北平城内に轟き渡つてゐる

壯烈な戦死を遂げた田村房雄中尉、内田幸葉少尉等以下十名の勇士の陣中告別式は廿八日午後八時から厳かに執行された我が通州守備隊長營は恰も野戦病院の觀を呈してゐるが輕傷者は何れも病床に居堪らず第一線に飛び出して奮闘してゐる有様だ

英米佛伊共同申入れ

北平(七・六) 米國大使館書記官ソールズベリー氏は廿八日午前九時我が大使館に蘇島參事官を訪ひ英米佛伊四ヶ國の共同要求たる

支那兵米國兵を亂射

北平(七・六) 米國駐屯軍の憲兵七名が今朝八時頃交兵巷北側の外郭地帯を巡行中突如附近にあつた支那軍の爲不法射撃され若干名の負傷者を出した事件あり、米國側は血迷へる支那軍の暴戻に頗る憤慨してゐる

外國權益・一般民衆軍

天津(七・六) 我が飛行部隊は廿八日早曉南苑、西苑の第卅七、八兩師兵營に對し爆撃を敢行したが我軍〇〇機の爆撃は極めて正確で敵に多大の損害を與へたのに反し一般民衆、特に南苑飛行場及び各大學等外國の權益を有する場所に對しては特に注意を拂ひ絶対に被害の及ばぬやう努めたので支那民衆を始め各國在留民は我が空軍部隊に對し多大の信頼を寄せてゐる

籠城邦人に通信筒投下

北平(七・六) 廿八日午後五時半頃森林大尉同乗の飛行機が交兵巷一帯を低空飛行し日本人の一部が避難してゐる露オーストリア兵營に通信筒を投下、日本大使館日本兵營、正金支店の上空等を悠々旋回して東南方面に飛び去つた、同機の大爆音に邦人避難民は先を競つて屋外に飛び出し日の丸のマークに一齊に歡呼した

戦死者の陣中告別式

通州(七・六) 通州南門外に於ける戰鬪で

事態更に急轉回

北平(七・六) 今朝來のわが軍の攻撃は理想的に順調に進歩し北平城の周圍に蟠居した廿九軍を完膚なきまでに叩きつけ今まで日本軍を甘く見てゐた城内の廿九軍も今や全く色を失ひ存き足をたて大動搖を來たしてゐる模様で爆音と砲聲に怖れた城兵は既に反撃の戰意氣力も無く兩三日中に城外に撤退せんとする氣配がほの見えるに至つた、何れにせよ今日の膽撃攻撃で數日來波瀾を極めた事態は急轉回し一兩日中に更に今後の北支の情勢を決定する新展開があらう

支那兵の暴民を懼る

北平(七・六) 間斷なき我が空軍の爆音の響きに曉の夢を破られた北平城内の外人在留民は日本軍が北平の爆撃を絶対避けるものなるを知り安堵してゐるが寧ろ暴戻な支那兵が何時掠奪、放火の暴行を始めるかも知れずとし戦々惴々としてゐる交兵巷内の各國駐屯兵は支那兵の萬一の

各國在留民に引揚命令

北平(七・六) 支那兵の血迷ひ振り如何なる不祥事件を惹起するやも測られず支那側の外人保護の責など今や全く信を置き難き状態となつたので各國大使館は在留民に引揚命令を發すると共に各國旗を掲げた大公使館の自動車は各自國民を東交兵巷に收容し始めた

支那兵米國兵を亂射

北平(七・六) 米國駐屯軍の憲兵七名が今朝八時頃交兵巷北側の外郭地帯を巡行中突如附近にあつた支那軍の爲不法射撃され若干名の負傷者を出した事件あり、米國側は血迷へる支那軍の暴戻に頗る憤慨してゐる

同大尉は以前北平に勤務した縁故から好意的に投下したもので通信筒には「在留邦人諸君安心せよ」とあつた

◆ ◆ ◆

長山丸不法射撃を受く

天津【七六】大阪商船會社社長安丸(三三)は廿八日午後二時過ぎ大沽附近航行中白河右岸に機銃された支那軍陣地より突如不法砲撃を受けた、幸に損傷はなく無事安全地帯に避難するを得たが非武装商船に對して無警告射撃を行ふが如き支那兵の不法行為は國際正義上より許すべからざるものとして我が軍當局は頗る重大視してゐる

中央支那

外交部聲明を
我出先駆撃

上海【七六】國民政府外交部の聲明に對し我が出先官邊は廿八日次の如き意向を表明した

一 外交部は外交機關を通じて和平解決に努力して來たと稱してゐるが徒に對内外の宣傳に浮身をやつし日高參事官の通告にも責任ある回答を爲さず同時撤兵案の如く梅津何應欽協定を蹂躪してゐる支那側の眞面目に言へ義理でない

一 外交部は去る十九日の回答及び廿日王寵惠部長の言明で地方的解決に反對でないが中央の承認を要すると原則論を繰返した、今に及んで現地解決は中央の根本方針に違反すると言ふが如きは我が外交手段を侮辱するも甚しい

一 郎坊事件に關する主張が全く虚構の事實に基く事は言を俟たず、廣安門事件の如き天人共に許さざる暴戻には一言も觸れてゐないが如き何時も乍らの

偽購手段には呆れる外はない

緊急中央政治會議

南京【七六】今朝五時半我が軍砲撃開始の急報あり、九時からの中央政治會議は蔣介石出席の下に異常な緊張裡に開會され秘密會と爲し何應欽よりの軍狀報告後專局對策を討議し正午前散會した、右會議における決議内容は數秘に附されてゐるが仄聞するに蔣介石以下委員數名の悲痛なる演説あり、滿場の空氣は「局面が既に最後の關頭に通じたり」と言ふに一致し盡々對日抗戰決行中央軍による第廿九軍の全幅的支援を決議したと謂はれる

軍事委員會作戰會議

南京【七六】軍事委員會は廿八日午前九時緊急會議を召集軍政部長何應欽、參謀總長程潛及び子學忠、唐生智等四十餘名出席約二時間に亘り中央の作戰並びに軍隊の動員に就き協議を重ねた

宋・蔣介石に求援

南京【七六】宋哲元は廿八日朝蔣介石に對し「日本軍大部隊平津に雲集し寡を以て衆に當り難く速かに大軍を派遣されたし」と電請した、蔣介石は折返し「華北各省の駐屯軍既に動員を完了せるを以て機を見て貴軍を援助すべし、緊急の際は隨時中央軍前線部隊に對し救援を求めよ」と返電した

宋代表決定還北平

南京【七六】宋哲元の南京駐在代表戈定遠は蔣介石から中央の全般的作戰計畫を授けられ廿八日午後二時空路北平に向つた

中央軍長辛店に達す

上海【七六】情報に據れば保定に待機中であつた中央軍河北進出部隊は昨日來北平に向けて前進を開始し先頭部隊は既に長辛店に達し主力部隊の集結を待つて北平内外の我軍に向つて攻撃態勢に出でんとしてゐると

支那側苦肉の逆宣傳

上海【七六】今頃より開始された皇軍の軍事行動に驚愕して國民政府は本日午前十時頃支那軍は豐臺其他を奪還したりとの虚偽の宣傳を中央通信やラヂオを通じて全支に散布した爲め支那國民は此のデマに欺かれて上海南京其他各地に於て突止千萬な爆竹騒ぎを演じてゐるがこれは敗報傳はるや支那經濟界にパニック起ることを恐れ先手を打つて苦肉の逆宣傳を行つたものである

孔・蔣に不擴大進言

南京【七六】孔祥熙は廿七日付で蔣介石宛ロンドンに於ける金融借款願未及び軍需品の購入狀況を報告し來つた、確聞するに孔祥熙は借款の成立を傳へ北支問題に言及し駐英大使郭泰祺と共にイーデン外相と折衝の結果英國政府は機を見て調停する意志あることを明かにし得たが歐洲各國は目下自國の防衛に忙し極東を顧みざる暇なき爲め戰團地を擴大し時局の收拾を不可能に陥し入れりことはこの際極力避けるやう進言し來り詳細は近く歸國する陳紹寬から聴取されたいと述べた

國府軍變の財界影響を恐る

上海【七六】北支事變以來旺盛を極めてゐる銀資金の外貨逃避防止の爲め國民政府は必死となつて之れが防戰買入を行ふ傍ら公債の下落による對外信用の崩壊を恐れ市價維持に努力して居りこの爲に使用の資金は既に五六千萬元の巨額に上る

國府借款成立を宣傳

上海【七六】倫敦ハバース電は孔祥熙の談として英國との間に一千萬磅の鐵道借款成立を報じてゐるが當地消息通の間では右は全然信ぜられず支那の信用維持の爲めの側面的宣傳工作に過ぎないと見てゐる、即ち北支の前途消滅し得ず情勢如何によつては支那の財政的破綻は最も憂慮されてゐる折柄事變以來英國の動きに徴しても此際斯かる巨額の借款成立は殆んど豫想し得ず、時局擴大につれ列國並に支那國民の南京政府に對する信用崩壊から支那の財界混亂し財政的危機に陥るのを防ぐ爲めに英國の支那に對する援助的態度を通信せしめんとした苦肉の策と見られてゐる、廿八日の支那紙及び支那系外字紙が右ハバース電報を掲載するに當つて交字紙の調印未了にして北支事件解決後始めて起債されるものとの倫敦消息通等の觀測を一齊に削除せる點より見てその政治的意圖は極めて明白である

韓復榘に反省を促す

濟南【七六】有濟南南總領事は廿七日山東省政府に主席韓復榘を訪問北支時局に關する我が公正なる立場を説明すると共に最近盛に對日防備の體勢を執りつゝある韓復榘軍の行動と中央軍の山東省進出に對し我が居留民に不安を與へつゝある事實を指摘し韓復榘の反省を促したが有野總領事は右に關し廿八日次の如く語つた

と推測されてゐるが確聞するに孔祥熙は英國との鐵道借款交渉に當つて總額一千萬磅の中三分の二は材料三分の一はクレジット設定の形式をとり爲替安定資金に流用し度旨を申出で一蹴された、これがため國民政府は漸く事變の財界に與へる影響軍大化に狼狽し之が對策に狂奔の形である

宮崎事件

南京【七六】南京總領事館は廿八日午後八時宮崎と名乗る日本人一名を外交部より引渡しを受けた、果して過般行方不明となつた宮崎一等水兵なりや否や認知する爲め上海陸隊の幕僚一名南京へ急行する事となつた

陸隊隊本部發表

上海【七六】宮崎水兵事件につき廿八日午後十一時陸隊隊本部では副官談の形式で左の如く發表した

總領事館發表

南京【七六】(廿八日午後十一時南京總領事館發表)

廿八日午後一時頃外交部より上海にて失踪せる陸隊隊水兵宮崎自雄と自稱する人物の身柄を當館に送致し來れり、而して右人物が日本人なることは略々確實と推定せられたので一應身柄を引取り右人物と外交部から送附し來つた取調書と物件により一應宮崎と推定されたが尙取調べうのため目下關係者の派遣方を要請中である、隨つて右取調べ

た

韓復榘は中央軍の濟南進入の事實を否定してゐたが韓復榘の立場は全く中央の命令下にあるものと見ればならぬ、居留民の保護に就て韓復榘は依然誠意ある態度を示してゐるが茲一兩日中の情勢如何によつては婦女女子の引揚げを勧告することになるかも知れぬ

帝國政府

陸相奏上
杉山陸相は廿八日午前八時...

陸相閣僚に説明

〔六六〕 杉山陸相は廿八日午前衆議院...

南苑の第卅八師は昨日來不法行為を...

杉山陸相ヲチ放逐

杉山陸相は廿八日午後七時卅分よりAK...

去る七月七日夜鐵橋附近に於て突如...

たがその後と雖も何等誠意の認むべき...

くが如き熱誠の異境に勇躍活躍しつゝ...

情勢緊迫に伴ふ平津方面における在留英...

を賜り度く茲に將兵一同を代表し深甚...

艦隊長官謝電

貴衆兩院の將兵感謝決議に對し廿八日永...

聯合艦隊司令長官

貴衆兩院は全會一致同情ある激...

第三艦隊司令長官

貴族院、衆議院の同情ある決議に對し...

應召者の職業保證

東京市社會局職業課では北支事變應召者...

陸軍中央官衙作業所及軍需工業の要員

の充足には各紹介所に連絡して需給...

香月司令官謝電

貴衆兩院の在北支將兵に對する感謝決議...

英米大使外相訪問

廿八日午前十時卅分グルー駐日米國大使...

我軍戦死者百五十

七月七日北支事變勃發の夜から廿七日正...

△戰死傷者内譯

- 將 校 一七名
准尉及下士官 二三名
兵 一五名
外に軍屬 二名

△戰死傷原因の内譯

- 銃 創 八三名
砲 創 四四名
擲 創 六二名
白兵創 二名

國民支援

出征家族にラチオを

社大黨三宅、河上兩代議員は黨を代表し廿八日院內大臣室において永井渡相と會見

出征兵士の家族にラチオの設備のないものには無料でこれを貸與し又出征兵士の家族に對しては全部聽取料を免じられたり

海軍へ献金

廿八日午前海軍省を訪れた新橋七丁目十二ノ五久保田帽子店芝櫻川小學校三年生久保田幸子(〇)さんは弟の同校一年生義明君(七)とともに學校で甲をもらふ度毎に十錢つゝを兩親からもらひ貯めてゐたお金八圓を兵隊さんと獻金

川崎市櫻田に本社を有する日本鋼管株式會社の社長白石元治郎氏は常務松下長久氏と共に廿八日午前九時半海軍省を訪れ米海軍大臣に面會し海軍國防費として卅萬圓を獻金した

海外動向

英外相米支大使協議

ロンドン(二六) イーデン外相は北支形勢悪化の報に痛く憂慮し廿八日午前支那大使郭泰祺氏を外務省に招致その後の經過につき支那側の情報を聽取懇談したが午後引續き米國大使ヒンガム氏の來訪を求め極東問題に付長時間に亘つて重要協議を遂げた、イーデン、郭及イーデン、ヒンガム會談の内容は一切秘密に附されて

るが確聞するに日支紛争に英米兩國が結局何等かの形式で調停に乗出す可能性及び國民政府に對する軍需品供給問題に付意見を交換したものといはれる、尤も共同調停案については米國は依然正面より反對の態度を表明して居り當分實現は望めず國民政府の軍需品供給要求も實際上諸種の困難あり、具體化迄には猶相當の迂餘曲折あるものとみられる、但し廿八日の會談において英、米、支三國代表は何れも日支紛争を速かに終熄せしむる必要については完全に意見の一致を見た

英下院日支問題討論

ロンドン(二六) イーデン外相は廿八日午後英國下院の外交討論に際し北支の情勢に言及次の如く述べた

最近二三日間北平地方に於て日支兩軍間に數次の重大衝突があつた、英國政府は露にドツツ駐日代理大使に命じて日本政府に對し北平城内に於ける戰闘を回避する機切望する旨傳達せしめたが今迄のところ北平城内で衝突が起つたといふ報告は未だ聞かない、同時に北平在留米國人に對しては速かに公使館區域に集合する機切望を發した、英國政府は米國其他各國政府と共に紛争解決のため最善を盡す意向である

上海共同租界の平和維持のため最近の日本水兵事件の原因を調査し斯かる犯罪的行為に對して事態に即應した處置を講ずるやう問題を上海特別市當局並に共同租界工部局當局に任せられた方が好いと思ふ、就ては外相は日本政府に對し其の旨申入れては如何と質問したのに對しイーデン外相は次の如く答へた

本事件に就ては何等公報なく目下照會中である、新聞報道は事件を誇張してゐるやうだが其下の言はれたことは充分考慮しよう

續いてイーデン外相は北支事變に關し日本駐屯軍と警察當局との間に取極められた協定につき詳細説明したのに對しワードロミルン氏は重ねて

日本側は今や北平の警察權を要求しつゝあるとのことだが本當か、事實とすればこれは協定によつて取極められた以上に出るものではないか

と質したがイーデン外相は若し其下の情報の本當とすれば余が今迄に入手したい、つれの情報よりも遙かに大きな要求である

と答へた、最後に自由黨議員ジョフレイ、マンダー氏から極東の形勢重大化に鑑み英國政府は國際聯盟理事會召集を提議する意向はないか

との質問が出たがイーデン外相は次の如く言明した

極東の形勢は如何にも頗る重大である然しこれまでに入手した情報では余は進んで聯盟理事會召集を提議する用意はない、この問題につき注意すべきは日米の二大國が聯盟に加入してゐないことである

米國居留民を考慮

ワシントン(二六) ハル國務長官は廿八日午後新聞記者團との定例會見に際し北平の米國居留民引揚問題につき左の如く言明した

米國政府は北平の形勢が更に悪化する場合を豫想して北平米國居留民の引揚問題を目下考慮中であるが未だ何等決定に至つてない、北平に在る米國始め各國代表は全居留民の安全保護に付き既に協議を遂げ萬全を期してゐる、居留民引揚問題が起つたのは一九〇一年北清事變最終議定書の締結以來最初のことで同條約に規定した通りの事態が發生した譯だ、従つて日本を含む右議定書調印國は協力して居留民の保護に當る筈である、國務省は居留民引揚のため天津へ軍艦を派遣する様海軍省に未だ要請してゐないが、何時でも必要とあれば芝罘灣中の驅逐艦母艦アラックホーク號(八千九百噸)及び青島灣中の潛水艦母艦カノパス號(八千噸)を僅々十五時間以内で天津に派遣することが出来るし更に芝罘にある驅逐艦八隻を増派することも出来る譯だ

中立法發動は成可く回避

ワシントン(二六) 米國政府は今回の北支事變に際し最初から靜觀的態度を保持し共同動作に關する英佛の勸誘を却けて米國獨自の行動を留保して來たが北支情勢の重大化並に北平に於ける米國陸隊隊員の負傷の報を入れて漸く緊張を加へル、ズヴェルト大統領ハル國務長官以下政府當局は目下慎重對策を考慮中と傳へる特にルーズヴェルト大統領は廿七日夜及び廿八日午前電話で絶えず國務省と聯絡をとりつて刻々新しい情報を聽取したが恐らく大統領は今週末も舟遊びを取止め専ら事態の發展を警戒するものと見られる今後紛争が更に擴大し日支戰争にまで發展すれば米國としては自國のこれに捲込まれるのを避けるため中立法を發動する可能性があり大統領も萬一の場合の準備としてこれが調査を内々進めてゐる模様だが當面の關心は北平居留民の保護にあり今直ちに中立法發動その他國際的共同動作などに出る様子は無い、消息通の意見を綜合するに米國政府の方針と解される所次の通り

一 北平居留民保護は米國政府の責任として最も關心する所で日支軍事關係が北平に波及し延いて無秩序な支那軍が如何なる混亂を惹起するやも知れぬことよ米國政府は場合により米國居留民の北平引揚げを考慮してゐる、目下北平に大使館を有する諸國政府は居留民引揚問題につき打合せを行つてゐるが北平駐米國大使館より國務省に達した報告によれば未だ居留民引揚を決する迄に至つてゐない

一 中立法發動問題については戰爭狀態が存在するか否かが先決問題であり而もこれは主として國民政府がその中央軍を北平方面に北上せしめるか否かにより判定すべきであらう、單に事態が第廿九軍支隊の手に委ねられるとすれば實際に戰爭狀態は起つても比較的輕く取扱ふことにならう

一 中立法發動のためには必ずしも正式に宣戰の布告あることを必要としないがルーズヴェルト大統領以下米國政府當局は以上の通り事態の悪化助長を防ぐため戰爭狀態の認定をなるべく避けたい意向だ

米國兵負傷公表

ワシントン(二六) 米國海軍省は米國北平駐屯軍陸隊騎馬兵ジェリクス・ユフ・フリッザーが米國大使館附近を巡邏中支那兵の發射した彈丸に命中し負傷した旨廿八日發表した

武者小路大使獨外相訪問

ベルリン(二六) 武者小路大使は廿八日午前十一時半ドイツ外務省にフォン・ノイラート外相を訪問、郎將、廣安門事件に就き詳細説明すると共に國民黨と支那共產黨合作問題に關する情報を傳達した

倫敦で支那大使會議
ロンドン(七三) 北支事變勃發以來歐米
各官邸に於ける支那大使は得手勝手な
支那側ニユースを撒布して得意の宣傳に
大重の態であつたが形勢重大化の報に何
れも大狼狽、駐佛大使顧維鈞氏、駐ソ大
使蔣廷黻氏は廿八日突如ロンドンに到着
した、兩大使は目下ロンドン滞在中の財
政部長孔祥熙氏並に駐英大使郭泰祺氏と
共にロンドンで大使會議を開き今後の對
策に付鳩首協議するものと見られる



地 現

北平清掃續行

敗殘兵尚ほ蠢動
通州(七三) 郎坊及び通州
の戰團に敗殘せる支那兵は
昨夜來宛平、楊村間の道路を五十數箇所
に亘り破壞し通州、天津間に於ける我が
軍の連絡を妨害して居る

河邊部隊奮戰
北平(七三) 廿八日午後七時廿分頃馬村
に於て南苑より敗退し來れる敗殘兵を擊
滅して急遽專車に引返し一文字山に據つ
て蘆溝橋にある第卅七師及び保安隊に對
し砲門を開いた我が河邊部隊は夜半に至
るも砲撃の手を緩めず股々たる砲聲は北
平城内の夢を破つて居るが廿九日午前零
時過ぎに我が砲撃の爲めに宛平縣城と思
はれる方向に大火災を生じたもの、如く
白煙は折柄の暗空に沖し凄惨の氣に充
ちて居る

西苑方面砲聲斷續

北平(七三) 蘆溝橋及び西苑方面の砲聲
は今朝に至るまで斷續しつゝあり、既に
敵に主力部隊存在を認められたため、案外
疎らである、午前六時我が飛行機〇機飛
來し西苑及び西山と思はれる地點を空襲
したが間もなく引揚げた、今朝の北平は
一點の雲もなく快晴で午後ともなれば温
度は百度を越すであらう

馮治安軍城外撤退

北平(七三) 北平城内駐屯の馮治安第卅
七師所屬部隊は廿八日午後十一時より撤
退を開始し今曉四時半頃迄に完全に城外
に撤退を完了したと支那側は稱して居る
が我が方は目下之が眞否を確め申である

卅七八師保定潰走

北平(七三) 西苑及び南苑で打ち破られ
た卅七、八兩師の敗殘部隊はいづれも全
く職意を失ひ目下續々長辛店方面を経て
保定に潰走しつゝあり

百卅二師殘留監視

北平(七三) 支那側戰線は昨夜來から今
曉にかけて總崩れとなり今朝は一發の銃
聲砲聲も聞えない、城内にある卅七師も
前線支那部隊と合體して保定方面に撤退
したが趙登禹の第百卅二師の一部は城内
に殘留してゐる模様で我方は同部隊の動
きに關し嚴重注意を拂ふと共に不純なる
動機から北平駐兵權を眼ふ策動は一切排
除せんとしてゐる

保安隊撤退完了

北平(七三) 城内の支那軍は昨廿九日午
前二時西城の西直門阜成門廣安門の三門
を通過して撤退を開始し午前四時完了、
續いて市内にあつた巡警及び保安隊が撤
退を開始したが彼等は途中街上を疾駆す
るサイドカーから兩側軒並の家に機關銃
を發射しつゝ逃げ去つた、常例の掠奪は
一部を除いて殆んどない様子である

敗殘兵通州襲撃

北平(七三) 本曉通州に存置されて居る
我部隊に對し南苑支那兵の敗殘部隊が攻
撃を開始し目下激戰中

北平(七三)

廿九日正午頃突然通州方面
に砲聲起り東直門から濃々たる煙霧が天
を焦がし同方面の激戰が想像される
北平(七三) 廿九日正午通州城外に於て
廿九軍の敗殘兵は掠奪行為に出でたが之
れと相應して同地の冀東保安隊二百餘
名は支那側の遺言に乗せられて叛亂を
起した、我軍は直ちに之れに應戦飛行機
は機撃を行ひ瞬く間に之れを鎮壓した

軍司令部發表戰況

天津(七三) (支那駐屯軍司令部廿九日
午後六時卅分發表)
一 酒井部隊は本日正午頃萬壽山及び玉
泉山を占領し南方に敵を退撃中なり
二 北平警備隊よりの報告によれば北平
市内は本日異常なく我が軍及び在留邦
人は士氣旺盛なり

我軍黃村・宛平を占據

天津(七三) (支那駐屯軍司令部廿九日
時分發表)
廿九日夕刻までに軍は北平西北方の敵を
永定河右岸に擊退せり
一 酒井部隊は午後三時四十分頃黃村に
進入す
二 河邊部隊は午後六時過ぎ完全に宛平
城を占據せり

長辛店方面も沈黙

北平(七三) 廿九日午後六時五十分頃北
平の西北方長辛店方面に再び砲聲が聞え
始めたが次第に旺盛となり股々たる砲聲
は北平城内にまで聞えてゐる、之は蘆溝
橋戰團に於ける敗殘支那兵を追撃中の河
邊部隊がこの方面に於て敵に遭遇砲門を
開いたものと見られる

北平(七三)

長辛店方面の砲聲は次第に
旺盛となりつゝあつたが廿九日午後九時
頃に至り全く終熄し同地方は再び靜寂に
歸つた

趙登禹・修凌郭戰死

北平(七三) 廿八日の南苑戰で第百十二
師長趙登禹及び廿九軍旅長修凌郭は頭部
に貫通銃創を受け戰死した、尙支那側で
は廿九日午後三時頃場から死體を收容北
平城内中海の懷仁堂に安置した

宋・秦・馮北平脫出

北平(七三) 宋哲元は今曉一時武衣庫の
自邸を出發西直門より西苑に入り卅七師
全軍を纏め秦德純、馮治安を従へ午前三
時兵營を出發した、途中日本軍の歩哨陣
を極度に警戒して遠廻りをなし門頭溝に
出て長辛店を経て保定に向つた事判明

張政務委員長兼任

北平(七三) 宋哲元は秦德純と共に廿八
日保定に逃れ張自忠が取次ぎ北平政務
委員長並に北平市長の要職を兼任した、
天津市長は李文田、平綏鐵路局長は張允
榮が夫々兼任した、北平警察局長陳繼淹
は病氣と稱して辭意を表明した爲め潘毓
桂が今朝八時後任として就任する

冀察政治折衝を企圖す

北平(七三) 自軍の總帥一觸に遭ひ支那
隨一の精銳と自負した第廿九軍は果すッ
なくも殆んど再び起つ能はざる迄に打の
めされて了つたのに今更の如く色を失つ
た冀察の抗日團は大勢既に決したとし何
れも姿を消し親日派と目される人物を表
面に押立てる事により日本側の感情を和
げ政治的折衝に入らんとして居る、今朝
の支那新聞は時局は軍事的から政治的に
移らんとしつゝあると報して居る

新生治安運動

治安維持會組織進む

北平(七三) 冀察政權は既に事實上消滅
し北平の治安維持責任者が無くなつたの
でこの後始末の治安維持を如何にするか
に就ては市商會を中心とする支那側各機
關に於て研究中であるが取敢えず政治的
乃至黨派的色彩のない江朝霖、冷家驥等
の名流學者を中心とし潘毓桂及び楊兆度
等を加へ臨時治安維持會が組織される模
様で天壇に駐屯して居る趙登禹の百卅二
師の二ヶ團の武裝を解除して保安隊に改
編北平内城に入り巡警と協力治安維持に
當らせんとする意向もあり何れにせよ治安
維持に關する辦法は正午過ぎまでに決定
を見る模様である

治安維持を繰り兩派對立

北平(七三) 北平に於ける情勢は廿九軍
の撤退を契機として急轉回を示し舞臺は
政治的善後處置に移り廿九日は支那側要

人間の意々交換に終始された、廿九日深更迄の形勢は廿九軍系軍閥を中心とする張自忠一派の舊警察政權の存命工作と民間各界を代表する純民間組織たる地方維持會の兩派が對立して競合の形であるが張自忠一派は警察政權の機構をその儘利用して凡ゆる工作に専念し民間派の先手を打つて張自忠が早々とお手盛りの北平市長に就任すると共に要處々々に市長の名で布告を出すなど何となくして又何等かの形に於て軍閥政權を維持存續せんと腐心してゐる之に對し地方維持會の方は早々の間に期せずして形成された組織だけに立運れの氣味で午後二時半より組織準備委員會を組織したが未だ正式に成立を見るに至らず變會式は卅日に持ち越された、但し軍閥以外の各界は何れも舊政權の復讐は既に問題としてをらずこれを機會に是非市民の總意を代表する新機構の出現を切望してをり民衆は全く舊政權から離反してゐるので今後兩派の對立は如何に發展するか又張自忠一派が大勢に抗して何處まで頑張り得るか時局の推移を豫知する鍵となりつゝある

天津清掃戰

市外で日支衝突起る

天津廿二日 廿九日午前二時頃天津東站驛附近に於いて日支軍衝突目下激戦中なり

我方非常警戒に就く

天津廿二日 深夜夢を破る銃砲聲起るや我が租界は駐屯軍を中心に警備並に義勇隊總動員で非常警備に就き水も漏さぬ警戒網が張られた、又英佛租界等も特別警戒が行はれ通信は全く杜絶し死の街と化した

砲彈租界に落下

天津廿二日 午前四時半に至るも依然突戦中にして迫撃砲彈は日本租界に落下し來り午前二時半頃には日本租界旭街同盟通信社前雜貨商店給洋行ボーイ室に落下炸裂した、日本租界は目下〇〇部隊が要所を固め水も漏さぬ非常警備に就いて居る

卅八師の不法に應戦

天津廿二日 今曉二時の日支軍衝突は支那軍卅八師保衛團が我が警備地の軍隊に突如不法射撃を加へた爲め我が軍止むなく之に應戦したものである

北平に安民布告

北平廿二日 本日午前日本軍飛行機から北平市内に左の如きビラを撒布した

市内に告ぐ

卅七師其他支那軍大部分は北平より永定河西岸地區方面に逃亡し北平市内は戰禍より免れたり、古都北平は遂に永遠に平和の姿に還へり市民は安心して家業に努むべし

北平に安民布告

北平廿二日 市内に支那兵は一人も無しとの快報に居留民は沸き返つてゐるが大使館では民衆宛に左の如く通告を發した未だ危険が去つたとは言へない、今が一番緊張すべき時だから決して輕率妄動しない、機領域撤去の命令がある迄合人の自軍を望む

領事館等危機に瀕す
天津廿二日 敵は日本租界にある七階建の中原公司ビルディングを目標に迫撃砲彈を集中し居る爲めわが總領事館、日本人俱樂部、憲兵隊、同盟通信社支局は砲彈の炸裂最も甚しく危険に瀕してゐる

不法行為頻發

天津廿二日 天津市に潛入中の支那側便衣隊、藍衣社員等の活動は漸く活潑となり昨日毎日行爲が隨處に頻發し流言蜚語は盛に流布されてゐるが大倉農場に於ては日本人が毆打され負傷したとの説あり又フランス租界では抗日デモ盛んで日本人と見れば投石侮辱し香月駐屯軍司令官の名で貼布せる安民布告を剥ぎ取る等目に餘る不法行為を續けてゐる

軍司令部發表

天津廿二日 (支那駐屯軍司令部午前五時發表)
支那軍の一部敗殘兵が天津市内に潛行し午前二時頃より射撃を開始し我軍はこれに對し嚴重なる警戒をなすと共に目下掃蕩中である、天明と共に銃砲聲は逐次鎮靜しつゝあり、目下我が方に損害なし

警察憲兵隊包圍さる

天津廿二日 天明と共に銃砲聲は漸く下火となりその儘終熄するかに見られたが午前四時五十分に至るや日本租界旭街北方の支那街境界線の我が警察第一分署は抗日保安隊に包圍せられ我方はこれに對し應戦中である

市街戦益々猛烈

天津廿二日 我が警察第一分署襲撃の抗日保安團との交戦において午前七時六分頃巡査部長柴正人氏は左腕兩大腿部に重傷を負ひ巡査三名は負傷した

東站驛の憲兵分遣所は交通

天津廿二日 東站驛の憲兵分遣所は交通々信全く杜絶し孤立無援となつた

兵站司令官布告

天津廿二日 天津兵站司令官は居留民に告ぐ左の布告を發した
租界内外は絶対に安全なり、居留民は益々冷靜沈着左の注意を遵りその業に安んぜよ
一 別命ある迄各自の家であり家に街路上に出でざること
一 流言蜚語に惑はざるな
一 多人數が一處に集るな
一 火災豫防其他被害豫防に特に注意せよ

抗日保安隊増援

天津廿二日 日本租界と支那街との境界點にある日本警察第一分署に襲ひ來つた抗日保安隊は一旦退却と見せかけ更に三百餘名の増援隊を繰出して我に猛射し來つたので駐屯軍の應援を得て午前六時五十分尙對戦中である

邦人紡績工場を襲撃

天津廿二日 日本租界から一里餘離れた天津中央製綢總局東方にある邦人經營の紡績工場公大第七廠に今曉三時頃數十名の一團が突如銃器を携へた抗日分子が襲來したので應て斯る事に備へて居た同工場日本人職員卅餘名が決死に對戦し一時間の後之を擊退した

小銃を以て我に猛射し來り我方は警官の主力が駐屯軍の應援を得て對戦し租界境界線上の市街戦は益々猛烈となり砲聲全市を震はして居る、時に午前八時五十分天津廿二日 午前八時過に至り市街戦は我租界と支那街の境界線を中心として益々擴大されんとして居る、租界の突端にある第一分署附近は抗日保安隊の打出す迫撃砲、手榴彈の炸裂で文字通り目も當られぬ程の激戦が展開され租界の銀座通りと言はれて居るメン・ストリート旭街方面には盛に銃砲が落下して居る

抗日共產系策動

天津廿二日 日本租界を目標とする市街戦は昭和六年十一月の天津事變以來の事午前二時頃起つた銃砲聲に市民は不安の一夜を明した、その不安は夜が明けても尙去らぬのみ却つて全面的大衝突の重大危機を孕んで最悪の事態を展開せんとしてゐる、これは張自忠の不在に乗じて抗日分子と共產系の策動が此處に至らしめたもので彼等は自護團なる組織の下に抗日戦の一大展開を策してゐる

駐屯軍司令部發表

天津廿二日 (午前八時十五分駐屯軍司令部發表)
一 昨夜半より我が天津飛行場方面に於て數百の支那保安隊より攻撃を受けたるも飛行場守備に任じあり我が部隊これを阻止しありしが今拂曉に至り飛行機の擡撃と相俟つて多大の打撃を與へたり、敵は多數の死體を遺棄して四散せり
二 海光寺西南方に於て今朝朝部隊と交戦し殆ど激戦の打撃を受けて敗退せし支那軍は第卅八師獨立第廿六旅及保安隊の一部なり
三 昨午南苑附近の戦闘に於て野砲四門

を覆せり

敵向怯まず

天津(七) 旭街北端の日支境界線を挟んだ交戦は依然猛烈を極めて居る、人家の屋上や窓口から射撃を續け彼の距離最も近い所は僅に卅米に過ぎず街路上に日支兩軍土饜陣に據り鹿麋を張り廻らしあるため双方共單純に前進し兼ね對峙の状態が持續されて居る、我方としては民家や住民に危害を與ふるを避ける人道的見地から總攻撃を控へて居るに彼は益々圖に乘つて反抗して來るので駐屯軍の一部隊は眞然手榴彈を以て一時之を沈黙させたが増援隊續々到着容易に怯む模樣なく酷熱の太陽を浴びて戦ひは更に續けられて居る

駐屯軍重大決意

天津(七) 第一分署總撃の飽くなき敵の暴狀に駐屯軍では重大な決意を固めつゝある模様であり一方我が空軍の標砲(機は唯今(午前九時)租界上空を低空飛行中である)

租界の交通遮斷

天津(七) 船舶通過の際閉鎖する萬國橋は今朝八時頃支那側のため開かれたまゝとなり日本租界と東停車場との交通遮斷された

大沽支那軍砲撃

天津(七) (駐屯軍司令部午前八時十五分發表) 大沽に於て俄然我軍は今朝支那軍より射撃を受け陸海軍は直に應戦せり目下激戦中

支那軍概ね沈黙

天津(七) 頑強に抗戦せし敵は我が猛

感に耐へかねて午前十時卅分頃か思ひ出した様に時々發砲するのみで概ね沈黙した、然し多數の敗殘兵は支那街各方面に伏在して居り事態は決して樂觀を許さない状態にある

我兵營附近へ夜襲

天津(七) 今曉二時天津南方我が兵營から約二軒の八里臺に通ずる道路附近一帶に第廿九軍獨立第廿六旅第六百七十八團が夜襲し來り我が步兵部隊は之を擊退した

中日學院附近夜襲

天津(七) 今曉日本租界に夜襲せんとした第廿九軍獨立第廿六旅第六百廿八團は午前二時頃日本租界南方南開大學方面から前進して來たのを昨夜來天津南方一キロの中日學院附近に砲列を布いて警備中の我が細川部隊の砲部隊が發見僅か五十メートルを距て直ちに猛烈な近距離射撃を浴せたので敵部隊は算を亂して附近の泥田の中に逃げ込んだが砲部隊は大砲機關銃でなほも猛射を浴せたので敵は二三百名の死傷者を遺棄して退却全滅の大攻撃を與へた

△重傷

上等兵 三輪 保夫

△輕傷

一等兵 江崎 竹雄

△重傷

上等兵 今井 弘

△輕傷

一等兵 中瀬 辰三

執拗なる保安隊

天津(七) 支那保安隊敗殘兵等は廿九日早曉中日學院警察第一分署、萬國橋東站東機器局の五方面の襲撃を敢行したが

中日學院東機器局襲撃部隊は我方の遊襲に遭ひ殆んど全滅の形であるが午前十時現在萬國橋附近並に警察第一分署附近の保安隊は尙執拗なる抵抗を續けて居る、支那側として飽くまで斯かる行動を續けるに於ては或は空軍をもつて斷乎掃蕩の舉に出る外はない状態である

伊佛兵射殺せらる

天津(七) 今朝支那軍の暴戾なる射撃をうけ伊佛兵租界及佛租界において歩哨中の兩國兵二名射殺された

特別區在留邦人引揚

天津(七) 日本租界外特別一區の在留邦人は目下英租界日本總領事官邸に引き揚げつゝあり(午前十一時卅分)

敵軍襲撃詳報

天津(七) 今朝二時頃より日本租界に向け不法射撃を加へつゝある支那軍は廿九軍獨立第廿六旅の全軍を韓家(天津西北第廿支里)及び天津南方濁流鎮より潜入せるもので該支那軍は完全なる正規兵であり之れに保安隊、便衣隊が加はり益々兵力増大し今朝北寧、津浦兩鐵路局保安總隊本部、警備司令部、公安局、第一區公署、市政府、大福公司及南開大學等を占據し日本軍並に在留邦人に向け銃砲機關銃、迫撃砲等凡る武器を動員して猛烈なる射撃を加へてゐる、目下午前十一時半に至るも兩軍の撃ち合ふ銃砲聲は天津市中を賑してゐる

議定書違反の不法

天津(七) 支那止揚軍の天津市内侵入は義和團議定書の天津還附に關する交換公文の公約を無視せる不行為たる事明瞭にして而も日本租界攻撃は愚か武裝襲撃中の佛伊兩國兵を射殺するが如きは言

語遮斷正に廿九軍は血塗へる匪賊とも見らるべきで日本軍當局は勿論諸外國もこの暴戾さを極度に憤激してゐる

正午現在交戦區域

天津(七) 本日正午までに日支兩軍の交戦せる區域は左の如くである

一 駐屯軍司令部

南方一軒の中日學院附近は敵軍に多大の損害を與へてこれを擊退した、殘兵は尙南開大學附近に蟠居した

一 日本租界

日本租界は在留民射撃を目標に猛烈なる銃弾を浴びせたるも少數の部隊は旭街日支境界線に於て交戦對峙中

一 總站附近

は支那軍公大第七廠(鐘紡工場)を占領すべく目下攻撃を加へてゐる

一 東站附近

に於ては少數の憲兵並に驛警備日本軍が結束交戦し支那軍を驛北方に撃退せり

一 飛行場

襲撃の支那兵に對し警備隊並に飛行隊が空陸相呼應して撃退敵に多大の損害を與へた

郊外に再び砲撃

天津(七) 廿九日午後零時四十分天津日本租界南西方に當つて再び猛烈な砲撃開始

鐘紡工場再度襲撃

天津(七) 天津總站構外にある鐘紡第七工場は今曉より六十名の保安隊に襲撃されたが社員より防戦擊退したが更に午近く再び襲撃された模様で同工場は孤立無援で連絡なく安否氣遣はれてゐる

租界に再砲撃開始

天津(七) 南開大學八里臺附近に集結した支那軍は午後零時半頃より日本租界に向け迫撃砲を以て砲撃を開始し砲聲は頻りに全市内に落下しつゝあり

酒井部隊藏中寺占領

天津(七) (駐屯軍司令部午後一時五十分發表) 酒井部隊は昨夜實中寺、高寺を夜襲して占領今朝來南下中なり、西苑及び豊臺方面の戦況は有利に進展中

駐屯軍司令部爆撃聲明

天津(七) (軍司令部二時卅分發表) 日本軍は天津市内に於ては市民及び在留外人に對し戰禍を及ぼす事を極力避けんが爲め武力行使を爲さざるを企圖せし圖らざるも支那側は昨廿八日夜半來市内各處に於て日本軍隊を攻撃せり、軍は自衛上之れに應戦せざるを得ず、天津市内の治安を維持し在留邦人を保護する目的をもつて市内に於ける支那軍隊の主要占據地點を爆撃するの止むなきに至れり、列國の權益尊重並に其の在留邦人の保護に就ては最善を期する次第なり

占據地點を總攻撃

天津(七) 日本軍は本日午後二時より空陸相呼應して支那側の占據地點たる北寧、津浦兩鐵路局、保安總隊本部、警備司令部、市政府大福公司(裕大號)の六ヶ所に對し猛烈な攻撃を開始し爆撃炸裂砲聲は股々として天津市内を賑してゐる

天津(七) 目下天津上空は我が空軍の精銳(○臺が爆音を轟かせて)殘部支那軍陣地向け隨時空爆を敢行し我が地上部隊も亦盛んに敵陣地向け砲列を布き砲聲耳を劈き相併して壯烈極りなし

天津(七) 支那軍が據つて頑強に抵抗した天津南方四キロの地點にある南開大學は本日午後二時頃よりの爆撃に依り跡形もなく崩壊し目下延焼中

天津(七) 我が飛行機の投下した爆弾は金鋼橋左側の天津市政府に目下黒煙騰々炎焼中

天津(七) 支那軍並に便衣隊は天津電話局に入込み我方に向つて發砲暗躍してゐるので我が空軍は午後三時過ぎ電話局を爆撃これを潰滅せしめた

天津(七) 天津東站停車場は午後一時過後火目下盛んに燃えつゝあり

午後三時爆撃終了

天津(七) 我が空軍は市政府市財政局津浦、北寧兩鐵路局に對し午後三時完全に爆撃を終り天津市北部一帯は黒煙に蔽はれ夏雲に反映して物凄く光景を呈してゐる

支那軍陣地微塵に破壊

天津(七) 我空陸陸軍の爆撃で八里臺方面の支那軍陣地は木ツ葉微塵に破壊され土砂大空に舞ひ上り凄烈を極め敵軍の損害甚大の模様

敗殘支那軍掃蕩

天津(七) 〇〇樓上に陣地を布く我が〇〇隊は目下支那側公安局及萬國橋の左岸附近に蟠居せる支那軍に對し一齊射撃を行つゝあり、轟然たる爆音と相俟つて河の流れも逆流するかとばかりである

アジア石油公司火災

天津(七) 今日正午頃から百河左岸のイギリス系アジア石油公司が盛んに燃え續けてゐるが之れは支那軍隊が東站射撃の際迫撃砲弾が命中し火災を起したものである

各國領事の抗議駁撃

天津(七) 本日の爆撃に關し天津駐劄

各國領事は午後香月軍司令官に抗議を提起了たが右に對し軍司令官は概ね次の如く回答し各國領事の反省を求めた

昨夜支那軍の夜襲は義和團肆虐違反の不法行為なるのみならず人の腰背を掻く卑怯極まるものである。軍との戦ひなら兎に角租界には一萬餘りの邦人及びそれ以上の支那人が在住してゐたこの多くの居留民の生命財産を保護する事は軍の使命である、且昨夜の行為は外人に對しても大なる脅威である、従つて軍は在留人の生命、財産保護の自衛的見地より今日の爆撃を敢行せるものである、よつてこの責は全然支那側に在り、若し抗議するならば相手は日本に非ずして支那なることを斷言して俾らぬ、日本軍は決して諸外國を敵とする考へは毛頭なく又諸外國人並に支那人の生命財産に脅威を與へる考へも毛頭なきことを言明する次第である

日夜空爆中止

天津(七) 支那軍の主要陣地に向ける九日午後二時より開始されたる我が空軍の爆撃は午後六時近く迄地上部隊と呼應して間斷なく續けられ爆彈の落下と共に大轟轟を立て炸裂大地を揺がせ敵の本據たる天津公安局保安隊本部八里臺其他は次から次へ粉砕され黒煙騰々炎焼を極めたが日没と共に一旦中止され更に待機の態勢に入つた、敵情偵察の飛行機は尚しきりに飛來を續け夜の警戒に當つてゐる

◆ ◆ ◆

平津一帶完全占據

天津(七) 支那駐屯軍司令部午後十時

一 鈴木部隊は西苑附近の敵を撃退してその主力を以て黃河を、他の一部を以

て西山に進出せり

二 酒井部隊は午後七時頃衛門口を占領せり

支那中央

長谷川長官國府に警告

三 茲に支那駐屯軍は作戦開始より僅か二日、永定河左岸平津地帯一帯を完全に占據することゝなれり

北支の時局重大化と共に中南支に排日抗日氣勢騰頭し殊に廣東、汕頭方面には日本船隻擄奪下し及び邦人の遺棄を妨害するなど不法行為頻發しこの儘放置すれば中南支にも北支の如き重大な事態を惹起する可能性が充分ある

長谷川長官國府に警告

南京(七) 長谷川第三艦隊司令長官上海(七) 長谷川第三艦隊司令長官は廿九日談話の形式を以て左の如く發表した

平津地方に於ける日支兩國軍隊の衝突事件は今解決の見込に至らざるは甚だ遺憾とするところなり、我が第三艦隊は常に極東の平和確保を基調とする帝國の國策に基き公正嚴厲に警備に任じ本事件發生後に於ても極力事件の各地波及防止に努めつゝあり、然るに近來支那各地特に事件に直接關係なき中支、南支方面に於

各國大公使慎重靜觀

南京(七) 外交部長王寵惠、同次長徐蔭軒は連日在南京各國の大公使を歴訪北支に於ける日本軍の軍事行動を事實を離れて過大に吹聴し日本の政治的野心を云々して列國の同情獲得と義和團事件關係國の干渉的調停に引込む可く躍起となつて居るので日高參事官は支那側の遊宣傳を封すべく各國大公使を歴訪帝國政府の公明なる態度闡明にとめてゐる、これに對し各國とも支那側の宣傳に乗つて紛争に深入りするを警戒し英米兩大使からは日高參事官の對し平津の兩國居住民の生命財産安全のため市街地の職團行為停止を要請イタリ大使も廿九日高參事官との會見に於て天津租界守備のイタリ兵が支那兵の射撃に遭ひ死亡したこと

天津首腦者更迭

上海(七) 支那側保定來電によれば宋哲元は秦德純と共に廿八日夜北平發長平店を経て廿九日午前三時保定に到着した、尙警察政務委員會委員長及び北平市長の職を張自忠に代理せしめ天津市長は天津警察局長李文田が代理するに決し又平級鐵路局長張維藩は辭任して張允榮が後任に任命された

中央廿九軍援助を命令

南京(七) 蔣介石は前日に引續き廿九日朝來軍官學校内の官邸に馮玉祥、何應欽、程潛等の首腦部を招致し時局對策を協議中であるが戦局の進展に伴ひ中央軍北上部隊並に山西、綏遠軍をして第廿九軍を援助せしむるに決定する旨前線部隊に指令を發した、なほこれ等第廿九軍と共同作戰を命ぜられた中央軍には蔣軍を第廿九軍と取り換へるやう密令が發せられたと言はれる

汪精衛演說

上海(七) 汪精衛は廿八日午前九時から開かれた廬山第二期談話會に於て「最後の勝利は我に在り」として大要左の如き演說を爲した

愈々擴大したつた時局に對處すべき我等の方針と決意とは第一期談話會に於て既に蔣介石から明白に宣言した處である、今や生死關頭の時機は到來した、我等は最後の犧牲を惜しまず、數年來蓄積したつた準備の全部を持ち出して舉國一致守土禦寇に當らんとす、精誠團結事に當れば他國の挑撥離間策は遂に成功しないであらう、支那の國家完成は我國國民の願ひたるに止まらず實に世界各國の要望するところであり

も大體慎重な態度をとつてゐる

この故に侵略者は最終的に侵略の目的を失ひ最後の勝利は我等のものであらう

蔣介石談話發表

南京(二二) 蔣介石は廿九日夜新聞記者との會見に於て第廿九軍の敗北を認め之を自己の責任となし次の如く言明した

天津地方に於ける廿九軍の交戦は完全に敗北に歸した、余は軍事委員會長として且つ行政院長として右の懺悔すべき状態に就き全責任を負ふものである、蔣蔣滬事件發生と共に予は宋哲元に対し即時保定に赴くやう命令したが宋は右命令を無視して天津に赴いたので日本軍は不當なる要求を提出して宋に壓迫を加へた、華北の情勢悪化を傳へると共に中央軍は北上したが宋の再三の要請によつて一定地點に於てその北上を停止した、その結果宋が結局抗戦を試みた際は日本軍に對して組織ある抵抗を試みることが出来なかつた、既に北平に通ずる交通線は悉く日本軍の掌中に入り宋哲元また何等効果相抗争の用意が出来て居なかつたから七月廿六日以後今日に至る事態は蓋し當然の結果である、然し乍ら天津地方の戦闘は未だ本格的戦闘と言ふを得ず組織的抗争は未だ開始されるに至らない、政治上歴史上の中樞地點に於ける北平を喪失したことは勿論重大な打擊ではあるが軍事的見地からは必ずしもかく重大ではない、故に全國民は今回の敗北によつて失望を騰することあつてはならない、今後必ず全國民の期待と信頼に添ふことが出来ることを信するものである、日本政府は川越大使に訓令して交渉開始のため南京に急行するやう命じたと傳へられるが現状の儘に於ては如何なる交渉にも應ずることは出来ない、日本政府が去る十九日の聲明

に於て予の闡明した最低限度の立場即ち四ヶ條を承認せざる限り中央は斷じて交渉に應ぜぬ、従つて既成事實を突き付けると言ふ日本政府の常套手段は無謀であらう、此等最低限度四ヶ條を承認せざる限り交渉の餘地全くなく中國は國家の存在に並に主權保存の爲に抗争を續けるであらう、更に今後は所謂地方の解決なるものは絶対に許さない、今や事態は全國的問題となり獨り中央政府によつてのみその解決を俟つべきである、中國は戰場に於て最後の勝利を得ざる限り日本をして支那の權益を尊重せしむる能はず各名譽ある平和と正義も確保することは出来ぬのだから全國民は舉國一致國力と民力とを擧げて民族的統制に邁進せねばならぬ

蔣介石と一問一答

南京(二二) 蔣介石は廿九日夜中央通信社記者との一問一答の形式で次の時局談を發表した
問 宋哲元委員長が突然離平した結果重要都市を喪失するに至つた、中央はこの責任問題を如何に處理するか
答 軍事上から言へば宋哲元は始めから保定に赴くべきで平津に滞在した事は誤りであつた、余は頭初から以上の如く主張したがしかし全國民軍事最高長官たり、兼ねて行政上の責任を負つてゐる關係上平津地方に於ける軍事の失敗については宋の與り知るどころでなく余は全責任を負ふことを希望する、余は必ず全力を竭して全責任を果し以て今後の危局を救濟出来ることを確信してゐる

問 今後我が政府の對日方針は積極的なるか否か
答 蔣蔣滬事變が發生すると共に廬山談話會に於て此の事變が我が最後の關頭

の限界とならうと斷言し且つ事件を解決する最低の立場を列舉四ヶ條を掲げた、右言明は中外の均しく承知してゐる處で絶対變更の餘地がない、當時は吾は戦を求めず唯應戦を期するのみと言つたが今既に此の最後の關頭に當面した以上平津の時局を局部的問題と見做し傀儡組織を製造するのを容認出来やうか、政府は領土主權を保護防衛する責任を負ふが然らざる計畫を發動して全國を領導し一致奮闘して國家を防衛し最後まで犠牲を辭せぬ決意である、刻下の時局に於ては局部的解決は最早不可能である、國人は上述の立場を認識し此の立場を守れば國は存在しその原則に違へば國則ち亡ぶ、要するに我が政府の日本に對する言動は始終一貫奪も變更ない、我が國民は此の祖國存亡の關頭に處し必ず最後迄一致奮闘せねばならぬ

全國的支持を要求か

上海(二三) 蔣介石は北支敗戦の報道により國內の民心が動搖し自己に對する非難の擡頭せんことを懸念し別電の如き重大聲明を發表したが先づ敗戦が自己の責任なるを明かにした後廬山に於ける演説の四ヶ條を再説して前段には日本よりの交渉申入れに對し超然たる強硬態度を堅持し同時に日本が戦闘を停止し且四ヶ條の範圍内に於てならば今でも交渉に應ずる意圖あるを秘かにほめかし後段では日本が或る程度で軍事行動を中止せざる時は勝敗を度外視しても日本と抗争する外なしと大見得を切り全國の中央支持を求めたものである

と解してゐる
宮崎水兵上海に連行
上海(二二) 廿八日國民政府外交部より我が南京總領事館に引渡された宮崎真雄一等水兵は廿九日午後九時廿六分着の列車で上海に連行され目下陸戰隊本部に於て保護を加へられてゐる、疲勞甚だして取調へは近く同人の昇奮靜まるを待つて行はれる

邦船にホイコット
上海(二三) 北支事變以來上海に於ける日貨排斥は日毎に熾烈を加へ邦商の經濟活動は今や全く停止状態に陥つてゐるが就中排日が最も徹底的に行はれてゐるのは沿岸航路邦船に對する積荷のホイコットで廿八日上海を帆出し臺灣へ向つた大阪商船盛京丸は福州揚子貨物を一噸も積載せぬと言ふ奇現象を呈した、又廿九日揚子江上流方面よりの電報によると目下中航中の日清汽船の定期船は支那人乗客は固より無潮附近で積み込まれる筈であつた小麥其他の雜穀類までが支那人汽船又は外國汽船に積換へられ爲に同船は殆んど空船同様で下航を續けてゐる由である

邦人を不法逮捕
漢口(二二) 當地居住の桐原洋行主桐原松治(四〇)は本日正午租界外新興街の支那人使用人宅を訪問した所突如支那人六名に逮捕され青龍刀、拳銃等脅迫された上警備司令部第一團第一營に連行された後五時漸く我が警察に身柄を引渡された

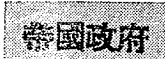
重慶婦女引揚決定
漢口(二三) 重慶居留の邦人婦女十は全部引揚げに決定した

山東邦人引揚勸告

濟南(二三) 事態緊急に來つたので有野總領事は廿九日朝我が在留婦女の引揚勸告を爲すに決し管下の博山、張店各領事分館に對してもこの旨通達し一方青島總領事館に對し避難民收容所の開設を依頼し一方膠濟鐵路當局に對し避難民輸送の手配を爲した

在支邦人概數
政府は北支事變の險惡化に伴ひ在支邦人の保護に關し萬遺憾なきを期し出先當局を奮勵してゐるが外務省所轄公館の調査報告による四月一日現在在支主要都市在留邦人の概數は左の如くである
△張家四一六△張北一七三△北平四〇二△天津一一、四〇九△唐山八一三△古北口二八一△塘沽二七六△灤縣七七四△山海關二〇八△四〇四△秦皇島六二八△昌黎四〇三△芝罘四九九△龍口一一一△威海衛二二五△青島一三三、一七三△濰縣六〇二△四方一、一六〇△滄口一、三二一△水清溝四二七△坊子一、四一四△濟南二、〇四九△張店二六八△周村一三、七〇四△青州五三、〇四九△濰川三、五〇〇△上海二六、二七〇△蘇州七、七〇四△杭州四四、〇四九△南京四二、二〇四△江一三、〇〇〇△九江七、一〇〇△南昌五、〇〇〇△漢口一、七三三△漢陽五、〇〇〇△大冶二、二〇〇△武穴一、〇〇〇△鄭州一、〇〇〇△長沙八、七〇〇△沙市一、〇〇〇△宜昌八、九〇〇△重慶二、六〇〇△福州一、九〇〇△廈門七、一五〇△鼓浪嶼七、六三三△汕頭六、〇〇〇△廣州沙面を含む五七、五〇〇△雲南四、六〇〇△香港一、六〇〇

閣僚狀況聴取
政府は廿九日午後二時閣會終了後院內大臣室に近衛首相以下閣僚參集し杉山陸相から北支事變の戦況に就いて説明を聴取した



海軍省副官談

廿九日午前十時海軍省に着電した海軍最初

海軍省副官談

今朝八時十五分大活に於て我艦逐艦は

官吏慰問金釀出決定

政府は廿九日正午院内大臣室に事務次官

一 高等官同待遇並に列任官同待遇の釀

二 前項以外の各職員にして特に釀出す

三 釀出は速かに適宜各處に於て取纏め

四 前項釀金の各方面への配分慰問方に

海軍各次官に一任すること

國民支授

統後聲援愈々強し

廿九日の陸軍省には開門前早くも獻金者

支那佛教徒に勸告

抗日派の暗躍に迷はされた支那は國を擧

勸告書

一 皇國日本は斷じて支那四億の無辜の

産組諸機關聲明

産業組合中央會ははしめ中金、全購聯、絲

聲明書

今次北支事變は支那側の不誠意なる挑戰

海外動向

英閣議日支問題討議

ロンドン【ロニニ】 英國政府は廿九日全員

聯盟提訴の問題

ロンドン【ロニニ】 イーデン英外相は廿九

次で労働黨首領クレメント・アトリー少

極東の情勢は滿洲事件當時と同様の不

英閣も靜觀方針

ロンドン【ロニニ】 北支事變に對する英國

したか

と質問した、之に對しイーデン外相は

英國も靜觀方針

ロンドン【ロニニ】 北支事變に對する英國

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と答へた、最後にアトリー労働黨首領は

明州の質問時間において更に支那問題

につき質問する旨通告した

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と答へた、最後にアトリー労働黨首領は

明州の質問時間において更に支那問題

につき質問する旨通告した

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と答へた、最後にアトリー労働黨首領は

明州の質問時間において更に支那問題

につき質問する旨通告した

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と答へた、最後にアトリー労働黨首領は

明州の質問時間において更に支那問題

につき質問する旨通告した

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と答へた、最後にアトリー労働黨首領は

明州の質問時間において更に支那問題

につき質問する旨通告した

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

との質問に對し外相は

これら問題については充分考慮して

ある

と答へた、最後にアトリー労働黨首領は

明州の質問時間において更に支那問題

につき質問する旨通告した

と引續き自由黨議員ジオフレイ・マンダ

1氏の

政府はケロッグ不戦條約及び九ヶ國條

約締結の間でこの問題を協議する事

につき考慮したことがあるか

務長官及び無任所大使ノーマン・デーヴ
イス氏をホワイト・ハウスに招致し對策
を協議した、會談後ハル長官は新聞記者
團に次の如く語つた

極東の事態は依然重大である、然し目
下の所々獨政府としては別段特別の措
置に出る意圖はない、政府は目下米國
居留民の引揚計畫を考慮中だが愈々引
揚げるとなれば北平の外天津をも含む
こととなり、何れにせよ大規模の引
揚げは未だ未だ研究の段階を出でない
ワシントン(三) ルーズヴェルト大統
領とハル長官デーヴイス大使との會談に
つき一部では早くも政府當局が中立法發
動問題を現實に考慮中と傳へて居るがハ
ル長官は單に朝報を齎して大統領に報
告したに過ぎず、協議の主要題目は天津地
方居留民保護手段又は引揚問題であつた
と信ぜられる、但し何れも事態最悪化の
場合を限定しての話で米國官邊でも今回
の日支紛争は双方の面子問題が絡つて居
るものと見て居り、中立法發動問題も喧
しく論議されて居るものゝ今迄の所見て
「若し斯うなれば」といふ條件附の話に過
ぎず現實の問題にまではなつて居ない

國務省へ公電
ワシントン(三) 米國政府は北支の戰
禍擴大の報に居留民の安危を氣遣つてゐ
るが廿九日國務省へ達した公電に依れば
北平に於ける米國居留民は北清事變當時
の如き事態が發生しはしないかと非常な
恐怖に變はれ大多數は大使館へ避難し陸
戦隊の保護を受けてゐると、但し十名乃
至十五名の居留民は依然自宅に留まつ
てゐると言はれる、國務省は成行を注視
し萬一に備へてゐるが餘程重大な事態が
發生しない限り北平の居留民を全部撤退
させるやうなことはほしう積りだと言つ
てゐる

中立法發動は尙早

北支の情勢悪化と共に
米國政府内部の一部並に議會方面に於
て中立法即時發動の急進論が擡頭し當局
に其の實行を迫つてゐるが上院外交委員
長キー・ピットマン氏は廿九日中立法の
早急なる發動は政府の平和的意圖に反す
る旨を強調し左の如く聲明した

中立法の早急なる發動はルーズヴェ
ルト大統領の平和的努力を悉く水泡に歸
せしめ支那に於ける米國市民の生命を
危險に陥れる、平和的人道的努力は黨
派や政府の如何を問はずに性急な行動に
よつて阻害さるべきではない、中立法
は條約ではない、又如何なる國をも善
し又は利益する爲に制定されたのでは
ない、米國自身の平和と市民の安定を
保護するのが其の唯一の目的なのであ
る、若し大統領が中立法を發動した直
後日支兩國が休戦を宣言したら大統領
は中立法の精神を過つたこととなり中
立法發動の爲支那に於ける米國市民の
生命は重大危險に曝されるだらう

中立法と日支貿易

北支の形勢重大化
ニニューヨーク(三) 北支の形勢重大化
に鑑み米國政府は近く中立法を發動する
やも知れずとの報道は米國の對日支貿易
業者に多大の衝動を興へいづれも今後の
成行を憂慮してゐる

對日輸出業者の見解の通り

△對日輸出業者の見解の通り
若し中立法が發動されたら日本政府の
米國會社に對する大量の機械類工場設
備品等の注文は取消されることとなる
だらう、尤も日本の注文は昨年程多く
ないが注文が取消されることとなれば
米國の輸出業者や工業家に對する打撃
は相當に大きい
△對支貿易業者の觀測次の通り

對支輸出は對日輸出に比すれば少額だ
が通商が杜絶すれば殆ど各方面の業界
が影響を蒙るだらう、而して中立法發
動によつて利益を受けるのは日本で損
害を蒙るのは支那である、蓋し輸出の
禁止されるのは武器及び戰爭器材であ
るが食料品、工業機械及び普通の品物
は「現金取引、自國船輸送」の方法で
輸出が許可されるだらうから強大な海
軍力と輸送能力を有する日本は支那程
痛痒を感ぜないからである

因みに國務省の調査によれば北平及天津
地方に於ける米國の商業投資額は約二
千五百萬弗で其大部分は天津にある

米軍軍専門家は樂觀

ワシントン(三) 米國政府筋では戰禍
が天津へ擴大し蔣介石が全國民に對し挑
戰的宣言を發したため再び成行を憂慮
してゐるが軍専門家は將に積極的戰意
なしと見左の如く觀測してゐる
支那は武器特殊に重砲、戰車、飛行機等
を充分に持つてゐないから戰爭を擴大
し得ない立場にある、従つて蔣介石に
天津方面で積極的に日本軍に抵抗する
意思がありや否や相當疑問で蔣介石は
日本軍が南下して來ない限り宣言を實
行しないだらう

支那大使會談

駐佛顯維約、駐ソ游廷
ロンドン(三) 駐佛顯維約、駐ソ游廷
敵の兩支那大使は廿八日突如ロンドンに
到着支那大使は於て駐英大使郭泰祺氏
及び滬英大の南京政府財政部長孔祥熙氏
と會合し秘議を遂行してゐるが支那側情報
によれば英米佛ソ四國政府に對し從來の
如く單獨行動でなく協同して對日干渉を
行ふやう要求する爲情報を持ち寄り
てゐると言はれる、同會合に於て外國か
らの武器購入の件及び日本が支那沿岸を

封鎖した場合これらの武器を支那國內へ
持ち込む手段についても協議を行つたが
結論に到達しなかつたと言はれる

北平中心情勢

支那側和議旋流を依頼
天津(三) 支那側は我が
猛威に耐えかねて廿九日
夕刻領事團主席ベルギー總領事に對し和
議旋流方を依頼した、支那側の和議條件
は双方兵力を事變前の状態に復すること
を提言したもので之に對し我方は徒に事
を好むものではないが支那側の誠意が果
してどの程度のものか我を納得せしめる
に足るものがあるかどうか頗る疑問と見
てゐる

遁入卅八師を砲撃

酒井部隊は空軍と相呼應し
北平(三) 酒井部隊は空軍と相呼應し
て卅八師を砲撃した、酒井部隊は空軍と
相呼應して卅八師を砲撃した、酒井部隊は
空軍と相呼應して卅八師を砲撃した、酒
井部隊は空軍と相呼應して卅八師を砲撃
した、酒井部隊は空軍と相呼應して卅八
師を砲撃した、酒井部隊は空軍と相呼應
して卅八師を砲撃した、酒井部隊は空軍
と相呼應して卅八師を砲撃した、酒井部
隊は空軍と相呼應して卅八師を砲撃した

三千名武装解除

本日午後三時より市内栴檀
北平(三) 本日午後三時より市内栴檀
寺兵營に於て逃遁した支那兵三千名の武
装解除が行はれた、右は廿六日夕刻廣安
門に於て日本軍に對し許し難き慘虐な攻
撃を行つた部隊である、總員三千名は栴
檀寺の營廷に整列せしめられ武器は少し
離れた所に小山と積まれてゐる、日本側
は中島中佐が廿九軍の周參謀の先導で
各部隊を綿密に點検し終つたのは午後六
時丸腰になつた卅七旅は當分の兵營
に起居するが今後の處置に就ては日本側
で目下考究中である

各國大使館感謝

各國大使館では今次事件に
北平(三) 各國大使館では今次事件に
際し大使館區域は勿論北平城内が戰禍地
域とならず極めて人心の安定を見てゐる
のは日本軍の機意を得た善後處置による
ものと深甚なる感謝の意を表してゐる

北平治安維持會成立

治安維持會は卅日午後二時
北平(三) 治安維持會は卅日午後二時
より全員參集發會式を舉行引續き第一回
協議會を開く事となつた、委員は市政府
各局長、商總會、銀行公會、新聞界、有
力自治團體並に在野の名士より夫々六名
總計凡と四十名より成り委員長には江朝

河邊部隊は本日午後三時長辛店及びその
附近の高地を占領せり
卅九旅投降
北平(三) 北苑にある陸元武の獨立第
卅九旅は卅日午後五時今井武官を通じて
我方に對し敵意なき事を申出たので我
方は適當なる處置を執る事となつた
三千名武装解除
北平(三) 本日午後三時より市内栴檀
寺兵營に於て逃遁した支那兵三千名の武
装解除が行はれた、右は廿六日夕刻廣安
門に於て日本軍に對し許し難き慘虐な攻
撃を行つた部隊である、總員三千名は栴
檀寺の營廷に整列せしめられ武器は少し
離れた所に小山と積まれてゐる、日本側
は中島中佐が廿九軍の周參謀の先導で
各部隊を綿密に點検し終つたのは午後六
時丸腰になつた卅七旅は當分の兵營
に起居するが今後の處置に就ては日本側
で目下考究中である

宗、當務委員には冷家驥、呂均等六名が推される事となつた

北平各機關代表並に名士を網羅する地方自治會では卅日午後二時半會長江朝宗等に於て各委員出席の下に創立總會を舉行した、自治會は「北平の治安は北平市民の手で」のモットーにより本日より新政權が生れるまでの過渡的機關として北平内外の治安維持の責任を負ふものである

地方維持會即日執務開始

北平「七」北平の名士江朝宗を主席に商會、銀行會代表冷家驥、鄒景濂、自治團體代表呂均を始め其他文化團體代表等北平地方民間團體の主なるものゝ代表を網羅し便に公安局長陳繼濤、秘書長周履安等を加へた委員によつて卅日成立した北平市地方維持會は取敢へず内部を整備し煙草公安局に看板を掲げ即日執務を開始し治安の善後處置に當ることとなつた尙當務委員は江朝宗、冷家驥、鄒景濂、呂均、周履濤、梁亞臣の六氏で更に必要に應じて一兩名の増員ある筈である

通州兵變

通州保安隊變遷

天津「七」(天津軍司令部卅日午前十二時分發表)

一 通州の我が守備隊を攻撃中なる敵は冀東保安隊第一、第二大隊の變返りたるものゝ如く我が増援隊は目下同地に急行中なり

二 塘沽方面に於ては昨夜午後六時頃我が守備隊及び冀東保安隊は白河を強行渡河し大沽方面の敵に對して海軍の適切な共同の下に敵を攻撃中なり

三 昨日來の東站附近兵の戦闘に於て我

が方の戦死將校二名兵四名、路警一名にして敵の死傷は目撃し得るのみで二百を下さるものゝ如し

叛亂軍再爆發

天津「七」(卅日午後九時半駐屯軍司令部發表)

通州方面の敵に對しては廿九日夕刻我が飛行機出動し爆發を加へたり、該敵は其の後攻撃を中止して通州北方の教導學校附近に集結し居れり、本日我が飛行機は再び該敵を爆發せり、我が増援隊は今夕通州に達せるものゝ如し、本戦闘に於ける我が軍死傷者左の如し

敵汝耕僅在

北平「七」(午後九時半北平武官發表)

廿九日以來行方不明にして生死の程を憂慮せられてゐた冀東政府長官汝耕は某處に健在なり

天津清掃續行

天津敵軍又も攻撃開始

天津「七」天津は一時平靜に見えたが卅日午前零時卅五分頃敵は又も我に對し砲撃を開始した

天津「七」晝間我方の積極的活躍により汝耕を保安隊と張自忠軍は警備隊の手薄の間隙を狙つて租界採取に餘念なきものゝ如く彼方此方で警戒線を突破せんと企てつゝあり、我方は豫備警備配置に

ついた

我軍應戰

天津「七」卅日午前二時頃天津東站及び總站の中間に於て保衛團が警戒中の我が軍に對し突如射撃を加へたため兩軍衝突し日銃砲聲に響き渡つてゐる

午前六時小庫狀態

天津「七」保衛團は張自忠第卅八師の改編部隊で市内警備に當つてゐたものでその數約二千、天津日本租界境界線附近は廿九日深夜より卅日拂曉にかけ敵の小部隊が盛んに出入りし銃砲聲が絶えず聞えたが午前六時漸く小庫狀態となつた

駐屯軍司令部發表

天津「七」(支那駐屯軍司令部午前七時發表)

一 通州は昨廿九日早朝より約一箇大隊の敵の攻撃を受け守備隊頑強に抵抗し持續し現在依然同地を固守しあり、負傷者相當ある見込

東站に入れ

天津「七」(支那駐屯軍司令部卅日午前九時發表)

鐘紡の公大第七砲守備隊は昨日より優勢なる敵の攻撃を受けたが守備隊は頑強に抵抗し今朝遂に之を撃退せり、敵の遺棄せる死傷は連日以下凡八十その他死傷者多數ある見込なり、敵砲兵將多數にして邦人從業員等異状なき模様なり

西沽一帶占領

天津「七」(支那駐屯軍司令部午前十一時半發表)

一時半發表) 海軍よりの通報によれば我が大沽攻撃部隊は午前十一時西沽一帶を占領せり

天津戰死傷者

天津「七」(支那駐屯軍司令部午前十一時半分發表)

七月廿八日夜間より同廿九日に至る天津市外周圍の戦闘に於ける戦死傷者は左の如し

- △戰死 九
△戰傷 廿二
尙戰死者中には九山輜重兵中佐あり

李文田行方不明

天津「七」(支那駐屯軍司令部午前十一時半分發表)

天津警察廳長にして第卅八師副師長李文田は秘書を帶同昨夜深夜行方不明となりしものゝ如し

大沽完全占領

天津「七」(支那駐屯軍司令部卅日午後三時發表)

一 塘沽部隊は引續き大沽の敵を攻撃し午後一時半完全に大沽を占領せり

支那街に砲撃猛烈

天津「七」支那街には尙は敵殘兵、便衣隊潛入し居り我方に向つて發砲し居り、これが掃蕩のため卅日午前九時頃より再び銃砲聲頻りに聞えるが午後二時頃最も猛烈を極めてゐる

駐屯軍司令部發表

天津「七」(駐屯軍司令部午後四時發表)

一 今朝天津防衛部隊は特別第二、第三區の掃蕩を實施中にてイタリ租界より東站地區の間の掃蕩を終了せり

二 日本租界に隣接せる支那街には現在に至るも尙兇惡なる支那兵多數ありて屢々我が租界を射撃しつゝあるを以て我が飛行機は午後三時よりその巢窟たる建物も爆發し地上より歩兵砲を以て協力せり

我が軍爆發續行

天津「七」我が飛行機は本日朝來市の上空を絶えず飛翔し必要の個所に爆發を加へつゝあり、爆發は市中を震撼してゐる、一方全市の交通々信は昨日同様全く杜絶狀態にあり、市中商店はいづれも門戸を閉じ日没と共に凄涼の氣が市内を蔽ふてゐる

天津四周の砲敵爆發

天津「七」日本租界隣接の支那街、東站附近、特別三區、海光寺南方及び南開女子中學附近には尙支那敵殘兵あり、日本租界に向つて發砲乃至陣地の構築してゐるので我軍は卅日午後二時頃より、之等敵殘兵の掃蕩を行ひつゝあり我空軍は之れに呼應して爆發を敢行敵兵は時を経るに従つて掃蕩の實を舉げられつゝある

大公报上海に引揚げ

天津「七」排日の急先鋒として十數年北支言論界を抑へ毒筆を揮つてゐた大公报は時代の趨勢に抗し難く遂に卅日を期し上海に引揚げることとなつた

朝日特派員戰死

天津「七」大阪朝日新聞社特派員岡部孫四郎氏は南苑の攻撃戰鬥中危険を冒して第一線に活躍し頭部に貫銃創を受け

て遂に批烈な戦死を遂げた

高麗營で邦人射殺

承德(七三) 當地御用商人田中熾壽氏(三〇)は去る廿四日物品購入のため河北省懷仁縣高麗營に赴いた所支那保安隊らしき一團から不法射撃を受け即死した、田中氏の死體は廿五日わが〇〇隊によつて收容されたが同方面の住民は續々滿洲國方面に避難して來てゐる

北支の戦況陸軍省電

(卅日午後四時陸軍省電)

一 天津は今拂曉以來戦況逐次平穩に歸しつゝあり、日本居留地と東沽との交通自由となれり、東沽方面の敵は撤退を始め本日午後二時頃東沽東方千メートルの細地に集合しつゝあり、天津飛行場及我が飛行隊には損害なし、天津塘沽間の鐵道は本日開通せり、大沽は敵の大なる抵抗を受ることなく本日午前十時之を占據せり

二 北平市中には第百卅二師の二團及敗殘兵等殘存しありて再び不安の狀を呈しつゝあり

三 北苑北平北方約四キロに對しては朝來擲撃を實施せり

四 鈴木部隊は敵の(北平北方一キロ)附近において敵の一部を掃蕩中

支那中央

外交部長要人談
南京(七三) 外交部長要人は卅日午前昨日の蔣介石の重要談話を中心として左の如き時局談を發表した
中央としては十九日締結

された停戰協定を黙認すべく最大限度の讓歩的態度を示して來たがその後戰局進展し天津の擲撃が敢行され中國國民の損害殆んど堪へ得ざるに至つた、中國としては愈々最後の關頭に立つたわけである、今にして時局に根本的な一大轉換が齎されること無くして引き續き日本の南下進撃が行はれ中央軍亦決死の抗戦を開始するに至らば全面的破局は必然的に誘發されやう、行政院各部(は内外からの激刺電報が引つ切り無しに到着しつゝあり

中央軍北進

南京(七三) 中央軍前敵總指揮陳誠は現に石家莊に在つて蔣介石に代つて河北省にある全中央軍の指揮に當つてゐる

南京(七三) 中央軍の總司令部は石家莊に、前敵指揮司令部は高唐店に進出した

南京(七三) 中央軍は蔣介石の命令一下順德、石家莊、保定一帯にわたり大移動を開始し一部は津浦沿線の馬廠、滄州に向つて前進してゐるといはれる、戰局が更に擴大し日本軍が平漢線に沿ひ南下する場合中央軍は長辛店を第一線に、涿州を第二線に、保定を第三線として日本軍を激撃する作戦と解される

南京(七三) 蔣介石は廿九日保定一帯の中央軍五萬に對し北進を命じ一部先頭部隊は既に長辛店に達し後續部隊も涿州一帯に集結中廿九日軍との共同作戦體形を整へつゝあり

吳鐵城廣東歸省

廣東(七三) 廣東省政府主席吳鐵城は卅日午後五時廣東省列車で南京より歸任したが直ちに第四路軍總司令部に余漢謀、香翰屏等を召集せしめ中央政府の舉國抗日對策を傳達南支防禦に關する中央の命令を傳達したが明卅一日は政界財界各方面の首腦者を招致右の報告を傳へ重要會談を遂げる

支那紙の惡辣排日

漢口(七三) 本卅日の大同日報(省黨部の機關紙)は三井物産支那人社員數名の名前を列記し擲する漢奸を打倒すべしと激越なる記事を書けたので邦人使用支那人に異常の衝動を興へてゐる、又新聞記者公會は日本人の新聞廣告を一切拒絕する旨決議した、且つ商會同胞に忠告すると懸して

一 日本は中國の唯一の敵なり
一日貨を賣買する者は我が同胞を殺すものなり
その他數項目を掲げて排日を煽つて居り當地の抗日風潮は依然惡化の形勢である

潮州の排日深刻

潮州(七三) 潮州に留日本籍臺灣人卅名は華變以來潮州市民の壓迫甚だしく遂に耐へ兼ね廿九日全員汕頭に引揚げた、又汕頭市内には日と共に在留日本人に對する壓迫加はりつゝあり、その大半は既に引揚げ残りの在留民に對しては物資の不實運搬拒否は勿論市商會は食糧、日用品並に水道、電燈の供給の停止を決議する等人道問題にまで及び言語道斷の壓迫に出でつゝあり

濟南邦人引揚勸告

濟南(七三) 有野總領事は卅日午前九時廿分濟南居留民時局委員會長を通じて管下在留邦人婦女に引揚げを勸告した、引揚婦女十六名は卅一日午前八時十分濟南發の特別列車で青島に向ふことになつた

漢口方面情勢海軍省電
卅日海軍に到着せる漢口方面の情況左の如くである

一 本日まで離漢下江せる邦人は婦女子のみにして内大人卅五、小人四十五合計八十名なり
二 現在の情勢にては事件は當地方に擴大せざるべしとの觀測行はる流言のため我が租界より支那人街に避難せし支那人約二百名に達したるも我が居留民は案外冷靜にして男子の引揚げに關しては特に考慮しあらざる有様なり

帝國政府

聖上御軫念
近衛首相は卅日午後四時半宮中に參内したが右に就き政府は午後七時左の如く發表した
天皇陛下には時局を御軫念遊ばされ總理大臣を御名あり、總理大臣は委曲奏上退下された

閣僚疑議

政府は北支事變の進展につれ、之に即應すべき對策樹立の爲め卅日午後衆議院豫算總會再開中院内大臣室に近衛首相を中心に廣田外相、賀屋屋相、杉山陸相、米内海相並に馬場内相等召集し杉山陸相より廿九日夜より卅日に至るまでの日支兩軍戰況を詳細説明重要協議をなした

首相陸相協議

近衛首相は卅日午後五時四十五分宮中より退出後院內總理大臣室に杉山陸相を招き約一時間に亘つて重要協議を遂げたまた杉山陸相は近衛首相と協議後午後六時半より樺津次官を陸相官邸に招致し北支の情勢に基き種々協議を行つた

ペルー武官要呈
ペルー公使館付武官メンドーサ少佐は卅日午前十一時陸軍省を訪問高級副官寺倉大佐と會見同國陸軍の名を以て左の如き意志表示をなした
北支事變における日本帝國陸軍の活躍に對し敬意を表し不可解なる支那軍の抗軍行動を速かに絶滅し東洋平和の速かなる招來と日本帝國々威の伸暢を希望する

國民支援

獻金、獻金、獻金
卅日陸軍省に贈られた恤兵金は七六四件で十萬二千八百卅七圓卅九錢、慰問袋が一七五個、御守一、四三體、千人針五枚、銀紙十九萬五千四百三十三、一方國防獻金は四五七件で十三萬九千二百卅三圓卅七錢、學術技藝獎勵金が三六五件一萬二千三百六十四圓十七錢、これを合計すれば廿五萬四千四百卅四圓九十三錢に達し軍變以來の最高レコードを造つた卅日までの累計二百六十九萬八千九百四十八圓十錢外に獻品の價格が約六萬一千五百圓に達した

「愛國ダヴァオ號」獻納

ダヴァオ(七三) 北支に於ける皇軍の奮闘に感激したダヴァオ日本人會では卅日緊急評議員會を開催、海外在留同胞に率先して軍用機「愛國ダヴァオ」一號獻納を清湯一致決議し直ちに資金募集に着手した

海外動向

英下院最終討議

ロンドン【七三】 イーデン外相は卅日午後下院における最終外交討議において北支の情勢に關する労働黨黨首アトリー少佐の質問に答へ左の如く述べた

極東の事態は昨日下院討議の時より更に悪化した。殊に最近極東に於ける國際協力の目途が今迄になく好轉した折柄として尙更遺憾に堪へない、折角の望みも當分は消失せつた、然し英國政府は極東諸國民の利益のために平和を確保すべきであるとの確信は依然棄てない、各國は敵愾心を去り平和的發展に協力する政策による方が力によつて得るより遙かに多くの利益を得るであらう、英國政府は米佛政府と今後も密接な接觸を保つて行く方針である、先日労働黨議員ヒュー・ダルトン氏は「英國と米國と歩調を合せて行くこと、先走りはしないが米國が進むだけ同じ程度迄同じ歩調で進む可し」と主張されたが余はこの勸告に反對しやうとは思はない、我々の目的は國家間の平和協調促進のため一國政府の力では出来るだけのことを盡すといふにある

ル大統領形勢を注視
ワシントン【七三】 ルーズヴェルト大統領は卅日午後新聞記者團との定例會見において北支の情勢に言及、次の如く述べた

極東の情勢は非常に不穩の様子である余は今週末はホワイト・ハウスに留つて今後の發展を充分注意するつもりである
一方國務省へは在支使臣から刻々情報に到着してゐるが卅日午前二時發北平大使館の報告によれば
北支の形勢は漸次平靜、但し米國居留

民に對し大使館區域外の自宅へかへることは暫く見合す様勸告しつゝありとあり同午前三時發、天津總領事の報告は次の如く述べて居る
天津の情勢は終日平靜、たゞ日本租界境界附近には若干の銃聲ありしのみ

ハル長官聲明
ワシントン【七三】 ハル國務長官は卅日新聞記者團との會見に際し次の如く述べた
一 米國政府は北支の情勢に關し他の外國政府と共同動作を採つたことはいふに
一 ニューヨーク・タイムズ紙は「歐米諸國が北支危險地帯から在留外國人を避難させるため日支兩軍に對し四五日間の休戦を提議し目下交渉中」と報道してゐることだがかかる事實は全く關知せず又かかる噂がどこから出たかも全く臆解し難い
一 北支の情勢は次第に平靜に歸りつつあり在留米國人は他の外國在留民と同様、安全に保護されてゐる旨の公電を接受した

通州兵變
通州敗殘兵武裝解除
北平【七三】 我が援軍の到着により通州より潰走した叛亂保安隊數千は現在北平安定門、德勝門の城外に集合し全く職意を失つて居るが隊長も失踪した爲め四分五裂の狀態となり現在迄に武裝を解除されたもの約一千名に達して居るがその他は武裝の儘北平に入城する恐れがあるの情勢は尙危險である
北平【七三】 一時通州を混亂状態に陥れた冀東反亂保安隊は北平城内に遁入せんとしたが城門閉ざれて果す安門外で全く進退谷まり卅日夜六百、卅一朝四百合計一千名の保安隊は我軍の手により武裝を解除された

北平市内平靜
北平【七三】 北平市内は漸次平靜に歸しつゝあり、居留民に異常なし
居留民に病人續出
北平【七三】 籠城中の居留民は不順な時候と慣れない生活の爲め病人が續出して居る、卅一日現在の患者數は日鮮人總計八十名に達し内傳染病患者十二名(猩紅熱、赤痢)を算ふるにいたり極力防疫に努めてゐる

保安隊城外脱出企圖
天津【七三】 情報によれば北平保安隊の一部は北平西方郊外に脱出せんとしたが卅日正午我が一部隊のため邀撃され再び北平城内に遁入した、守備隊並びに居留民とも卅日以来異常はない

通州兵變
通州兵變
通州兵變

居留民救援準備
北平【七三】 通州慘虐事件が漸次事情判明するに及び北平日居留民は通州にある家族や知人の安否を氣遣ひ飯もろくに喉に通らず或は大使館に或は憲兵隊に問合せのため殺到してゐる、卅一日日居留民會で通州救援を議決派遣の議が起るや希望者が忽ち數百名に達した、通州に通ずる朝陽門外にはなほ多數の通州敗殘兵があり時期尙早と見て待機中である

叛亂保安隊殲滅
天津【七三】 (支那駐屯軍司令部午前八時十分發表)
一 奈其部隊は卅日午前十四時四十分五臺等(北平西北方約四キロ)に於て既に叛亂したる冀東保安隊約三百と衝突し之を擊破せり、敵の遺棄死體は約百五十にして小銃九十輕機關銃十一を擧獲せり
二 長辛店方面の敵は疾風の如く遁走し、目下長辛以北に敵を見す

通州兵變我軍損害
天津【七三】 廿九日通州に於ける戦死傷者左の如し
△山田部隊
戦死 輜重兵伍長 杉山 勇
同 輜重兵伍長 堀尾 英治
同 輜重兵上等兵 立外 末夫
同 輜重兵上等兵 越山 雪夫
同 水木 喜七
同 須田 七郎

居留民兵營に收容
北平【七三】 情報によれば通州在留邦人は戸毎に保護を受け相當多數の犠牲を蒙つた模様であるが卅一日午後十一時迄に判明したところでは日本兵營に收容され健在なる者五十名あり他は目下不明である、尙保安隊の反亂後一時斷水した水道は既に回復給水してゐるが電燈は未だ灯つてゐない

通州事變勃發經過
天津【七三】 廿九日の通州保安隊叛亂は計畫的に敢行されたもので事前の不穩の形勢があつたので股隊長官は親兵の手薄を感じ朝鮮から増援の保安隊を呼び寄せたがこれ亦くつたとなつて廿九日未明天津に事件が起つたのと相前後して總勢四千名(説に六千名位と傳へらる)が冀東政府特務機關、野戰倉庫、近水樓四ヶ所を目標に叛亂行動に出たものであつた、守備隊は辛うじて安全であつたがその他は兵力と警備が手薄であつたためにこの慘事となつたものである

通州兵變我軍損害
天津【七三】 廿九日通州に於ける戦死傷者左の如し
△山田部隊
戦死 輜重兵伍長 杉山 勇
同 輜重兵伍長 堀尾 英治
同 輜重兵上等兵 立外 末夫
同 輜重兵上等兵 越山 雪夫
同 水木 喜七
同 須田 七郎

通州兵變我軍損害
天津【七三】 廿九日通州に於ける戦死傷者左の如し
△山田部隊
戦死 輜重兵伍長 杉山 勇
同 輜重兵伍長 堀尾 英治
同 輜重兵上等兵 立外 末夫
同 輜重兵上等兵 越山 雪夫
同 水木 喜七
同 須田 七郎

同 澤邊 茂香
 重傷 輜重兵一等兵 石原勇四郎
 同 鈴木 源助
 輜重兵一等兵 牧野 徳一
 同 山田 民郎
 二等兵 佐藤 道夫
 戰死 通州憲兵隊分遣隊長准尉
 松村 清
 井谷 元

△長谷川部隊
 重傷 主計大尉 大村 高良
 歩兵一等兵 鎌田 一馬
 △葦島部隊
 重傷 歩兵二等兵 廣友 鐵男
 輜重兵一等兵 廣友 鐵男

冀東政府長官決定

天津(七・三) 冀東防共自治政府長官股汝耕は叛亂保安隊のため拉致せられその職務を遂行する能はざるにいたつたので卅一日秘書長池宗墨氏が長官代理に就任する事に決定した、同氏は卅一日午前右に開し左の如く語つた

冀東の治政は一刻も忽せに出来ない、私は股長官に代つて直ちに職務を代行する事となり一兩日中に通州に赴いて就任の考である、私の施政方針は冀東の標榜する防共を中心とするものであるが現下の情勢では先づ冀東の治安を眞先に確立すると共に民衆に對して日本を絶対に信頼せよと民衆工作に重點を置く決意である

天津(七・三) 冀東防共自治政府長官股汝耕が拉致せられると共に冀東政府天津辦事處では卅一日午前池宗墨代理長官を始め首脳部參議廳各對策に就き重要協議を爲すと共に池代理長官は一兩日中に通州に赴き職務を代行することゝなつた

股汝耕氏謹慎

北平(七・三) 其所に遊脚健在の前冀東政府長官股汝耕は今回の通州事件に關して北平日本居留民會特別委員會今村議長を通じ「日本人に對し非常な迷惑をかけた事は責任者として實に遺憾に堪えず」との旨を述べ痛く恐縮して謹懐中である

天津狀況

拂曉又砲聲股々
 天津(七・三) 午前四時半頃より我が軍は支那側陣地に向け一大攻撃に轉じ同五時はには砲聲股々として曉を破り全市を震はせてゐる

駐屯軍司令部發表

天津(七・三) (支那駐屯軍司令部午前八時發表)
 卅一日午前五時頃より在天津高木部隊は總站附近鐘紡工場地區の敵を攻撃中

公大廠支那軍四散

天津(七・三) 今朝五時過より我が高木部隊は總站方面に進出公大第七廠(鐘紡)附近に集積する支那軍に猛烈な砲撃を加へ大打撃を與へ敵は四散した

天津(七・三) 廿一日午前十時半頃天津襲撃の敗殘兵が便衣隊と協力東站と總站間の公大第二廠を再び攻撃して來たので我が警備兵は増援隊と協力して之に攻撃を加へ午後四時頃擊退目下北方に追撃中である、此の戦闘に於て義勇隊以大倉組兒玉榮兵(香川縣人)は遂に戦死し公大第七廠警備員の乃木忠則氏及び兵一名は負傷した

支那軍鐵路破壞

天津(七・三) 天津、塘沽間は廿九日午前

以來汽車不通となつたが右は軍糧城、塘沽間で支那軍がレールを取外したので通常旅客列車が險難折衝なつて顛覆した爲で現場は機關車客車など無残にも大破し内外人三名は即死、重傷者六十名を算し支那軍の暴逆その極に達してゐる、同區間は卅一日午前九時に至つて復舊し同日午後以來天津、塘沽間の交通回復し増援隊も無事天津に到着してゐる

市内不逞分子掃蕩

天津(七・三) 我が軍は卅日朝來天津市内に蟄居せる抗日不逞分子の掃蕩に着手したが卅一日正午迄に完了せるものは一 日本租界に接續せる三不管一帯
 一 東馬路から白河岸に亘る宮南、宮北一帯
 一 車站を中心とする附近一帯
 一 特別第二區舊オーストリア租界方面一帯

等であつて引續き○○方面の掃蕩をなすつゝあり之等掃蕩工作は卅一日中に概ね完了の見込で尙白河岸の近郊一帯には相當數の正規兵が居る事が判明した

天津戰我軍戦死傷者

天津(七・三) 廿九日午前二時より天津に於て開始された第廿九軍陣營攻撃戦における我軍戦死者左の如し
 一 廿九日午前三時南開大學附近における戦死傷者
 △戦死者 一等兵 松井 忠夫 (川岸部隊)
 △重傷 軍司令部通譯 淺井 誠一
 △輕傷 上等兵 森本 孫平
 一等兵 寺下 君治
 同 久原 三郎

(以上川岸部隊)
 二 廿八日夜間より廿九日に亘る天津東站到於ける戦死傷者
 △戦死 輜重兵中佐 丸山 力男
 歩兵少尉 深見 望 (以上川岸部隊)
 歩兵上等兵 増尾 政雄
 歩兵一等兵 三浦 雅美
 同 茂木 繁夫 (以上葦島部隊)
 特務兵 兒玉 武雄 (安達部隊)

△負傷 工兵上等兵 鳥木 政治
 同 若木 正雄 (以上安達部隊)
 同 中山 敏雄
 工兵一等兵 松尾 次郎 (以上南雲部隊)
 同 竹岡 鶴雄
 同 丸見 徳治 (以上安達部隊)
 歩兵一等兵 川合 正夫 (南雲部隊)
 同 假山 敷一 (安達部隊)
 同 特務兵 石黒 徳一
 同 特務兵 神吉 潔 (以上安達部隊)
 同 司令部通譯 尾形 輝雄 (以上安達部隊)

三 廿八、廿九日の中日學院附近の戦死傷者
 △戦死 砲兵一等兵 江崎 竹雄 (細川部隊)
 △負傷 砲兵上等兵 今井 弘
 同 三輪 保夫 (以上細川部隊)

歩兵一等兵 中瀬 辰三 (鯉谷部隊)
 天津(七・三) 廿九日午前二時過我が軍用列車が天津に向け出發した後廿九軍の敗殘兵約二百名が襲來信號所に放火したが右戦闘で我が軍は次の戦死傷者を出した
 △戦死 工兵一等兵 梶田 利直
 同 野崎 彌一
 △負傷 工兵伍長 小林 徳高
 工兵一等兵 岩井治三郎

天津治安維持會組織
 天津(七・三) 天津に於ては事變發生以來市内の治安維持に關し各方面の有力者間に密々協議を進めてゐたが愈々市各界人士を主體として天津市治安維持會を組織するに決定委員長に高凌霨氏を推し一兩日中に正式成立を見る運びとなつた、高凌霨氏は曹錕大總統の下に國務總理を勤めた外北京政府の各要職に歴任した直隸系の要人で當年七十、天津地方に於て信譽厚き老政治家である

一般狀況

永定河左岸掃蕩完了
 天津(七・三) 卅一日朝までの情報による
 一 既に全般的に見て永定河左岸地區の敵部隊は大體掃蕩了した
 一 獨立第廿二師長李致遠は殘兵を率ひ津浦線沿線馬廠(天津西南方)附近に退却した
 一 第卅八師副師長李文田は卅日夕刻より殘兵を纏めて馬廠附近に到着した、又同師の第百十二旅長黃維綱も馬廠に

向行退却中である

支那軍隊退却

天津(七三)

一 我軍各部隊の猛烈な攻撃に支那軍は各地において大打撃を受け潰滅逃走目下永定河左岸には敵の大部隊なし

二 第卅八師第百十二旅長黃維綱も馬廠方面に退却中

三 同第百十二旅の二百廿三團は潮宗橋以西の地區へ、第二廿四團は天津東南方小站方面へともに移動中

平漢・津浦沿線情況

天津(七三) 柴田部隊の空中偵察によると平漢、津浦兩線方面の支那軍情況は左の通りである

一 平漢線 良鄉以南保定間に約卅箇列車が北進中である、なほ右軍用列車中涿州附近二箇列車徐水南方の一箇列車保定方面の一箇列車に對して我が飛行機は爆撃を加へた模様である

一 津浦線 滄州附近の五箇列車、靜海驛の一箇列車及び兩驛間に北上列車を發見した、なほ空軍勢力は隴海線方面に主力を置いてゐるものゝ如くであるが平漢、津浦兩線主要地にも飛行機を急設中で爆撃、ガソリンの貯蔵を行ひ濟南附近には空軍活動の諸設備を完了した模様である

我軍保定騷擾

天津(七三) 保定方面における中央軍の集結の實狀を偵察した我飛行機は卅日午後保定に一箇列車が停車してゐるのを發見之に爆撃を敢行した、なほこの爆撃によつて保定驛は火災を起した

支那部隊狀況

天津(七三) 卅一日の支那部隊に關する情報左の如し

一 徐州東方宿遷附近駐屯の中央軍獨立第四十四旅長張華堂は廿九軍援助の爲北上の模様

一 河北省南部山東省境よりの第卅八師の百十四團は天津南方約七十支里の蕪莊附近に北進し、張自忠の指揮下に入つた

一 宋哲元は病を稱して下野廿九軍は滬治安が指揮に當つてゐる

敗殘兵線破壊に出沒 天津(七三) 廿九軍の敗殘兵は廿九日午前二時北寧鐵路鐵橋爆破工作を開始した北寧線天津落後楊州と郎坊中間間は廿數ヶ所破壊された、我が軍が之を修理すれば後から破壊して行き我が軍の砲撃に會へば高粱畑に逃げ込み隙を見ては又現はれ列車の運行に非常な妨害を興へてゐる、我が警備隊は寡兵よく配備に當つてゐるが北倉驛附近で工兵上等兵日高弘は戦死し兵三名は行方不明となつた

郎坊戰鬪死傷者 天津(七三) 敗殘敵兵六百名は廿八日午後三時頃郎坊驛附近に集結喇叭を吹奏して三方から襲來したので我軍は直ちに應戦之を撃退したが左の戦死傷者を出した

一等兵 倉茂 某 末廣 外七名 二等兵 新湯千之助 原田 潔 外數名

△負傷 一等兵 新湯千之助 原田 潔 外數名

支那中央

汪精衛南京へ

上海(七三) 廬山談話會を主體とする汪精衛は北支時局の激變により昨卅日午後離山急遽南京に向つた

南京(七三) 汪精衛は卅日午後二時廬山を出發軍艦水綫號にて下航し卅一日午前十一時四十分南京に歸還し先づ自邸に落着いた

汪精衛重要密議

南京(七三) 汪精衛は本日午後零時十五分軍官學校の官邸に蔣介石を訪問北支時局につき前後三時間に亘り第三者を交へず重要協議を行つた

國府最高首腦部會議

南京(七三) 國民政府首腦部は汪精衛の歸京を迎へ卅一日午後四時半から軍事委員會々議室に會合北支問題の緊急對策につき重要協議に入つた

臨機應變措置蔣に二任

南京(七三) 國民政府最高首腦部會議は卅一日午後四時より軍事委員會々議室に於て國民政府主席林森司會の下に開會蔣介石、汪精衛、軍政部長何應欽、監察院長于右任、立法院長孫科、海軍部長陳紹寬、鐵道部長張公權、張群其他出席蔣頭汪精衛起つて

今や國家民族危急存亡の秋なり、飽く迄既定方針に従つて邁進すべし、如何なる困難をも如何なる抵抗をも排して進み一致して國難に赴くあるのみと述べ次で廿九日發表せる蔣介石の時局對策聲明に對し滿腔の支持を表明すれば各員之に賛意を表明左の三項より成る決議を選擇した

一 黨、政、軍の三機關に對し全國的戰時態勢を實施す

二 軍事、内治外交其他國家の大事と軍機に關する臨機應變の措置を舉げて蔣介石に一任す

三 汪精衛は中央政治委員會主席として當時黨、政の最高領袖たる責に任す

蔣軍務に専念

南京(七三) 本卅一日の國民政府最高首腦部會議に於て軍務は蔣介石に一任し黨務は汪精衛を最高の責任者とするに決定したが右は未だ正式に發命を見ざるも戰時體制下に於ては蔣介石は軍務に専念する爲に實質的には行政院長の職務を汪精衛に委任したるものとして注目される、或は近く汪精衛が正式に行政院長に就任するのではないかと見られる

中央平津死守を電命

南京(七三) 北平治安維持會の成立と翼察政府委員張自忠の委員長代理に南京側は極度の疑心暗鬼にかられてゐる、即ち前者が地方自治政權の前提と見做し後者は事實上一北支の獨立的政權に逆發展するのではないかとの疑念から中央側は早くも馮玉祥及び北平にある熊斌など舊西北系人物などを通して盛んに裏面工作を施し之が籍絡に狂奔しつゝあり何應欽は卅日張自忠に宛て

平津は河北の樞紐にしてその存亡は關係する處大なれば黨國に忠實なる貴下は刻下の危急に對し全力を擧げて平津を死守せよ、援軍は既に間近にあり軍費彈藥は希望通り輸送すべしと打電した

保定で軍事會議開催

南京(七三) 廿九軍並に中央軍將領は卅一日朝保定で緊急軍事會議を開催廿九軍から宋哲元、馮治安、秦德純、陳繼堃、中央軍代表として陳誠、徐永昌、陳誠、徐源泉、孫連仲、熊斌等出席し陳誠は蔣介石の代理として軍事委員會決定の作戰方針を傳達し抗戰計畫と各軍の兵力配備を決定した、尙徐永昌は會議終了と同時に閻錫山、傅作義に中央の畫策を傳達する爲め太原に向つたと

宋を前敵總指揮に任命

南京(七三) 軍事委員會は卅日附で宋哲元を華北前敵總指揮に任命即日就任を命じた

韓復榘中央將領と會見

濟南(七三) 韓復榘は卅日密かに徐州に赴き劉峙、胡宗南等中央軍將領と抗日軍事重要協議を行つた、韓は一日濟南に歸任するが右會議の結果今後濟南線並に青島等の防備を擔當し津浦線の防備は舉げて中央軍に委ねる事になつた模様である

中央軍進出

南京(七三) 中央軍の先鋒部隊は卅一日拂曉長辛店南方十七軒の琉璃河に入つたと傳へられる、同部隊が更に北上する場合には日本軍との衝突は殆んど不可避と見られる

濟南(七三) 鐵道によれば約三千の中央軍は五ヶ列車に分乘多數の軍需品を満載して昨夜濟南津浦線驛を通過北上し今朝青州に到着したと、尙同方面には既に龐炳勳軍が幹線を迂回して到着してをり津浦線北段は極度に緊張してゐる

南京(七三) 蔣介石直系の精銳第卅七軍長毛炳文は蕪湖領事發生と共に陝西方面にあつた麾下部隊に待機を命じてゐたが北支の軍事重大化に鑑み近く西安から南京に飛び蔣介石と會見指令を受けた上

隴海線より麾下の部隊を河南省へ東進せしむることとなつた

鐵道對外輸出禁止

上海稅關は卅日付を以て鐵道、鐵塊、鐵棒、鐵板等は内外製を問はず滿洲國及び大連を含む外國への輸出を禁止する旨布告した

英支鐵道借款

孔祥熙がイギリスとの間に七百萬ポンドの鐵道借款に成功したことについては當地官場でもこれを認めてゐるが右は英支借款の第一期分をなすもので時局懸念からイギリスは金融借款乃至財政借款をこの際懸念の態度に出た結果とありあえず孔祥熙の對内の面子の問題もあつて一部材料借款の成立を見るに至つたものと解されてゐる、右材料借款も

一 廣梅鐵道(廣東、梅縣間二七〇キロ) 三百萬ポンド
一 神信鐵道(津浦線蚌埠、信陽三七九キロ)四百萬ポンド

時局の推移並に難き折柄にも拘らず英國が斯く支那の經濟建設援助の態度に出た事は頗る注目すべきで之に依つて北支事變による喪失された支那の國際信用並に國民の國民政府に對する信頼回復にも寄與する處あり、尤も之には英國側に頗る有利な條件が附せられて居る事は想像に難くなく支那側建設資金に窮乏して居たのみならず北支事變勃發によつて財政の破綻出来ざるを憂慮されて居た事とて相當不利な條件を甘受しても借款成立に努めた事は明かであることを擧げての圈外に立つて局面を自國に有利に展開せしめんとする英國の今後の動向は看過し得ないものがあらう、なほ借款内容は不明ながら起債は事變解決後となすとの條件が附せられてゐるところであり従つて之に

よる影響は今のところ人氣的なものに過ぎず卅一日の爲替市場も之に好感して幾分緊張を呈したに止まり直接レートの上に見れるまでには至らなかつた

上海抗日愈々熾烈

北支時局重大化の折柄反戰デモと中國共產黨南昌暴動紀念日の二つの赤色紀念日を明一日に控へ上海共同租界及び佛租界の兩工部局は支那側警察局長と共に卅一日夜以來上海市内外に亘り全面的戒嚴令を布き嚴重警戒を開始した

濟南婦女引揚げ完了

領事館當局の引揚げ勸告に依り本卅一日の濰縣列車を駛りに在留婦女子の大部分は青島或は内地に引揚げを完了した

津浦線で邦人三名射殺

明治製菓天津出張員滿洲國人某は廿八日午後八時十八分濟南發來列車に向ひ昨夜再び濟南に引返り來たがその談によると右列車が途中滄州驛に一日間停車した後卅日午前天津附近の楊柳青驛に到着した際同地保安隊員と覺しき若干名の兵士が乗込み來たり車内の検査を行ひ邦人三名(内鮮人何れか不明)を逮捕車外に拉致し目に餘る暴行を加へた揚句途に拳銃を以て之を射殺した、濟南總領事館では右報告に接し目下真相調査中である

上海經濟絕交狀態

不逞分子の排日貨運動は漸次熾烈化し邦商華商間の取引は既に數日前より殆んど杜絶し舊約定の受渡のみが濼滯氣味ながらボツ／＼行はれてゐた處卅一日に至り砂糖、木材、一部雜貨類に解約又は内地よりの横止を要求する者續出の傾向を示し各方面に紛糾を生じつゝある、これ等は何れも華商人の意志よりある抗日分子の策動に基くもので邦商と約定を有する事さへ外部に知られるのを恐れて居る有様で背後に潛んで居る滯滯の實體は未だ明かにされないが之が爲め市中には無氣味な暗流漂ひ事態漸く重大化の兆あり又藥品、染料の如きは外人倉庫に依賴して改装を加へ日貨たる事を隠蔽したる上市中に搬出すと言つた状態事實上殆んど經濟斷交の觀を呈して居る

帝國政府

軍事郵便取扱開始

今回の事變につき來る二日より次の要領により北支那方面と軍事郵便の取扱を開始することとなつた

一 差出人に制限はないが受取人は今回の事變に因り派遣の軍隊軍衛、軍人、軍團と軍衛の許可を得たる者に限られる
二 通常郵便物の書狀、葉書、新聞雜誌書籍、印刷物、寫眞及小包郵便にして料金完納のものに限る
三 郵便物の表面に軍事郵便の文字を記載し公用のものは公用の文字を併記すること
四 公用のものは書留、別配達、配達証明、留置、約束郵便及航空郵便取扱に又私用のものは書留、留置、約束郵便及航空取扱に限る、尙小包郵便物は公用及私用共航空取扱とするは出来ぬ
五 軍事郵便物の料金は小包郵便物及び航空取扱に要する料金の外は一般内國郵便物の料金と同一である

文部省學校に調弊

文部省では今回の北支事變に關し去る十一日附通牒を發したが事變の推移に鑑み國民舉つて愈々奉公の精神を振作すると共に出征軍人をして後顧の慮をなからしめることは國家極めて緊要の事として全國地方長官宛宛記通牒を發して管下中小學校、社會教育團體、體育運動團體の當事者をして協力せしめる事になつた

海軍獻金百萬圓突破

海軍への恤兵、國防獻金も連日饒上りに増加し卅一日はハワイの一在留邦人から百萬圓の通知があつたり姉妹三人のお小遣をそのまゝ獻金する可憐な愛國心に

國民支援

一 出身軍人の遺族の實情に應じもとより在任の生徒、兒童及び社會教育諸團體をしてその生業、家事、通信等に關し適當に努力奉仕をなさしめること
一 學校、社會教育團體の行事、集會等の催しについては苟くも浮華輕佻に流るゝことないやう注意せしめること
一 學校、社會教育團體、宗教團體の機關新聞雜誌の内容については周到な注意を拂はしめること
等であるが同時に官公私立大學專門學校高等學校に對しても大體同様の趣旨に對して正しき認識を持ちいよく奉公の精神の昂揚を期することになつた

海軍當局は痛く感激してゐるが卅一日午前中支でも卅二件及び融金累計は遂に百萬圓を突破した

議會でニュース放送

時局を反映して議會内に臨時ニュース放送局「帝國議會中央放送局」が急設された。アウンサーは事務員諸君——講事室内には一基のラヂオを設備してなく號外の鈴の音もなか／＼の丘には既に上つて来ないの議員事室内で毎日軍大政を讀してゐる議員達は朝刊を讀んで登院した後は家に歸つて夕刊を讀むまでその間の刻々移り行く北支の戦雲から全く隔絶された状態にある、甚だ遺憾なことだといふので卅一日朝の各派交渉會で種々協議した結果衆議院では卅一日午後から院内の擴聲器を通じて刻々同盟通信社から提供される事變ニュースを讀みあげ始めた、貴族院でもこれは是非當方でもといふので一日から早速同様實施した

海外動向

中立法發動に反對

ワシントン(三三)イリノイ州選出民主黨上院議員ハミルトン・ルイス氏は卅一日午後上院に於て中立法を發動することに結局米國を戦争に捲込む所以であると強調、左の如く述べた

米國政府が一部の要求を容れて日支双方に對し即日中立法を發動するならば恐らく僅々一時間以内に米國は日支兩軍と、蓋し大統領が日支兩軍が戦争状態にある旨宣言した瞬間から東洋向けの貨物輸送の途にある米國船舶は敵國に對し貨物を輸送するものとして日支兩軍の一方又は双方から直に拿捕され

る危険がある、かくて米國海軍は自國民の救援並にその財産の保護に急行せねばならず結局戦争に捲込まれることゝなる、故に大統領は日支双方に對し互に受諾し得る條件で和平解決を圖る機微を得るに對し米國が遂に戦争に引ずり込まれる様な事態の發生を回避せねばならぬ

杉村新大使時局談

パリ(三三)新任パリ駐劄帝國大使杉村陽太郎博士は卅一日午前ジュルナル紙記者サン・ブリス氏とのインタビューに於て日支紛争に言及、支那の秩序回復を要望して左の如く語つた

日本が支那に望む所は全く經濟的目的に他ならぬ、日本は支那に於て原料資源を獲得し商品販路を開拓することを絕對必要とする、余が新にパリに在勤するに當り日佛兩國關係の促進に對し如何に強い熱意と希望以上を持つてゐるが、然し恐らく貴下の想像以上であらう、日佛兩國間には卅年来友好條約が存在してゐるが更に兩國政府はこの條約の精神に基も今後も變りない親善關係を續けて行くことゝ確信する、日本政府はドイツ政府と防共協定を締結した、協定の目的は單に共產主義の防衛にあり何等反佛的の意味を持つものではないこととを並に確信する、日本政府は支那の領土保全並にその主權を尊重するに吝でないが歐洲各國間で通用する主權の意味と支那に於ける主權とは若干相違があり、南京政府と支那地方政權との關係は歐洲の常識を以ては知り得ない我々が支那に望む所は支那が秩序を維持し日本と友好的に協調すること他にならず、日本を自して征服者と言ふが如きは事實を認るも甚しい、現に支那の國粹急進分子や青年將校はコミン

テルンの使徒により日本に對し盛んに敵對行為を繰返してゐるが蔣介石が眞に日本との一戦を欲してゐるとは思へない、我々は再び支那に秩序が回復し日支兩國の經濟的提携が愈々推進されることを衷心希望する

難雜約日本を攻撃

パリ(三三)駐佛支那大使顧維鈞氏は卅一日外國新聞記者に對し支那は九國條約發動方を提訴する意向だと語り更に今次の北支事變は日本の大陸侵略政策の延長で支那としてはあくまで戦ふ覺悟だと豪語して左の如く語つた

我々は目下九國條約の締約國と北支事變に關し協議を進めつゝあるが支那は權利として即時九國條約の發動方を提訴し得るのみならず事實提訴方を考慮中である、現在の所では專ら締約國の意向を探つてゐるが各國は米國がイニシヤテイヴをとることを期待してゐる模様である、他方これと並行して聯盟規約並に不戰條約の適用についても會談が進められてゐる、日本の北支に於ける侵略行為は明瞭に一九三一年の滿洲事變の延長であり日本の大陸侵略政策の一部を完了するものである、北支に於ける工作が完了すれば日本の鋒先は次でソヴエト聯邦に向けられるべく更に中支、南支延いてマレイ半島或は蘭領印度とその侵略工作は止まる所を知らないであらう、北支事變は太平洋洋岸に於ける各國の均衡勢力に重大影響を與へるべく米國も當然この影響を受けなければならぬ、支那は斷じて屈服しない、支那の軍事各機關は今や全面的に活動を開始したばかりだ、北支事變は極東のみに局限されざる性質のものでなく全世界にとり由々しい大問題である、世界は防水壁を以て嚴重に臨

抗日全貌

分されてゐるわけでもなく又集團保證のない平和は何等意味をなさぬことゝならう

北支共產黨實情

北支事變勃發の背後に支那共產黨の暗躍があることは支那軍青年將校の言動に徴しても明瞭であるが支那共產黨並に共產軍の實情は大要次の如くである

- 一 支那共產黨の對日態度
 - 本年三月中國共產軍首腦毛澤東は米人作家スエドレー女史と會見して共產軍の對日態度に就て次の如く述べてゐる
 - 1 日本をして即時對支侵略政策を放棄せしむること
 - 2 日本をして東北四省を察北を返還せしめ滿洲國と冀東政府を廢止せしむること
 - 3 華北駐屯軍を即時撤退せしむること
 - 4 支那各地に於ける日本特務機關を撤退せしむること

この目的を達成する爲め彼等は年來の敵対し國民政府と妥協して抗日戦線に一致の行動をとらんとし又且つ華北を武装化することを急務として第廿九軍等に對し抗日思想を煽つて來たのである

- 二 抗日に一致する國民政府と共產黨
 - 三中全会に於て汪兆銘は個人として「一國、一政府、一國一軍主義の下に共產黨の存立を許さず」と演説したが政府要路中には宋慶齡、馮玉祥、孫科李烈鈞等模範強い容共抗日派が居り蔣介石としては其政權行使上之第一派の存在を絕對必要とし西安事變に於て共產黨の調停に對して或種の妥協條件を與へたと見られて居り事實其後共產黨の存在を許すのみならず却つて月々九十萬元の軍費を支給し又陝西省附近の十數縣を與へて彼等の駐防地とし更に國軍に加へたとさへ云はれてゐる、又同會に際し共產黨が發したる通電中の「對日交戦一切の準備工作を迅速に完備す」等の事項に對しても之を容れてゐることは事實である
- 三 今次事變に對する共產黨の態度方針
 - 今次事變に對する共產黨の態度方針は國民政府援助、對日徹底的抗戦である、西安事變の爲めに支那に歸國中であつた中國共產黨駐ソ代表汪明元は事變勃發と共に「ソ」國と陝西省屬地にある支那共產黨本部との間を往復して連絡に任じコミンテルン本部の意志を體して蔣介石に次の様なことを提議した、即ち
 - 1 ソ聯は支那共產黨を通じ極力國民政府を援助する
 - 2 支那共產黨は速に義勇軍を組織して陝西甘肅、山西省の諸軍と協同して西北地區に活動する
 - 3 滿洲朝鮮、及日本の共產黨員と協同して日滿鮮内に暴動を起す
 - 4 在支日本紡績會社等に暴動を起さず蔣介石は之等の提議を盡く容れたといふ事である、又宋慶齡、毛澤東は蔣介石に打電して「日本に對しては國民黨しく憤慨する處で吾等は至誠を以て一致團結に當るから抗議命令を發せられよ、吾等は所要部隊を率ゐて靈忠報國國防の第一線に立つ」と言つたに對し蔣介石は「聊等の誠意を喜ぶ、適當な時機に至らば卿等も重用すべし」と返電した、更に又事變勃發と共に七月八日毛澤東、宋慶齡、彭德懷、賀龍、林彪、徐向前、劉伯堅の連名を以て宋哲元、張自忠、劉汝明、馮治安宛左記要旨の通電を發した

「第廿九軍の英雄的抵抗の聞き流憤に燃ゆる紅軍將士は隨時移動負軍に追隨し一戰を決す、全軍勇躍殺敵、此の通電に共鳴せよ」

四 共產軍北土す

華北に於ける日本軍第一線を諸方面より包圍して之を殲滅することは彼等の研究採用せんとしつゝあつた戦略であつたが前述の陝西、甘肅附近にあつた朱、毛軍の一部は事變勃發と共に急速北上を開始し既に綏遠省に入つた模様である、彼等の言ふ所によれば綏遠熱河方面より日本軍の背後を襲はんとしてゐる模様である、尙ほ此の戦略と共に彼等は華北に「バルチザン」戦法を行ひ大包圍作戰に相呼應せんとしてゐる様である、既に北平に「北平文化會抗敵後援會」を組織し之等の活動を準備してゐる

五 結言

以上によりて今次事變に於ける中國共產黨並に中國共產軍の活動を概観したのであるが吾々は此の活動の背後にあるものを考へねばなるまい、情報によれば北支支那軍赤化並に共產軍抗日義勇軍組織指導の爲め滿蒙より數名の駐在員が派遣せられたとも云ひ又既に第廿九軍中には赤化せる幹部等も相當あるといふ事である

陳謝後に於ける不信行爲

香月軍司令官の第廿九軍長宋哲元に致した最後の通告後の戦況は逐次發展し我軍の空陸に亘る猛攻は眞に目撃しきものがあり、永定河以東治安の恢復も急速に期待されるの實況にある、而して今次我が軍が勇猛果敢なる斷の一字を決意したる所以のものは支那側に約諾實行の誠意全くなく僅かに表裏的な

一 十八日宋哲元の香月司令官訪問陳謝

(但し宋は陳謝とは稱してゐない)
二 卅七師長馮治安を被告し盧溝橋に在つた營長金振中を免職
三 廿一日盧溝橋、順天廟より撤兵し保安隊を以て代へた
程度の不誠意極まる局面糊塗の態度に出でた

外紙論調

英 國

三つの解決方法

ロンドン【モリス】 タイムズ紙は廿二日の紙上に北支事變に關する論説を掲げ次の如く述べてゐる

今次の日支紛争に就ては尙三つの解決方法がある、第一は本格的な戦争、第二は日本軍の局地的武力行使、第三は平和的妥協である、第一の方法によるか第二の方法によるかの相違は日本が大きな災禍と小さな災禍と何れを選ぶかといふことである、勿論第三の平和的妥協が最も望ましいが、これは未だ全然望みがない譯ではない、日本がその要求を適當な範圍に止めるならば支那としても和平のため合理的な代價を支拂ふだらう

イウニング・スター

ロンドン【モリス】 ロンドン各紙は北支情勢の進展に注目してゐるが概して日本の立場に理解する態度を示し就中自由系イウニング・スター紙は廿九日の紙上次の如く述べてゐる

日本軍の行動は全く膺敵の攻撃で日本には北支に對する領土的野心はない様だ、天津爆撃も支那側の挑戰的砲撃に

應じたのである

米 國

ビュエル氏の極東論

ニューヨーク【モリス】 ニューヨーク・タイムズ紙は廿五日の紙上米國外交政策協會會長レイモンド・ビュエル氏の極東問題と米國とを關する左の如き論文を掲載してゐる

今次の北支事變は再び米國の極東に對する態度を如何にするべきかの問題を提出した、現在のところ次の二説が對立してゐる

一 極東の紛争に捲き込まれるのを避けるために米國は全く極東から手を引く可し

二 侵略に對する讓歩は結局國際法の破滅、延いては米國の國防を危ふくするものだから米國は英佛三國と共に日本に壓迫を加へ新ワシントン會議の開催に導くべし

現ルーズヴェルト政権は共同干涉政策らしい政策はとつて居ないが英國政府は歐洲の諸問題で寧ろ目なき有様であるから米國政府としては將來全く極東から手を引く事は出來ずそれかと言つて共同干涉政策も取れない、だから結局米國政府は臨機應變の政策を取り消極的に米國の輿論を激化さす様な事變が起らない様に祈つてゐるより外ないだらう

米紙の態度

ニューヨーク【モリス】 廿九日のニューヨーク各紙は北支の戦禍擴大の報道を第一面に大々的に掲載し事變の重大化を傳へてゐる、但し事實の報道のみで今の所、スチムソンの批判は現れず政府動でも沈黙を守つてゐるが新聞人は之は伊エ戦争當時の政府の態度を思はせるものがあると言つてゐる

ホルチモア・サン

紙廿九日論説「日本は戦ふ」
北支で遂に大規模な日支兩軍の衝突が起つた様だが日本の意圖は政治的と言ふよりは寧ろ經濟的のもであらう、若し本當の戦争が始まらうかこの同情も度がある支那に集るだらうがこの同情も度がある過ぎると危険である、滿洲事變の經驗に徴しても明らかに通り單なる理想論は日本の行動を止める力が無い我々としては何らにも負せざる極東の危機に捲込まれる事を避けねばならぬ、此點現行中立法は頗る危険なもので中立法が適用されれば明かに日本に有利となる、さればとて米國が今遽かに中立法を日本に不利にするやう修正すれば日本がこれを非友誼的行爲と見る虞れがある、政府は全力を盡し兩交戰國の何れにも敵意を起さぬやうな方法で米國の中立政策を決定する道を見出すべきである

ジャーナル・オヴ・コマース

ニューヨーク【モリス】 ジャーナル・オヴ・コマース紙廿日社説「中立法の試練」
北支に於ける日支兩軍の衝突が擴大すれば米國大統領は中立法に基き戰闘状態の存在を宣言するか否かを決せねばならぬ譯だが中立法が適用される場合には政治的に可憐性がある、經濟上から立場に置く可憐性がある、經濟上からは米國と日支兩國との貿易に與ふる影響は相當甚大で米國の對日輸出品は機械類、屑鐵、飛行機及びその部分品が相當な部分を占めて居り、これらは

中立法上軍需品と指定されるべきものである、輸出の中心をなす棉花も殊によると軍需品と目されるかも知れない、今度の事變はとちがが悪いかも知れない、るので大體日本側に分が惡く最近の鐵道借款、金銀交換協定の成立に徴しても米支關係は頗る親密である、更に米國の傳統的な支那領土主權尊重主義に鑑み中立法を適用し支那を不利ならしむることは上述の米國の政治的地位と矛盾する譯である、中立法は其の立法動機が高向なるにも拘らず米國外交政策の中心となるにはその實施が政治的經濟的に困難なるを今度の事變が實證してゐる

W・ストリート・ジャーナル

ニューヨーク【モリス】 ウォール・ストリート・ジャーナル紙廿日社説「米國の對東利益」
現在でも實は戦争状態が存在すると思はれるが此の上南政府軍が北上すれば米國政府は中立法を適用せずには居られなくなる、若し中立法が適用されれば米國の對日貿易關係は惡影響を受けるわけだが幸ひ米國の對日輸出は對支輸出よりも大きく且つ海軍力も強大な日本は軍需品以外の原料品を米國から購入出来るのだから對日貿易は對支貿易よりも影響を受けることが少ない、然し大局から見て中立法から受ける損害は尠からざるものがあり且つ戦争が永引けば中立法上日本は米國々内で金融を受けられぬ事に米國々内輸出殊に棉花輸出は減少し米國産業の一部に大影響を與へるだらう

ニューヨーク・タイムズ

ニューヨーク【モリス】 ニューヨーク・タ

イムス紙周一日社説米國の外交政策一

今度の北支事變は融通のきかない中立法に現はれた米國外交政策の缺陷を明らかにした、最近米國の對日支輸出品の主なものは棉花、廢紙、機械類等であり、これらは理論上軍需品に指定され得るものだがこれが一現金取引、自國船輸送)條項の下に置かれたならば強大な海軍力とドル爲替を多く所有する日本に有利に働くことは明らかだ、元來中立法は米國自身の國家的利益の爲制定されたもので、他國にどんな影響を及ぼすかを顧みない性質のものだが今度の場合には少くも事情を異にする、即ちピットマン上院外交委員長も聲明してゐる様に本法を適用すれば大統領が日支兩國をして敵對行為を中止する様要請する場合はその影響力を弱め却つて米國居留民保護が出来なくなる、換言すれば米國の利益を保護するために制定された中立法の發動によつて却つて米國の利益をより大なる危險に曝すことになる譯で目下の情勢では之を發動することは出来ない、尙ピットマン氏は述べてゐないが本法の趣旨は成るべく國際問題から米國を孤立させ様と言ふのだから米國の傳統的極東政策たる支那領土主權の保持及び門戶開放政策を妨げ延いて世界強國としての地位を弱めるものだ

フランス

佛外交は平和維持

パリ(三) 右翼系エポック紙は廿三日の紙上トケリス氏の「フランスの利益は極東平和の維持に在り」と題する論説を掲げ次の如く述べてゐる
フランス人の中には日本の支那攻撃は

必然に日ソ衝突を招来しソヴェト聯邦の注意はスペインから極東に移されフランスはビレネー國境の危惧から解放されるとの理論から極東の紛争を歓迎する向もあるが政治問題はいさか簡單でない、日支衝突の場合ソヴェト聯邦がこれに捲込まれる可能性が大いにあるがその結果歐洲の均衡はドイツに有利に破壊される、ソヴェト聯邦から糧食武器原料の供給を受けられぬリトニア、ポーランド、チエコスロヴァキヤ、ルーマニア各國はドイツの中欧進出に抵抗し得なくなる、自然極東の戦闘はドイツに抑へ難き誘惑を生じ日支戦争は必然的に世界戦争とならう、故にフランス外交が平和維持のため力を盡す所以はこゝにある

エポック・パリ

パリ(三) エポック・パリ紙の外報部長ベルチナツクス氏は廿八日の紙上で北支事變につき次の通り述べて居る
此の種の事變に際し日本は地方的利益のみならず對支通商等一般的利益の保護をも考慮するのを常とする、従つて日本軍の前進は最少限度に止められはしまいか、ソヴェト聯邦は今日迄の所動かす日本が南方に向ふことは寧ろ其喜ぶ所である

ジュルナル

パリ(三) ジュルナル紙は廿八日の紙上で次の如く北支事變を論じてゐる
支那側が十一日の協定と十九日の協定を忠實に實行さへしたら事態は斯様に悪化しなかつたらう、協定不履行の根因が南京政府の命令か、支那軍内部の不統制か、支那の現状を以てしては知るに由ないが確實なのは最後通牒の期限終了後日本軍が軍事行動を開始した

ことだけだ、右行動の國際的影響は目下の所英米佛三國大使の日本政府に對する確健な要望に限られよう

廿九日の同紙は米國政府の中立法發動問題につきニューヨーク特派員の報道として次の如く述べてゐる
米國政府は日支に中立法及び武器禁輸令を適用するため交戦状態の存在を宣言する可能性を研究中である、右は大統領のみの決定し得るところだが大統領は假令右の決定をしても英佛兩國政府が同様の決定をしないだらうとの考からこれを躊躇して居る

レヒエブリック

パリ(三) レヒエブリック紙廿九日論説「一九〇四年を想起せよ」
日露戦争の際露帝政ロシアの同盟國となつたフランスは獨逸の脅威の前に孤立した、日ソ兩國は晩かれ早かれ衝突の運命にあり其の發端は今度の様な日支紛争にあるがフランスはソヴェト聯邦の尻馬に乗つて再び一九〇四年の愚を繰り返してはならぬ

タンソその他

パリ(三) パリの卅日夕刊及び卅一日朝刊各紙は大體に於て北平及び天津の情勢に關するアヴァン電を掲載してゐるが天津に於ける日本軍の捕虜取扱及び徴發の苛酷さを傳へた天津發の一通信、日本増發隊の上陸を傳へた上海發ロイテル電及び通州の保安隊叛亂による日本人三百名の虐殺、冀東政府要人の拉致を傳へる北平發東京アヴァン電報の三通信は特に一部新聞に重要視されてゐる、論説の題材としては北平の臨時政權及び蔣介石の宣言が最も多いが別に目新しいものはない
有力紙タン紙は北平、天津の情勢を大體

大使館公表の材料によつて記述した後廣田外相の聲明、イデーン英外相の議會答辭に移り次に蔣介石の宣言を論じてその強がりは國民の手前だけで何も日支妥協の道を閉すものではないと述べ、最後に結論として曰く

日本の目的は北支五省の經濟的戰略的統制だが今度はこの全部の實現を企てる様なことはあるまい
エポック氏も蔣介石の宣言の意味についてタン紙と同様な見方をし、又ジュルナル紙は近頃問題となつた英支接近説の主な原因の一つは極東情勢にあると述べてゐる

ドイツ

防共の立場から

ベルリン(三) ドイツ各紙は北支事變の進展と共に從來の北支と南京政府の關係支那統一等の抽象論を脱却して防共の立場から事態を論ずるに至つてゐる、就中ベルリーナー・ヘルセン・ツァイトウング紙は廿一日の夕刊紙上で曰く
ドイツは日支兩國と正常關係に立つ關係上紛争の速かなる解決を祈る日支兩國の軍事行動の結果モスクワが最後の「笑ふ第三者」となつてはならぬ、ソヴェト聯邦が滿洲國境に何を畫策してゐるか又支那赤化の努力、駐支ソヴェト大使の策動等は周知の事實である、日支兩國はこの恐るべき危險を自覺し可及的速かに行動を停止する機切望する

同盟通信社 東亞通信網

支社

上海 天津 漢口 濟南 青島 北京 奉天 哈爾濱

支局

滿洲 海拉爾 齊齊哈爾 吉林 龍江 延吉 安東 山東 烟台 威海衛 芝罘 福州 廈門 汕頭 廣州 香港

通信員

滿洲 海拉爾 齊齊哈爾 吉林 龍江 延吉 安東 山東 烟台 威海衛 芝罘 福州 廈門 汕頭 廣州 香港

第七十回 帝國議會

廿二日

兩院各派勢力

廿二日現在における貴衆兩院各派勢力は左の如くである

Table with 2 columns: Party/Group and Number of Members. Includes 貴族院 (180), 衆議院 (397), 政黨 (180), 政友會 (174), etc.

衆議院正副議長以下協定
小泉民政、松野政友兩黨幹事長は廿二日午後六時衆議院議長官舎に會見正副議長の人選常任委員長の割振り等につき協議を遂げた結果

一 全院委員長、常任委員長候補者に就いては廿三四兩日中院内に於て交渉することとするも豫算委員長は政友會より出すこと

に諒解成立し更に議會に於ける政民聯携の擴充に關しては「嚴正の共同聲明の趣旨に則り益々親密を堅くして歩調を一にすること」に意見一致同六時四十分會見を終了した

衆議院正副議長候補者決定

政民兩黨幹事長の會見に基いて民政黨は廿二日午後八時より町田總裁邸に櫻内筆頭總務、小泉幹事長等參集協議を行つた結果、議長候補者は總裁の指名に依り小山松壽氏を推すことに決定し直ちに政友會に通告した、また政友會でも同日午後八時より芝三線亭に院内外總務會に引續き代行委員會を開いた結果副議長には金光庸夫氏を推すことに決定し民政黨に通告した

貴族院成立

廿三日召集日の貴族院は午前九時三分振鈴松平新議長始め各議員本會講場に參集
△松平議長
私は六月十九日近衛前議長の後を承けて議長を拜しました力が及ぶ限り重責を果し聖恩に報ひ奉ることを期する、諸君の御援助によつて大禍な

からんことを祈る
と挨拶を述べ部屬決定のため一旦休體同五十分再び參集長書記官長より部長、理事互選の結果を報告し次で
△松平議長
これを以て貴族院は成立した、依つて政府並に衆議院に通告する
と宣し同五十五分散會した

部長理事決定

貴族院における部長理事は互選の結果左の如く決定した

- 第一部長 侯 西郷 從德(火)
第二部長 男 井田 馨植(公)
第三部長 公 藤司 信輔(火)
第四部長 男 西尾 忠方(公)
第五部長 子 梅小路定行(研)
第六部長 公 島津 忠承(火)
第七部長 男 塚本 俊寛(公)
第八部長 侯 佐竹 義春(火)
第九部長 男 東久世秀雄(公)
第十部長 侯 細川 護立(火)
第十一部長 侯 細切善次郎(研)
第十二部長 公 一保 實孝(火)
第十三部長 出淵 勝次(無)
第十四部長 公 島津 忠重(火)
第十五部長 侯 木場 貞長(研)
第十六部長 侯 徳川 義規(火)
第十七部長 侯 徳川 喜驗(公)
第十八部長 侯 徳川 喜驗(公)

常任委員決定

廿三日午後一時半より研究會事務所に各派交渉會を開き全院委員長、豫算委員入選について協議の結果左の諸氏を推薦することに決定した
△全院委員長 徳川陽順公(火)
△豫算委員 川村鐵太郎伯、林博太郎伯、酒井忠正伯、大久保正子、前田利定子、野村益三子、井上匡四郎子、大河内輝

耕子、曾我祐邦子、西尾忠方子、岡部長景子、重松友光子、織田信恒子、舟橋清賢子、大岡忠綱子、勝田圭計、太田政弘、畑切善次郎、黒崎定三、西野元政、八田嘉明、高島順作、金子元三郎、藤原銀次郎、鈴木幸作、辻長吉、大藏守治、米原章三(以上研究紀俊秀男、千秋秀隆男、岩倉道俱男、伊江朝助男、伊藤文吉男、長基連男、松村義一、渡邊汀男、大森佳一男、淺田良逸男、大藏公器男、松田正之男(以上公)一保實孝公、藤司信輔公、島津忠承公、細川護立侯、中御門經恭侯、大隈信實侯、井上三郎侯(以上火)松浦鎮次郎、赤池源、宇佐美勝夫、江口定條、田所美治、小林嘉平治(以上同和)内田重成、竹越與三郎、芳澤謙吉、石川三郎、橋本圭三郎、青木才次郎(以上交文)塚本清治、中川健藏、丸山鶴吉、平沼亮三(以上同成)

純無交渉團體結成

貴族院第二控室の純無所屬卅二名中毎議會登院議席についてある人々二十餘名は各派交渉會にも出席せず從つて議會の内政事情にも通せず種々不便を感ずるので政治問題から離れて新交渉團體を結成するに決し廿三日午前九時半院内控室に會合協議の結果世話人等を決定直ちに事務局に届出た、なほ同團體は別に政治的團體ではないから依然各委員の割當てには入らない、會員並に世話人は左の如くである

- △會員小原直、大山柏公、小野塚喜平次、小野寺長次郎、渡邊暢、河田烈、樺山資英、吉田茂、田中館愛橘、田澤義輔、長岡半太郎、松井慶四郎男、松本承治、二上兵治、福永吉之助、後藤文夫、小山松吉、三上泰次、廣田弘毅、土方寧平生、飯三郎、瀨川彌右衛門、(以上廿二名)

衆議院

議長副議長選舉
衆議院は廿三日午前十時卅分振鈴田口衆議院書記官長議長席につき議長選舉に入り開票の結果
△投票總數 四三三票
三四四票 小山 松壽(氏)
二九九票 津波 貞吉(氏)
三三九票 津原 武(氏)
依つて小山、斯波、津原三氏が議長候補者に當選、續いて副議長選舉を行ひ開票の結果
△投票總數 四三三票
三七八票 金光 庸夫(政)
三〇〇票 工藤十三雄(政)
二六九票 宮本雄一郎(政)

衆議院正副議長選舉の結果は田口書記官長より内閣に通告されたので内閣では直ちに上奏御裁可の手續を執り同日午後四時半中内閣ノ間において勅任傳令傳達
正副議長傳令傳達
衆議院正副議長選舉の結果は田口書記官長より内閣に通告されたので内閣では直ちに上奏御裁可の手續を執り同日午後四時半中内閣ノ間において勅任傳令傳達

式が行はれ近衛首相より左の如く命令を傳達した

正五位勲二等 小山 松壽
議院法第三條に依り衆議院議長に任ず
勲三等 金光 庸夫
議院法第三條に依り衆議院副議長に任ず

正副議長黨籍離脫

衆議院の小山、金光正副議長は議會長廳の建前から廿四日それぞれ黨籍離脫の手續を執つた、よつて両氏は正副議長在職中無所属となつた

議會開會詔書公布

廿四日兩院成立を以ての内閣より上奏同日官報紙外を以て左の如く開會の詔書が公布された

詔書

朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依り七月廿五日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名御親 昭和三十二年七月二十四日

各國務大臣副署

衆議院成立

廿四日の衆議院は午前十一時十五分振鈴各派議員議場に參集田口書記官長より小山金光正副議長を紹介の後、各部廳における部長、理事互選のため十一時半一旦休議午後零時五分再開書記官より各部々長、理事互選の結果を報告しこれによつて衆議院成立を告げ同六分散會した

部長理事決定

衆議院の部長理事は各部において互選の結果左の如く決定した

結果左の如く決定した

第一部長 安達 謙藏
第二部長 八木 逸郎
第三部長 頼木木桂吉
第四部長 高木榮太郎
第五部長 大竹 貫一
第六部長 飯塚春太郎
第七部長 小泉又次郎
第八部長 町田 忠治
第九部長 大口 喜六

各派交渉會

各派交渉會は廿四日午前九時半院内議長應接室に開會勸語奉答文起草委員其他各委員の各派別當率を決定後左の諸件を決定し同十時四十分散會した

- 一 本會議、質問日は會期短き爲め豫めこれを定めず隨時決定すること
- 一 發言順位は民、政、民、政、民、政、民、政、第一、民、社、大、政、第二、東方とする
- 一 政友會の山本梯二郎氏を職三十年二月に達せる爲め院議を以て表彰し且つ記念品を贈呈すること(時期は廿六日當任委員長の結果報告後とする)

各派委員割當

廿四日の各派交渉會に於て委員の各派割當は左の如く決定した

- ▲開院式勸語奉答文起草委員 一八(民政七、政友七、第一、二、社、大、第一、二)
- ▲豫算委員 六三(民政二四、政友二四、第一、七、社、大、五、第一、二、東方)
- ▲決算、請願、建議各委員 四五(民政一七、政友一七、第一、五、社、大、四、第一、一、一、東方一)
- ▲懲罰委員 二七(民政一〇、政友一〇、第一、三、社、大、一、第二、一、東方一)

委員長折半決定

小泉、松野兩黨幹事長は廿四日午後三時議長官舎に會見全院委員長並に當任委員長の割當に就いて協議の結果左の如く決定した

- △民政黨 全院委員長、請願委員長、建議委員長
- △政友會 豫算委員長、決算委員長、懲罰委員長

第七十一議會開院式

北支事變による非常時局下に於ける第七十一特別議會開院式は廿五日上午十一時貴族院において行はせられた、この日天皇陛下におかれられては午前十時卅五分宮城御出門同四十五分議事室正門御車寄に着御議員の奉迎を受けさせ給ひ、松平貴族院議長の御先導にて階上硬殿に上御御先着の各皇族方をはじめ近衛首相以下各閣僚、平沼、荒井樞府正副議長以下各顧問官並に松平、佐々木、小山、金光兩院正副議長等に拜謁仰付けられた後同十一時式場に親臨遊ばされ燐燐なる開院式の勸語を賜つた、かくて陛下には同十一時五分議員最敬禮に御退場同十五分議事室御出門天機廳しく宮城に還御遊ばされた

開院式勸語 第七十一特別議會開院式に當り賜りたる勸語左の如し

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕ノ意ヲ體シ和衷善議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

衆議院

貴族院では廿五日開院式終了後午前十一時半より院内議長室に松平、佐々木正副議長及び各部部長、理事參集し開院式勸語奉答文起草について協議した

法律案五件提出

- 一 軍艦保護法改正法律案
- 一 兵役法中改正法律案
- 一 裁判所構成法中改正法律案
- 一 大正十年法律第百二號(停年)に因る退職判事檢事の恩給に關する件)中改正法律案
- 一 刑事訴訟法中改正法律案

貴族院

衆議院は廿五日開院式終了後午前十一時半六分本會議を開會小山議長「奉答文の議事に入る」旨を宣し十八名の起草委員を指名同三十八分一旦休議、起草委員は依孫一氏(民政)を委員長に互選勸語奉答文案を決定した上同十一時五十七分本會議を再開後委員長より委員會の経過を報告全員總起立裡に之を可決午後零時二分散會した

衆議院

貴族院では廿五日開院式終了後午前十一時半より院内議長室に松平、佐々木正副議長及び各部部長、理事參集し開院式勸語奉答文起草について協議した

法律案提出

- 一 帝國燃料興業株式會社法案
- 一 製鐵事業法案
- 一 船員法改正法律案
- 一 陪審法中改正法律案
- 一 農村負債整理資金特別融通及損失補償案
- 一 入道石油事業法案
- 一 農村負債整理資金特別融通及損失補償案

衆議院

衆議院は廿五日各派交渉會を開き

院議で天機奉伺決定

衆議院は廿五日各派交渉會を開き

勸語奉答文

衆議院本會議に於て可決せる勸語奉答文左の如し

廿六

勅語奉答文捧呈

松平貴族院議長、小山衆議院議長は廿六日午前十時四十分宮中に参内同十一時鳳凰閣において天皇陛下に拜謁仰付けられ貴衆兩院においてそれく議決せる勅語奉答文を捧呈これに對し陛下には重ねて優渥なる勅語を賜つた

△勅語

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

貴族院

奉答文常任委員決定
貴族院本會議は廿六日の午前十時六分開會
松平議長 昨日開院式に當り

衆議院

松平議長 昨日開院式に當り
異くも優渥なる勅語を賜りました、よつて勅語奉答文を起草致したいと思ひます

と議長の手許に於て作成せる勅語奉答文案を朗讀し總員起立裡に可決松平議長は直ちに奉答文捧呈の爲退出佐々木副議長議長席につき日程に入り

一 全院委員長選舉の件
を議題とし選舉の結果
投票總數 二四五

二四三票 徳川國順公
一票 細野長之侯
一票 細川彌立侯

即ち絶對多數を以て徳川國順公當選次で
一 常任委員選舉
に入り各部に於て選舉を行ふ爲十時卅分
一旦休憩、同十一時卅分再開
松平議長

先刻全會一致可決しました勅語奉答文
を午前十一時宮中に参内鳳凰閣に於て
天皇陛下に拜謁仰付けられ捧呈致しま

したる處重ねて優渥なる勅語を賜りま
した
と別項の勅語を總員起立最敬禮裡に奉讀
し休憩中各部に於て選舉せる各常任委員
の氏名を書記官より朗讀して同卅八分散
會した

勅語奉答文

【七・六】 貴族院本會議にて可決したる勅
語奉答文左の如し
貴族院議長松平議長相續誠懇誠謹謹ア
敬聖文武天皇陛下ニ上奏ス
爰ニ第七十一回帝國議會開院ノ盛典ヲ
行ハセラレ優渥ナル
勅語ヲ賜フ臣等謹テ
敬旨ヲ奉體シ慎重審議協賛ノ任ヲ竭シ以
テ皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス臣等謹懃懃
ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

質問順位決定

貴族院に於ける國務大臣の施政演説に關
する質疑順序は廿六日抽籤の結果
一 施政一般につき首相に小久保喜七氏
一 同首相、文相、内相、藏相に松井茂
氏
一 一般施政につき首相に大河内輝耕子
一 教學刷新に關して文相に田中館愛橘
氏
の四氏に決定した

各派交渉會

貴族院は北支事變陸海軍將兵に對する感
謝決議協議のため廿六日午前十一時四十
分議長室に各派交渉會を開會協議の結果
火曜會の島津忠重公、公正會の安保清種
男、研究會の樺山愛輔伯、同和會の眞野
文二氏、同成會の伊澤多喜男氏、交友俱
樂部の橋本圭三郎の六氏が發議者、其他
の交渉委員が賛成者となり同決議案を廿
七日陸海軍大臣の事變に關する説明の直

後に上程全會一致可決の後松平議長より
陸海軍大臣を経て右決議を現地にある將
兵に傳達することに決した

官長松平議長に要請

風見内閣書記官長は廿六日午後零時四十
分院内議長室に松平議長を訪問「北支事
變に關する追加豫算案を廿七日衆議院に
提出する豫定であるが貴族院に廻附の際
はその性質上なるべく速かに審議を進め
られたき」旨懇請したるに對し松平議長
は政府の意のある處はよく含んで置く旨
を答へ同五十分辭去した

衆議院

常任委員決定
廿六日の衆議院本會議は午前
十時四十五分開會全院委員長
の選舉に入り
投票總數 三三八票
三〇二票 重松 重治(民)
三三票 岡崎 雲社(大)

絶對多數をもつて重松氏當選次で常任委
員選舉に入り各部においてこれを行ふた
め同十一時廿分一旦休憩午後零時七分再
開宮中より退下せる小山議長席につき勅
語奉答文捧呈の經過を報告全員總起立最
敬禮裡に衆議院の奉答文に對し賜りたる
優渥なる勅語を奉讀終つて常任委員選舉
の結果を書記官より報告し次で
山本悌二郎氏(政)衆議院議員在職卅年
に達したるに依り院議を以て功勞表彰
の件

各派交渉會

を附議長起草の功勞表彰文を朗讀すれば
萬場拍手を以て可決これに對し山本氏
感謝の辭を述べ同廿分散會
各派交渉會は廿六日正午院内に開會協議
の結果左の如く決定した
一 各派交渉會の議決を以て小山議長は

廿七日午前中に宮中の御都合を伺ひ参
内して天機奉伺をなし午後の本會議に
報告すること

事變派遣將兵に對する感謝決議案を

議長より發議しこれを可決すること
一 北支事件費並にこれに伴ふ法律案は
委員長報告を待つて即時可決すること
事件費即決可決要望
政府は北支事件費を追加豫算第一號とし
て廿七日衆議院に提出同日中に貴族院に
送附出来るやう政民兩黨に希望して來た
るが廿六日午前十一時小泉民政、松野政
友の兩黨幹事長は院内に於て會見し意見
の交換を遂げた

貴族院

本會議
北支事變に對する重大決意を
闡明すべき廿七日の貴族院本
會議は午前十時九分開會近衛
首相より一般施政方針、廣田
外相より外交方針を述べたる後杉山陸軍
米内海軍兩相發言を求め北支事變に關す
る經過を説明した、かくて島津忠重公よ
り北支派遣將兵に對する感謝決議の動議
を提出し
島津忠重公(火曜會登壇)
北支派遣將兵に對し院議をもつて感謝
決議を行ひたい
と前提決議文を朗讀すれば滿場起立して
可決、次いで
杉山陸相、米内海相登壇
院議の趣旨は全軍將兵に傳へる
と感謝の挨拶を述べ日程第一施政演説に

對する質疑に入る
小久保喜七氏(交友會登壇)
近衛内閣成立し各方面の相剋摩擦を避
け舉國一致時局に當ると聲明されたの
はわが意を得たるものである。政府は
舉國一致をもつて難局打開に邁進され
たい
と望んで降壇

近衛首相

政府は獨善に陥つたり大言
壯語にはならぬ、今後此の建前をも
つて諸政を行つて行き度い
續いて
松井茂氏(同和登壇)
政府は社會正義といふ事を標榜されて
ゐるが社會正義といふ事は誤解すると
大きな間違ひを起すから充分注意あり
たい、各種の國民精神作興運動等は統
一を缺いてゐるが首相は之が統一に對
し何か考へてゐるか、次に近頃地方官
の更迭が頻繁であるが内相は此の際に
用令を改正し地方官を差遣させ人心を
倦まざらしむる考へはないか、猶防空
法制定に伴ふ消防の改善、擴張に對す
る内相、藏相の所見如何
と質して降壇、答辭は延期し零時十二分
散會となる

近衛首相施政演説

▲多事多難の時局に大命を拜し重責を荷
ひましたことは自ら省みて恐懼に堪へな
い次第であります、政府がその重責を果
すに當り茲に基本とする精神を明かに
て置きたいと思ひます、それは百般の政
策をして我が儉嗇なる國體の精髓に歸一
せしめることであります、その精髓の發
露はこれを外にしては國際正義に基き列
國と俱に眞の世界平和の確立に力をいた
し益々國威を宣揚すること、これを内に
しては大義名分を明かにし社會正義に即
して國民をして各その處を得せしめ以て

國運の堅實なる發展を圖ることでありま

▲最近紛議を醸した對ソ關係も無事に落

▲現下内外の情勢に鑑み國防の充實、經

▲近時我國は愈々興隆し益々發展するの

▲對立抗争の摩擦があつては到底所期の

目的を達し難きは勿論延いては外侮を招

次事變に對する帝國政府の態度は本月十

易は現下我國の經濟情勢に照し收支の適

一 貿易組合法案
一 工業組合法中改正法律案
一 百貨店法案

▲政府は此の如き協力一致の精神に基き

▲ソヴェト聯邦との關係は政府に於て憤

貴族院感謝決意
廿七日の貴族院本會議に於て滿場一致可

天機奉伺決定
廿七日午前九時半院內議長室に各派交

▲東亞の安定勢力たる地位を確立し眞の

▲最近支那の情勢を通觀するに國內輿論

常任委員長決定
各常任委員會正副委員長は廿七日午前互

外相の演説反響
ワシントン(ロニエ) 廣田外相の演説は廿

▲廣田外相演説
東亞の安定勢力たる地位を確立し眞の

▲英國との關係に於ては先般英國皇帝皇

同副委員長
林 博太郎(研究)

廣田外相の演説に就ては何か新しい問

▲我國生存の必須條件と云ふべき輸出資

▲我國生存の必須條件と云ふべき輸出資

法律案四件提出
政府は廿七日貴族院に左記法律案四件を

廣田外相の言及した各部面に對する米

九三四年廣田外相と余との交換メッセ
ージでも十分分明されて居るので今更
特に意見を表明する迄もない
と述べたに過ぎなかつた、然し一般政界
の批評を綜合すれば大體次の通りである
一 廣田外相の演説は措辭穩健にして日
本の政策を慎重に分析したステートメ
ントであるが何等危機解決の鍵を提供
してゐない、殊に軍事行動が擴大すれ
ば外交辭令も無意味と化するだらう

會は愈々廿七日日本舞臺に入り衆議院は午
後一時十三分本會議を開會小山議長議長
席に起立
本日午前十時參内宮相を通じ衆議院を
代表し天機奉伺せる
旨を報告したる後近衛首相を隨うば首相
は清場の手廻りに登壇貴族院に於けると
同様的一般施政方針演説をなされ、これに續いて
廣田外相も同様の演説を行ふ、これに續いて
若原蔵相登壇財政經濟方針について初
演説を行ふ、かくて三相の施政演説を終
り杉山陸相、米内海相より北支事變の原
因、經過並に軍當局の態度等を貴族院に
おけると同様説明したる後
小山議長 北支事變以來我が陸海軍將
兵の勞苦は感激措く能はざるものあり
院議を以て感謝の意を表明したい、
とて陸海軍將兵に對する感謝演説を演説
し議長起草の感謝文を讀み上げれば清場
拍手全員起立裡に決之に對し杉山、米
内兩相より感謝答辭があつて愈々國務大
臣の演説に對する質疑に入る、第一陣と
して

一 米國政府の政策は過般ハル國務長官
が世界いつれの部分に於ても重大なる
紛争が起れば米國の利害及び義務に影
響を及ぼす」と述べた聲明によつて明
かな通り米國として北支に於ける事
態の推移に重大關心を拂はざるを得な
い

一 外相は通商の自由につき言及してあ
るが露にベルギー國王レオポルト三世
がハル長官の思想を具體化して國際經
濟調査局設置案を提議原料資源の分配
等を示唆した経緯に徴し廣田外相の演
説も之に呼應したもと思はれる

一 外相は内治一設の指導原理を社會正
義に則る事においてこれを經濟機構
の問題にあてはめたるに如何になる
か、現在の經濟機構にメスを加へ根本
的變革を行はんとするものであるか
一 首相は社會正義の立場から輿論政治
並に議會及び政黨を如何に觀るか、更
に言論の自由の問題を如何に考へるか
一 首相の所謂革新政策の目標は奈邊に
在るか
一 政府の生産力擴充の政策、爲督政策
の樹て方如何

一 政府は生産擴充政策と公債消化政策
の調和を如何に圖らんとするか、又投
資統制の内容は如何
一 蔵相は國民生活安定の爲に如何なる
緊急施設を行はんとするものか、所謂
三原則と國民生活安定の関係はどうす
るか
一 政府の所謂綜合的計畫の内容及び統
制の程度、範圍を明示しては如何
と質問
一 支那の排日抗日はその基
とて深く、一朝にして解決すること
は困難である、日支關係の根本的調整
は支那側をして我が眞意を充分理解せ
しむることが第一歩である、我國は支
那側に求むるものは領土に非ずして
提携である、提携とは日支兩國の共同
の立場に立つて相共に東洋文化の昂揚
發展に貢獻することである、自分の云
ふ社會正義とは國民の各人をして公平
にその要求と欲望を充たし得しめる状
態を理想とする、然し私は現在の社會
經濟機構を根本的變革する考へはない
只資本主義に伴ふ弊害を是正すると云
ふ意味である、私は議會を否認する意
思はない、それだからこそ貴族院の改
革や選挙法の改正を企圖して調査會に
諮問して居るのである、議會を認める
以上政黨も認める、良い政黨ならば愈
重する
賢屋蔵相
一 生産力の擴充は我が國の經濟が之に
耐へ得ると云ふことが必要であり其の
爲に國際收支適合力の範圍を廣め爲替
の水準を維持するに努め國際收支の適
合に全力を注ぐ方針である
一 生産力の擴充を大いに遂行するには
或程度の金融統制、物資の配給統制と
云ふ方面に行くことも必要を得ないと
思ふ

一 國防と國民生活の安定の要は經濟力
を最も有効に動かして行くことである
國民生活の安定に關する積極的施設は
綜合計畫の樹立した時でははつきりす
ると思ふ、所謂三原則の意圖は我が國
の産業經濟に或る計畫性を與へんとす
るものである
と答辭、代つて
安藤正純氏(民政登壇)
一 首相が國際正義と社會正義を指導原
理とすることは結構であるが其の具體
的政策は如何か
一 北支事變の解決には禍の根源を絶た
ねばならぬ、翼察政權が無力化した今
日北支における我が權益を如何に擁護
せんとするか
一 我國は他國に對し主權侵害、領土併
呑の意圖は絕對に有するものでない、
この點支那側に徹底せしむる爲には努
力を拂はねばならぬが今後の日支關係
が如何に成行か率直な意見如何
一 國內政治の基調は國民生活の安定に
ある、然るに國民生活に重大な關係の
ある國民健康保險法案の提出を見合せ
た如きは政府の權威にかゝはるもので
はないか
一 生産力の擴充と國際收支の適合と物
資供給の調整とに萬全の効果を期待出
来るか
一 教育の改革に對して首相の根本信念
を承りたい
一 教育の改革は必ず約諾を實行するもの
と考へる、然らざる場合は最後の重大
なる決意を固めねばならぬ
一 帝國外交の根本目標は東亞の安定確
保で更に重要視せねばならぬのは赤化
勢力の進出である外安を通じて来る赤
化勢力を防止し東亞の安定を圖るため
には日滿支三國が提携して北支の治安

一 國防の充實は現下第一の緊急事であ
る、しかもがため國民生活の安定を
無視するわけにはゆかぬ、議會後は種
々の施設を次々に實行してゆきたい
一 教育の改革は制度及び内容の兩方面に
亘つて實行したい、その爲め教育審議
會を設けることになつてゐる
廣田外相 支那側は日本を諒解せんと
する大政治家を大部分暗殺した、かゝ
る非常手段を講じてまで日支接近を妨
害せんとする空氣があることを知つて
置かねばならぬ、而して今回の事變の
解決に當つては日本が決して支那に壓
迫を加へ又は支那の領土を侵害せんと
するものでないことを充分諒解せしめ
て日支接近の機運をつくりたい、之が
私の率直なる感想である
次で
櫻井五郎氏(民政登壇)
一 國防充實と國民生活の安定に關する
首相の明確な答辭を伺ひ度い
一 蔵相は我が國民經濟力の範圍内で目
下必要とせられてゐる赤字公債生産力
擴充に要する資金その他企業資金等の
賄ひを付け得る見込みがあるか
一 蔵相は國民經濟の運営に當つて計畫
性を持たせると云はれてゐるが其の主
體は國家か又は自治的統制に依らんと
するものか
一 商相の意圖せられてゐる生産力擴充
政策の内容如何
一 物資供給の問題中鐵の問題は最も重
要であるが朝鮮の炭山開發は如何なつ
てゐるか
一 農漁山村の窮狀とこれが對策及び滿
洲移民問題、土地制度、農業保險、農
村工業化政策等如何
一 産業總動員より必然的に起る勞動強
化に對する方策、勞働賃金低下及び電

一 國防と國民生活の安定の要は經濟力
を最も有効に動かして行くことである
國民生活の安定に關する積極的施設は
綜合計畫の樹立した時でははつきりす
ると思ふ、所謂三原則の意圖は我が國
の産業經濟に或る計畫性を與へんとす
るものである
と答辭、代つて
安藤正純氏(民政登壇)
一 首相が國際正義と社會正義を指導原
理とすることは結構であるが其の具體
的政策は如何か
一 北支事變の解決には禍の根源を絶た
ねばならぬ、翼察政權が無力化した今
日北支における我が權益を如何に擁護
せんとするか
一 我國は他國に對し主權侵害、領土併
呑の意圖は絕對に有するものでない、
この點支那側に徹底せしむる爲には努
力を拂はねばならぬが今後の日支關係
が如何に成行か率直な意見如何
一 國內政治の基調は國民生活の安定に
ある、然るに國民生活に重大な關係の
ある國民健康保險法案の提出を見合せ
た如きは政府の權威にかゝはるもので
はないか
一 生産力の擴充と國際收支の適合と物
資供給の調整とに萬全の効果を期待出
来るか
一 教育の改革に對して首相の根本信念
を承りたい
一 教育の改革は必ず約諾を實行するもの
と考へる、然らざる場合は最後の重大
なる決意を固めねばならぬ
一 帝國外交の根本目標は東亞の安定確
保で更に重要視せねばならぬのは赤化
勢力の進出である外安を通じて来る赤
化勢力を防止し東亞の安定を圖るため
には日滿支三國が提携して北支の治安

一 國防と國民生活の安定の要は經濟力
を最も有効に動かして行くことである
國民生活の安定に關する積極的施設は
綜合計畫の樹立した時でははつきりす
ると思ふ、所謂三原則の意圖は我が國
の産業經濟に或る計畫性を與へんとす
るものである
と答辭、代つて
安藤正純氏(民政登壇)
一 首相が國際正義と社會正義を指導原
理とすることは結構であるが其の具體
的政策は如何か
一 北支事變の解決には禍の根源を絶た
ねばならぬ、翼察政權が無力化した今
日北支における我が權益を如何に擁護
せんとするか
一 我國は他國に對し主權侵害、領土併
呑の意圖は絕對に有するものでない、
この點支那側に徹底せしむる爲には努
力を拂はねばならぬが今後の日支關係
が如何に成行か率直な意見如何
一 國內政治の基調は國民生活の安定に
ある、然るに國民生活に重大な關係の
ある國民健康保險法案の提出を見合せ
た如きは政府の權威にかゝはるもので
はないか
一 生産力の擴充と國際收支の適合と物
資供給の調整とに萬全の効果を期待出
来るか
一 教育の改革に對して首相の根本信念
を承りたい
一 教育の改革は必ず約諾を實行するもの
と考へる、然らざる場合は最後の重大
なる決意を固めねばならぬ
一 帝國外交の根本目標は東亞の安定確
保で更に重要視せねばならぬのは赤化
勢力の進出である外安を通じて来る赤
化勢力を防止し東亞の安定を圖るため
には日滿支三國が提携して北支の治安

一 國防と國民生活の安定の要は經濟力
を最も有効に動かして行くことである
國民生活の安定に關する積極的施設は
綜合計畫の樹立した時でははつきりす
ると思ふ、所謂三原則の意圖は我が國
の産業經濟に或る計畫性を與へんとす
るものである
と答辭、代つて
安藤正純氏(民政登壇)
一 首相が國際正義と社會正義を指導原
理とすることは結構であるが其の具體
的政策は如何か
一 北支事變の解決には禍の根源を絶た
ねばならぬ、翼察政權が無力化した今
日北支における我が權益を如何に擁護
せんとするか
一 我國は他國に對し主權侵害、領土併
呑の意圖は絕對に有するものでない、
この點支那側に徹底せしむる爲には努
力を拂はねばならぬが今後の日支關係
が如何に成行か率直な意見如何
一 國內政治の基調は國民生活の安定に
ある、然るに國民生活に重大な關係の
ある國民健康保險法案の提出を見合せ
た如きは政府の權威にかゝはるもので
はないか
一 生産力の擴充と國際收支の適合と物
資供給の調整とに萬全の効果を期待出
来るか
一 教育の改革に對して首相の根本信念
を承りたい
一 教育の改革は必ず約諾を實行するもの
と考へる、然らざる場合は最後の重大
なる決意を固めねばならぬ
一 帝國外交の根本目標は東亞の安定確
保で更に重要視せねばならぬのは赤化
勢力の進出である外安を通じて来る赤
化勢力を防止し東亞の安定を圖るため
には日滿支三國が提携して北支の治安

一 國防と國民生活の安定の要は經濟力
を最も有効に動かして行くことである
國民生活の安定に關する積極的施設は
綜合計畫の樹立した時でははつきりす
ると思ふ、所謂三原則の意圖は我が國
の産業經濟に或る計畫性を與へんとす
るものである
と答辭、代つて
安藤正純氏(民政登壇)
一 首相が國際正義と社會正義を指導原
理とすることは結構であるが其の具體
的政策は如何か
一 北支事變の解決には禍の根源を絶た
ねばならぬ、翼察政權が無力化した今
日北支における我が權益を如何に擁護
せんとするか
一 我國は他國に對し主權侵害、領土併
呑の意圖は絕對に有するものでない、
この點支那側に徹底せしむる爲には努
力を拂はねばならぬが今後の日支關係
が如何に成行か率直な意見如何
一 國內政治の基調は國民生活の安定に
ある、然るに國民生活に重大な關係の
ある國民健康保險法案の提出を見合せ
た如きは政府の權威にかゝはるもので
はないか
一 生産力の擴充と國際收支の適合と物
資供給の調整とに萬全の効果を期待出
来るか
一 教育の改革に對して首相の根本信念
を承りたい
一 教育の改革は必ず約諾を實行するもの
と考へる、然らざる場合は最後の重大
なる決意を固めねばならぬ
一 帝國外交の根本目標は東亞の安定確
保で更に重要視せねばならぬのは赤化
勢力の進出である外安を通じて来る赤
化勢力を防止し東亞の安定を圖るため
には日滿支三國が提携して北支の治安

衆議院

小山議長天機奉伺
小山衆議院議長は廿七日午前
十時十分宮中に參内衆議院各
派交渉會の議決により天機奉
伺の詔をなし更に宮内省に
於て松平首相と會見右執筆方を懇請して
退出した

本會議

北支事變急迫裡に召集された第七十一議

力料金引下げ等に對する見解如何
近衛首相 國防の充實と國民生活安定に關する詳細なる説明は大藏大臣よりなされる

賀屋藏相 政府の財經三原則も國民生活安定を旨として居るものである、而して生産力擴充を初め今度の重要政策も國民經濟力の蓄積の範圍を出ることは出来ないが其の蓄積は増加を圖つて行き度いと思ふ、更に又此の際國際收支を改善することが願ふ必要である、經濟統制は自治的統制を主とする方針で國家の一方的意思によつて統制を強化することは成るべく避け度い

吉野商相 財經三原則に對する私の心溝へ丈けを述べ度い、先づ生産力擴充は何うしても國防の充實を主眼とするこゝとならうが恐らくは重工業が先づ問題とならう、右を實行するに當つては國內外北滿洲國を打つて一九として凡ゆる資源を此の方面に利用しなければならぬ、重要原料も輸入の抑制は困難であるから代用品工業を起すとか當業者の自制により輸入數量を抑制し供給の統制を圖る等の方法を講ずることにならう

有馬農相 米價對策としては農家の米穀生産費其の他の經費を軽減せしむる様な方策を探り農村が自力で建直り得る様根本政策を樹てる

馬場内相 物價騰貴に處する労働行政としては労働の需給を社會政策的見地より調節する必要がある

永井通相 電力事業に對する國家統制強化策は通常議會に提案する、電力料金の一律引下げは困難だが、電力會社の合併とか特下に農村における料金を引下げさせるとか各會社の業績に應じ出来るだけ引下げさせて物價騰貴の緩和に貢獻させ度い

かくて五時十八分散會
▲今議會に提出致しました昭和十二年度歳入歳出總算追加第一號は今回の北支事件に關するもので歳入歳出共に九千六百八十萬餘圓である、本事件に關する經費としては歳入に取替へず陸軍省所管の分に就き第二準備金より千十餘萬圓を支出致したのであるが今回更に

外務省所管に於て 七十餘萬圓
大藏省所管に於て 四千八十餘萬圓
内北支事件第一準備金四千萬圓
陸軍省所管に於て 四百六十餘萬圓
海軍省所管に於て 九百十萬圓
計 九千六百八十萬餘圓

追加豫算に計上致した、之が財源と致しては一部國庫剩餘金の繰入に依るものゝ外大部分は新に北支事件公債を發行して之に充つることとした、尙北支事件に關する經費と致しては

朝鮮總督府特別會計に於ても 二十餘萬圓
國庫剩餘金を財源として追加豫算に計上した

▲右經費の外政府は保健社會施設、熱練工業養成施設、金増産促進、企業施設、外國爲管理法施行に伴ふ經費の増加、國庫準備金の増加等に付いても追加豫算を今議會に提出する見込である、現下我國内外の情勢に顧み國運の進展を圖るが爲には積極的緊要施設を要する、其の基礎的手段は結局右に依り擴充せられたる經濟力の範圍に限るものである、而して右の經濟力を充實發展せしめ且つ之を維持するが爲には日滿兩國を一體とする見地に立ち生産力の擴充、國際收支の適合、物資需給の調整の三點を主眼とする綜合的計畫の具體案を樹立し之が實現を期することが我國當面の問題として

最も急を要する所と考へる次第である
▲言ふ迄もなく諸般の施設を實施する爲には技術勞力等を要するは勿論結局多量の物資供給力の増加を圖らなければならぬ、その爲には國內生産力を擴充せしめ、と共に國際收支を改善して必要なる物資の輸入力の増大に努力しなければならぬのである、而して生産力の擴充は大體平時國內に於て供給不足なる物資の生産増加、國際收支改善に資すべき物資の生産増加の三點を目標として之が計畫を樹立すべきものと思ふ

▲次に我國外國爲替相場の水準を保持する事は諸般の國策を遂行し又國民生活の安定を維持する爲に最も肝要なことである、今日の如き國際收支の状況に於ては爲替相場を自然に放任して置く時はその相場が低落の傾向を生ずるのは自然の筋合で假に爲替相場の水準を現在より低位に維持したる場合に於いて考へても之に依つて自然に輸出の増加を期待することとは國際通商關係の現状に於て困難であり又之に依り輸入の減少を期待すること必必需品の海外依存に依つこと多き我國として之亦困難であるのみならず却て海外拂の負擔を重課せしむる等我國に不利なる結果を招來するので之が爲には出来る限りの努力を致すべきものと信ずる

▲次に物資の消費は生産力の擴充、輸入力の増加等積極的に供給を増加することによる點を置くべきである、必要なる方面に必要なる物資が出来る限り多量に供給せらるるやうに急なる方面又は必要の程度過ぎ方面に於ける消費の節約、代用品の使用等に於ても考慮するの要あるものと考へる、今後政府の豫算も物資の需給の調和を保ち得る範圍内に於て自ら定まる處があるので政府は今後出来る限り生産力の擴充、國際收支の改善を圖り經濟

力の充實發展に努力して其の限度の増大に努むると共に政府の消費する物資の需給並に一般民間の消費する物資の需給調査に付最善を盡すこととしたい、尙右綜合的計畫の實現に付いては國民一致の理解と協力とを必要とするのである

▲次に滿洲國に於ける生産力、國際收支並に物資の需給は我國の經濟に極めて密接なる關係を有するものであるから滿洲國を我國と一體とする見地に立ち綜合的に之を樹立し且つ實行致すべきものと考へる

▲次に最近金の價格は世界的に騰貴して居るが現在兌換銀行券の準備となつて居る金の評價に付いては貨幣法の規定に基づき純金七百五十ミリアグラムを一圓として居る爲相當多額の金準備を擁して居るにも拘らず其の實狀を表示せざる疑がある併し乍ら現在貨幣法を改正し所謂平價の切下を行ふことは未だ尙其の時期でないこと考へられるので此の際の措置としましては日本銀行の金準備充當價格に付て一應の改定を行ふを適當と考へるのである尙この改定と關聯して朝鮮銀行及臺灣銀行の銀行券の仕拂準備となつて居る金も此際之を日本銀行に集中し從つて臺灣銀行の右仕拂準備は日本銀行の兌換銀行券を以て之に充て得ることゝ爲すを適當と考へるのである

▲我國の外國貿易は本年上半期に於て内地及外地を合せまして輸出十六億二百餘萬圓、輸入廿二億四千三百餘萬圓、合計卅八億四千五百餘萬圓の巨額に達し前年同期に比し合計十億二百餘萬圓の増加を示し近年其の例を見ざる多額となつたのである、而して右の如き貿易の逆轉は國策の遂行に必要な物資を多量に要する我國の現状に於いては或程度已むを得ざる所と認められるし又爲替相場の水準を維持する關係もあつて政府は本年三月以

降金の現途を行ひ在外資金の補充に努めて參つた次第である、尙爲替管理に付ては本年七月末日を以て效力を失ふこととなつて八月輸入爲替管理に關する大藏省令を居た餘も引續き當分の間施行することゝし又爲替の自由取引の範圍等に付若干の改正を加へた次第である

▲我國の物價は昨年十二月頃より急激に騰貴し今後愈々物價騰貴の趨勢が激せられるならば財政、産業貿易、國民生活各方面に著しき悪影響を與ふるに至ることも豫想せられるので出來得る限り物價騰貴を抑制する爲適切なる對策を講ずるの要ありと考へる、政府は之が爲臨時物價對策委員會に諮り目下之が具體案を考究しつゝある次第である、また國民の負擔及經濟界の實情に適したる成案を得度いと考へ官民より成る稅制調査會を設け慎重に之が調査を進め度いと考へて居る次第である、其他別議會で審議未了となりました關稅率の改正の再提出、去る四月公布の緊急勅令に依り約一年間其の輸入稅を免除せらるることゝなつた事後承認案の承認も今今後の情勢に對應し篤と研究致し度いと考へて居る

▲尙今回の北支事件勃發後に於ける我國經濟界の情勢は之に依り多少の影響を蒙つた方面もあるが一般に冷靜なる態度を失ふことなく、概ね平穩裡に推移してゐる、政府は今後共一層國民の自覺と協力を求め、情勢の推移に應じ必要なる措置を執る心算である

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

刻苦耐辱、其の職務に盡す、是國民の感謝措かざる所なり、時暴熱に際す其の勞更に大なるもの有る可し衆議院は特に院議を以て熱誠の忱を彰し忠勇なる將兵諸士の勇健を祈る

農村議員會

衆議院農村關係有志代議士會は廿七日午前十一時半院内第九委員室に開會有志代議士四十名出席し健康保險法案問題は次期議會に地方の實情に即した完全且つ進歩的な法案として提出せしむべく運動を繼續することを申合せ左記要旨の聲明書を發表して午後零時半散會した

▲聲明要旨

社會立法たる國民健康法案に關し政府の企圖せる案の内容を不充分なりと完全なる成案提出を政府に要望したるに對し結局本案の提出を見合せられ本案成立の遲延を見たるは遺憾とする處である、吾等が政府を鞭撻奮勵して眞に完全なる法案の實現に向つて邁進するものである

東北振興同盟總會

東北關係貴衆兩院議員を以て組織する東北振興同盟總會は廿七日正午より院内兩院協議室に開會、田子、熊谷、西方、松岡等兩院議員約卅名出席振興同盟をはじめ東北六縣縣會議長、同六縣町村長會長市長代表者等を以て組織する東北振興聯合會の創立並に會則を議場一致承認の後同會並に聯合會初代會長として貴族院議員川村竹治氏を推し川村氏の挨拶あつて午後一時散會した

法律案二件提出

政府は廿七日衆議院に左記法律案二件を提出した

- 一 北支事件に關する經費支拂の爲公債發行に關する法律案
- 一 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回数入場券發行に關する法律案

追加豫算案提出

政府は廿七日左の如く追加豫算案を提出した

△豫算案

- 一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)
- 一 昭和十二年各特別會計歳入歳出豫算追加案(第一號)



貴族院

松平議長天機奉伺
松平貴族院議長は貴院各派交際會の議決に基き廿八日午前十一時宮中に参入侍從職に於て百武侍從長と會見、貴族院を代表せる天機奉伺の執奏方を乞ひ退出した

本會議

- 廿八日の貴族院本會議は午前十時卅分開會直ちに日程を變更し
 - 一 軍機保護法改正法律案(政府提出)
 - 一 兵役法中改正法律案(同上)
 - 一 一括上程一宮海軍、加藤陸軍副政務次官より提案の理由を説明し十八名の特別委員に付託す
- 提出
 - 一 大正十年法律第百二號中改正法律案(同上)

- 一 刑事訴訟法中改正法律案(同上)
- 一 上程臨時法相より提案理由を説明したる後九名の特別委員に付託す
- 一 貿易及關係産業の調整に關する法律案(政府提出)
- 一 貿易組合法案(同上)
- 一 工業組合法中改正法律案(同上)

右三案を一括上程野村相より説明あり十五名の特別委員に付託

一 百貨店法案(政府提出)
も吉野商相の説明後十五名の特別委員に付託かくて日程第一質疑に入り廿七日の松井茂氏同利の質問に對して近衛首相 私と言ふ社會正義は國民が皆その所得を得て國家のために盡し得る状態を言ふのである、このことは明治元年の明治天皇御宸翰に明示されてゐるところである、國際正義といふことは世界の領土、資源等の再分割までゆかねば徹底出来ないが此の點は國際會議においてもこの精神を以て從來主張されて來てゐるのである

次いで馬場内相、賀屋龍相より警務官の訓練、社會教化事業の擴充及び内ヶ崎文部政務次官より成人教育その他について答辭あり、松平議長より宮中に参入し侍從長を経て天機を奉伺せる旨を報告同十一時四十分散會した

特別委員決定

- 廿八日貴族院本會議にて委員附託となつた各法律案の委員左の如し
 - △百貨店法案特別委員會委員
岩倉具兼(中)中御門經泰(侯)磯山愛輔(伯)秋元春朝(子)西尾忠方(子)岩倉道俱(男)三須精一(男)松出正之(男)藤沼庄平、松本學、菊池恭三、下出民義、佐々木八十八、嵯原武太郎、小野耕一
- △裁判所構成法中改正法律案

- 外二件特別委員會委員
小村捷治(侯)豊岡圭資(子)秋田重季(子)松井茂、山川端夫、有地藤三郎(男)周布兼道(男)小坂順造、下出民義
- △貿易及關係産業の調整に關する法律案特別委員會委員
細川護立(侯)徳川義親(侯)山田英夫(伯)野村益三(子)土岐章子(子)大岡忠綱(子)飯出精太郎(男)黒崎定三、近藤滋彌(男)杉溪由言(男)有賀光豊、次田大三郎、稻畑勝太郎、森平兵衛、出光佐三

△軍機保護法改正法律案外二件特別委員會委員
鷹司信輔(公)島津忠承(公)溝口直亮(伯)立花種忠(子)谷儀(子)井上勝純(子)織田萬、三井清一、内田重成、淺田良逸(男)渡邊汀一、岡田武彦(男)丸山鶴吉、大塚惟精、松本眞平、光永星郎、金成通、水野基次郎

政府は廿八日貴族院に左記法律案を提出した

衆議院

政府は廿八日衆議院に左記法律案を提出した

本會議

- 一 酒造組合法中改正法律案
- 廿八日の衆議院本會議は午後一時廿八分開會野村相より陸海軍將兵に對する感謝決議に對し夫々陸海軍の香月軍司令官、永野聯合艦隊司令長官、長谷川第三艦隊司令長官より寄せられた謝電を朗讀披露したる後日程を變更し午前中の豫算總會通過せる
 - 一 (第一號)昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案
 - 一 (特第一號)昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

の兩案を上程豫算委員長熊谷直太(政)より豫算總會の経過及び結果を報告し質疑も討論も省略して直ちに採決に入り全員起立滿場一致を以て可決した、次で一 北支事件に關する經費支拂のため公債發行に關する法律案(政府提出 緊急事件)

上程賀屋龍相より提案理由の説明あり小山議長 本案については政府より議院法第廿七條但書、第廿八條但書に基き議會各略の要求がある旨を述べ直ちに採決を行ひ全院一致即決可決、かくて前日に引續き國務大臣の演説に對する質疑を續行

松村光三氏(政)登壇
一 議内閣の財政政策の基調はその本義を率直に述べ國民と共に是が遂行に當らねばならぬ

一 綜合的計畫經濟に對する商相、藏相の信念如何

一 國際收支の調和に對する見透如何
一 諸般の生産擴充施設と今後の國際收支の關係如何
一 産金獎勵のため國立の金精煉所を設くる考へはないか
一 生産資金の圓滑潤澤なる供給を期するたため當局は如何なる準備を有するるか

一 日滿五ヶ年計畫は國民的基礎の上に建直す必要があるのではないか
一 生産力擴充に要する熟練工の養成につき政府は如何なる具體的手段を持つてゐるか、文相、商相の所信如何

一 近衛首相は國際正義の觀點から世界に向つて資源の再分配を求めざる勇斷と決意ありや
一 有馬農相の抱懐する農村對策の根本義を闡明せられたい
一 勞働爭議参加人員は未嘗有の數に

上つてゐるが爲政者は是を何と見るか

近衛首相 國際正義の立場から言へば領土並びに資源の再分割にまで行かねば決定せぬが、販路の開拓、資源の開発の爲めに一人と物との移動の自由だけは何か確保したいと思ひ帝國としては萬難を排して實現に進む決心である

賀屋蔵相 三原則に關して答辭を行つた後

一 國際收支の見透しは今日明言の限りでない
一 生産力の擴充、國防の充實を行ふが國際收支の均衡を破壊せぬ範圍に止まる決心を持つてゐる
一 産金政策に就ては充分考慮し度いと思ふ

吉野商相 各般の實情に鑑み營業者の自由奔放な活動のみ委しおけぬので規律ある統制を加へねばならぬ、統制を加へる必要があるから多少國家の力を動員する必要があるが統制の主体はあくまで自治統制でなければならぬ、物價對策の根本方針は需給の調節にあり供給の増加を期すると共に需給にも多少の制限を加へる必要が生ずるかも知れぬ、更に根本問題としては國民所得の増加を期する必要がある目下折角研究中であるから何れ所信を披瀝する機會もあらう

有馬農相 肥料問題の解決は目下考慮中である、農村對策の根本義については、私は農村對策の對照を手に執るとして自ら耕す人々において考へてゆき度いと考へてゐる、之れが根本精神である

龜井貫一郎氏(社大答覆) 一 日英通商會議は北支事變のため停頓したと云ふが本當か

一 現在の營利主義的基礎産業の上において生産力の擴充を圖り得るか
一 賀屋蔵相は爲替の維持、國際收支の適正と云ふ點から今後國防費の膨脹を嘆止める考へか
一 生産力擴充の政策と同時に労働條件の改善、工場監督の強化、少年工の年齢制限、失業保險の設定等を法制化する意圖はないか

一 封建國防と資本主義國防に敗れた本主義國防は全體主義國防に敗れた軍部は國防を建直す意志はないか
廣相外相 日英會談は事變の爲め一時取止めになつた
賀屋蔵相 財政經濟三原則を確立するために爲替相場場の維持、國際收支の適合を圖る必要がある、而してこれによつて國際收支を抑制する意向ではない、其他吉野商相、永井通相、近衛首相、馬場内相より簡單な答辭あり

赤松克廣氏(第一登壇) 一 今日においては資本主義の下降と諸方面に社會的矛盾
一 政府は國庫と銀行の事實を直視して國民に臥薪嘗膽を求めぬのが本當ではないか
一 北支事變解決の基礎を何處に置くか

一 我が國の政治的弱點は政治に安定が無いことである、良い政黨をつくりその上に乗つてしつつかと政治を行はねばならぬ明日の日本を背負ふものは決して社會主義政黨ではない、と社大黨部をきめつけ議場騒然、近衛首相より簡單な答辭あつた後
廣田外相 政府は現地解決を方針として進んだが事態は紛糾を來して解決が困難な状態に達してゐる、支那の抗日毎日に対しては重大反省を促さざるを得ない

賀屋蔵相國民生活安定について答へ代つて

杉浦武雄氏(東大答覆) 北支問題に對する帝國の根本方針は事態を今日に導いた國民黨政權を徹底的に爆撃すべきであつてその間第三國の介入を許し妥協苟合の觸手を動かすべきではない、日英會商、訪支經濟使節のもたらした影響を痛撃し更に日獨防共協定、對支問題國民生活安定、鐵、石炭資源問題等について熱評を振ひ

近衛首相 (速記全文) 私は支那の問題は局地的根本的なる全面的の國家調整に一步を進めなければならぬと思つてゐるのであります、(拍手) 支那の領土保全と言ふ事は是は日本が四十年來唱へて來たところの大義であります、之は言葉を代へて申せば杉浦君の仰せられた様に結局外力の支那侵略を阻止すると云ふ事になるのであります、(拍手) 今日支那の抗日毎日の背後にはコミンテルンの動があると言はれてゐる、かくの如き策動に乗せられて支那の國民が今日の如き動きの間の紛争を醸すと云ふ事は結局東洋民族が自ら東洋の力を弱める事になるのであります、(拍手)

賀屋蔵相 吉野商相より夫々答辭の後廣田外相 日獨關係は將來益々親密の度を加へ度いと思ふ
之にて施政演說に對する質問を打切り六時十一分散會

豫算總會

北支事變費豫算案議院豫算總會は廿八日午前十時廿一分開會近衛首相を始め杉山米内兩軍部大臣、賀屋蔵相出席
一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加

案(第一號) 一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

を議題として審議に入り先づ賀屋蔵相より別項の如く北支事變費に關する豫算の内容に就き説明を行ひ
熊谷委員長 本追加豫算の内容に就ては成る可く詳細な説明を得たい、と政府側の考慮を促し杉山陸相より北支事變費第一豫備金設置の趣旨に就て説明をなし米内海相、松本外務政務次官、大野朝鮮總督府政務總監よりも夫々所管豫算に就いて詳細説明を行つた後近衛首相發言を求め

近衛首相(速記) 今回の事件に際しまして私の所見は昨日日本議場においても申述べましたのであります、(拍手) 今この事件の勃發するに到りまするやその當時中外にも政府と致しまして聲明致しました通り政府としては飽くまで不擴大の方針を堅持致しまして全面的の戦争になることを極力避けることに努力致して参つたのであります、今日と雖もなほ全然平和の望を捨てざるわけではありませぬ、然しながらその後支那側の態度は依然として誠意の認められるものがなく殊々昨今は段々形勢も險惡になつて参つたやうであります、まことに之は已むを得ませぬ、此の際帝國としては重大なる決意を致す秋が参つたやうに存せられます、就きましては皆豫算におかれましては御協賛を與へられんことを切望する次第であります

次に賀屋氏を用ひずして討論に入り川崎克氏(民) 質疑し度い點も色々ありますが事態重大の今日も早やその時機でない、帝國の平和愛好の眞意は列國のよく知るところであることを確信し、

豊滿に養成の意を表する
砂田重政氏(政) 事態重大の際この程度の少額豫算では到底負ひ得ないと信ずるが國民は更に大なる負擔を喜んで應ずるの用意のあることを申し添へて賛成する

守屋榮夫氏(第二) も同様賛意を表し政府を激勵願ひて
片山哲氏(社大) 今日事態は支那側の責任にあるので重大危局を招いたのも已むを得ないと思ふが國際正義に立脚し更に日支間の友好關係の確立へ努力されるやう期待する
更には中原謙司氏(大石大氏) 東方にも「政府の方針は全國民一致の意見である」と述べ討論を終り採決に入れば熊谷委員長賛否を起立に問ひ滿場一致追加豫算案を可決して同十時五十二分散會

追加豫算案說明書
今回提出した昭和十二年度歳入歳出總豫算追加第一號は北支事件に關するもので之に關する經費に付いては露に取敢へず陸軍省所管の分として第二豫備金より千十餘萬圓を支出致したのであるが今回更に

一 外務省所管に於て 居留民救護費、電信料費 七十餘萬圓
一 大藏省所管に於て 北支事件第一豫備金 四千萬圓
北支事件公債發行に伴ふ利子等 八十餘萬圓
一 陸軍省所管に於て 軍隊の派遣維持等に要する經費 四千六百餘萬圓
一 海軍省所管に於て 軍需品の應急調達に要する經費、兵力の一部移動に要する經費等 九百十萬圓

一 合計 九千六百八十餘萬圓

を追加豫算計上した、之が財源としては國債發に相當する金額を國庫剩餘金繰入に依りたる外は全部公債金を以て支拂するの計畫を立てた、右公債は北支事件公債とし別途之に關する起債法案の御協賛を求むることとした、次に昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加加特第一號は朝鮮總督府、國債整理基金並に公債金各特別會計の追加豫算で内朝鮮總督府特別會計の分は國庫剩餘金を財源とし

法律案六件提出

政府は廿八日左記六法律案を衆議院に提出した

- 一 關稅定率法中改正法律案
一 昭和七年法律第四號中改正法律案
一 昭和七年法律第五十一號中改正法律案

一 鐵の輸入税免除に關する法律案
一 昭和十二年勅令第百三十號(承諾を求むる件)
一 大正九年法律第五十三號中改正法律案

追加豫算第二號提出

政府は廿八日午後衆議院に

- 一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

を提出した

貴族院

本會議

九日の貴族院本會議は午前十時十分振鈴書記官より院議を以て北支派遣將兵に對し感謝決議を遂げたるに對し香月司令官、海軍聯合艦隊及び第三驅隊兩司令長官より謝電を受領したる旨を報告したる後同二十分開會質屋閣相發言を求めて登壇衆議院に爲したると同様の財政演説を試みる、終つて後日程を變更し

一 酒造組合法中改正法律案(政府提出)

上程閣相より提案趣旨を説明し質疑なく九名の委員附託更に

一 北支事變に關する經費支拂の爲公債發行に關する法律案(政府提出、衆議院送付)
上程太田大藏政務次官より提案理由を説明讀會を省略し直ちに採決を行ひ即決可決、次いで日程第一の國務大臣の演説に關する件にもどり質疑のため

田中館愛橋氏(無所属)登壇、例によつて宗教界の軋轉排除、國語國字問題、ローマ鐵方統一實施について且休職同十一時五十分再開直ちに本會議と併行して開かれた豫算總會において可決せる

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)(政府提出、衆議院送付)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)(同上)

を緊急上程し林總務委員長より豫算の概要並に委員會の審議經過及び結果を報告採決に入り總員起立して可決、次に北支

事件關係追加豫算は成立殘餘の日程を延期して正午散會した

豫算總會

豫算總會は廿九日午前十一時三十分開會追加豫算二案を上程し質屋閣相、杉山陸相、一宮海軍政務次官、大谷拓相、松本外務政務次官、近衛首相より説明あつて後、質疑討論を省略して即決したいとの緊急動議を提出直ちに採決の結果流暢一致を以て兩案を一括可決し十一時卅一分委員會を閉じ杉山陸相より北支の情勢を囑取散會した

委員會

裁判所關係法可決
裁判所構成法中改正法律案特別委員會は廿九日午前十時四十分開會廳議決法相より提出三案を説明し山川瑞夫氏(研松井茂氏(同和)より判檢事の俸年問題につき質疑野法相より答覆あり採決の結果左記三案とも一括可決同十二時五十分散會

一 大正十年法律第百二號中改正法律案(同上)
一 刑事訴訟法中改正法律案(同上)
軍艦保護法兵役法可決
軍艦保護法改正法律案特別委員會は廿九日午前十時十七分開會内田重成氏(交文)より本法と戒嚴法規との關係につき質疑杉山陸相これに答へ織田萬氏(同和)より本法の委任命令は寧ろ勅令とするが適當ではないかと質疑討論に入り先づ兵役法中改正法律案を原案通り可決次で軍艦保護法中改正法律案に對しては織田萬氏より第一條第二項の陸海軍大臣の委任命令

を勅令にしたいと修正動議を提出したが三井清一郎氏(研)より「全會一致可決すべし」と述べ採決の給呈修正案は否決多數を以て原案通り可決同十二時十二分散會した

一 農村負債整理資金特別融通及損失補償法案(政府提出)
一 人造石油製造事業法案(政府提出)
一 帝國燃料興業株式會社法案(同上)
一 製鐵事業法案(同上)
一 船員法中改正法律案(政府提出)
一 陪審法中改正法律案(政府提出)
一 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回數入場券發行に關する法律案(政府提出)

一 關稅定率法中改正法律案(同上)
一 昭和七年法律第四號中改正法律案(同上)
一 輸入税の從價税率に關する件(同上)
一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州の生産に係る物品の輸入税免除に關する件)(同上)
一 鐵の輸入税免除に關する法律案(同上)
一 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法及關稅定率法等の朝鮮に於ける特例に關する件)(同上)
一 昭和十二年勅令第百卅號(鐵の輸入税免除に關する件)(政府、承諾を求むる件)

君外十名提出)
一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補及辯護士の資格に關する件)(手代木隆吉君外三名提出)
一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補、辯護士の資格に關する件)(紅霞閣君外三名提出)
を上程提案者より説明あつて陪審法及び刑事訴訟法改正委員會に併託日程全部を終了し同十二時十六分散會

本會議

廿九日の衆議院本會議は午後一時廿五分開會直ちに日程に入り左記政府提出十三件は何れも主管大臣並に政府委員よりの説明あり質疑を省略して各特別委員に附託された

衆議院

一 農村負債整理資金特別融通及損失補償法案(政府提出)
一 人造石油製造事業法案(政府提出)
一 帝國燃料興業株式會社法案(同上)
一 製鐵事業法案(同上)
一 船員法中改正法律案(政府提出)
一 陪審法中改正法律案(政府提出)
一 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回數入場券發行に關する法律案(政府提出)

一 關稅定率法中改正法律案(同上)
一 昭和七年法律第四號中改正法律案(同上)
一 輸入税の從價税率に關する件(同上)
一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州の生産に係る物品の輸入税免除に關する件)(同上)
一 鐵の輸入税免除に關する法律案(同上)
一 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法及關稅定率法等の朝鮮に於ける特例に關する件)(同上)
一 昭和十二年勅令第百卅號(鐵の輸入税免除に關する件)(政府、承諾を求むる件)

一 刑事補償法中改正法律案(中村高一)

一 帝國政府は本邦居住支那人を初め排日の徒にあらざるものは十分の保護を加へる用意のあることを中外に闡明しては如何

廣田外相

一 政府は列國をして認識を正確ならしめるやう努めてゐる、殊に支那に權益を有する列國に對しては帝國の現地解決主義について十分納得せしめるやう努力してゐる廿八日英、米大使と會見した際にも私は各居留民の安全保護と

君外十名提出)
一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補及辯護士の資格に關する件)(手代木隆吉君外三名提出)
一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補、辯護士の資格に關する件)(紅霞閣君外三名提出)
を上程提案者より説明あつて陪審法及び刑事訴訟法改正委員會に併託日程全部を終了し同十二時十六分散會

豫算總會

廿九日の豫算總會は午後一時廿四分開會追加豫算二案を上程し質屋閣相、杉山陸相より説明あつて陪審法及び刑事訴訟法改正委員會に併託日程全部を終了し同十二時十六分散會

委員會

裁判所關係法可決
裁判所構成法中改正法律案特別委員會は廿九日午前十時四十分開會廳議決法相より提出三案を説明し山川瑞夫氏(研松井茂氏(同和)より判檢事の俸年問題につき質疑野法相より答覆あり採決の結果左記三案とも一括可決同十二時五十分散會

一 大正十年法律第百二號中改正法律案(同上)
一 刑事訴訟法中改正法律案(同上)
軍艦保護法兵役法可決
軍艦保護法改正法律案特別委員會は廿九日午前十時十七分開會内田重成氏(交文)より本法と戒嚴法規との關係につき質疑杉山陸相これに答へ織田萬氏(同和)より本法の委任命令は寧ろ勅令とするが適當ではないかと質疑討論に入り先づ兵役法中改正法律案を原案通り可決次で軍艦保護法中改正法律案に對しては織田萬氏より第一條第二項の陸海軍大臣の委任命令

を勅令にしたいと修正動議を提出したが三井清一郎氏(研)より「全會一致可決すべし」と述べ採決の給呈修正案は否決多數を以て原案通り可決同十二時十二分散會した

一 農村負債整理資金特別融通及損失補償法案(政府提出)
一 人造石油製造事業法案(政府提出)
一 帝國燃料興業株式會社法案(同上)
一 製鐵事業法案(同上)
一 船員法中改正法律案(政府提出)
一 陪審法中改正法律案(政府提出)
一 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回數入場券發行に關する法律案(政府提出)

一 關稅定率法中改正法律案(同上)
一 昭和七年法律第四號中改正法律案(同上)
一 輸入税の從價税率に關する件(同上)
一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州の生産に係る物品の輸入税免除に關する件)(同上)
一 鐵の輸入税免除に關する法律案(同上)
一 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法及關稅定率法等の朝鮮に於ける特例に關する件)(同上)
一 昭和十二年勅令第百卅號(鐵の輸入税免除に關する件)(政府、承諾を求むる件)

一 刑事補償法中改正法律案(中村高一)

列國の權益を侵害する意のないことを明かにしてゐる、ソ聯に對しても同様で列國共に我が真意はよく承知してゐると考へる

帝國政府としては決して支那一般民衆を相手としてみゐるものではないから本邦在留支那人に對しても出来るだけの保護を加へてゐる

川崎氏 國際收支適合方策として特に積極的な方法を考へてゐるか
質屋蔵相 輸出の全面的促進、代用品の使用國內消費の節約等に努力してゐる國稅に關する措置等については事變の推移如何によつて適當な方法を考へる

川崎氏更に國產品費用、生活必需品の價格統制について質し吉野商相、杉山陸相米内海相より國產品使用に關する軍部の方針を説明の後軍費の増加に基く軍需インフレ、國民負擔等の將來に對する見透しについて質せば

質屋蔵相 豫測し得ない事態の發生を考へて見透しを述べること出來ないと答へる、續いて

若宮氏夫氏(政友) 財政經濟三原則について論じその矛盾性を指摘して蔵相の答を求め

質屋蔵相 三原則相互間の調和は相當困難な問題であるが困難を排して國家の發展に努めねばならぬ

若宮氏更に國際收支の適合方策並に消費節約方針について質屋蔵相、吉野商相に質問した後

若宮氏 財政三原則は都市偏重の政策で農村はこれにより却つて打撃を受けはしないか

有馬農相 農村政策としては現在のところ一つには物價の現在の水準を維持すること、二つには農家の支出を出来るだけ減少するといふこと以外に方法は無い

堤康次郎氏(民政) 北支事變に英、米は仲裁を申出せる意思を有してゐるやうであるがこれは支那に對し仲裁によつて恩恵を與へることを目的としてゐるのであるから第三國の介入を許す可きではない
廣田外相 今回の事變に對しては第三國から進んで干渉して來る如きことは無いと信じてゐる
堤氏 第三國をして介入せしめないやうに政府の強い意志を示しては如何
廣田外相 萬一左様な場合ありとしても勿論之を拒絶する
堤氏 日英會商の如きは此際中止するを可とすると思ふが如何
廣田外相 時局に鑑み適當時期まで延期するを可と考へてゐる
堤氏 川越大使はまだ南京に歸還せざる理由如何
廣田外相 今朝飛行機便があれば南京に歸つてゐると思ふ
堤氏 轉じて首相に對し國際正義の意義を質し資源再分配の必要を論じ首相の所信を質せば
近衛首相 資源分配の合理化については帝國政府は國際聯盟原料委員會に於て帝國代表より述べた處列國ともその趣旨を諒承した由である、帝國政府としては今後あらゆる機會に之が實現に努力したい
堤氏 資源再分配の國際會議を率先して招集する考なきや
近衛首相 具體的方法は考へてゐないが堤氏更に轉じて戰時に於ける食糧政策に言及最後に朝鮮に於ける補作獎勵について一言し午後六時廿七分散會

追加豫算第二號の提案理由を説明した
今回提出した昭和十二年度歳入歳出總豫算追加第二號は歳入歳出共各千三百卅餘萬圓で右歳入豫算の内譯は
普通歳入 百餘萬圓
前年度剩餘金繰入 千二百卅餘萬圓
であるが右の普通歳入の大部分は森林收入の増加である、次に歳出豫算に計上せる主要經費は
特別議會開會に伴ひ要する經費 廿餘萬圓
衆議院議員改選に伴ひ要する經費 卅餘萬圓
企業廳設置に伴ひ要する經費 廿餘萬圓
外國爲替管理法の運用に伴ふ經費の増加 卅餘萬圓
情報委員會擴充等に關する經費 十萬餘圓
北海道拓殖費森林費の増加 五十餘萬圓
陸軍各部隊建造物の災害復舊及新營に要する經費 卅萬圓
滿洲事件費の増加 八十餘萬圓
國庫豫備金の増加 千萬圓
等何れも緊急を要する經費で右の内外國爲替管理法の運用に伴ふ經費は本年七月末日期限の輸入爲替管理に關する大藏省令を引續き當分の間施行すると共に又許可を要する爲替取引の範圍等に付若干の改正を加へたこと等に伴ひ要する經費の増加を計し北海道拓殖費森林費の増加は風倒被害木の斫伐整理に要するものである又滿洲事件費の増加は前年度來中支方面に増派中の海軍兵力を引續き維持する等に要する經費である、次に國庫豫備金の増加に付いては昭和十二年度一般會計第二豫備金は年度初頭に於て衆議院議員總選舉等の爲四百七十餘萬圓を又今般北支事件に關する經費として千十餘萬圓を

支出し今後の經費に充つため千萬圓を特に追加計上した、次に各特別會計に關する主要な經費は電信電話營繕費、對在外鮮人施設費及臨時取縮費、樺太災害費鐵道車輛の増備費及第二豫備金増額等である
◆ ◆ ◆
各法律案委員長決定
衆議院各法案委員長は廿九日午後三時院内に於て平野(民)今井(政)兩黨院內總務が會見し協議の結果左の如く決定した
一 關稅定率法中改正法律案
山道 襄 (民政)
一 人造石油製造事業法案其の他
古屋 慶 (同)
一 船員法中改正法律案
漢 那 憲 (同)
一 紀元二千六百六年記念日本萬國博覽會割増金附前賣入場券に關する法律案
田中 萬 逸 (同)
一 農村負債整理資金特別融通及損失補償法案
寺田 市 正 (政友)
一 陪審法中改正法律案
牧 野 賤 男 (同)
一 製鐵事業法案
清瀬規矩雄 (同)
非常時警備方針申合
廿九日午前十一時半から議長應接室に開かれた衆議院各派交渉會の結果
議事進行方針につき協議の結果
本日の本會議に上程される政府提出法律案その他に關しては時局に鑑み政府當局の提案理由の説明のみを聴取し本會議における質問は一切これを省略して直ちに委員付託とし質疑は委員會で行ふこと
特別委員長割當協定
小泉民政黨幹事長は廿九日午後二時院內

は十數名の質問通告者があつたがこれは全部委員會に移すこととなつた
法案提出に要望
衆議院では廿九日の各派交渉會の結果政府提出の法律案に就ては本會議に於ける質問を差控へて之を委員會に移すこととし準備非常時議會の意義を發揮せしめべく各派共自軍自勵することを申合せたが一方政府に對しても之に對應すべき措置に就て衆議院側の意志表示を行ふこととなり田口衆議院書記官長は廿九日午後零時卅分院内に風見書記官長を訪問衆議院としては北支事變の重大性に鑑み朝野協力の實を擧げるべく自發的に自勵自戒に努力して居るが政府に於ても論議の紛糾を招く如き法案の提出は之を見合ふことに努力されたい旨を要望した
依つて政府に於ては直ちに近衛首相、風見書記官長、議法制局長官等協議の結果今議會の重大性に鑑み衆議院の要望を容れて協力の實を擧げるに決し政府提出法案中一、二の法案に就き再検討をなすこととなつた

政府提出法律案
政府は廿九日左記法律案七件を衆議院に提出した
一 產金法案
一 金準備評價法案
一 資金金特別會計法案
一 日本銀行金買入法廢止に關する法律案
一 朝鮮銀行法中改正法律案
一 臺灣銀行法中改正法律案
一 外國爲替管理法中改正法律案

政友控室に松幹幹事長を訪問し同日の本
會議で委員付託となつた農村負債、製鐵
及附屬三法案の委員長は政友會より又帝
然、船員、萬國博覽會及關稅四法案の委
員長は民政黨より選出したと諒解を求
めた

貴族院 本會議

卅日の貴族院本會議は午前十
時十五分開會日程を變更して
一 軍機保護法改正法律案
(政府提出)
一 兵役法中改正法律案(同上)
上程樋口委員長より委員會の經過並に
結果を報告して可決更に
一 裁判所構成法中改正法律案(政府提
出)
一 大正十二年法律第百一號中改正法律
案(同上)

一 刑事訴訟法中改正法律案(同上)
三案を上程小村委員長より委員會の經過
並に結果を報告して同様可決、一般質問
に入り
大河内輝耕子(研究會) 近衛内閣は
庶政の改革中特に議會制度の改革につ
いて聲明されてゐるが衆議院に關れず
貴族院のみである、勿論それは決定的
のものかどうか分らぬが私はただ徒ら
に貴族院のみの改革を行ふことは大に
に考へられたいと思ふ、政府は舉國一
致を唱へてゐるが我々はこれに協力す
るものであるから飽くまでも舉國一致
の精神を發揮することに努められたい
永井、中島兩相はそれ、各黨を代表
して入閣したのであるか、しからざれ

ば舉國一致の形勢を缺くことになると
思ふ
近衛首相 貴族院改革を以て貴族院を
脅威するといふ言葉があつたが左様な
ことは斷じてない、貴族院改革は去る
議會に於ける本院の要望によるもので
あるが今後充分貴族院の意見を徴して
研究してゆくつもりである
永井遞相 私は如何なる内閣において
も國民の總意が反映せねばならぬと信
じてゐる
中島繼相 陸、海軍大臣の現役制は二
二六事件後の情勢より見て當然のこと
であると思ふ
水野基次郎氏(交文)登壇 航空省を設
置しては如何
永井遞相 次期議會にその計畫案を提
出したと思つてゐるが民間航空の中
樞機關擴大強化については關係各方面
と協議研究中である
馬場内相 防空法の實施については内
務省が中心となり關係官廳と協議し遺
漏なきを期するつもりである
平沼亮三氏(同成登壇) 體育大會は從
來入場料を徴收してゐるが將來これを
廢止し維持費は金額國庫より補助され
たい、又將來保健社會省が設立される
場合はこれに移管し益々發達を圖られ
たい

近衛首相、安井文相これに答へこれにて
國務大臣の演説に對する質疑を全部終了
し十一時五十分散會

委員會

酒造組合改正法可決
酒造組合法中改正法律案特別委員會は卅
日午前十時廿分開會委員長に高橋嘉吉
(研究會)委員長沖井勇男(公正)を互選後
中村大藏參與會提案理由を説明し質疑の

後採決の結果全會一致原案通り可決散會
百貨店法可決
百貨店法案特別委員會は卅日午前十時九
分開會吉野內相より提案理由の説明あり
二三の質疑の後討論採決の結果全會一致
原案を可決散會
貿易産業關係法可決
貿易及び關係産業の調整に關する法律案
特別委員會は卅日午前十時十五分開會實
疑應答の後左記三法案共原案通り可決散
會した
一 貿易及關係産業の調整に關する法律
案
一 工業組合法中改正法律案

一 貿易組合法案
一 工業組合法中改正法律案

衆議院 本會議

卅日の衆議院本會議は午後一
時十一分開會直ちに日程に入
り、
一 產金法案(政府提出)
一 金準備評價法案(同上)
一 金貸金特別會計法案(同上)
一 日本銀行買入法廢止に關する法律
案(同上)
一 朝鮮銀行法中改正法律案(同上)
一 臺灣銀行法中改正法律案(同上)
一 外國爲替管理法中改正法律案(同上)
の七件を一括上程野屋藏相より提案理由
の説明あり質疑に移り
宮澤胤勇氏(民) 金一圓を七百五十ミ
リグラムから二百九十ミリグラムに評
價換せる根拠及評價換の利益如何
太田大藏政務次官 平價切下げには相
當條件を必要とするので現状に鑑み暫
定的にこの措置をとつたものである
武田徳三郎氏(政友) 六大産金會社中

心の産金助成會社を設立する計畫あり
や
太田政務次官 現在の買上げ値段はロ
ンドン相場に對し七分七厘減となつて
ゐる、平衡資金制度は我國の國情が英
米と異なるので設置する考へはない
佐竹晴記氏(社大) 金の買入値段引上
げ評價換は物價の基準たる金の價格引
上を法定するもので換言すれば物價
騰貴政策ではないか
太田政務次官 今回の評價換は非常に
低かつたものを急に高く評價換したも
のではない
かくて廿七名の特別委員に附託し同二時
廿六分散會

豫算總會

卅日の衆議院豫算總會は午前十時十二分
開會前日に引續き質疑を續行
東郷實氏(政) 質屋藏相は税制の根本
的改革に關する法律案を提案する決心
があるか
野屋藏相 現内閣の方針通り通常議會
に提案する準備を進めてゐる
東郷氏 我國農業事情に立脚した獨特
の農業保險制度創設の必要があると思
ふが如何
有馬農相 隣保共助の精神に基く農業
保險制度について研究のところは々
成案を得たら來議會には提案出来る
と思ふ
矢野庄太郎氏(民) 政府は輸入爲替の
管理を行ふといふが棉花のストツクの
如きは極めて互頼に上つてゐる之は政
府の方針を裏切るのではないか
吉野商相 政府は今日迄輸入抑制の爲
特に手段を講じてゐるわけではないが
今後國際收支の均衡を圖る爲漸次管理
抑制の手を伸べる方針である

矢野氏更に今年の貿易死に關する具體的
計數目標を一體とした國際收支及び日銀
國際擔保貸付利子の引下げに就いて質
疑を行ひ零時十八分休憩午後一時五分
再開
東武氏(政友) 政府は今回の事變につ
いて現地解決主義をとつてゐるが現地
の意味如何
廣田外相 滿洲國に接觸する地域を現
地と看做し滿洲國の治安維持に努めて
ゐるのである要するに滿洲國の治安維
持に必要な地域を指して現地と稱す
る
東氏更に時局認識の徹底方策につき首相
の決意を質し
近衛首相 出来る限り全面的戦争とな
らないやう今日と雖も依然平和の望を
捨てゝゐない但し事件の推移如何によ
つては一層國民の一致協力を要望せね
ばならない
東氏 國民政府とコミンテルンとの關
係に就て如何に考へてゐるか
廣田外相 國民政府がコミンテルンの
影響を受けてゐることは考へられるも
それほどの程度であるかは判然しない
次いで日ソ漁業條約交渉の經過見透し言
論取締り方針、英米等の中立法問題につ
き廣田外相との間に懸答あり終つて
鈴木正吾氏(國同) 馬場内相は地方財
政調整交付金の應急案を次期議會に提
案するか
馬場内相 自分の理想に變りはないが
政府としての方針は未だ決定しない
鈴木氏更に産業組合と中小工商業者との
相懇關係に就て農相と問答の後三時十四
分暫時休憩午後四時再開
原夫次郎氏(民政) 爲替管理法違反に
對する罰則規定に就て質したる後財經三
原則と並んで通貨確立の必要あることを
述べ金準備評價換の影響に就て質問しな

は選挙法改正の必要を力説これに對し
賀屋憲相 金進部評價換は現在の實狀
を形式化しただけであるから經濟界に
は影響はない
馬場内相 選挙法改正案は次の通常議
會に提案したい
更にソ滿國境の現狀に就て實し
杉山陸相 ソ滿國境の現狀は依然とし
て輕視すべからざるものがある
鈴木正吾氏(國同) 北支事變について
廣田外相に實し更に杉山陸相の所見を問
ひ轉して中工小工業者と産業組合との相
刺緩和問題に就き吉野商相に質問し同五
時廿五分散會した

委員 會

農村負債整理委員會

衆議院の農村負債整理資金特種及損失補
償法案委員は昨日午前十時卅分開會委
員長(寺田市正政氏)理事を決定後午
後一時四十五分再開會馬場相より法案の
提案理由を説明し質疑に入り
西川貞一氏(政) 何故に今議會に農地
法案を提出しなかつたか
有馬農相 農地法案の一半をなす自作
農創設維持事業は土地制度に關する問
題であるか同法は更に小作問題解決の
法制をも含んでゐる、この兩問題を同
一法律とする事に反對ではないが、この
兩者間には自ら輕重があると思はれる、
この意味から農地法案には尙檢討の
餘地ある様に感ぜられるので少しも
も理想に近い案を提出し度いといふ理
由で今議會に提案することは見合した
のである

と不提出理由を率直に述べ西川氏續いて
醫療費に起因する負債の多額なる點を指
す

摘し醫療費切下げ及び國民健康保險法案
の施行費増加に對する政府の所見を求め
大村社會局長官、井野介憲議次長より夫
々答辭あり最後に西川氏對清澤議員問
題に就て有馬農相の所信を實し次いで
小山亮氏(第2)より 負債整理金庫及
び債務調保金の設置等を内容とする革新
案の提出を切望して同五時七分散會

人造石油法案委員會

昨日の人造石油事業法案委員會は三十日
午前十時半開會委員長(委員長古屋憲隆
(民)理事を互選の後
田中源三郎氏(政) 人造石油のコスト
の低減に努力された
川島正次郎氏(政) 帝燃會社は樺太封
鎖炭田の開發後の仕事もやるのか
竹内燃料局長官 帝燃會社は投資會社
の建前だが結果によつては直接監督も
することにせらる

松永義雄氏(社大) 石炭の値上りを如
何にするか、石炭消費の考へはないか
竹内長官 石炭は經營の合理的改善に
よつて市價を引下げる餘地ありと思ふ
國營は考へてゐない
以上應答あり午後三時十五分散會

各派交渉會

衆議院を派交渉會は昨日午前十一時十分
開會小山議長より
政府より風見書記官長を通じて北支事
變のため時々閣議を聞く必要上、閣僚
が會議中に退席することあるべきを以
て豫め諒解を得て置きたいとの申出が
あつた

旨報告あつて之を承認し續いて
一 政府側の希望に應じて協力の實を擧
ぐるため同一種類に關する法案は總め
て上程することとししが第一着手とし

て日程第一(産金法案)より第七迄を一
括上程し各派一名宛十五分以内を以て
質疑をせること
一 北支事變に關し陸海軍將兵慰問金は
先例により議員より十圓宛贈出するこ
と
一 慰問使特派の件は次回に協議決定す
ること
を協議決定同十二時四十分散會した

法律豫算案提出

政府は昨日左記議案を衆議院に提出した
▲追加豫算案
一 (第一號)昭和十二年歳入歳出總豫
算追加案
一 (第三號)昭和十二年各特別會計歳
入歳出豫算追加案

▲法律案

一 通信事業特別會計に於ける簡易生命
保險及郵便年金の事務の取扱に要する
經費に關する法律案
▲承諾を求むる件
一 昭和十年度第一豫備金支出の件
一 昭和十年度特別會計第一豫備金支出
の件
一 昭和十年度特別會計豫備費支出の件
一 昭和十年度滿洲事件第一豫備金支出
の件

一 (自昭和十一年一月、至同年三月)昭
和十年度第二豫備金支出の件
一 (自昭和十一年一月、至同年三月)昭
和十年度特別會計第二豫備金支出の件
一 (自昭和十一年一月、至同年三月)昭
和十年度豫備金外に於て豫算超過及豫
算外支出の件
一 (自昭和十一年一月、至同年三月)昭
和十年度特別會計豫備金外に於て豫算
超過及豫算外支出の件
一 昭和十一年度第三豫備金支出の件
一 昭和十一年度第二豫備金支出の件
一 昭和十一年度特別會計第一豫備金支
出の件

出の件
一 昭和十一年度特別會計豫備金外に於
て豫算外支出の件

貴族院 本會 議

卅一日の本會議は午前七時八
分開會杉山陸相發言を求めて
登壇七月廿八日以後に於ける
平津地方の現狀について詳細なる説明を
行ひ通州の兵變中央軍の北上集結等の概
況も付加へ最後に「駐屯軍は十萬人の敵
と雖も我行んの意氣を以て待つてゐる」
と述べた

米内海相登壇 海軍においては主とし
て第三艦隊(旅順東港部の兵力を以て
支那沿岸及び楊子江の警備に當らしめ
陸軍と協力し更に萬一に備へる爲めの
所要の兵力を待機せしめてゐる、第三
艦隊司令長官は廿九日支那側に對して
排日抗日的言動を禁止するやう要望し
た、海軍としては萬一に備へることに
は萬全を期しつゝある
と説明次で日程に入り

一 貿易及關係産業の調整に關する法律
案(政府提出)
一 貿易組合法案(同上)
一 工業組合法中改正法律案(同上)
三案を上程山田委員長より經過を報告し
て可決
一 百貨店法案(政府提出)
を上程山田委員長より報告あつて同議案
員會決定通り可決
一 酒造組合法中改正法律案(政府提出)
も高橋委員長より報告あり可決日程を終
了し十時四十八分散會した

將兵慰問金讓出
貴族院では卅一日午前十一時より院內
長室に各派交渉會を開き北支事變關係陸
海軍將兵慰問のため議員各自金十圓つゝ
讓出することに決しこれが傳達について
は陸、海軍大臣と協議の上適當の方法を
探ることとし尙長書記官長より「時局重
大の際であるから首相以下關係大臣が公
務上必要に應じ本會議又は委員會より隨
時退席する場合あるかも知れざるにつぎ
豫め諒承せられたい」旨政府より申出が
あつたと報告し同廿分散會した

衆議院 本會 議

卅一日の本會議は午後一時十
九分開會直ちに日程に入り
一 通信事業特別會計に於ける
簡易生命保險及郵便年金の事務の取
扱に對する經費に關する法律案(政府
提出)

を上程中村大藏參與官より提案理由の説
明あつて船員法改正委員會に併託後北支
事變その後の經過に關し報告のため杉山
陸相並に米内海相發言を求め貴族院にお
けると同様の報告をなし特に杉山陸相は
北支邦人の現況に關し

北平天津通州に於ける在留民の現狀は
北平では事變勃發前内地人二千半島人
千九百合計約四千人であつたが事變と
共にその五分の二は引上げ殘餘は公使
館地區で保護中である、天津では現地
保護の可能なものは之に任せ然らざる
者は租界に收容し大した被害はない、
又通州では内地人百十三名半島人百五
十九名其他特務機關若十名が島人百五
保安隊の反亂によつて在留民特務機關
等に多數死傷者を出したことは遺憾で

あつた
と報告次で日程に戻り
一 軍機保護法中改正法律案(政府提出
貴族院送付)
一 兵役法中改正法律案(政府提出貴族
院送付は杉山陸相より説明あり
野澤勝氏(社大) 派遣兵士の家族の生
活保障の爲國庫支出を爲す考へありや
杉山陸相 派遣家族の問題は政府でも
種々考慮してゐる
同案(軍機保護法委員会に併託
一 裁判所構成法中改正法律案(政府提
出貴族院送付)
一 大正十年法律第百二號中改正法律案
(同上)
一 刑事訴訟法中改正法律案(同上)
以上三案は一括して久山司法政務次官よ
り説明あり平川松太郎(民)河野(政)
兩氏は神奈川縣下に於ける人権蹂躪問題
について實し馬場内相、久山司法次官よ
り答辭あり陪審法改正委員に併託
一 昭和十年度第一豫備金支出の件(外
三件)
一 自昭和十一年一月至同年三月昭和十
年度第二豫備金支出の件(外五件)
一 昭和十二年度特別會計豫備金外に於
て豫算外支出の件(承諾を求むる件)
にはつき中村大藏參與官より説明(十八名
の委員に附託次で
一 陪審法中改正法律案(牧野駿男君外
八名提出)
一 同上野田文一郎君外二名提出)
につき提案者より理由を説明し陪審法委
員に併託
一 大正十二年法律第五十二號中改正法
律案(森平國雄君提出)
一 恩給法中改正法律案(高橋長吉君外
一名提出)

豫算總會

も同様提案者より説明後陪審法並に軍機
保護法委員会にそれぞれ併託し三時四十
一分散會した

豫算總會は卅一日午前十時二分開會
一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案
(第三號)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫
算追加案(特第三號)
一 昭和三十二年度各特別會計歳入歳出豫
算追加案(特第三號)
に就て賀屋藏相より説明後
原惣兵衛氏(政) 政府は今後如何なる
革新政策を行ふ方針であるか
近衛首相 次の通常議會にはすべての
懸案の根本となつてゐる議會制度の改
革に關する具體方策を提出したい、同
様の意味に於て學制改革にも着手する
予定でまた社會立法も必ず提出する意
向である
原氏 滿洲移民に對する拓相の方針如何
大谷拓相 廿ヶ年百萬戸の第一着手と
して五ヶ年計畫千萬戸の移植は帝國の
國是であるから是非ともせよとける決
心である
原氏 滿洲の領事館を撤廢する意思は
ないか
廣田外相 滿洲國の發展に伴ひ領事館
の事務が減つてきてゐるから適當な時
機に撤廢するつもりである
原氏 北支問題に對する政府の決心如
何
近衛首相 私としては今日に於ても尚
平和の望みは捨てゝゐない、然し最悪
の場合に對する決心はしてゐる
と聲明し原氏更に文部省發行「國體の本
義」なるパンフレットの内容に就き安井
文相に迫り牧野良三(政)工藤鐵男(民)兩
氏も同様の質問をなす
安井文相 この處置に就いては輕率な

處置を許されぬから誠心誠意研究した
上善處する
と答辭し代つて
河野密氏(社大) 國民生活安定に對し
ては如何なる方針を持つて居るか
近衛首相 特別議會後研究をなし次の
議會には相當なものを提案したいと思
ふ
次いで
堀内良平氏(民政) 全國の國道縣道全
部を舗装しては如何
と細々と數字を並べて馬場内相に質し國
立公園、省營バス等の問題に論及午後零
時十分休憩同二時十五分再開
鈴木正吾氏(國同) 内閣官制の根本的
改革を行ふ考へありや
近衛首相 篤と考慮して研究したい
原惣兵衛氏(政友) 金を標準として爲
替相場を維持することは無駄である、
寧ろ國民個々の財産を調査して之を標
準としては如何
賀屋藏相 爲替相場を維持するには金
に執着せざるを得ない
河野密氏(社大) 國際收支適合の爲に
は國民生活必需品の輸入を抑制せねば
ならぬ結果となると思ふが如何
賀屋藏相 出來得る限り國民生活安定
を妨げない様方策を考究してゐる
河野氏 明年度において地方財政調整
交付金を一億五千萬圓に増額するとい
ふ話があるが事實であるか
賀屋藏相 地方税整理と併せて考究す
る必要があるが未だ何等解決して居ない
河野氏

(ありや
一 物の豫算は査定上の基準として建て
たものであるか
賀屋藏相
一 今後の財政計畫は經濟力を出來得る
限り擴張した範圍において建て考へ
である
一 事件費の第二次追加豫算は恐らく出
ることと思ふ、その金額はさきに御審
議願つたよりも遙かに多いと思ふ
一 事件費の財源は取敢へず公債に依る
が事變の擴大如何に依つては適當な處
置を講ずる
一 物の豫算は豫算編成を國民經濟に順
應せしめるためである
森田福市氏(政友)は國民健康保險、地方
財政交付金、人權蹂躪問題、物價騰貴と
爲替相場との關係、生命保險の監督に就
いて論じ
堀内良平氏(民政) 軍人の給與を増額
する考へなきや
杉山陸相 在營兵の給與に就ては充分
とは言ひ得ないが目下の所次の議會に
増額を要求する考へは無い
代つて篠原陸相氏(民政)は學制改革問題
技術者養成教育方針に就て安井文相、地
方財政改革問題に就て馬場内相、官吏増
俸問題に就いて賀屋藏相と質問應答を累
ね
高見之通氏(政友) 今日政黨は舉國
一致の精神に基き時局の認識に努めて
居るが軍部兩相の所見如何
と質す、杉山陸相、米内海相同感の旨を
答へ高見氏更に廣田外相との間に日英會
商の經緯に就て質疑應答をなし高橋謙太
郎氏(民政)は鐵鋼自給政策確立の急務を
説き産鐵獎勵立法案、國立鍊所の設立
農林行政の統一、東北地方に於ける食料
政策の確立等を題とし商相、内相、農相
等より答辭あつて午後七時七分散會した

第三次追加豫算要旨

卅一日の衆議院豫算總會において賀屋藏
相より説明した第三次追加豫算要旨左の
如し
昭和十二年度歳入歳出總豫算追加第三
號は歳入歳出共各七百三十餘萬圓で右
歳入豫算の内譯は
普通歳入 四百三十餘萬圓
前年度剩餘金繰入 二百九十餘萬圓
であるが右の普通歳入の大部分は金資
金特別會計よりの繰入金である、次に
歳出豫算に計上した主要なる經費は左
の如し
保健社會省新設に關する經費 八十餘萬圓
產金獎勵に關する經費 四百廿餘萬圓
機械工石炭礦市場係員及高等
海員等の養成に關する經費 百九十餘萬圓
勞務需給調整施設補助に要す
る經費 十餘萬圓

先づ保健社會省新設に關する經費に付
ては政府は國民體位の向上と國民福祉
の増進とに關する事務を司掌せしむる
爲保健社會省を新設するの計畫を樹て
之に要する經費は内務、文部、商工、
逓信の四省所管の既定豫算額中より組
換へ可能な部分は之を保健社會省所
管に移換へ使出することゝし殘餘は之
を追加豫算に計上した、其の主要なる
ものは保健社會本省及保險院に關する
經費、廳舎の新築機體替及修繕費等
に關する經費である、產金獎勵の經費
は産金増加を圖るため採掘獎勵金を交
付して資源の開発を促進せしむると共に
選礦精練場の新増設を助成する等諸
般の施設を講せんとするものである、
また機械工、石炭礦現場係員及高等海

一 北支事變追加豫算を更にどれ位提出
する考へであるか
一 北支事變を中心として新増税を建てる考
へであるか
一 今後の財政計畫は經濟力を出來得る
限り擴張した範圍において建て考へ
である
一 事件費の第二次追加豫算は恐らく出
ることと思ふ、その金額はさきに御審
議願つたよりも遙かに多いと思ふ
一 事件費の財源は取敢へず公債に依る
が事變の擴大如何に依つては適當な處
置を講ずる
一 物の豫算は豫算編成を國民經濟に順
應せしめるためである
森田福市氏(政友)は國民健康保險、地方
財政交付金、人權蹂躪問題、物價騰貴と
爲替相場との關係、生命保險の監督に就
いて論じ
堀内良平氏(民政) 軍人の給與を増額
する考へなきや
杉山陸相 在營兵の給與に就ては充分
とは言ひ得ないが目下の所次の議會に
増額を要求する考へは無い
代つて篠原陸相氏(民政)は學制改革問題
技術者養成教育方針に就て安井文相、地
方財政改革問題に就て馬場内相、官吏増
俸問題に就いて賀屋藏相と質問應答を累
ね
高見之通氏(政友) 今日政黨は舉國
一致の精神に基き時局の認識に努めて
居るが軍部兩相の所見如何
と質す、杉山陸相、米内海相同感の旨を
答へ高見氏更に廣田外相との間に日英會
商の經緯に就て質疑應答をなし高橋謙太
郎氏(民政)は鐵鋼自給政策確立の急務を
説き産鐵獎勵立法案、國立鍊所の設立
農林行政の統一、東北地方に於ける食料
政策の確立等を題とし商相、内相、農相
等より答辭あつて午後七時七分散會した

一 北支事變を中心として新増税を建てる考
へであるか
一 今後の財政計畫は經濟力を出來得る
限り擴張した範圍において建て考へ
である
一 事件費の第二次追加豫算は恐らく出
ることと思ふ、その金額はさきに御審
議願つたよりも遙かに多いと思ふ
一 事件費の財源は取敢へず公債に依る
が事變の擴大如何に依つては適當な處
置を講ずる
一 物の豫算は豫算編成を國民經濟に順
應せしめるためである
森田福市氏(政友)は國民健康保險、地方
財政交付金、人權蹂躪問題、物價騰貴と
爲替相場との關係、生命保險の監督に就
いて論じ
堀内良平氏(民政) 軍人の給與を増額
する考へなきや
杉山陸相 在營兵の給與に就ては充分
とは言ひ得ないが目下の所次の議會に
増額を要求する考へは無い
代つて篠原陸相氏(民政)は學制改革問題
技術者養成教育方針に就て安井文相、地
方財政改革問題に就て馬場内相、官吏増
俸問題に就いて賀屋藏相と質問應答を累
ね
高見之通氏(政友) 今日政黨は舉國
一致の精神に基き時局の認識に努めて
居るが軍部兩相の所見如何
と質す、杉山陸相、米内海相同感の旨を
答へ高見氏更に廣田外相との間に日英會
商の經緯に就て質疑應答をなし高橋謙太
郎氏(民政)は鐵鋼自給政策確立の急務を
説き産鐵獎勵立法案、國立鍊所の設立
農林行政の統一、東北地方に於ける食料
政策の確立等を題とし商相、内相、農相
等より答辭あつて午後七時七分散會した

一 北支事變を中心として新増税を建てる考
へであるか
一 今後の財政計畫は經濟力を出來得る
限り擴張した範圍において建て考へ
である
一 事件費の第二次追加豫算は恐らく出
ることと思ふ、その金額はさきに御審
議願つたよりも遙かに多いと思ふ
一 事件費の財源は取敢へず公債に依る
が事變の擴大如何に依つては適當な處
置を講ずる
一 物の豫算は豫算編成を國民經濟に順
應せしめるためである
森田福市氏(政友)は國民健康保險、地方
財政交付金、人權蹂躪問題、物價騰貴と
爲替相場との關係、生命保險の監督に就
いて論じ
堀内良平氏(民政) 軍人の給與を増額
する考へなきや
杉山陸相 在營兵の給與に就ては充分
とは言ひ得ないが目下の所次の議會に
増額を要求する考へは無い
代つて篠原陸相氏(民政)は學制改革問題
技術者養成教育方針に就て安井文相、地
方財政改革問題に就て馬場内相、官吏増
俸問題に就いて賀屋藏相と質問應答を累
ね
高見之通氏(政友) 今日政黨は舉國
一致の精神に基き時局の認識に努めて
居るが軍部兩相の所見如何
と質す、杉山陸相、米内海相同感の旨を
答へ高見氏更に廣田外相との間に日英會
商の經緯に就て質疑應答をなし高橋謙太
郎氏(民政)は鐵鋼自給政策確立の急務を
説き産鐵獎勵立法案、國立鍊所の設立
農林行政の統一、東北地方に於ける食料
政策の確立等を題とし商相、内相、農相
等より答辭あつて午後七時七分散會した

員等の養成に關する經費は工業生産力の擴充に伴ひ要する機械工、石炭の増産計畫實施に依り必要な石炭礦現場係員海運界進展の現況に鑑み要する高等海員其他の養成施設費及地方公共團體、組合等にして此等の施設をなさんとするものに對する補助費である、勞務需給調整施設補助に要する經費は工業勞務の需給の調節を圖る爲道府縣に之が専任の職員を設置せしむる等に要する經費を補助せんとするものである、昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加第三號は造船費、國債整理基金、金資金、關東局、學校及圖書館通信事業、朝鮮總督府、臺灣總督府、簡易生命保險並に郵便年金の各特別會計に關するものである、其の内金資金特別會計は金準備償還法に依り日本銀行、朝鮮銀行及臺灣銀行が政府に納付する金額並に日本銀行金買入法に依り日本銀行が政府に納付する金額を以て特別資金を置きその歳入歳出を一般會計と併し經理する爲今回新に之を設置することとなつたので本年度における歳入歳出を計上した、又通信事業、簡易生命保險並に郵便年金の各特別會計に關する歳入歳出は何れも保健社會省の新設に伴ひ簡易生命保險及郵便年金の現業事務を遞信官署をして行はしむるに必要な額を追加豫算として計上したもので其の他の特別會計歳出中主要なるものは造船局の産金法實施に伴ふ金銀地金精製費等の増加、關東局の北支事件經費、朝鮮總督府及臺灣總督府の産金法施行並産金獎勵に要する經費等である

委員會

製鐵事業法案修正

製鐵事業法案委員會は廿一日午前十時五分開會本法案に對する反對空氣は依然彌く岡崎久次郎氏(民)瀧澤七郎氏(政)高橋謙太郎氏(民)等から修正意見を述べて政府の意向を質した、之れに對して吉野商相も修正に應ずる旨を洩らしして正午休憩二時再開、第七條の利率率及び第廿二條の監督強化規定につき大島寅吉氏(民)兩條徳勇氏(政)小池四郎氏(第一)と吉野商相、東嶺山局長の間に質疑應答を置れた後

塚本重國氏(社大) 伍堂前商相時代の鐵鋼需給推算六百廿萬噸はそのまゝ採算したのだと聞く目下關係當局間で改めて推算中である

吉野商相 前商相は最小限度のものを推算したのだと聞く目下關係當局間で改めて推算中である

かくて質疑を終了し五時八分散會引續き政府側との懇談會を開き修正事項について協議した結果左記の修正案を決定した

一 第廿二條に左の趣旨の規定を追加すること

「政府は第廿二條第二項及び第廿一條の命令による損失を補償することを得」

一 この結果 原案の第廿二條以下順次一條づつ繰下げることを

一 一度重衡法改正に關する件

一 其他河川工事四件

建議案可決

廿一日の衆議院建議委員會に於て左記建議案は何れも可決された

一 下級官吏時定に巡査看守の待遇改善に關する件

一 小學校に看護婦配屬に關する件

一 酒精製造工場設置に關する件

一 貧小農家に對し宜有地拂下に關する件

一 生命保險事業國營に關する件

一 茶業振興に關する件

一 借地法、借家法並借地借家調停法全

昭和三十三年
時事年鑑
 (開始申)
 同盟通信社出版部

對支外交強硬論擡頭

北支事變は其後益々重大化の傾向にあり國民は齊しく問題の推移を注視してあるが衆議院各派にも日支間の關係を此際徹底的に解決する爲斷乎たる措置に出ずべしとの議が擡頭するに至り廿一日午後民政、政友、第一議院俱樂部等各派の有志代議士四十餘名は院內第八委員會室に參集協議を重ねた結果政府の該問題に對する不擴、大現地解決主義を手緩しとなし、「此際帝國は一大決心のもとに對支問題の全面的なる解決を期すべきである」と云ふに意見一致し八月二日午後三時より更めて院內豫算委員會室に「對支問題有志代議士會」を開會史に關する院內運動を起すと同時に場合によつては院外運動を以て國論の強化に邁進することに決し右に就て招待状を各議員に發送し又衆議院公報にも掲載して對支強硬論の徹底を期することとなつた

一般政治

閣議

二十二日 政府は廿二日正午首相官邸に閣僚千餘人を開き席上に廣田外相及杉山陸相より北支事變その後の情勢殊に國民政府の動向並に第廿九軍の現地撤退状況等について種々報告あり各關係より質問があつて午後二時散會した

二十三日 廿三日の定例閣議は午前十時廿分首相官邸に開會近衛首相以下全閣僚出席先づ瀧法制局長官より特別議會における首相の施政方針演說草案を提示して約五十分互に討論したが決定に至らず更に廿四日午前十時より臨時閣議を開いて協議決定することに決した、次で廣田外相の外交方針並に賀屋藏相の財政方針演說草案を附議檢討の結果これを決定して後北支事變に對する國民の認識と協力を求めるために特別議會において杉山陸相から事變の原因並に經過を報告する件を附議決定し陸相より

支那兵の撤退は日支兩國の約諾に基づき目下嚴密監視の裡に比較的平穩裡に實行されつゝある

旨を報告廣田外相からも南京政府とのその後交渉經過について簡單に報告後午後零時四十分散會した

二十四日 廿四日の臨時閣議は午前十時四十分首相官邸に開會近衛首相以下全閣僚出席約二時間に亘つて近衛首相の施政演說草稿について實績の結果を決定し次で問題の國民健康保險法案の取扱いに關する協議に移り先づ井野金重國次長より企畫閣議案について詳細に説明を行つた後馬場內相、有馬農相、永井遞相、中島藏相等よりそれゝ意見開陳があつたが政府原案を採擇するが衆議院修正案を採擇するかに就いて馬場、有馬兩相の意見對立し一致を見るに至らず結局近衛首相の裁斷に一任することとして午後一時十分散會した

二十六日 廿六日の臨時閣議は午前十一時廿分より首相官邸に開會近衛首相以下全閣僚出席先づ賀屋藏相より北支事變追加豫算提出に對する説明あり次いで陸相より今回の邸坊に於ける日支衝突事件に關し

今度の事件は第卅八師の不進行爲に依て起つたもので未だ詳細不明なるも今後第卅八師が本格的に我軍に抵抗することゝなれば前途の形勢逆轉すべからざるものがあると思ふ

この報告あり更に米内海相は上海に於ける高崎一等水兵の行方不明事件に就いて未だ真相をつきとめ得ない

旨を報告し問題の國民健康保險法案の取扱については閣議でこの問題に觸れることを避け閣議散會後近衛首相と關係閣僚の間で協議決定することゝし午後零時五分散會した、なほ北支事變費に關し永井、中島兩相より「事變の解決が遲延する場合は更に所要經費の追加を要することゝなるがこれに關して財務當局は如何なる方針を執るか」と質問したに對し藏相は「かゝる事態に立ち到れば更めて臨時議會召集の手續を執つて追加豫算案を提出することにならう」と答へた

二十七日

政府は廿七日貴族院本會議終了後午後零時十五分より院内に臨時閣議を開き近衛首相以下全閣僚出席杉山陸相より北支のその後の情勢を報告し

午前の閣議で報告した以後形勢は格別

の變化を認めぬ

旨を述べ次いで同日午前の首相官邸における閣議において杉山陸相参内のため退席中に協議せる政府の聲明文案につき陸相を交へて懇談した結果政府聲明を書記官長談の形式を以て發表することに決し同一時散會した

二十八日

政府は廿八日午後八時の衆議院本會議散會後六時四十分より院内に臨時閣議を開き近衛首相始め全閣僚出席の下に杉山陸相より北支の情勢に關する報告を聴取し同六時五十分散會した

三十一日

政府は卅一日午後一時より院内に臨時閣議を開き賀屋藏相より北支・關係の第四次追加撥算案を説明して議案提出を決定次で新設保健社會省機構内容につき協議を進め同議席上關し内務・農林兩省間に意見喰違ひがあつた點につき準備委員長たる瀧法制局長官に一任することとし更に杉山陸相より北支のその後の情勢に就て報告あつて同廿五分散會

選舉制度委員補充

【三三】 選舉制度調査會の衆議院委員は廿三日左の如く補充充令された

▲若宮員夫 ▲富田幸次郎 ▲熊谷直太 ▲川崎末五郎 ▲加藤麟一 ▲牧野股芳 ▲野中徹也 ▲濱野太郎 ▲山本芳治 ▲田川大吾郎 ▲馬場元治 ▲三輪壽壯 選舉制度調査會委員被仰付

特別議會政府委員發令

【三四】 政府は特別議會政府委員として風見書記官長以下各閣僚百七十名を決定廿四日發令した

健保法案不提出決定

【三五】 國民健康保險法案の取扱ひに關し馬場 有馬兩相の意見對立して一致をみるに至らない爲近衛首相は廿六日の臨時閣議散會後馬場 有馬 中島 永井關係四相の居残りを求め風見書記官長をも加へて協議を行つたが馬場内相 有馬農相とも行懸り上より自説を譲り得ない情勢が明瞭となるに至つたため近衛首相は一同問題を未解決の儘に放任するに關し閣内不統一を暴露して諸方面に悪影響を與へる怖れがある」といふ見解に基き熟慮の結果

國民健康保險法案は今特別議會には提出せず新設せらるべき保健社會省において更に慎重案を練つた上政府の方針を決定し來る通電議會に提出することとした

旨を述べ馬場 有馬兩相の面目をたてる折衷案を提議した、よつて四相も首相の裁断に同意し紛糾に陥つた同問題も落着きを見た、右に關し風見書記官長は左の如き談話を發表した

▲風見書記官長談

國民健康保險法案は今回の如き短期議會において論議を盡さしむることは困難なりと思ふ、且つ保健社會省も施設されることであるから同省において更に研究を重ね次期議會に提出する方針である

不提出經過

國民健康保險法案を繞る政府部内の對立は政黨内部の諸事情にも反映して一時其成行が危ぶまれたが廿六日における關

係四閣僚と近衛首相との協議の結果首相の最後の裁断によつて今期議會への提案見合せに決定し一應解決をみるに至つたこの問題が勃發し出したのは保健社會省の新設が計畫され朝省の中に健康保險事務を統轄せしむるといふ問題が起つた頃から前議會において内務省原案は醫師會方面の反對に遭つて折衷案の所謂修正案となつて辛くも衆議院を通過したのであるが前議會は解散と政變によつて問題は現内閣に残された、現内閣はこれを重要な國策としてゐるので農林議員團より猛烈に内務省原案復活の要求が現はれ政民社大並に衆議院各派を横断する健保案原案實施の大運動が現はれて前議會における院議並に黨首議員に對する牽制運動が展開されて行つた、一方政府部内にあつては農林問題の解決を達せんと異常なる意氣込みを以て農相に就任した有馬農相は内務原案の復活を力説強調し企畫廳が慎重審議の結果として内務原案に到着せりと稱して農林議員團と呼應して原案提出の氣勢を揚げるに至つた、然るに一方馬場内相は衆議院通過を第一條件とし修正案提出を主張し此處に俄然閣内に意見對立するに至り再度の閣議に於て論議を盡したが中島 永井の政黨出身關係は黨内情勢の複雑なるに藉口して決定的態度を示さぬため廿四日の閣議に於ては遂に政務官をして黨内情勢を探知せしめた上決定することとなつたが政務官の報告も自己の主観を強調せるに過ぎないので更に廿五日日曜日に拘らず近衛首相と關係四閣僚との間で協議が重ねられたが徒らに論議をくり返すのみで決定せず在再日を重ねる有様となつた、一方この間にあつて内務省關係者は河原田前内相を始め各方面手分けして首相に對して猛烈なる側面運動をなす等事變は漸く樂觀を許さざる情勢に立ち至つた、近衛

首相の意中初めより現内閣成立の使命よりみても本問題の如きは農林政策の立場よりこれを取扱ふべきで便宜主義は放棄すべきであるとの建別を持してゐたが閣内の對立、膠着を慮つて首相一流の悠然たる態度を持しつゝ事態を見極めてゐたのである、有馬農相はあく迄原案の提出を主張するもこの結果閣内不統一となすに至らんことを苦慮し一切をあけて首相に一任首相にして修正案提案を決定されるならばこれ亦已むなしとの大乗的態度を持するに至つて廿六日の臨時閣議となつたのである、而して本問題に重大關心を有してゐた風見書記官長も廣田企畫廳總裁及び關係四閣僚間に斡旋したが依然對立状態はとけずかくて閣議直後首相の裁断によつて今期議會への不提出と決定大團圓をみるに至つた譯である

三相施政演説内要

【三七】 近衛首相 廣田外相、賀屋藏相は廿六日午後二時前後して宮中に参内天皇陛下に拜謁仰付けられ廿七日貴族院において行ふ首相の施政方針演説、外相の外交經過並に方針演説、藏相の財政演説の内容を内奏御下間に奉答退下した

首相ラヂオ放送

【三八】 近衛首相は廿七日午後八時首相官邸からラヂオを通じ議會に於て爲した施政方針演説と同趣旨の意見を約十分間全國に中繼放送し北支事變に關する對策を始めとして政府が今後むかはんとする方向を國民に明示し其の協力を要望した

首相北支情勢奏上

【三九】 近衛首相は廿七日午後四時半宮中に参内天皇陛下に拜謁仰付けられ政府の北支情勢並に對策方針に關し委曲奏上種々御下間に奉答の後退下した

物價對策小委員會

第一委員會

【四〇】 物價對策委員會第一小委員會(石炭 動力及運賃關係)は廿九日午後二時首相官邸に開會小川委員長以下各委員出席鐵道常務副館長に關する從來の施設事項を幹事より説明の後種々意見の交換をなし更に各委員の研究を俟つこととし五時散會した

第二委員會

【四一】 臨時物價對策第二小委員會(石炭 動力及運賃關係)は廿七日午後二時首相官邸に開會委員片岡安氏より大阪工業會燃料委員會の決議に就て報告あり石炭の増産計畫及び内外地に互る統制の必要並に其の方策に關し意見の交換を行つたが石炭の増産及び價格の點に就いては更に研究することとし同四時卅分散會した

第三委員會

【四二】 臨時物價對策委員會の第三小委員會(生活必需品關係)は廿八日午後二時廿分首相官邸に開會大口委員長以下各委員出席同日に引續き本委員會に於て研究すべき範圍等に付種々意見の交換をなし次で研究方法に關して

一 食糧品、衣に關するもの、住に關するものにとつて審議を進めては如何
一 生活必需品目と物價騰貴の著しき品目との兩方面より見て研究すべき品目の見當をつけ其等就て騰貴の原因を究め其の對策を考へることにしては如何
一 輸入品と國內生産品とに分けて研究しては如何
等の意見の開陳があつたが結局糧穀品を

内政

中心として騰貴の原因及び其の影響並に之に關する對策を研究すること、先づ繻製品より研究に入り棉花ストックの状況其他騰貴の原因につき研究を進め午後五時四十分散會した

地方事務官異動

【三】内務省では地方官異動に伴ひ廿一日本省並に全國地方廳の事務官、警視級の大異動を發令した、異動範圍は事務官で退官二名、休職二名、警視一名、計五名の勇退者を出した他異動總數事務官警視を通し全國各府縣に及び總數實に百廿八名に達した、内本省見習から事務官警視に昇格せる者十七名で地方行政刷新を目標とする期的大異動である

商店法案不提出決定

【三】政府は廿三日の定例閣議において特別議會政府提出法案の一部について協議したがその結果商店法案は不提出に決定した、同法案は社會立法の一部として内務省は是非とも提出する方針のもとに準備を進め去る九日の閣議においては一應提出法案として採擇されたが豫算關係並に法案の内容について更に研究を要する關係上今議會には間に合はず不提出となつたものである

應召家族繼續補綴

【三】内務省社會局長は北支事變の重大化に備へ舉國一致統後の後援を圖り皇軍の士氣を振作するため廿八日大村社會局長官の名で全國地方長官宛左の通り緊急依命通牒を發した

▲今次事變に關し出動又は應召せる軍人に關する軍事扶助等の件

今次事變に際しては舉國一致之に當るの精神を振起し出動又は應召軍人の激勵に努むるは勿論其の家族遺族に對する慰藉並に扶助に遺憾なきを期するの要切なるもの有之右に關しては既に適切な方途を講せられつゝありと存候得共特に左記事項御留意の上之が實施に付一段の努力を致され依命此段及派履候也

記

一 軍事扶助法に依る扶助に付ては市町村長を諮詢し要扶助者の實地調査を勵行せしめ扶助より漏るものなきを期すと共に扶助に關する事務に付ては特に迅速且適正に之を取進め扶助上支障を來すが如きことなきやう努むること

二 軍事扶助法に該當せざるも扶助の必要あるものに對しては軍人援護資金の活用によるの外市町村又は民間軍事扶助團體の活動を促し扶助の徹底を期すること

三 今次事變に關し應召したる各種事業の被備者に付ては雇傭主をして入營者職業保障法の勵行活用を圖らしむるは勿論出來得る限り優遇の方途を講せしめ又其の家族遺族に對しても可及的慰藉を爲さしむること、尙職業紹介機關をして應召者關係家族の就職斡旋に付特別の考慮を拂はしむること

四 軍事扶助事業の統制連絡に付ては特別の考慮を拂はしむること
 五 常時管内の扶助状況を査察し關係者に對し指導監督を加ふる等適切なる方法に依り扶助並に慰藉に付遺憾なきを期すること

派遣せられある在外部隊に關しても勿

六 従来より滿洲並に中南支等の方面に關し各項に準じ取扱ふべきこと

出動吏員優遇通牒

【三】内務省では北支事變に際し道府縣又は市町村の吏員にして出動する者の優遇方法につき卅日坂地方局長の名で全國地方長官宛左の通り通牒を發した

▲道府縣又は市町村の吏員にして今回の事變に關し出動する者

の取扱方に關する件
 標記の件に關しては既に十分御配慮中のこと、は存候へ共事變の性質に鑑み成る可く出動者を優遇するを適當と被存候に付ては之等の者は出來得れば官吏にして出動する者と同様の取扱を爲す等事情の許す限り優遇の方途を講じ以て出動者の處遇に付遺憾なからしむる機特に御配慮相煩依命此段及派履候

國威發揚祈願通牒

【三】内務省は北支事變勃發以來全國各地に於て官國幣社以下神社に國威發揚皇軍戰捷の祈願奉養をなすもの日を逐ふて多きを加へる事實に鑑み卅日兒玉神社局長の名を以て管下官國幣社以下神社において更に適切な方法を講じ今後とも益々祭祀の執行、神符守札の授與等に當り國民奉養の赤誠を遺憾なく達成せしむべく一層神職を奮勵する様全國地方長官宛依命通牒を發した

補給金配分割當決定

【三】臨時地方財政補給金二億圓の内道府縣交付額二千七百五十萬圓の配分については既に地方財政補給金委員會に於て配分標準を決定したので内務省は右に基き割當交付額を算出中であつたが卅一日東京、京都、大阪の三府を除き一道四

財政

金地金賣渡勅令案

【三】政府が密輸の沒收等により所有した金地金は會計法の規定に基づきその處分は競買に限られてゐるが大藏省では日銀への金集中政策の一助として政府所有の金地金を隨意契約により日銀に賣渡す事となりこれに關する勅令案は十六日の閣議の決定を経て廿一日の官報で公布された

第一次追加豫算決定

【三】大藏省は廿五日午後總相官邸に豫算會議を開き北支事件費に關する昭和十二年度追加豫算案を協議決定廿六日の臨時閣議に附議した上同日衆議院に提出した、然して決定したる北支事件費追加豫算額は一般會計に於て九千六百八十萬圓、朝鮮總督府特別會計に於て廿萬圓となり十二年度第二豫備金より支出したる事件費一千萬圓を加算すれば既に決定したる北支事件費のみで實に二億圓を突破する計算となつた、而して之が豫算の内訳は左の如くであるがその内大藏省豫算は北支事件費第一豫備金四千萬圓と公債利子額八十萬圓とを含んでゐる(單位千圓)

關稅定率法改正要綱

【三】關稅定率法中改正法律案は廿八日議會に提出された、内容左の如し
 關稅定率法中左の通改正す
 第七條第四號の二を削り同條第十二號を

陸軍省 四六、〇〇〇
 海軍省 九、〇〇〇
 計 九六、八〇〇

△特別會計
 國債整理基金 八〇〇
 公債金 九五、九〇〇
 朝鮮總督府 二〇〇

尙事件費の財源は北支事件公債により賄ふこととなつたが公債利子は十七年度一般會計剩餘金より朝鮮總督府特別會計は總督府十七年度剩餘金より支拂することとなつてゐる

金資金法案綱

【三】金準備評價換差益を以て設定する金資金特別會計法案は評價換差益と共今議會に提出され金現送並に金買上に運用されることとなつたが同法案要綱は左の如くである

- 一 金資金を置きその歳入歳出は一般の會計と區分し特別會計を設けること
- 二 金準備評價法の規定により日銀、鮮銀、臺銀が政府に納付する金額並に日銀買入法により日銀が政府に納付する金額はこれを本資金に繰入ること
- 三 本資金は豫算の定むるところにより産金の増加のため必要な費途に使用し得ること
- 四 本資金は大藏大臣の定むるところにより金又は國債に運用し日銀をしてこれを取扱はしむること
- 五 兌換銀行券條例第二條第五項の借入金及び日銀買入法第四條の債務は本會計の負擔とする

一般會計

外務省 七〇〇
 大藏省 四〇、八〇〇

左の如く改む

十二 政府の専賣品又は酒精の製造に供する原料品にして政府の輸入に係るもの

第七條に左の一號を加ふ
廿四 命令の定むる所に依り政府の認可を受け輸入する航空機又は航空機用の發動機若しくはプロペラ

第二次追加豫算決定

【三〇】 政府は廿八日の閣議に
一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

以上第二次追加豫算案を附議承認を得廿九日衆議院に提出したが右豫算總額は一般會計に於て一千三百卅八萬圓となり之が各省内譯は左の通りである(單位千圓)

北海道拓植費中森林費

一 大蔵省

一 企業經費(廿九萬圓)

特別議會開設に伴ふ經費(廿六萬圓)

爲替管理に要する經費(廿六萬圓)

一 陸軍省

一 災害費

一 海軍省

一 滿洲事件費補充

一 文部省

臨時氣象観測に關する經費

一 農林省

日ソ漁業條約整備に關する經費

一 商工省

輸入爲替許可制實施に伴ふ經費

一 拓務省

總領事館調査費(三萬圓)

一 拓務省

滿洲拓植委員會設置に伴ふ分擔金

一 關東局特別會計

一 災害費

一 通信事業特別會計

一 電信電話増設費

一 朝鮮總督府特別會計

治外法權撤廢に伴ひ滿洲に移住する鮮人に對する交付金、國境警備費

一 樺太廳特別會計

鐵道車輛増加に要する經費

尙ほ第二次追加豫算の財源は一般特別兩會計共に昭和十一年度剩餘金より支拂する事となつた

億八千二百卅一萬五千圓となつたが政府は更に

一 保健社會省創設に伴ふ經費

一 機械工、鑛山工等の熟練工養成に要する經費

一 産金増加促進に要する經費

等を第三次追加豫算として今議會に提出する方針である

第三次追加豫算決定

【三一】 政府は卅日の閣議に於て
一 昭和十二年歳入歳出總豫算追加案(第三號)
一 昭和十二年度各特別會計豫算追加案(特第二號)

の兩件を正式決定卅一日衆議院に提出した、その内容は一般會計にあつては保健社會省の新設、特別會計にあつては金貨金特別會計並に保健社會省の設置に伴ふ新設費並に豫算面の異動を主としたものである、内譯左の如し(單位千圓)

△一般會計(追加第三號)
所管 金額 使途
大蔵省 七〇 營繕費
文部省 三〇 機械工員及高級海員養成費
商工省 五、〇〇 産金奨励四、二〇〇 機械工員養成九、〇〇

保健社會省 七〇 所管總算二億餘圓のうち款項の一部を轉移並に新設費
計 七、〇〇
(以上國庫剩餘金より支拂)

△特別會計(特第二號)
造幣局 一〇〇 金増産に伴ふ施設費
金貨金 三、〇〇 金買入法に基く日銀債務の返償費その他
特別會計 三、〇〇 金貨金特別會計
國債整理 三、〇〇 金貨金特別會計
會計 三、〇〇 以上の通り扱ひ

關東局 三〇 事變關係費

特別會計 三〇 學校及圖書館特別會計

三〇 養成に伴ふ經費

通信事業特別會計 三〇 保健省新設に依る窓口業務費

簡易生命保險 三〇 前項業務委託に關する支拂

朝鮮總督府 四〇 産金奨励費

臺灣總督府 三〇 産金奨励費

特別會計 三〇 産金奨励費

なほ特別會計の財源には植民地特別會計分は各剩餘金を以て、金貨金特別會計分は金の再評價益の一部を以て充當するものである

日銀總裁更迭

【三二】 廿七日の臨時閣議において日銀總裁更迭を左の如く決定發令した
從三位勳五等 結城豐太郎
日本銀行總裁被仰付 池田 成彬
依願日本銀行總裁被免

▲賀屋藏相談 池田日銀總裁は最近病狀はかばかしくないのでこの際責任ある日銀總裁の地位を退いて静養したい旨の申出があつた、自分としては財界に重きをなす池田氏の留任を懇請したが總裁の辭意は固く且現下の時局にも鑑み同氏の辭任を認め後任總裁として結城豐太郎氏を頼はした譯である、後任の結城氏は日銀總裁として最も適任者であり財界も結城氏の總裁就任によつて何卒の動機を與へず無事安泰であらう、尙津島副總裁は引續き留任して貰ふことになつた、池田總裁の任期は短期間ではあつたが金現送、日銀參與理事制の新設、國債擔保割引利率の引下げ、社債擔保金融の促進又は金準備再評價問題等經濟界の現状に對應し

て必要なる措置をとつて來られたことは我々として大いに多とする所である、日銀の金融政策並に業務については今回の總裁更迭によつて何等の變更も加へられない筈である

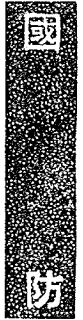
▲結城總裁談 由來日銀總裁には金融界の信頼を擔つてゐる人がその地位につくことになつて居りその點池田君は最過任者であつて健康が多少悪くても別に差支へないと思ふが同君としては現下の非常時局にあつて休職を願ふことは誠に申譯がないとする強度の責任感から辭表を出されたものである、その結果首相、藏相から私に就任の交渉があつたが現在在學團一致動かねばならぬ時で殊に金融界の事については露に自分が池田君に就任をお願ひした關係もありこの際池田君の志を受繼ぐことが良いと考へてお受けした次第である、自分は日銀を去つて可成り久しく未だ抱負など持合せてゐないが皆の話を十分聞いて今後の方針を進めてゆかうと思ふ、現在最も大きな問題は國際收支適合と公債消化の問題である、この點については金融界全體の協力支持を受けなければ圓滑な遂行を期し難い、從て日銀總裁は財界の信頼を持つことが必要で自分などはまだ足りないと思つてゐる、今後の方針については池田君に會つて同君の考へてゐること及び今後施設すべき事柄を聞いてから決めてゆく心算である、しかし何れは政府の政策に順應してゆかなければならぬ、即ち生存力擴充のために國際收支の悪化を來たさない様に努め同時にこの點金融界全體に對し理解を持つて貰ふ、殊に公債消化については金融界の協力なしには全く不可能である、又それは普通銀行のみでなく貯銀、信託、保險等各種金融機關の聯絡協調が必要である

更迭事情

池田日銀總裁は最近持病のため辭意を表明してゐたが當面の懸案たる日銀金再評價問題と資金政策、日銀國債擔保貸付日歩折柄一等もその重責に止まるに忍びずるとして廿六日夜正式に賀屋蔵相の手許まで辭表を提出した、依つて賀屋蔵相として後任有力候補者として前蔵相結城豊太郎氏に交遊の結果承諾を得たので廿七日の臨時閣議に右更迭を附議し承認を得た、池田前總裁は本年二月杯内閣成立と同時に結城別蔵相の懇請により就任をみたものであるが所謂結城、池田のコンビとして生産力擴充政策に對する日銀傳説の變動に盡力し日銀參與理事制の設置を始め最近の金融政策に關してその豊富な知識經驗を遺憾なく發揮したものである、而して後任者たる結城新總裁は池田前總裁とは肝膽相照す間柄であり殊に賀屋蔵相はじめ大藏當局との關係は師弟の如き状態にあるから結城、賀屋の新コンビこそ今後の財政金融政策遂行上絶好の取組と稱し得るであらう、從つて右コンビに依る政策も従來と何等變更あるべきではなく津島副總裁の内助の功によつて今後の政策遂行は極めて期待されるものがあるといひ得られるであらう

津島副總裁留任

津島日銀副總裁は廿七日午前八時蔵相賀屋邸に賀屋蔵相を訪問し辭表を提出する旨述べたが賀屋蔵相は極力留任を希望した結果津島副總裁は留任することになつた



陸軍

陸相奏上

【七三】 杉山陸相は廿二日午前十時五分宮中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項につき上奏種々御下問に奉答申し上げて退下した

騎兵學校修業式

習志、陸軍騎兵學校各種學生五十四名の修業式は廿四日午前曷き邊りから御差遣の四手井侍從武官、三笠宮、賀陽宮、閑院若宮の三殿、を始め奉り寺内教育總監飯一騎兵監その他軍部の諸星多數、列の上舉行され四手侍從武官より優等生乙種學生、滿、騎兵十四聯隊少尉松野正臣(德島出身)に銀時計、甲種學生朝鮮驛騎兵七聯隊大尉星二夫(久留米市出身)に銀時計、丙種學生騎兵朝鮮驛南七聯隊中尉實嘉(山口縣出身)に銀時計の傳達式を行ひ正午一同名残りの會食を共にした

陸軍定期異動内表

【七三】 杉山陸相は廿八日午後三時宮中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ八月の陸軍定期異動に關し内奏御允許を賜はつた、今回の異動は躍進途上にある國軍の陣容を整備するため相當廣範圍に亘るが緊迫せる現下の情勢に鑑み之を數次に亘つて發令されることとなつた、而してその第一は異動の大部分であつて八月二日附發令の豫定であつて次の如き考慮を以て行はれる

- 一 北支事變に直接關係ある部隊にあり

ては止むを得ざるものゝ外異動を見合せる

- 二 退職は後進に途を拓き新進氣鋭の士を擁護する爲に上級者にありては之を行ふもその他にありては日支間正に一髮の危機に備へる爲一時之を中止し何時にても舉軍直ちに起つて期に應じ得るやうに態勢にあらしめてある
- 三 進級は各階級に亘り豫定の通り之を行ひその總數も従來になき多數に上る管である

武官服役令規則改正

【七三】 陸軍では廿一日の官報を以て陸軍武官服役令施行規則中の一部改正を公布したがその要點は次の如くである

- 一 將校又は准士官にして疾病其他身體又は精神の異常に因りその職務又は服役を離るゝことを希望する者は將校に在りては陸軍大臣宛、准士官に在りては團長宛に願書を差出すことにした
- 一 隊中現役下士官の營外居住につき航空團の設立に伴つて改正を加へた

所屬飛行學校卒業式

【七三】 所屬飛行學校第六十六期下士操縱學生並に航空技術學校第四回整備學生は廿一日午前九時より航空本部長古莊中将列席の下に晴れの卒業證書授與式を舉行した、陸軍大臣賞を授與された優等生は左り通り

- △操縱學生 飛行第七聯隊附(濱松)
- △整備學生 航空兵軍曹 田中田茂利(岡山)
- 飛行第一聯隊附(各務原)

- △整備學生 飛行第一聯隊附(各務原)
- 同 伍長 長谷川 満(愛知)



海軍

造船學生募集

【七三】 海軍省では海軍造船、造機及造船學生の募集に關し廿三日左の如く發表した

- △試験場所 札幌、仙臺、米澤、東京、名古屋、大阪、金澤、廣島、福岡、熊本、高松(試験場は志願者に通知す)
- △試験期日 昭和十二年十一月十一日(十二日二日間)

驅逐艦山雲進水

【七三】 新精銳一等驅逐艦山雲の進水式は廿四日午前大阪市住吉區柴谷町陸永田造船所において關係官民多數參列の下に舉行された、同艦は昨年十一月四日起工されたもので機軸左の如し

- 長さ 一〇八・五五米
- 幅 一〇・二五米
- 排水量 一三、〇〇トン
- 速度 三四ノット
- 備砲 十二センチ砲六門
- 發射管 八基

海相奏上

【七三】 米内海相は廿八日午後一時十五分宮中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項に關し詳細に奏上種々御下問に奉答して退下した

軍參議會會議

【七三】 海軍々事參議會會議は廿九日午前十一時より宮中東御間において天皇陛下親臨のもとに開會伏見軍令部總長宮殿下を始め奉り大角、末六、高橋、藤田各參議員、米内海相出席、海軍省所管事項に關して審議し終つて陛下入御あらせらる

れ一同は南滿洲において午餐を賜はつた

總裁官海軍に御言葉

【七三】 帝國在郷軍人會會長井上幾太郎大將は去る七月十五日閣議總裁官閣下のもとに何候北支事變に關し在郷軍人會としてとりたる處置及び全國各郷軍の情勢につき詳細言上したが閣下には殊の外御満足に思召され左の如き優渥なる御激勵の御言葉を賜つた

御言葉

帝國在郷軍人會は我國内に於て最も強固なる團體なるを以て國民の核心となり此際一層國論の統一に邁進せよ

海軍整備補習生採用

【七三】 横須賀鎮守府公表 我が海軍では各鎮守府から海軍整備補習生を採用し本年十月一日から實施することとなつた、此補習生の採用資格は一ヶ年以上海船乗組員として従事し中等小學卒業程度で年齢は滿十七歳以上廿歳未満の者と定め海兵團にて六ヶ年間教育し是を終了したる者は豫備海軍二等機關兵或は二等水兵となし卒業後四ヶ年間の内に二ヶ年間は遠洋漁業に従事せしむる方法とし若し此二ヶ年間に遠洋漁業に従事せざる者は徴兵令に依つて別に陸軍へ服役する規定である、今回横須賀鎮守府で採用する人は機關料三〇兵科六〇で志願者は既に三〇〇餘名に達し採用に關する検査は來る八月十日靜岡縣焼津、同十九日同縣御崎、九月四日宮城縣石巻で行ひ海兵團に入團するのは來る十月一日である

司法

陪審法改正要旨

【七・三】 司法省は特別議會に現行陪審法の改正法案を提出する事とし過般 樞府に御諮詢を仰いで...

一 陪審事件にして被告人が多数で事件が複雑なるためにその審理に長期間を要し且つ陪審員滯留の場所と他人との交流のおそれある場合は控訴院に對し事件の審理を陪審の評議に附せざることを請求することを得ること

科學的捜査研究所創設 【七・六】 司法省では廿六日の首脳部會議の結果司法部に科學的捜査研究所を新設するに決した、右機關は從來犯人の自白のみを主要な證據としていた捜査方法に新し自然科學の力を取り入れ自白以外に心理的 實驗的方法を導入して證據としてその適確性を圖らんとするもので初年度豫算として十三年度豫算で約五十萬圓の經費を計上するが右組織は大體畫記

官事務官各五名内外技師技士各十名内外で五部に分割して夫々事務的専門的に研究するものである

人權保障問題對策決定

【七・六】 司法省は廿六日午後三時より法相官邸會議室に首脳部會議を開き人權保障問題に對する處置に關し協議すると同時に檢察權の適正なる運用につき種々協議した、即ち同日の會議には總務法相以下長島次官、大森民事、松茂刑事兩局長並に官房各課長出席總務法相より最近民間の一部にはやゝもすれば檢察の捜査事務に關し疑義を差しはさむ者があることは司法當局として慎重に考慮しなければならぬ問題であり人權保障 福根は將來一掃することに努めなければならない

一 從來大審院に設置されてきた審査部を擴大強化して新たに秋田要檢察を審査部主任とし更に徳江檢察も専任審査部係檢察に任命し本格的に全國の人權保障問題及び無罪となりたる事件について真相を調査することとなつた、而して全國各控訴院にも大審院に於ける審査部と並行して檢察事務の審査部を新設することを決定取敢えず東京控訴院では石川、三田兩檢察を専任審査部に任命し同日直ちに各地方控訴院に對しても可及的速かに専任審査部係の任命方を命じた、然しながら司法部首脳部の意向としては十二年度豫算の九月より實施される分に於いて増員される地方裁判所檢察の一部を控訴院檢察事務取扱として専心檢察事務の審査に當らせる方針であるが明年十三年度豫算に於いて之等専任檢察増員に要する費用を要求することとなつた

中等校入試を一科目に 【七・四】 安井文相は就任以來受驗苦の重壓下から兒童を解放するためこれが對策につき事務當局として慎重考査せしめてゐたが廿四日漸くその成案を得たので伊東次官の名を以つて同日各地方長官宛左記の如き通牒を發した

教育

文部省議會對策

【七・三】 文部省は廿三日午後三時文相官邸で特別議會對策會議を開き安井文相、内ヶ崎、伊東兩次官、菊池教務局長、外各局部長等出席各局長より所管一般事項を説明協議したが前内閣以來懸案の義務教育年限延 問題に就ては現在の義務教育を充實するの意に異論なきも年限延長の形式、内容等は一般學制と関連して更に十分の検討を加へる必要を以て近く設置するべき教育審議會に於て調査審議すること、又國體明徴と國民精神の作興は文教審議會を改組する新設の教育審議會に於て適切な具體的方策を審議することに答辭方針を決定し午後七時散會した

一 入學者の選抜方法に關しては苟も考査上の便宜等に採るゝことなく専ら兒童の爲を顧念し其の負擔軽減を主とし工夫考査すること

一 臨時工業技術員養成施設に關する經費 五二三

て其の教科目の數を減少し可成一科目に付之を行ふこと

【七・二】 文部省所管本年度追加豫算承認額は廿九日六十六萬圓に決定したが其の費目左の如し(單位千圓)

一 臨時工業技術員養成施設に關する經費 五二三 一 臨時高等海員養成施設に要する經費 三五五 一 大日本聯合青年團臨時施設費補助 三〇

【七・一】 農林大臣任命書 有馬 賴寧 大藏省主計局長 谷口 恒二 大藏省理財局長 關原 忠三 農林政務次官 高橋 守平 農林次官 戸田 保忠 農林省農政局長 田川啓四郎 農林省畜産局長 助川敬治 岡本英太郎 大久保利賢 石黑 忠篤

【七・一】 農林大臣任命書 有馬 賴寧 大藏省主計局長 谷口 恒二 大藏省理財局長 關原 忠三 農林政務次官 高橋 守平 農林次官 戸田 保忠 農林省農政局長 田川啓四郎 農林省畜産局長 助川敬治 岡本英太郎 大久保利賢 石黑 忠篤

【七・一】 農林大臣任命書 有馬 賴寧 大藏省主計局長 谷口 恒二 大藏省理財局長 關原 忠三 農林政務次官 高橋 守平 農林次官 戸田 保忠 農林省農政局長 田川啓四郎 農林省畜産局長 助川敬治 岡本英太郎 大久保利賢 石黑 忠篤

【七・一】 農林大臣任命書 有馬 賴寧 大藏省主計局長 谷口 恒二 大藏省理財局長 關原 忠三 農林政務次官 高橋 守平 農林次官 戸田 保忠 農林省農政局長 田川啓四郎 農林省畜産局長 助川敬治 岡本英太郎 大久保利賢 石黑 忠篤

子爵 織田 信恒
月田 藤三郎

全國養蠶業組合聯合會會長

全國製糸業組合聯合會會長

全國養蠶業組合聯合會副會長

全國養蠶業組合聯合會會長

神戸取引所理事長

長野 忠次

宮澤 胤男

瀧川 儀作

伊藤 武男

小田 萬藏

福田 英助

上甲 信弘

平野吉左衛門

森田 金藏

松島 鹿夫

寺尾 進

佐藤 寛次

福島 喜男

木内 四郎

大藏書記官

付規則要綱左の如し
▲ 郡市町村農會技術員設置助成
規則要綱

一 農林大臣は郡市町村農會技術員の設置を奨励する爲本則により毎年度豫算の範圍内に於て助成金を交付することとし、一 助成金を受けるものは主として道府縣農會とし道府縣を認むることとし、左の費用又は補助金に對し交付すること

1 郡市町村農會の技術員設置費に對し交付する道府縣農會(又は道府縣)の補助金又は其の補助金に對し交付する道府縣の補助金
2 町村農會に駐在する郡農會の技術員設置費に對し交付する道府縣農會(又は道府縣)の補助金又はその補助金に對し交付する道府縣の補助金
3 郡市町村農會に駐在する道府縣農會の技術員設置費又はその費用に對し交付する道府縣の補助金

一 助成金の額は農會の支給する俸給總額の三分の一以内とし特別の事由ある場合はその割合を超えて交付することを得るものとする
一 町村農會の設立なき町村に在りては町村の農業技術員設置費又は町村に在勤する道府縣の農業技術員設置費に對し道府縣に助成金を交付し得るものとする

一 本規則の施行の爲通牒に依り細目を規定すること

商 工

製鐵事業法修正提出

【三〇四】 商工省は前議會で審議未了となつた製鐵事業法を特別議會に再提出する事になつたが製鐵事業の發達を期するため原案の骨子には改變は加へないが業者

の立場をも考慮して三點について幾分條文を改正緩和した、要點は左の如くである

一 許可制の實施は製鐵事業の健全なる發達のため是非其必要の多改正せず
一 公益上必要な場合鐵礦の供給數量販賣價格等について變更を命ずる事は業者の營業を束縛し損失を來す恐れありとの反對に對してはもし斯かる事實が發生すれば政府が補償する事とする但し條文には規定せず

一 業務の報告並に必要に應じ臨検をなすことが數度に過ぎるとの反對に對しては許可制を敷く以上検査報告は止むを得ないが業者の秘密漏洩を防ぐためには別に條文を置く、その外法令違反に對する處分の範圍を縮少する

一 第十八條「製鐵事業者鐵礦の生産・販賣・輸出・輸入・移出入に關し他の製鐵事業者と統制協定をなしたる場合政府に届出づべきこと」の中「他の製鐵事業者」とあるを削除する、從つて第十條の「製鐵事業者」とあるも削除する

一 第二十四條の「政府の許可に依る處分を爲さんとするときは製鐵事業委員會の議を経べきこと」とあるを不許可の場合にも委員會の議を経べきこととした

一 第二十五條「製鐵事業者本法若くは本法に基きて發する命令又は之に基きてなす處分に違反し又は公益を害する行為をなしたるときは、一とあるを「公益を害する行為」を削除して罰則の適用範圍を縮少した

一 第三十一條「當該官吏又は其の職に在りたる者本法に依る職務執行に關し知りたる個人又は法人の業務上秘密を漏洩したる者は罰出たるときは一年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處する

こと」の一項を新に挿入した
萬博回数入場券法案

【三〇三】 商工省より議會に提出する紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回数入場券發行に關する法律案は廿五日の閣議で正式決定廿七日衆議院に提出の手續を了つたが内容左の如し
△紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回数入場券發行に關する法律案

第一條 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會を開設する公益法人は抽籤券附回数入場券を發行することを得
第二條 抽籤券附回数入場券の發行價格は抽籤したる入場券の種類及枚數に應じ十圓を超えざる範圍内に於て之を定むべし

第三條 當籤一個の金額の最高額は抽籤券附回数入場券の發行價格の二百倍とす
第四條 抽籤券附回数入場券の發行總額は三千六百五十萬圓を以て限とす
第五條 第一條の公益法人抽籤券附回数入場券を發行せんとするときは主務大臣の定むる所に依り發行の方法及條件其他必要なる事項を定め主務大臣の認可を受くべし

第六條 抽籤券附回数入場券の構造に關しては通貨及證券模造取締法を準用す

本法施行の期日は勅令を以て之を定む
然して同入場券發行的計畫内容は抽籤券附回数入場券は商工省に於て發行し總額三千六百五十萬圓、當籤は發行總額の二割三百六十五萬圓、博覽會の發行實收は三千五百五十萬圓として左の如き收支計畫に基き前賣發行されることになつてゐる(單位千圓)

一 發行總額 三六、五〇〇

一 發行實收 六、〇〇〇
(内譯)
當籤金 三、六五〇
賣捌手数料 一、四六〇
公告費 一一〇
宣傳費 三三四
回数入場券印刷費 二一九
事務費 一五四
豫備費 六三
一 發行實收入 三〇、五〇〇

産金法要綱
【三〇二】 大藏、商工兩省は産金増加及び新産金全部の政府買上げを目的とする産金法案を本議會に提出したが其の要綱は左の如くである

一 含金礦物、砂金又は銅鑛の過程に在る含金礦物(以下含金礦産物と稱す)を取得したる者は之を金地金に製鍊して政府に賣却し又は之を金製鍊業者若くは業として含金礦産物の買入を爲す者に賣却すべきこと但し命令を以て特例並に含金礦産物の範圍を定むること

二 政府は必要ありと認むるときは金委員會の議を経て含金礦産物を取得したる者に對し之を政府の指定する者に賣却すべきことを命ずることを得ること
政府は必要ありと認むるときは金委員會の議を経て金製鍊業者又は業として含金礦産物の買入を爲す者に對し政府の指定する者より含金礦産物を買入るべきことを命ずること

三 業として金の製鍊を爲さんとする者は政府の許可を受くべきこと業として含金礦産物の買入を爲さんとする者亦同じとすること金製鍊業者又は業として含金礦産物の買入を爲す者に非ざれば含金礦産物を購受することを不得ること但し命令を以て特例を設けること

一 發行總額 三六、五〇〇

一 發行總額 三六、五〇〇

四 金製錬業者は事業計畫を定め之を政府に届出づべきことを變更せんとするとき亦同じとすること

五 政府は産金の増加を圖る爲必要ありと認むるときは金委員会の議を経て金製錬業者に對し製錬設備の擴張改良其の他製錬設備に關し必要なる事項を命ずることを得ること

六 金鑛を目的とする鑛業者及砂金を目的とする砂鑛業者(以下金鑛業者と總稱す)は事業計畫を定め之を政府に届出づべきことを變更せんとするとき亦同じとすること

七 政府は必要ありと認むるときは事業計畫の變更を命ずることを得ること

八 政府は産金の増加を圖る爲必要ありと認むるときは金委員会の議を経て金製錬業者に對し探採、掘採、採取若は選鑛に付設備の擴張、改良其の他必要なる事項を命じ又は製錬設備の新設を命ずることを得ること

九 政府は公益上必要ありと認むるときは金委員会の議を経て金製錬業者、金製錬業者又は業として金鑛産物の買入を爲す者に對し金鑛産物の取引に關し必要なる事項を命ずることを得ること

の制限其金の他の使用に關し必要なる命令を發することを得ること

十一 政府は金貨幣、金地金、金の合金又は金を主たる材料とする物の取得、處分又は保有に關し報告を徴し又は検査を爲すことを得ること

十二 金鑛業者又は金製錬業者其の事業の爲必要なる器具、機械其の他の材料を政府の認可を受け輸入するときは本法施行の日より五年間輸入税を免除すること

十三 政府は金鑛業者及金製錬業者に對し豫算の定むる範圍内に於て獎勵金を交付することを得ること

十四 本法若は本法に基きて發する命令に違反し又は政府の命じたる事項を執行せざる者に適當の罰金を科すること

金委員會設置

【七〇】金の強制買上並に産金獎勵を目的とする産金法案は今議會に提出されたが政府は同法により金委員會を置し當業者の金鑛石の取引、探採、製錬、備の改良、金の使用制限等につき必要に應じ同委員會の議を経ることとした、同委員會は大蔵、商工、日銀等の外産金問題に關する有識者を以て組織する筈である

産金獎勵豫算決定

【七一】商工省では産金獎勵に關する經費を追加豫算として計上大蔵省に豫算概算九百卅七萬圓を提出中のところ廿八日左の如く總額四百廿八萬三千圓に削減の上承認された(單位圓)

産金獎勵費 四九、六七六
現地指導探採獎勵 二、三三三、八四七
鑛場及製錬場建設助成 一、六四八、五三一
出願處理 七八〇〇五

小計 四、一三〇、〇五九
産金法關係 五三、八五〇
現場係員養成施設補助 一〇〇、〇〇〇
總計 四、二八三、九〇九

輸入税免除法全文

【七二】廿八日衆議院に提出された該法の輸入税免除に關する法律案の全文は左の如くである

關稅定率法別表輸入税表第四百六十二號に掲ぐる鐵(別號に掲げたる特殊鋼を除く)の輸入税は本法施行の日より昭和十四年六月卅日迄を免除す

前項の期間に政府特に必要ありと認むるときは勅令に依り物品を指定し之を短縮することを得

附則
本法は公布の日より之を施行す
昭和十二年勅令第三百三號は之を廢止す

大豆油免稅改正法

【七三】廿八日議會に提出した大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州大豆硬化油、硝酸アンモンの關稅免除)の全文左の如し

大正十四年法律第五十二號中左の通改正す別表甲輸入税表番號第七十二號の内の項の次に左の一項を加ふ

二〇の内大豆硬化油(關東州の生産に係る大豆油を原料としたるもの)

同第二百二十九號の内の項を左の如く改む

二二の内硫酸マグネシア及硝酸アンモンの項を削る

別表乙輸入税表番號第二百二十號の内の項を削る

附則
本法は公布の日より之を施行す

技術者養成計畫決定

【七四】生産力擴充に伴ふ工業技術者及び高等海員養成の應急的施設は廿九日總額五十八萬二千圓を計上することに決定した、其の計畫概要は左の如くである

一 工業技術者養成は本年度に於て機械、電氣、應用化學、探採冶金の四科目につき官、公、私立高等工業の現在設備を活用し中學校卒業者に對し本年度内に六ヶ月間の短期養成を行ふが之に依り高等工業學校に於て約四百八十名、工業學校に於て約六百名、合計二千名程度を來春三月迄に供給す

一 右の内工業學校に就ては養成費及び設備費に對し相當の補助金を交付する筈であり又十三年度よりは中學校卒業者に對し一ヶ年の養成を行ふ事としてそれが準備費に對しても亦相當の補助金を交付する

一 以上短期養成施設の外工業學校卒業者又同等以上の者に對し工業學校の實習指導者として六ヶ月間の短期養成を行ふ

一 高等海員不足を補ふ應急対策として本年度は神戸高等商船及大阪府立高等海員兩校に於て六ヶ月間の短期養成を行ひ約百五十名の新高等海員を供給する

▲決議

稅制改革立案の期に際し系統農會は國民負擔不均衡是止の爲左記事項を包攝する根本的稅制改革の促進を期す

記

一 地租
イ 稅率を百分の三に引下げる
ロ 自作農地の免稅點を土地實價價格四百圓未満まで引上げる
ハ 地方附加稅の賦課率を道府縣、市町村合計して本稅と同程度とする

二 家屋稅
イ 道府縣稅家屋稅を國稅に移管すること
ロ 稅率を百分の三程度とすること
ハ 一定以下の農舍、鹽業等を免稅とすること

ニ 地方附加稅の賦課率を道府縣、市町村合計して本稅と同程度とする

三 不動産登記稅
無償主義によるものを千分の卅、賣買等によるものを千分の五程度とし其他のものも之に準じて輕減すること

四 道府縣稅家屋稅
廢止すること

五 特別地稅
特別地稅及同附加稅合計額を現行稅額の二分の一程度に輕減すること

六 雜種稅
自轉車、小型農用車、農耕肥育用牛馬に附する稅、不動産取得稅を廢減すること

七 戶數割
廢止すること

八 國稅收益稅(地租、營業收益稅、家屋稅、資本利子稅)の全額及所得稅の一部を地方財政調整交付金として道府縣、市町村に交付すること

府縣農會長決議

【七五】帝國農會は廿五日午前十時丸の内管農本部に道府縣農會協議會を開催道府縣會長の他府農側より酒井會長、山田副會長以下役員、農林省關係官出席先づ渡邊市農政專長より農政全般の報告の支那駐屯軍及び第三艦隊に對し感謝の勳章を發する事を決議した後左記の件を決議して午後二時散會した

九 政府は必要ありと認むるときは金委員会の議を経て金の價格又は金の使用

十 政府は必要ありと認むるときは金委員会の議を経て金の價格又は金の使用

出願處理 一、六四八、五三一
七八〇〇五

附則
本法は公布の日より之を施行す

附則
本法は公布の日より之を施行す

九 消費税はその最高限度を現行程度に止むること

産組の事變對處方針

【二六】 産業組合中央會では北支事變に對處し最善の活動をなすべく廿九日月田會頭の名を以て市會並に道府縣聯合會に對し左の如き指令を發した

- 一 事變の擴大と持久に伴ひ肥料飼料を初めと其他の産業及び經濟用品價格の騰貴、供給の不同情を來すの虞あるべきを以て産業組合は系統機關として一層産業及び經濟用品の配に付き統制を強化し必要に應じては消費に對する統制を行ふの用意を講ずること
- 二 生産物の販賣に付ては系統の附と相協力し其他關係團體と聯絡を密にして統制を強化し特に軍需用品に付ては必要に應じ敏速に其の供給を行ひ得る様準備すること
- 三 組合役員及び組合員若は其の子弟中より出征者ありたる場合には其の家族に對し必要に應じ産業及び經濟上の資金、物資努力等につき積極的援助を與へ以て出征軍人をして後顧の憂なからしむること
- 四 其他産業組合は各種團體と協力して時局に對し適切なる施設を講じ戦時に於ける國民生活の安定と國民精神の作興に資する準備すること

交通・通信・航空

交通

電化改良工事決定

【二七】 鐵道省の本年度電氣關係改良工

車指定豫算は廿九日左の如く決定した(單位千圓)

- 一 電化設備費 大津明石間電化設備費 四〇七 上野我孫子間 四八八 湊河奈良間 一〇〇 飯田町千葉間 一〇〇 兩分寺八王子間 〇・七 電化設備改良費 〇・七
- 一 信濃、水力設備費 信濃川發電設備 七、二〇〇 信濃川東京間發電設備 三、七〇〇 東京受電設備費 一、〇八〇
- 一 電燈電力設備費 日電設備費 七、八 電燈設備費 二〇〇 電力設備費 二二九
- 一 通信設備費 電信設備費 五三二 電話設備費 二四二 高周波通信設備費 八〇七
- 一 電氣信號保安設備 山陽球自動車信號新設費 二六五 自動信號設備費 一八八 電氣信號設備費 八二二 電氣保安設備費 七五五

航空

陸海軍航空技術開放

【二八】 軍需工業の勃興に伴ふエンジニアの不足は航空工業方面に於て特に著しくこれが擴充が刻下の急務となつてゐる折柄軍機の秘密確保のため野學門戸を鎖されてゐた陸海軍の技術部門並に軍需會社が一齊にその門戸を開放することに

なり専門エンジニア養成に大きな利便が齎されることになつた、現在航空専門のエンジニアは東京、大阪、九州の各都大及び横濱高工の航空科に於て養成してゐるが從來これら學生の實習上中遺憾の點が多かつたところ陸軍の岡本上佐、海軍の高田中佐等と文部省の有光學務課長が斡旋の結果日支間國交の緊迫に刺戟されて計畫は急速に具體化しよいよこの八月より三都大、横濱高工の學生は陸海軍方面の權威から機體、發動機の現狀、世界各國空軍の現況等に關する詳細な説明を嚆ぎ更に各方面の工廠、工場を見學し場合によつては適宜實習し得る機會が與へられることになつた尙文部省では完全な機體の製作を目指して明年度東北帝大に航空學科を新設し金屬材料を主眼として研究を進める意向である

【二九】 帝國飛行協會は航空報國の實を擧ぐべく廿四日午後三時出村町の同會に緊急總會を開き田中館、四王天の各理事及び牧野(陸軍)塚原(海軍)の航空本部總務部長、中島飛行機社長等出席極々協議の結果本年度豫算のうちから十四萬圓を提出左の三大事業を實施することに決定五時半散會した

- 一 民間操縦士四十名を選抜して來る八月、四週間の豫定で名古屋市外小幡原飛行場で講習會を開き二等飛行士の訓練を得せしめ空軍第二線の實力を涵養せしめる
- 二 滑空士を多數養成して飛行機操縦士の急進養成をなす目的でグライダー指導員講習會を九月十日から甲府市外八幡飛行場に開催する
- 三 全國に飛機して都市附近に飛行場増設の國民運動を興し努力奉仕に依る開拓をなす、設置に就ては申請より次第適當と認めた場合員收發整備費等を相當補助し一都市に飛行場の理想を實現する

【三〇】 北支の風雲急なるに鑑み我が民間航空界でも航空國防の第一線に飛出すこととなり日本飛行俱樂部が主體となつて關東の各飛行學校に機を飛ばし從軍希望者を募集した結果廿六日午後二時半代表の相馬有(日本飛行學校)青山雲光(亞細亞航空學校)遠藤辰五郎(東京飛行學校)の三氏が陸軍省航空第二課高橋大佐を訪問、日本飛行俱樂部他民間航空關係の操縦士機關士合計六十七名の從軍願を提出した、その内譯は日本飛行學校廿名、亞細亞航空學校十二名、東京飛行學校六名、田中飛行研究所七名、帝國飛行學校十二名、第一航空學校三名、日本飛行俱樂部八名である

民政黨

議員總會

【三一】 民政黨は第七十一議會に臨むに當り黨の態度を明かにし併せて陣營を整備する爲め廿二日午後三時上野精養軒に於て大會に代るべき所議員及評議員の聯合會を開き町田總裁をはじめ三百餘名出席君ヶ代合唱の後小泉幹事長の開會挨拶に次で

第七十一回帝國議會に於ける我黨の行動は議員總會の議に一任すとの決議を可決の後町田總裁起つて一場の演説を試み以て北支事變をはじめ内外の重大時局に對する黨の態度を闡明し併せて黨員を激勵する所あり終つて同四時議員總會に移り最上政三氏より各派交渉會の經過報告の後議事に入り院內總務並に衆議院正副議長候補者は總裁に一任し更に院內幹事及び常任委員は院內總務に一任した後富田氏の發聲で兩陛下萬歲安氏の發聲で民政黨萬歲を三唱して五時閉會一同は總裁招待會に臨み席上町田總裁の挨拶があつた

貴院各派

研究會總會

- 【三二】 貴族院研究會では廿八日本會議散會後院內控室に總會を開き
- 一 軍機保護法改正法律案
- 一 兵役法中改正法律案
- 一 裁判所構成法中改正法律案
- 一 刑事訴訟法中改正法律案
- 一 昭和十年法律第百二號中改正法律案
- 一 百貨店法案
- 一 貿易組合法案

▲町田總裁演說要旨

日支の關係は急迫を告ぐるに到つたが元來日滿支三國は互に唇齒輔車の關係にあり、共同の利害の上に共々東亞和平の維持に磨るべき使命を持つて居る然るに支那はこの使命を忘れ動もすれば抗日毎日を事とし今回の北支事變も之に依りて激成せられたるものであつ

て、東洋に於ける指導的地位に立ち其和平の支持を以て任ずる我國の忍び難き所である、斯くの如き事態に立到れる以上は一大決意を以て支那の反省を促し眞に東亞安定の大計を今日に定むるは我帝國の重大なる任務である、其の爲めには國を擧げて重大なる決意を以て其目的の達成に邁進せねばならぬ我黨はこの國際危局に關し政府の決意に國民的援助を與へ一日も速に北支の事態を解決すると共に支那をして其誤れる對日の態度を改めしめ東亞安定の實を擧げん事を期するものである、今期議會は緊迫せる時局に當面したる最も重大なる議會である、國際關係に就ては時局に鑑み一に政府の最善の努力に期待するものであるが國內の問題に關しては充分に政府の所信を明にし其の發行せんとする政策を亂し現内閣をして庶政一新の實を擧げしめて時艱の克服を期せねばならぬ

▲小泉幹事長挨拶要旨
今期議會は内閣倒潰の後継に成立したる近衛内閣が世に問はるゝ第一回の試練議會で外は國際正軌を高調し内は相剋摩擦の弊害を匡め、眞に國論を基調として立憲政治を顯揚すべき絶好の機會である、曩に吾黨は現内閣成立當初天下に聲明して「近衛内閣にして吾黨の政策と大差なき限り之を支援するに容ならず」と其態度を明瞭にした、唯茲に一言致し度いことは今内閣の北支事變に就てもある、本事變については我方としては隱忍自重大國民の襟度をして事件不擴大、現陣解決の方針の下に只管平和的手段を以て解決すべく折衝中であつたが飽く無き彼等の暴戻は遂に尋常の手段を以てしては到底解決の曙光を認めざるに至つたことは寔に遺憾である外此の風雲急なる秋内も物價暴騰に伴ふ國民生活の不安

を初め幾多重要問題山積し眞に國民總動員を以て時艱克服に當るべき際乃ち本期議會の開會を見るに至つた、吾黨は平素舉國一致を高唱力説して來て居る大衆的見地に立ちて政黨派を超越し友黨政友會とは一層の緊密を保ち其の歩調を一にすると共に他の諸會派とも協力して朝野一致の總勢を議會に反映し國務の發行、憲政の運用に萬遺漏なきを期せねばならぬ

院內總務指名

院內總務主任 櫻内幸雄
多田滿次、武知勇記、工藤耀男、眞鍋鏡十、松田竹千代、松尾四郎、手代木隆吉、平野光雄、末松借一郎
尙黨の總務は院內總務と同様なること

院內總務事務分擔

一 民政黨は廿二日午後五時より上野精養軒に初院內總務會を開き事務分擔並に院內幹事を左の如く決定し同七時半散會した
△院內總務事務分擔
一 議事、交渉、庶務係(工藤、武知、多田、松田、眞鍋)
二 議事係(手代木、末松)
三 委員係(平野、松尾)

△院內幹事(主任 中山福藏、伊藤五郎、服部晴市、大野一造、長井源、村瀬武男、山田順榮、松岡周太郎、松尾一造、福田卯夫、小畑虎之助、小林房之助、小泉純也、木村淺七、森田重次郎)

三委員長決定

【七四】衆議院の三常任委員長は民政黨より選任せられることになつたが右は廿四日左の如く決定した
△全院委員長 重松重治
△讀議委員長 吉木本實
△外務委員長 眞鍋勝

船員法附帶決議

船員法改正法律案に關し民政黨は廿一日午後四時半委員會の質問終了後院内に於て當該委員と政務調査會との聯合會を開き協議の結果前議會通り左の四ヶ條の附帶決議を以て原案を承認することに決した

附帶決議

一 政府は海運の重要性と船員の特種性に鑑み刑法を改正して船員が著しく其の職務を怠りたることによつて生じた過失に非ざれば處罰せざるやう之を法文化すること
二 政府は船員の業務上の過失に對しては海事審判所の審判後に非ざれば刑事訴追を爲さざる方針を採ること
三 政府は船員の業務上の過失に對しては慎重なる態度を以て臨み輕々に之を處断せざるやう檢察當局に對し訓令を發すべし
四 政府は海難に對し船員の喚問、取調べを爲すに當りては其の業務に支障を來さざるやう充分に理解ある態度を以て臨むべく檢察官に訓令を發すべし

議 員 總 會
【七三】政友會は特別議會に臨む黨の陣容を整備する爲め廿二日午後二時より本部に議員總會を開き松野幹事長の挨拶に次いで島田代行委員より激憤演説をなし引續き代議士會を開き議事に入り院內總務並に院內幹事の選舉を行ひ次いで

一 議案提出に關する件
一 衆議院正副議長候補者選舉の件
一 全院委員長非常任委員各候補者選舉の件
一 勅語奉答文起草委員選定の件
を何れも幹部一任に決定し兩陛下の萬歳立憲政友會の萬歳を三唱して三時半散會終つて芝三條亭に於ける懇談會に臨んだ

▲島田代行委員挨拶
今回の北支事變は支那側の不法暴戻に起因したもので其の全責任が支那側にあることは内外の齊しく認むるところである之に對し政府が重大決意をしたことは眞に已むを得ざる自衛上當然の措置であります然れども支那が我國の平和的努力を真切り協定を無視し信義を蹂躪し此上非運の擧事を繼續するに於ては我國も斷じて重大決心を遂行するの外はなく全國民は勿論列國も固より之を認むること、確信する、我黨は此の機會に於て内に事變勃發以來の國民の舉國一致の態度に感激し外に支那に對して速に東亞の大局に着眼してその前途を誤らざらんことを警告するものである近衛内閣が國內の對立相剋を緩和し國際正軌と社會正義とを標榜して時代の指導的方針を進まんとしつゝあることは我黨も贊同を著まぬところであつて只其の具體的方策に至つては國防の充實と國民生活安定との協調を何れに求むるやが問題である、今次の特別議會を機として政府は之を披瀝して國民の完全なる諒解を得るに努むることはいわゆる國內相剋緩和の有力なる段階と信する國防産業兩全主義を以て傳統政策とする我黨が此れに對して最大の關心を有することは改めて言ふまでもない

▲松野幹事長挨拶
我國は今や外には日支事變の重大局面を展開し内には非常時局を克服する國策の遂行に當面して居る此の時に當て國民が舉國一致の誠衷を披瀝し朝野協力の實を擧げつゝあることは國家のため幸慶の至りて我黨は此の際東亞安定の傳統政策を強調しこの目的の爲に支那の根本的反省を促すべき手段をとらねばならぬと信する、今特別議會に對する態度に就ては要するに去月發表せる儼黨との共同聲明の方針に則り我黨傳統の國家本位の政策に邁進することは言を待たぬ

院內役員決定

【七二】政友會の院內役員は廿二日の代議士會で選舉の結果左の如く決定した
△院內總務(十一名)
出井兵吉、鈴木英雄(關東)木下成太郎、大石倫治(東北)青山憲三(北信)大野伴睦(東海)上田孝吉(近畿)中井一夫、大本真次郎(中國、四國)西岡竹次郎、永田昌吉(九州)
△院內幹事(十四名)
坪山德綱、川崎巳之太郎、田中源(關東)松川昌職、小笠原八十美(東北)羽田武嗣長(北信)馬岡次郎(東海)藤幸太郎(近畿)浜露昭、西川貞一、高橋圓三郎(中國四國)崎山朝朝、鶴惣市、坂田清男(九州)

星一氏入黨

【七三】福島縣第一區選出代議士星一氏は廿三日川村竹治氏の紹介にて政友會に入黨した

院内外總務會
【七四】政友會は廿四日午後一時より芝三條亭に院内外總務會を開き對議案につき協議の結果國務大臣の施政演説に對する質問は國政一般に關し安藤正純氏、財政經濟産業方面に對して松村光三氏を送り更に豫算委員會に於いては若宮貞夫

氏を質問第一陣に立つことに決し、次いで常任委員長の人選については豫算委員長熊谷直木、副委員長長宮澤裕、決算委員長寺田正の諸氏を推薦することに決定し同五時半散會した

聯合協議會

【三六】政友會は廿六日午後二時より芝三綠亭に院内外總務と政調役員、豫算委員の聯合協議會を開き松野幹事長より事件費追加豫算審議方針並に質問者を報告し次で太田大蔵政務次官より豫算の内容を聴取し最後に同次官を通じて政府に対して「審議期間も短い故日時を空費せざる爲め速に豫算案を提出する様」注意を喚起することとして同四時散會

社會大衆黨

對議會陣容成る

【三七】帝國議會に對する陣容整備のため社會大衆黨は廿二日午前十時より衆議院控室に代議士會を開催安部黨首以下各代議士參集、安部委員より黨の態度闡明演説のり各派交渉會、對策委員會に關する報告あつて後次の事項を協議決定し麻生書記長より激励の挨拶あり午前十一時四十分散會した

協議事項

一 議會陣容承認の件

議會對策委員△委員長 麻生久△委員 河上、片山、龜井、三輪、田萬、淺沼、松岡、平野

代議士會△會長 鈴木文治△副會長 杉山元治郎△院内幹事 水谷長三郎、淺沼裕次郎、川俣清吉、佐竹晴記、富吉

一 議長、副議長、全院委員長選舉に關する件

議長候補 鈴木文治、副議長候補 杉山元治郎、全院委員長候補(岡崎憲) 勸語奉答文起草委員推薦の件(片山)

一 一般質問者並に各種常任委員割當に關する件

一般質問者 龜井實一郎

豫算委員 片山、三宅、河野、西尾、三輪

決算委員 阿部、松永、塚本、永江

建議委員 須永、前川、井上、野澤

請願委員 田原、菊池、加藤、河合

懲罰委員 中村、富吉

一 政府提出各種法案割當に關する件

幹事一任 我黨提出決議案並に建議案、質問書

法律案に關する件 幹事一任

一 前議會衆議院通過議案に關する件

幹事一任 萬國議員團會議黨代表者 水谷長三郎

一 安部委員長の挨拶

北支事變の突發により日支の國交は今日最も危機を胎んで居るが吾々は唯だに極東の平和を希求すると云ふ立場において

ただでなく日支兩民族が東洋の二大民族として相互に提携協力して文化の進歩のために盡さねばならぬ使命に鑑み事態の

ここに至つたことを深く悲しむものである、推ふにその由つて來るところの原因

が複雑多岐であり、輕率なる判断は慎しまねばならぬが我國の側に於ける累積した

た官僚外交の弱點が支那の傳統的以夷制夷の政策の乘ずる所となつて東洋民族と

しての共同の理想を離れ此の悲劇を産んだ事を指摘せねばならぬ、吾々はこれを

一大試練として學國國民外交の建前に於て兩國が衷心より協力出来る日の速かに

政策就中國民生活擁護のための政策を開却せんとするやに見受けられるが吾々は勤勞大衆の政黨として革新政策斷行こそが眞の舉國一致を招来する所以なる事を確信しこれが遂行を強く政府に迫らねばならぬのである

電力料金引下げ決議

【三八】社會大衆黨は本年十二月一日に到來する電氣事業法に依る最初の料金改訂期に際し現行料金の二割引下げの全國的運動を起すこととなつて居りこれが第一着手として安部、鈴木、麻生、杉山の四長老が首唱者となり衆議院各派の賛成を求めて左記決議案を今期議會の劈頭に提出することとなつた

電氣料金値下に關する決議

▲電氣料金値下に關する決議 政府は本年十二月一日を期して行はる電氣事業法に依る最初の料金改訂に際し現行料金は少くとも二割見當引下ぐるやう善慮し以て物價昂騰に憫む國民生活の負擔緩和に資すべし

なほ同黨所屬議員一同は廿四日午後安部黨首に伴はれて院内に永井通相を訪問左の如き電力料金改訂認可に關する要綱を

手交した

▲電氣料金改訂認可に關する要請 昨年「低廉なる電力を豊富に」の主旨から立案された電力民有國營案が遂に

實現せざりしは我等の遺憾としたところであつた、然し乍ら當時該案に反對

した者も改正電氣事業法による料金認可制度が電氣料金を相當程度引下げ得

るものであることを認めてゐたのである、而して本年十二月一日は正に同法

による最初の全國的料金改訂期に當るのである仍て政府當局は昨年における

論議に鑑み且つ最近における物價騰貴による國民生活の苦痛を考慮し右料金認可に當つては少くとも二割以上の料

金を引下げ以て國民生活の安定に資せられたく右要請す

議會開爭方針決定

【三九】社會大衆黨は過般の總選舉で一躍卅六名に倍加して以來最初の試練である今議會に當つて議會開爭の方針を左の如く決定した

一 眞の舉國一致要求

政府は時局の重大性に鑑み各方面の協力を要請し舉國一致を標榜してゐるが之に對し黨は欣然參加するも眞の舉國一致と相背馳する現下の國內機構を改革し國民生活の安定を要求する

一 廣義國防の確立

國防の一方化を排し廣義國防達成のため最低級の政策として軍需工業を始め重要産業の國營、労働者の過重労働緩和、農村に對する積極的施設その他緊要なる社會政策の斷行によつて統後の力を培養する諸政策の遂行を主張する

一 外交の調整

從來の官僚秘密外交を排し國民外交の實現を期し、特に對支外交は經濟提携及び文化外交による日支間の親善を要望する

一 財政經濟政策の建直し

財政經濟政策に關しては今議會に於ては政府の所謂三原則について豫算總會で糾明し、本格的批判検討は通常議會で行ふ

軍需工業國營案提出

【四〇】社會大衆黨では廿六日正午より院内に代議士會を開き黨從來の主眼たる軍需工業國營促進に關する決議案を提出すること決定した、決議案並に理由書左の如し

▲軍需工業國營化に關する決議案

政府は現下内外の情勢に鑑み軍需工業

國營の具體案を立案して之を次期通常議會に提出すべし

▲理由

今日軍需工業の利潤は著しく増大しつゝあるがそれが主として政府の軍事費支出増大に原因することは言を俟たず而して軍事費それ自體は漸く國民大衆の負擔するところなることまた贅言を要せず、しかも國民生活は軍事費増大を要する物價昂騰に憫みつゝあり

また軍需工業労働者は利潤本位の經營方針の故に極度の労働強化を強ひられたために國民本位は減退し延いて労働生産力はその増大を必要とする現在に於て却つて消耗しつゝある有機なり我等

は斷じてかゝる状態を默視し得ずこの際軍需工業國營化を斷行してこれ等の悪弊を除去すると共に直に舉國一致に進むことは刻下の急務なりと信すまた

軍需工業國營は全體的計畫經濟の樹立に一步を進め眞の國家總動員體制を確立するための緊要不可欠なる國策なりと信す

東北振興質問書提出

【四一】社會大衆黨では廿八日午後黨代議士會の決定により「東北振興に關する質問趣意書」を川俣清吉、菊池養之輔、鈴木文治の三代議員を提案者として衆議院事務局に提出した

小會派

國民同盟勢揃ひ

【四二】第七十一議會に臨むに當り國民同盟は廿一日午後三時より本部に代議士會を開き清瀬幹事長の開會の挨拶に次いで安達總裁起つて一場の演説を試み特に北支事變に對し國民精神の肅正を強調し保

健省の設置をはじめ選挙法改正、貴族院令並に教育制度改革の要を力説して同盟の態度を明かにし、兩陛下萬歳を三唱四時開會總裁の招待會に臨んで氣勢を擧げた

▲安達總演(演説要旨) 本月七日夜の廣瀬橋に於ける廿九軍の不法行為以來今日迄の精神の下に隱忍以て於ては事件不擴大の精神の下に隱忍以て解決の方策に勉めて来た然るに南京當局の態度は甚だしく誠意を缺き或は現地解決を妨害し、或は第三國の介入乃至干渉を待望するの意を仄し、而も陸に中央軍の北上を命じて居る思ふに今回の事件の原因は過去數年間に於ける支那官吏の我國に對する認識の錯誤より來て居るのであるから此の認識を正せしむる事が東洋の平和のためであり、又支那民族永遠の利益でもあるのである、事件發生以來就後支援の聲の盛なるは實に頼もしき次第で此秋に當り國民精神の隆振、實業勸勉の氣風を作興せねばならぬと考へる政治家や官吏や教育家は先立して國民精神、肅正を圖るといふ事が眞の意味に於ける統後の守を爲す所以であると信ずる保衛省の設置は我が同盟多年の主眼である、今や、やうやく其の機が熟したるは愉快に堪へぬ、選挙界の事は選挙公營の一部の施設と選挙肅正運動のため近來相當改善の跡を見るが更に我同盟が別に議定したる方針に基き一段の進歩を圖らなければならぬ、貴族院の構成に關する最高政治問題についても我同盟亦既に大綱につき研究を進めて居り之を世の批判に問ひ最善の案を獲、此の機會に改革の實を擧げしめねばならぬ

▲常任委員 三浦虎雄 大石大 決算委員 小野謙一 懲罰委員 馬場元治 請願委員 青木作雄 建議委員 三田村武夫

▲決 一 東亞の安定勢力たる日本の使命に鑑み北支問題を急速に解決すると共に傳統的偏見外交を清算すべし 一 日清一體産業五ヶ年計畫の内容に關し政府の詳細なる説明を求め其の急速なる實現を要望すべし 一 廣義國防の見地に於ける東方會の農村及地方諸政策は此の際特に急速なる實現を期す

▲中野正剛氏演説要旨 東方會の政府に對する協力は純然たる野黨としての協力であつてそれ故にこそ却つて國民大衆の心血を動員して下より盛りあがる舉國一致を指導することが出来るのである即ち東方會の使命は益々重大であつて前回總選挙に際し正義國際を建設して國民生活の活路を開拓すべしと喝破し國際非常時の克服に傾注し全國民均等の努力と犠牲とに勉むべしと絶叫し政治により廣義國防を擔任しむ部として主張して狭義國防に専念せしむべしと主張し生力力の急速なる擴大強化は官僚獨善主義の酷くする所に非ず、我輩独自の公益統制經濟によるべしと呼びかけたこれ等は悉く今日の時勢に適するものである各々勤勞と奉公の機を與へその最低生活を保障して日本革新國家の建設を促進することは我等の任務であると確信する

▲第一俱樂部質問者 第一議員俱樂部では廿四日正午院内に理事會を開き政府の施政方針演説に對する質問者を左の如く決定した ▲施政方針演説に對する質問者 赤松克廣 鈴木正吾

▲第一俱樂部申合せ 第一議員俱樂部では廿四日正午院内に議員總會を開き非常時議會に善處すべく左の申合せをなした ▲申合せ 第一議員俱樂部は時局議會の本質に鑑み直截簡明真に議案に即し時局に適切なる審議を盡さんことを期す

▲決 一 東亞の安定勢力たる日本の使命に鑑み北支問題を急速に解決すると共に傳統的偏見外交を清算すべし 一 日清一體産業五ヶ年計畫の内容に關し政府の詳細なる説明を求め其の急速なる實現を要望すべし 一 廣義國防の見地に於ける東方會の農村及地方諸政策は此の際特に急速なる實現を期す

▲中野正剛氏演説要旨 東方會の政府に對する協力は純然たる野黨としての協力であつてそれ故にこそ却つて國民大衆の心血を動員して下より盛りあがる舉國一致を指導することが出来るのである即ち東方會の使命は益々重大であつて前回總選挙に際し正義國際を建設して國民生活の活路を開拓すべしと喝破し國際非常時の克服に傾注し全國民均等の努力と犠牲とに勉むべしと絶叫し政治により廣義國防を擔任しむ部として主張して狭義國防に専念せしむべしと主張し生力力の急速なる擴大強化は官僚獨善主義の酷くする所に非ず、我輩独自の公益統制經濟によるべしと呼びかけたこれ等は悉く今日の時勢に適するものである各々勤勞と奉公の機を與へその最低生活を保障して日本革新國家の建設を促進することは我等の任務であると確信する

▲第一俱樂部質問者 第一議員俱樂部では廿四日正午院内に理事會を開き政府の施政方針演説に對する質問者を左の如く決定した ▲施政方針演説に對する質問者 赤松克廣 鈴木正吾

▲第一俱樂部申合せ 第一議員俱樂部では廿四日正午院内に議員總會を開き非常時議會に善處すべく左の申合せをなした ▲申合せ 第一議員俱樂部は時局議會の本質に鑑み直截簡明真に議案に即し時局に適切なる審議を盡さんことを期す

▲中野正剛氏演説要旨 東方會の政府に對する協力は純然たる野黨としての協力であつてそれ故にこそ却つて國民大衆の心血を動員して下より盛りあがる舉國一致を指導することが出来るのである即ち東方會の使命は益々重大であつて前回總選挙に際し正義國際を建設して國民生活の活路を開拓すべしと喝破し國際非常時の克服に傾注し全國民均等の努力と犠牲とに勉むべしと絶叫し政治により廣義國防を擔任しむ部として主張して狭義國防に専念せしむべしと主張し生力力の急速なる擴大強化は官僚獨善主義の酷くする所に非ず、我輩独自の公益統制經濟によるべしと呼びかけたこれ等は悉く今日の時勢に適するものである各々勤勞と奉公の機を與へその最低生活を保障して日本革新國家の建設を促進することは我等の任務であると確信する

▲第一俱樂部質問者 第一議員俱樂部では廿四日正午院内に理事會を開き政府の施政方針演説に對する質問者を左の如く決定した ▲施政方針演説に對する質問者 赤松克廣 鈴木正吾

▲第一俱樂部申合せ 第一議員俱樂部では廿四日正午院内に議員總會を開き非常時議會に善處すべく左の申合せをなした ▲申合せ 第一議員俱樂部は時局議會の本質に鑑み直截簡明真に議案に即し時局に適切なる審議を盡さんことを期す

▲決議案 政府は速かに左記要項を規定したる職時並に事變陸海軍應召者保護法を今期議會に提出すべし 要項 一 官公廳、官公營工場並に交通運輸通信等及び私營工場商店並に私營交通運輸等に被補從業者に於ては戰時並に事變に際し應召したる場合はその官公廳若しくは雇傭主は當該應召者に對し現に支給せる俸給賃銀の全額を引續き支給すべし但し、獨身者に對してはその三分二を下さざる範圍に於て支給すべし 二 右に就き應召中の缺勤日數は之を勤務日數に加算すべし 三 右に就き應召を解除せられたる時は直ちに従來の地位職分に復歸せしむべし

▲原案支持陳情 衆議院の農林議員團の東武(政友)高田(民政)三宅(正)三宅(大)の諸氏以下各派代表は國民健康保險法案原案提出への最後の努力を試みるべく廿六日午前十時首相官邸を訪問居合せた永井、中島、馬場、有馬、廣田の關係各關係並に風見勲長、漣法制局長官と會見健康保險に對する衆議院内の情勢を報告説明の上衆議院の大衆は原案提出を希望することろであるが若し不可能の場合は保健社會省が新設された場合に完全なものとして提出された修正案の提出は斷して許されぬ

▲江藤氏北支へ 日本革新黨委員長江藤源九郎代議士は臆軍慰問並に最近の北支情勢觀察の爲廿三日午後三時東京驛發列車で出發したが歸途滿洲を視察二週間に歸京の豫定である

▲革新黨決議案提出 日本革新黨では廿四日左の決議案を議會に提出した

▲政黨解消勸退解散 昭和三十八年十二月松岡洋右氏によつて提唱結成された政黨解消勸退同盟(爾來一國一體への精神運動として活動を續け

て來たが近衛内閣成立後の經過に鑑み同運動も第一義的目的を貫徹したので今回同盟を解散することに決し廿八日午後四時より大日本養正會館に聯盟員六十餘名が參集解散の決議をなし一同打揃つて明治神宮に奉告參拜をなした

▲宮内辭令 宮内省參事官 岡本 愛祐 帝室林野局管理部長を命ず

▲外務辭令 特命全權公使 藤田 榮介

▲内務辭令 内務書記官 數藤 鐵臣 醫保局醫務課を命ず 内務書記官 木村 清司 地方局監督課長兼財務課長を命ず

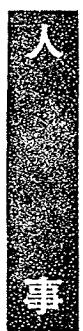
▲陸軍辭令 陸軍中將 渡 久雄 參謀本部第二部長 陸軍中將 陸軍少將 陸軍少將 本間 雅晴

▲都市計畫地方事務官 佐伯 敏男 任富川縣經濟部長 富山縣經濟部長 東 德太郎 依願免本官

▲參謀本部附被仰付 參謀本部附 陸軍少將 本間 雅晴

▲參謀本部附 陸軍中將 渡 久雄

▲參謀本部附 陸軍少將 陸軍少將 本間 雅晴



て來たが近衛内閣成立後の經過に鑑み同運動も第一義的目的を貫徹したので今回同盟を解散することに決し廿八日午後四時より大日本養正會館に聯盟員六十餘名が參集解散の決議をなし一同打揃つて明治神宮に奉告參拜をなした

補選本部第二部長

司法呼令

△卅一日

東京區判事 藤田 八郎
姫路區判事 西田 與作
舞鶴區監警を命ず
東京控訴院判事 齋藤 喜一
補東京控訴院部長 石川富四郎
石巻區判事 瀨崎憲三郎
東京控訴院部長 瀨崎憲三郎
東京控訴院判事 高木 道雄
濱松區監警を命ず
前橋區監警を命ず
東京控訴院判事 中村 弘明
補甲府地方部長 荻本 亮逸
名古屋地方部長 亮逸

文部呼令

△卅一日

文部省社會教育局長男爵 山川 建
文部省專門學務局長 藤野 惠
文部省 學務局長 藤野 惠
文部書記兼文部大臣秘書官 小笠原豊光
補航海練習所長 田中 重之
内務書記官 田中 重之
文部書記官 堀池 英一
兼任文部大臣秘書官 堀池 英一
大臣官房文書課長を命ず 堀池 英一
文部省督 學務局長 菊池豊三郎
任教學局長官 菊池豊三郎
文部省思想局長 阿原 謙藏
補企畫部長 阿原 謙藏
補企畫部長 阿原 謙藏
任教學局長官 阿原 謙藏
補企畫部長 阿原 謙藏
任教學局長官 阿原 謙藏

農林呼令

△廿四日

農林技師 森 肆郎
農務局農産課長を命ず 間部 彰
農林技師(農産課長) 間部 彰
依願免本官並兼官
農工呼令
△廿三日

文部呼令

△廿二日

文部省專門學務局長事務取扱を免す
金澤醫科大學教授 伊藤 實
任東北帝國大學教授 長谷川宗憲
任金澤醫科大學教授 長谷川宗憲
△廿八日
正三位勳二等 松井 元興
帝國學士院規程第二條に依り 藤原 咲平
京都帝國大學名譽教授の名稱を授く
勳旨を以て帝國學士院會校被仰付
東京高等師範學校教授 小野島石左雄
地方視學官(大阪府) 加藤惇二郎
任文部省督學官(各通) 加藤惇二郎
△卅一日
九州帝國大學教授兼朝鮮總督府農事試驗場教授 中田學五郎

農工呼令

△廿三日

農務局事務官 植村甲午郎
對濟事務局次長 青木一男
企畫課調査官 小金 義照
外務省通商局長 松島 廣六
大藏省主計局長 谷口 恒二
專賣局長官 荒井誠一郎
陸軍少將 山脇 正隆
陸軍中將 中川 泰輔
海軍中將 豊田 副武
海軍少將 氏家 長明
拓務省殖産局長 植場 榮二
農工呼令
△廿三日
農務局事務官 植村甲午郎
對濟事務局次長 青木一男
企畫課調査官 小金 義照
外務省通商局長 松島 廣六
大藏省主計局長 谷口 恒二
專賣局長官 荒井誠一郎
陸軍少將 山脇 正隆
陸軍中將 中川 泰輔
海軍中將 豊田 副武
海軍少將 氏家 長明
拓務省殖産局長 植場 榮二

燃料局事務官被仰付

△廿一日

燃料局事務官被仰付
海軍機關少將 三宅 正彦
陸軍砲兵中佐 中西 貞喜
經理局調査課長 原 清武
經理局審議課長を命ず
近衛子爵職充許
近衛秀磨子爵は眞に貴族院議員辭職の手續を缺つたが廿一日附を以て辭職御允裁の旨を以て發表された

東京市助役決定

△廿一日

東京市助役決定
小橋市長の推薦による東京市三助役の承認市會は廿六日午後六時五十五分開會投票の結果出席者總數百五十名中有効投票百四十九、無効一で
原案賛成 八十四票
原案反對 六十五票
即ち十九票の差を以て市長推薦通り左の如く決定した
第一助役 二邊 長治(元文部次官)
第二助役 篠原亮八郎(前内務次官)
第三助役 原 全路
(東京市水道局長)

金融

上期組合銀行勘定

【三三】東京手形交換所調査日本上期末の全國組合銀行諸勘定に依れば預金合計は九十三億四千四百七十五萬六千圓貸出金合計は六十六億五千三百六十八萬一千圓で前年上期末に比すれば預金は十億九千六百四十二萬一千圓貸出は九億九千六百四十七萬五千圓を夫々増加してゐる
詳細左の如し(單位千圓△印減)

△預金

六月末 前月末比 前年同月末比
當座 一、三六、三三〇 一三、〇〇〇 一三、〇〇〇
特當 一、六七、七四一 八七、六 一、六七、七四一
通知 六、九七、四 一、四七、〇 一、六二、一四一
定期 四、六四、四 一、四七、〇 一、六二、一四一
諸預 六、〇〇、〇 一、四七、〇 一、六二、一四一
合計 九、三三、四七六 二、八、八、一〇一、六 九、三三、四七六

△貸出金

對手一、四六、三三三 八、三三三 一、四六、三三三
手貸 三、〇六、三三三 一、四七、〇 一、六二、一四一
貸越 六、〇〇、〇 一、四七、〇 一、六二、一四一
貸越 六、〇〇、〇 一、四七、〇 一、六二、一四一
合計 六、〇〇、〇 一、四七、〇 一、六二、一四一

△有價証券

有價証券 四、九、九、九 一、四七、〇 一、六二、一四一
△有價証券 四、九、九、九 一、四七、〇 一、六二、一四一
△有價証券 四、九、九、九 一、四七、〇 一、六二、一四一
△有價証券 四、九、九、九 一、四七、〇 一、六二、一四一

△現金

現金 一、六、六、六 一、四七、〇 一、六二、一四一
△現金 一、六、六、六 一、四七、〇 一、六二、一四一
△現金 一、六、六、六 一、四七、〇 一、六二、一四一
△現金 一、六、六、六 一、四七、〇 一、六二、一四一

鮮臺兩行金準備評價換

【七・三】大藏省では金現送の遂行を容易ならしむるため日銀正貨準備の評価換を斷行することとなつたがこれを機會に鮮銀並に臺銀の發券準備となつてゐる金地金を日銀に集中し移管に際してはこれを日銀の場合と同額の評價換を行ひその差益を爲替安定資金設定に伴ふ新特別會計に繰入ることとなつた、即ち兩行の正貨準備は鮮銀約百五十萬圓、臺銀千五百萬圓であるが大藏省では滿洲中央銀行正貨準備約四千萬圓をも日銀に移管したい意向を有してをり近き實現をみるものと豫想されてゐる

金準備新評價額決定

【七・四】日銀並に鮮臺兩行の金準備新評價額については大藏、日銀兩當局協議の結果つき二九〇ミリアグラム即ち一匁十二圓九十三錢一厘とすることに決定したこの評價換に伴ひ政府に歸屬する差益は評價換實施迄に引續き金現送が行はれ正貨準備の減少が見込まれるので結局約六億圓豫想されその金額が金現送に關する爲替安定特別會計資金に繰入れられる、尙大藏省では右六億圓の中評價換實施後明年初めまでの現送に充てるため三億圓の金を以て所有し殘額三億圓はこれを日銀預金として必要に應じ公債買入に運用し得る様同會計法中に規定する方針である

鮮臺兩行新保證發行額

【七・五】鮮銀及臺銀兩行金準備評價換に伴ふ兩銀行券の新保證發行限度は鮮銀一億圓、臺銀五千萬圓と内定した

特別資金算定の基礎

【七・六】金準備評價換による差益を以て設定される特別資金は約六億圓となるが

全國銀行勸定 (三)

【大藏省發表】六月末現在の全國銀行勸定調へ左の如し (單位千圓△印減)

種目	特別銀行	普通銀行	貯蓄銀行	合計
公金預金	26,800	1,696	—	28,496
當座預金	10,000	—	—	10,000
特別當座預金	26,800	—	—	26,800
通知預金	26,800	—	—	26,800
定期預金	26,800	—	—	26,800
其他預金	1,696	—	—	1,696
普通及據置	—	—	—	—
定期積金	—	—	—	—
合計	110,700	1,696	—	112,396
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
手形貸付	1,210	—	—	1,210
證書貸付	1,210	—	—	1,210
當座貸付	1,210	—	—	1,210
割引手形	1,210	—	—	1,210
合計	3,640	—	—	3,640
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
出賃	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
金	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
有價証券	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
外國証券	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
株式	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
現金	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△
合計	2,600	—	—	2,600
前月と比較	△	△	△	△
前年同月比	△	△	△	△

この差益は日銀約四億九千萬圓、鮮銀約百五十萬圓、臺灣約十五萬圓の金準備合計約五億六千五百萬圓を新評價額たる一匁十二圓九十三錢一厘を以て再評價したるものより日銀金買入法による政府貸上約一億圓を控除したものである。

金準備評價法要綱
 【七三】日銀、鮮銀及臺灣の金準備評價に伴ひ特別議會に上程される金準備評價法及鮮臺兩銀行法改正法律案は廿八日の閣議に附議した上衆議院に提出されることとなつたが評價換實施の時期については目下大藏省及び三行との間に打合せ中で議會通過後可及的速かに行ふ意向である。三法律案の要綱は次の如くである。

▲金準備評價法要綱
 一 日本銀行兌換銀行券、朝鮮銀行券、臺灣銀行券の引換準備に充つる金を當分の内純金の量且二九〇ミリアグラムにつき一圓の割合を以て評價すること
 二 前項の評価換によつて生じたる利益額に相當する金額を日本銀行、朝鮮銀行、臺灣銀行は政府に納付すること
 三 (イ)政府は日本銀行に對し保有金の一部を第一項の規定によつて評價したる價格を以て國庫金の勸定に移すこと
 (ロ)朝鮮銀行、臺灣銀行に對し政府はその保有する金を前項と同一の價格を以て日本銀行に引渡すことを命じ得ること
 四 兌換銀行券條例第六條、貨幣法第十四條の規定は當分これを適用しないこと
 五 第一項に規定する評價の割合を後に至り變更することある場合はこれによつて生ずる利益又は損失につき利益に相當する金額を政府に納付し損失に相當する金額は政府より補填を受くるも

のとすること
 ▲臺灣法改正要綱
 一 臺灣銀行券の支拂準備中に兌換銀行券を加ふること
 二 臺灣銀行券の引換物件中に兌換銀行券を加ふること
 三 臺灣銀行券の保證發行限度を五千萬圓に擴張すること
 四 臺灣銀行券の支拂準備中より銀貨を保證準備中より政府發行の紙幣及び兌換銀行券を除くこと
 ▲鮮銀法中改正要綱
 一 朝鮮銀行券の保證發行限度を一億圓に擴張すること
 二 大藏省は爲替管理の全面的強化に伴ひ爲替政策が國內金融政策と益々密接なる關係を有するに至つたので日銀、正金兩當局の連絡を圖る方針から今回正金に更に副頭取一名を増員し日銀理事を以てこれに充てることとなりこれがため正金銀行條例改正法律案をこの特別議會に提出することに決定した、即ち現在日銀に於ては兩行の爲替業務連絡の便宜上日銀副理事を正金副頭取と同時に同理事とするが改正法案通過と同時に兩行の連絡は一段と緊密となる譯である。

金準備八億圓確定
 【七三】金準備評價法は大體八月十日前後實施される豫定であるが大藏當局の計算によれば評價換による日銀金準備は八億圓、政府に歸屬する評價益は七億四千七百萬圓、並びにこの評價益を以て設定される金買入特別會計中評價換實施により日銀より受取るべき金地金は四億一千三百萬圓となるがその算定の内容は左の如くである、評價換は來月十日前後即ち關係法案直後に實施されるがその際に於ける日銀他三行の保有金準備は一匁五圓として左の如く推定される(鮮臺兩行の保有高は七月七日現在單位千圓)
 日銀 四、五〇〇
 鮮銀 五、一九八
 內金買入法實施以前保有分 三、二〇〇
 臺灣 一、五八八
 右金準備中再評價により日銀に繰入れられる額は鮮臺兩行中金準備に適應する金地金を除き左の如く十二億一千三百萬圓となり、その内八億圓を日銀に保有し残り四億一千三百萬圓は特別會計に繰入れられこれが今後の現送資金に充てられる
 日銀 一、一六三萬圓
 鮮銀 一〇
 臺灣 四〇
 政府に歸屬する評價換による純差益即ち金買入特別會計の資金となる七億四千七百萬圓の各行別内譯は次の如くであるがこの内四億一千三百萬圓は金地金として保有され残り三億三千四百萬圓は日銀預金として金の買入資金として運用される(單位千圓)
 日銀 七、一七二
 鮮銀 四、五九一
 臺灣 二、五九七
 合計 七、四六九
 右の内日銀についての算定方法は(單位百萬圓)
 (一)日銀金買入開始以前の保有準備四億二千五百萬圓の評価益(金純分の減少によるもの)
 (二)日銀金買入法による買入金の評価換並に現送による差益 二、九一
 (三)金買入法により政府へ貸付けたる一時貸金 三、二六
 (四)政府法定貸上金 三、三二
 (一)(二)(三)の合計より(四)の合計數

備考 一 本表は右各種銀行の内地臺灣及樺太以外に於ける店舗の各勸定を含まず 二 鮮臺兩銀行の請貸付金は便宜一括して評價換付の欄に又滿洲國有價証券は外國證券の欄に記載せり 三 本表は日本銀行分を含まず

字を控除したるものが日銀の評価益となす勘定である

損失補償制補充

【七三】 中小商工業の金融緩和のため商工省が本年度より全国的に実施することとなつた中小商工業資金融通損失補償並に同再補償制度に關しては金融機關の自己資金の融通利率並に補償利率、再補償利率をめぐつて商工、大藏兩當局の間に意見の相格が容易に決定を見なかつたが此の程左の如く一致し八月一日より實施されることとなつた、尙ほ本制度の下に於て中小商工業者に對して融通される資金は毎年二千萬元(内一千萬元預金部資金一千萬元金融機關の自己資金)で五ヶ年間合計一億圓の豫定である

損失制度要綱

一 道府縣(又は六大都市)はその指定せる金融機關が中小商工業者又は商業組合、商業組合、輸出組合、工業組合、工業組合、輸出組合、輸出組合聯合會又又は市街地信用組合に對し資金を融通し之に因り損失を受けた場合一定金額を限度として之を補償す

二 本制度による貸付に運用すべき資金は左の二種による事とす
(一)預金部資金
(二)金融機關の自己資金
(三)預金資金運用に關する貸付條件については既定の預金部資金融通要綱によるものとす

四 金融機關の自己資金の運用に際しては最終貸付利率を六分(損失補償利率を含み七分二厘)以内とし十年以内の年賦、半年賦、月賦若しくは日賦又は三年以内の定期償還の方法により償還するものとす、尙ほ各種組合及び組合聯合會に對する貸付金額には制限を設けず個人又は會社に對する貸付にありては

一人又は一會社當り二萬圓以内(無擔保の場合は一萬圓以内)とす

損失の補償は特別の事情ある場合を除き各金融機關毎に貸付總額の五割とす

六 道府縣(又は六大都市)が各指定金融機關より損失補償料として毎年徴收し得る補償利率は年一分五厘以内とす

七 道府縣(又は六大都市)は金融機關より徴收したる損失補償料より政府に納付すべき再補償額に相當する金額を控除したるものを補償準備金として積立つものとす

八 擔保物の評價、損失額の決定等に關しては地方長官(又は六大都市の市長)は補償審査委員會の議を経て之を定む

九 本制度實施の期間は昭和十二年八月より昭和十七年三月末日迄とす

中小商工業資金融通再補償制度要綱

一 政府は道府縣(又は六大都市)がその指定せる金融機關に對し中小商工業資金融通損失補償制度要綱に依り補償したる時は其の補償額の半額以内にして貸付總額の四分の一以内を再補償するものとす、而して政府の再補償契約を締結し得る金額は全國を通じて一ヶ年五百萬圓以内とす

二 政府は道府縣(又は六大都市)より貸付額の年五厘に相當する金額を再補償料として毎年度徴收するものとす

三 政府に中小商工業資金融通損失再補償審査委員會を置き再補償額の審査に當るものとす

四 本制度は昭和十二年八月より昭和十七年三月末日迄の貸付に對して實施す

米貸借買入却却

【七三】 大藏省發表し政府は減價基金を以て本年二月以降紐育に於て買入に係る六分半利率米貸公債を八月二日却却する

ことに決定したが之が額面及其の買入代金は左記の通りである

記

六分半利率米貸公債額面 一、五二二、六〇〇弗

此買入代金、九六三、六七〇圓一九五(一非に付二圓六厘の割)

産 業

生糸生産消費統計表

【七三】 農林省では糸價安定施設實施に伴ひ生糸需給關係の諸指標整備に關し、さきに生糸、繭の在荷高を發表したが廿一日更に生糸の生産、消費統計を發表した

▲十二年六月生糸製造高

昭和十二年六月に於ける生糸の製造高は四七二、一八三三斤にして之を器械生糸

座繰糸及玉糸に別しては

器械生糸 四、三三二、七斤 (97.0%)

座繰糸 一、三七一、五斤 (28.0%)

玉糸 三、〇四六、九斤 (64.0%)

又之を白繭糸、黃繭糸に別しては

白繭糸 三、〇三三、七斤 (75.7%)

黃繭糸 三、〇一三、二斤 (74.7%)

内器械生糸 二、〇〇〇、〇斤 (50.0%)

内座繰生糸 一、〇〇〇、〇斤 (25.0%)

乾繭、特約取引増加

【七三】 農林省發表し昭和十一年における上繭生産量(種繭を含み)は七二、七五五、三三八貫で前年に比し三三、四、五九八貫を減増した、この産繭處理内譯を示せば左の如し(單位千貫、△印減)

乾繭取引 八、五八六 (二三.三) 三七

特約取引 三、〇三三 (八.三) 一九

組合割糸 七、七三三 (二〇.〇) △〇.六

委託割糸 一、七七一 (四.七) △〇.一

生繭取引 三、五三三 (九.七) △四.九

その他(主として自家製品) 四、七〇七 (一二.七)

前年比較

増特約組合數 三、一五二 (三.〇) 八

組合員數 九、一九二 (二.四) 〇.六

買方數 五、一〇八 (一.〇) 〇.六

(製糸工場四七九 賣買業者三二)

六月末全國貯炭高増加

【七三】 石炭聯合會調査し六月末現在に於ける全國貯炭高は市場貯炭高は總計九十五萬六千噸にして前月末に比しては二萬噸の増加、前年同期に比較しては三十三萬五千噸の増増を示してゐる、前月末に比して貯炭高が増加したのは季節的需要開散期に入るためであり前年同期に比し一舉三十六萬噸の増増となつたのは石炭聯合會が一般事業界の活況に相應して増産獎勵の方針に出で、ある結果である

【七三】 農林局發表し七月廿日現在水稲植付状況を調査するに南朝鮮の一部は未だ水不足の觀ありて植付完了にいたらず即ち前年改正されたる米穀生産高調査方法に準じ畦面を積を除きたる植付面積は百五十八萬五千九百九十四町四反歩に畔に本年植付豫想面積の九割八分三厘に相當し植付割合を前年同期に比すれば二分一分一厘、前五ヶ年平均に比すれば二分八厘、又本年七月期十現在に比すれば二分八厘の増加を示した

硫安價格決定

【七三】 次期硫安建値については組合總會の決定に對し農林省より反對論出で紛糾を來したが商工省が兩者間に立つて極力折衝した結果廿一日に至り漸く妥協成り政府は廿二日の重要肥料委員會に報告その承認を得た、廿二日同委員會に政府から提出された來肥料年度八月以降十二月までの硫安受渡し要綱は左の如し

一 昭和十二年八月乃至十二月各月渡販賣價格を左の通とす

(一)内地各驛の分線及直通運轉社(總) 著渡實込三七.五五入一噸當、最高金三圓五十八錢也、最低三圓五十錢也

(二)撒布工場後(前請販賣價格より) 三七.五五に付金二十八錢引の割合とす、配合肥料又は化成肥料の原料に撒を使用する場合に於て買手が其の事實を明確に立證し得る場合に限り三七.五五に付前項の割合金額の外に更に金十四錢以内の割合に於て増加取引を爲すことを得

二 前項の價格を以て行ふ取引條件

(イ)積出限月 單月積 (ロ)入目千分の十以内

(ハ)受渡場所 貨車乘、船乘又は本船乘を原則とす

(ニ)代金支拂 荷物引替現金拂とす

(ホ)販賣手數料 販賣價格の二歩以

朝鮮水稻植付狀況

内を支持ふことを得
三 前二項の販賣条件と異なる販賣價格及
取引条件

(イ)主要港販賣價格は内地各縣港と
同一とし工場港は三七・五厘入一以
に付き金五錢引とす
(ロ)主要港に非ざる各港迄の運賃の負
擔は各組合任意とす
(ハ)同一条件の下に於ける呷詰と撤と
の値開きは三七・五厘に付き金廿三
錢とす、麻袋詰と呷詰との値開きは
實費を以て基準とし適時協定するもの
とす

(ニ)代金支拂方法 沖著の場合B—L
は引替若くは出帆後十日以内の支拂
とす
(ホ)日本製鐵株式会社及合成工業株式
會社の販売は、前記販賣價格より三
七・五厘に付き金十五錢以内引を以
て販賣することを得

四 販賣價格中に算入せられたる割戻手
敷料(販賣手数料)
販賣價格の二歩(一)のホの販賣手数料
の最高額を支拂ひたる場合を示す)
五 販賣價格中に包含せられたる包装費
出荷費及運賃諸掛

(イ)包装費 融當 六圓
(ロ)出荷費及運賃諸掛 融當 五圓
六 昭和十三年一月乃至八月の販賣價格
は昭和十二年十月十五日迄に決せし政
府に届出づるものとす
前項期間内に受渡を爲すべき先物契約
は前項に依り決定する價格に依ること
を条件とする場合に限り之を爲すこと
を得るものとす

七 實施期日 商工、農林兩大臣宛届出
の日より一月後の日
但し前項の實施期日以前に承認ありた
るときはその翌日より實施するものと
す

八 實施期間 昭和十二年十二月三十一
日迄

第二次産組擴充計畫
【七三】産業組合擴充五ヶ年計畫は昭和
八年實施以來四ヶ年間の努力に依り組合
各部門に亘る躍進の發展を遂げたが更に
今後の活動方向を規定し組合の整備擴充
を圖るべく産業組合中央會では第二次擴
充計畫の樹立に關し去る一月の全國支會
引職員協議會、四月の全國大會を経て立
案を急ぎこの積成案を得たので廿三日第
二次産業組合擴充五ヶ年計畫綱要を左の
如く發表した

一 目標
一、組織の整備擴充と全系統組織の綜
合的運営
一、事業の擴充と其の大衆化
一、都市産業組合の發展
一、産業組合教育の徹底

二 計畫日次大要(省略)
三 計畫内容の重點
(一)第一擴充五ヶ年計畫の批判檢討の結
果組織部に於ける跛行的狀態の内職
が指摘され今後に於ける全國的運動を
強力に推進せしむるに當り重大なる障
碍たることを痛感し第二次擴充計畫遂
行に當りては自己批判的見地に立ちた
る組織活動を以てその中心的必行事項
となし、特に左記事項に對しては主力
を傾注し以て全産業組合組織の個々に
付ての内容整備に努むると共に極力地
方的跛行狀態の是正を圖り更に充實し
たる産業組合網の完成を期す

1 組合員の實質的增加
2 四種事業の積極的實行
3 不振組合の整備刷新
4 新設組合の全面的活動促進

五 農事實行組合を基礎とする組織的活
動の徹底
(一)全國的統制品目及び目標
一 貯金の吸收(増加額、郵便貯金及貯
蓄銀行貯金の合計額を基準としてその
二〇%、但し六大都市所在府縣は五〇
%以上とす)

二 販賣統制
米 全國販賣數量の四〇%
小麦 全國販賣數量の六〇%
粟 全國産額額の四〇%
木炭 全國生産數量の一五%
鶏卵 全國生産數量の二〇%
三 購買統制
肥料 全國氮肥消費額の六〇%
飼料 全國飼料消費額の三五%
經濟用品各道府縣をして一齊に左記基
準を最低限度とし積極的配給計畫を樹
立し飯米其他食料品の配給に付ても其
の遂行を期す

昨年砂糖供給實績
【七三】糖業聯合會では昭和十一年四月
以降十二年三月に至る昭和十一年度砂糖
供給協定精算書を廿三日左の通り發表し
た(單位千擔)
一 供給高 一三、六九八
内譯
本期産糖高 一五、六〇三
内前年度補充高 一、九〇五
一 國內需要高 一五、六三九
内譯
一種糖 二、一九〇
一種糖 六、八六〇
外精製糖原料に使用 一四七
耕地白糖 二、五三三
精白糖原料 三、九五七
内二種糖消費糖を使用 一四七
一 輸出向處分高 八六一
内譯

一種糖 二七三
排地白糖 四六二
原料糖 一二五
一 亡失其他減損高 一五
一 新糖補充高 二、八二九

精糖理事長重注
【七三】日本糖業聯合會理事長は廿三日
の同會定時總會に於て藤山愛一郎の重任
に決定した

米券借換發行
【七四】大藏省發表し七月廿六日支拂期
日の米穀證券(第六十五回)七千四百萬圓
は内百萬圓を現金償還し、殘額七千三百萬
圓は左記要項の通り之を借換發行するこ
とに決定した
一 證券名額 米穀證券(第六十八回)
一 發行額 額面七千三百萬圓
一 割引歩合 日歩六厘四分ノ三
一 發行日 昭和十二年七月廿六日
一 支拂期日 昭和十二年十月廿五日
一 發行方法 日本銀行引受

政府米で軍用米供給
【七四】陸海軍の軍用米は從來市場から
買入れてゐたが今回陸海軍經理部では滿
洲軍變當時の先例にならひ軍用米は成る
可く政府所有米を以て供給すること、決
定した、之により突發事變等による恐慌
などは今後解消する事となり尙ほ政府
所有米の現在高は四百六十六萬石である

産金増産計畫概要
【七五】吉野商相は内外地に於ける産金
増産獎勵計畫に關し過般米六大産金會社
を始め朝鮮總督府等の同意を徴し鋭意立
案を急いだ結果増産計畫の目標及び具體
的方法その他に關し

一 産金埋産計畫の目標を五ヶ年後(昭
和十七年)に於ける年産額内地約六十
萬噸、外地約七十五萬噸合計約百三十五萬
噸とする(一)現在の年産額は十二年度
推定内地二十六萬噸、外地約二十四萬噸
である)

一 應急的措置として現在採掘中の鐵山
につき製鍊所の増設五十ヶ所及び選礦
場の増設三十ヶ所合計八十ヶ所を指定
し中小業者には増設補助費を支給して
増産を實施せしむること
一 産金助成會社の設立案は業者側にも
反對あるため尙々特別請願會提出を見合
せ、通商會議定に改めて考慮すること
等の根本方針を決定したので廿七日大藏
省に對し特別請願會に追加豫算として提出
すべき右計畫に基き應急的經費約五百萬
圓につき折衝を行ふと共に商工省より増
産計畫の概要を左の如く發表した、なほ
吉野商相は右計畫の實現に關し近く産金
業者代表を招き協力を求めることとなつ
た

一 大産金業者をして政府の政策に順應
して自發的に製鍊場及び選礦場の増設
擴張を實行せしむること
一 中小産金業者に對しては相當の助成
金を交付して製鍊場及び選礦場の増設
擴張を實行せしむること(補助費百八
十萬圓)

一 一般的に採礦獎勵金を交付して大い
に採礦を行はしめ以て金鑛石の供給を
増加せしむること(採礦獎勵費約百八
十萬圓)

一 小産金業者に對しては必要に應じ鑿
岩機を無償貸與して採掘及び採掘を助

一 採礦獎勵金を交付して大い
に採礦を行はしめ以て金鑛石の供給を
増加せしむること(採礦獎勵費約百八
十萬圓)

一 小産金業者に對しては必要に應じ鑿
岩機を無償貸與して採掘及び採掘を助

一 採礦獎勵金を交付して大い
に採礦を行はしめ以て金鑛石の供給を
増加せしむること(採礦獎勵費約百八
十萬圓)

一 小産金業者に對しては必要に應じ鑿
岩機を無償貸與して採掘及び採掘を助

成すること盤機機百組(購入一組)購入費約一萬圓、經費合計約百萬圓)
 一 鑛山局及び鑛山監督局に技術員を増やし中小企業者に対し技術上各般に亘り現地指導を行はしむること
 一 右の外將來必要な場合には相當の補助金を交付して低品位鑛山の開發を助成すること(付て考慮すること)
 一 なほ試掘採掘鑛場設置の許可等については關係各廳とも協議の上可成迅速に取計らふと共に鑛石の運賃に付ても適當に考慮すること
 右計畫は五年後に於て内地に於ける產金量約六十萬兩迄増加せしむることを目標として朝鮮に於ても略同様の計畫を以て増産を圖る豫定にして五年後に於て其の產金量約七十五萬兩迄増加せしむる豫定なるを以て五年後に於ては内地を通じて約百三十五萬兩(時價五億八百九十五萬圓)の金を産出することとなる

五月鐵鋼材生産額

【七六】 本年五月中に於ける内地、朝鮮並に滿洲における鐵鋼材生産額左の如し(單位別)

品名	本年五月	前年五月
鋼塊	1,012,912	1,012,912
鋼材	1,012,912	1,012,912
鐵鋼材	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
鉛	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912

生保特別保險料不徴收

【七五】 生保協會では二十七日九の内生保俱樂部に調査部委員會を開き今回の北支事變に伴ふ特別保險料問題につき協議の結果現状に於ては時期尚早と認め右特別保險料は徴收せざる事に決定した

五月中重要鑛産額

【七三】 商工省發表五月中の重要鑛山鑛産額左の如し(印滅)

品名	五月份	對前年	對前年
金	1,861,313	3.2%	5.2%
銀	1,242,111	3.2%	5.0%
銅	2,107,596	10.1%	2.4%
石炭	1,242,111	1.1%	10.1%
石油	3,121,111	2.0%	1.7%
硫黃	3,121,111	4.2%	2.7%
鉛	4,875,111	1.8%	1.1%

△普通鐵鋼材

品名	本年五月	前年五月
鐵鋼材	1,012,912	1,012,912
鋼塊	1,012,912	1,012,912
鋼材	1,012,912	1,012,912
鐵鋼材	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
鉛	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912

品名	本年五月	前年五月
鐵鋼材	1,012,912	1,012,912
鋼塊	1,012,912	1,012,912
鋼材	1,012,912	1,012,912
鐵鋼材	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
鉛	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912
錫	1,012,912	1,012,912

石炭國家統制を決議

【七〇】 大阪工業會では三十日大阪クラブに臨時總會を開き並の燃料委員會で行はれた石炭の國家統制に關する決議を承認の後現下の非常時期に對し最重要品たる石炭國家統制につき全國産業者が一致結束して之が消費の合理化を圖るべきことを提唱之に關する聲明書を發表し引續き北支事變問題を中心として意見の交換を行つた結果滿場一致を以て政府は舉國一致して國民政府の指導による毎日抗日の總罷市を期せられた旨の強硬決議を可決して石炭の國家制決議と共に政府に提出することになつた

砂糖關稅引下十月實施

【七二】 砂糖關稅の三割五分附加稅免除に關しては大藏、拓務兩省間において折衝中であつたが特別議會通過後實施することには糖商の特へる影響甚大なるに鑑み結局法案議會通過後二ヶ月の猶豫期間を置き十月より實施することに兩省間の妥協成立し左の如く黒糖(色相和關標本十一噸未満のもの)を除く各品種に對する附加稅撤廢に關する法律案を特別議會に提出することに最後の決定を見た(單位每百斤)

一 砂糖 現行率 改正率
 色相和關標本 五圓三三 三圓九五
 其他 七・三五 五・三〇

鐵輸入稅免除期限決定

【七三】 特別議會提出の鐵輸入稅免除法案に規定される免除期間については大藏、商工兩省協議の結果前議會案を踏襲し昭和十四年六月末までとするに決定した

關稅委員會原案可決

【七四】 大藏省關稅調查委員會は廿三日午後四時首相官邸に開催特別議會に提出される關稅改正中前議會案を審議することとなつたもの(外新たに加へられることとなつた三割五分附加稅(昭和七年法律第四號によるもの)免除外二件につき審議の結果大藏省原案通り可決午後五時半散會した、決定事項左の如し)

一 人造石油、石炭ガス及び新聞用紙を無稅とすること
 一 關東州の生産に係る硝酸アンモンの輸入稅を免除すること
 一 左の物品に付昭和七年法律第四號(輸入稅の從價稅率に關する件)の適用を除外すること

關稅法を臺灣に施行

【七五】 從來臺灣の貿易行政については明治四十二年勅令五十六號に依つて關稅法の一部を施行せるのみ朝鮮、樺太の如く全般的に施行せられてゐないため外地貿易行政の統一上種々不便障害を惹起してきたが廿三日の關議において右勅令を改正し悉く關稅法全部を臺灣に施行する事になつた、尙右改正に伴ひ明治三十四年律令十三號は廢止され内地同様關稅審査委員會が新に設置されることになつた

七月上旬朝鮮移出米

【七六】 拓務省發表 七月中旬の朝鮮に於ける移出米數量左の如し(單位石、印滅)

品名	七月中旬	對前年比較
移出米	1,242,111	1.1%

東南南洋視察團派遣

【七七】 東京商工會議所では這般來南洋經濟視察團派遣に關し小委員會を設け具體案を考究中であつたが、成案を得たので廿六日九の内本部に議員協議會を開き左記要綱を附議決定した

一 目的 南洋諸國の經濟事情を視察し以て我國との通商貿易の進展を圖り併

通商貿易

二 水砂糖、角砂糖、棒砂糖その他類似のもの
 九圓九九 七圓四〇
 尙糖蜜は黒糖との關係上現行通り拂置くことになつた

無爲替輸入に許可制施行

【七八】 無爲替輸入は現在自由取引として爲替管理法の取締を受けてゐないが大藏省では爲替管理強化の徹底を期するため近く無爲替輸入についても許可制を施行することに決定これに伴ひ外國爲替管理立法改正案を特別議會に提出することに決定した、即ち無爲替輸入が自由となつてゐる結果としてこの輸入商品の内地賣却益を以て事業經費が賄はれるのみならずこれが収益が配當として海外に送金される場合が豫想されるのでかくは實質的に資本の逃避であり本月下旬より實行された不用不尋品の輸入制限も實效を挙げ得ないことなるわけで爲替局では無爲替輸入の許可制を内外國商社に別なく實施することとなつた

通商貿易

七月上旬の移出米數量左の如し(單位石、印滅)

品名	七月上旬	對前年比較
移出米	1,242,111	1.1%

通商貿易

七月中旬の移出米數量左の如し(單位石、印滅)

品名	七月中旬	對前年比較
移出米	1,242,111	1.1%

せて親善關係を増進するを目的とす

- 二 名稱東商議員南洋經濟視察團と稱す
- 三 團の構成 成るべく副會頭を團長とし議員中より出来る限り斯界練達之士の出馬を求め之に隨員として英語に堪能なる事務局員一名を配し一行七、八名とし各自調査部門を設け分擔せしむ
- 四 往復日數 五十日
- 五 出發 九月十日上旬

貿易調整法改正案

【七七】前議會で審議未了となつた貿易調整法案は一貿易及關係産業の調整に關する法律案」と名稱改正の上議會提出の手續をとつたが國際收支の均衡を圖り貿易統制の結果起るべき貿易業者及び生産業者間の摩擦を調整するため相當廣汎圍に亘る改正が行はれた、即ち第一條に「國際收支の適合を圖るため」といふ字句を挿入されたのは「國民經濟上必要なる重要物資の供給を圓滑ならしめるため左の諸點に就いて改正が加へられてゐる」

- 一 第一條第二項に「國際收支の適合を圖り」といふ字句を挿入する
- 二 第一條第四項(改正前は第三項)が「産業上必要なる重要輸入品の供給を適正ならしめんとするとき」となつてゐたのを「國民經濟の健全なる發達を圖るため重要物資の供給を適正ならしめんとするとき」と改正し貿易統制の範圍を擴大した
- 三 第二條に於て改正前は輸出入の統制を行ふには貿易審議會の議を経て統制協議會をして審議せしむることになつてゐたがこれを貿易審議會の議を経るを要せざることとし統制の實施を容易にした、また第三條を改正して貿易業者と生産業者の利害調整をなす場合に於ても貿易審議會の議を経るを要せざることとした

ることとした

- 四 但しその代り第四條を改正して統制協議會の議決に強制的に従はしむる場合は貿易審議會の議を経べきこととした、又第四條の「貿易の健全なる發達を圖るため」を「國民經濟の健全なる發達を圖るため」と改正して範圍を擴大した

日米絹布協定成る

【七三三】比島向け日米絹布輸出數量取極めに關する更改交渉は先頃來ワシントンに於て日米兩國政府代表者間に折衝が行はれてゐたが漸く兩者の意見一致を見るに至り大體昭和十年八月實施の第一次取極めを踏襲し一ヶ年四百五十萬平方メートルに決定した

比島向綿布自制總額

【七三九】日本綿布輸出組合では一九三五年八月以降二ヶ年に亘り對比島綿布輸出數量を一年につき四千五百萬平方メートルに自制して來たが今回本年八月一日より明年七月末日まで従來通りの自制を繼續することに決定した

中旬臺灣移出米

【七三九】拓務省發表表に臺灣に於ける七月中旬の移出米數量左の如し(單位石)

昭和十二年	前年比増
三三・〇	二二・〇

内地仕向

蒸米種	三五・五	一一・三
在來種	八・七	五・五
小計	三三・〇	一六・八

朝鮮仕向

前年十一月月上旬以降累計	三三・〇	二四・五
--------------	------	------

外國船に沿岸貿易特許

【七三三】北支事變の勃發に伴ひ海上輸送輻輳の爲船腹需要の増加を來したたので滿清省では關係航路に於ける物資輸送の圓滑を期する爲從來禁止せられて居つた關東州置籍船並に一般外國船の本邦沿岸貿易を特許することに決し廿一日右手續きを完了希望外國船に對しては直ちに右特許を與へることになつた

下旬對外貿易

【七三三】大藏省發表表に七月下旬對外貿易概算左の如し(單位千圓△印減)

七月下旬	前旬
出 三三・〇	六・九
入 一六・八	一〇・〇
入 超 一七・九	一・九

一月以降累計

本年 前年

出 一六・八	一四・三
入 二六・六	一七・七
入 超 一〇・八	三・四

重要品輸出入額

大藏省發表表に七月下旬に於ける重要品輸出入額左の如し

出 七月下旬	前旬對比増減	
綿織物	四七・〇	六・三
生糸	四三・三	二・九
人絹織物	四七・四	六・九
鐵	三三・五	七・五
機械類	四四・二	三・四
罐詰食品	六四・七	四・六
絹織物	二〇・〇	二・六
メリヤス製品	二二・六	三・三
毛織物	二二・二	三・三
植物油	四四・四	七・七
陶磁器	二一・九	九・九
鐵製品	二〇・七	五・五
綿織糸	二二・三	七・七

輸入

玩具	一・四	二・六
人絹糸	三・〇	九・九
紙類	一・三	三・九
木材	一・九	六・六
糖類	七・七	三・三
帽子	〇・四	三・三
小麥粉	〇・四	三・三
其他	四・七	二・六
入	四〇・七	二・六

輸出

棉花	一〇・四	△一〇・四
羊毛	五・六	△一・三
原油及重油	八・〇	△二・九
機械類	四九・五	△三・三
豆類	一・六	△一・一
生ゴム	四〇・〇	△一・六
バルム	五・四	△一・三
木材	三・九	△一・三
石炭	二・〇	△一・六
鐵	四八・八	△二・四
硫安	九・一	△一・九
採油用原料	四〇・〇	△一・九
自動車及同部分品	四・九	△一・三
油類	三・六	△一・九
小麥	二・九	△一・一
揮發油	一・九	△一・四
銅	三・五	△一・四
麻類	一・三	△一・四
砂糖	一・三	△一・四
其他	八・三	△一・四
尙數量左の如し(單位百斤)	三三・三	三・三

輸入生糸

輸出生糸	三・三
輸入棉花	三・三

物價高主因は運賃高

【七三六】我國物價は昨年下半年以來異常

小麥(歐洲線)	二十五割七分
工業鹽(臺灣)	日本十八割
砂糖(瓜哇)	日本十六割
鉛(英國)	日本十五割七分
木材(北米太平洋岸)	日本十五割四分
豆粕(大連)	横濱十三割八分
厚紙(歐洲)	日本十三割二分
燐礦石(北米フロリダ)	日本十三割三分
鐵鋼(歐洲線)	十一割五分

に上昇本年四月に至つて最高水準に達し五月以後は海外物價の低迷と政府の物價對策の影響をうけやう行過ぎを訂正騰勢一服裡に小康を續けてゐるが東京商工會議所では今回最近一ヶ年間に於ける騰貴事情を究明すべく特に騰貴せる重要商品九十六品を採り品目別に調査した所概要次の如き結果を得た、即ち最近一ヶ年間(自昨年六月至本年五月)に於ける我が國物價の騰貴率を重要商品卸賣物價總平均指數について見るに昨年六月に比し四月は三割一分六厘五月は二割七分五厘の昂騰を示してゐる、就中騰貴の顯著なる商品は鋼板の十九割九分九厘の十七割一分等鋼材を筆頭として木材の十一割、鉛の十割七分、製紙用バルムの八割四分、苛性ソーダの七割四分、ゴムの五割五分、人絹の三割九分、綿糸の三割八分、小麥粉の二割五分等である、而して右の物價騰貴の主要原因を各商品につき原因別に大別するに調査商品九十六品中中國内事情に因るもの米、麥酒、セメント其他二十九品、海外物價高の影響に因るもの棉花、アルミニウム、生ゴムの三品、内外兩事情に因るもの生糸、人絹其他四十六品内外兩事情に加へ特に海運賃の影響著しくために騰貴したものの小麥、工業鹽、砂糖、木材其他十八品であり結局内外兩事情と海上運賃高が根本原因となつてゐる、即ち昨年六月に比し本年五月の海上運賃騰貴率左の如し

農山漁村物價對策決定

【七〇】中央農林協議會は廿八日午前...

一 豫算の整理

現在の物價高は財政の急激なる膨脹に...

二 缺狀價格差の訂正

農山漁村購入品價格の急騰に對しその...

三 物價配給の圓滑化

四 購買組合の擴充

五 政府米の低廉簡易なる拂下

六 肥料統制制度の強化、重要肥料業統...

増加を中心に全面的改正を斷行せられ...

七 漁船燃料額油市價暴騰の緩和

八 都府負擔の均衡を中心とする稅制改...

九 其他

- 1 土地制度の整備改革
2 工業の地方分散に伴ふ諸弊害の除去
3 國有林野經營方針の調整
4 林道の開設普及

東商の物價對策建議

【七〇】東京商工會議所では過般政府の...

▲建議

惟ふに今次の物價急騰が財政の急激な...

く財政收支の均分化を圖るに努められ...

▲物價對策協議要目

- 一 生産力擴張△保儲制度の新設△動
力の豊富化△勞働力の質的量的に改
善
一 消費統制△消費合理化△代用品奨
勵
一 配給、運賃政策△鐵道運賃の引下
げ△逕送業の合理化
一 豫算合理化△支出不急豫算の繰延
豫算と物資との適合、豫算支出の合
理化(行政費節約)
△收入(稅制整理)

六月十三都市卸賣物價

【七三】商工省調査六月における東京以...

Table with 4 columns: 分類別, 本月, 前月比%, 前年同月比%. Rows include 穀物, 食料品, 繊維品, etc.

雜品 一四八 △三三 三九
總平均 三三九 △二五 三九

七月卸賣物價

【七三】東京商工會議所調査最近の物...

Table with 4 columns: 類別, 現在, 前月比, 前年同月比%. Rows include 穀物, 食料品, 繊維品, etc.

勞働賃銀保合

【七三】東京商工會議所調査東京に於...

Table with 4 columns: 業種別, 六月, 前月比, 前年同月比%. Rows include 織物工業, 金銀工機, 機械器具工業, etc.



文 化

英人セール氏に勳二等

【七〇四】畏き邊りでは昨年六月ロンドン日本協賛評議員會々長を辭任したチャールズ・ヴィンセント・セール氏に對し氏が在職中日英親善増進に多大の努力を傾倒したるを嘉せられ廿四日左の如く勳二等を賜つた。尙同氏はさき日に日英親善功勞者として勳三等を賜つてゐる。

元ロンドン日本協賛評議員會々長 英國人勳三等(旭)

チャールズ・ヴィンセント・セール 贈與勳三等瑞寶章

日米少年團交贈會

【七〇五】ロスマンゼルス第二世母國見學少年團卅名の一行は廿四日朝大島岡田村に上陸直ちに東京聯合少年團キヤム村を訪問少年團員の歓迎を受け午前八時から廣場で日米少年團交贈の會を開いた一行は動物公園を見學午後三時元村發汽船で歸京した

文展審査員觸決

【七〇七】文展審査員の決定に對し文部當局は先頃の帝國藝術院成立とその後二回に亘る細川護立侯、岡部長景氏等五顧問との相談會を終へ鋭意東次官、山川、菊池新舊兩專門學務局長の間で慎重協議を續けてゐたが廿六日漸く内定したので廿七日最後の餘額を経て左の五十六氏の候補者を決定、同日文部省からその氏名を發表した、候補者については本田學藝課長、北浦東京美術校教務掛長等關係者が

審査員受諾の交渉中であるが候補者の中に審査員不承諾の者が出たとしても文部省としては之を最後案として缺員を補充せず承諾者のみをもつて今秋文展の審査を實施して行く方針である。又昨年度文展被招待者並に本年度を限つて同展に於て文部大臣賞を受けた者を無鑑査とすることに決定した

△第一回文部省美術展覧審査員候補者 第一部

(主任) 楠木清方、菊池契月、小林古徑、西村五雲、西山翠峰、安田靉彦、宇田菽那、川崎小虎、堂本印象、中村岳陵、野田九浦、福田平八郎、矢澤政月、矢野橋村、吉村忠夫

第二部

(主任) 兩齋造、安井曾太郎、伊原宇三郎、金山平三、川島瑞一郎、小林萬吾、齋藤與里、鈴木千久馬、田邊至、辻水、中野利高、中村研一、長谷川昇、林俊衛、牧野虎雄

第三部

(主任) 北村西望、朝倉文夫、佐藤朝山、齋藤素麿、内藤伸、藤井浩祐、安藤照、石井鶴三、小倉右一郎、國方林三、澤田晴廣、長谷川榮作、横江嘉純

第四部

(主任) 津田信夫、富本憲吉、岩田藤七、海野清、河村崎山、佐々木泉堂、高村豐岡、堆朱揚成、沼田一雅、山鹿野華、吉田源十郎、六角繁水、清水龜藏

美術調査會設置

【七〇三】第一回文展審査員を決定した文部省では繪圖の無鑑査問題を今後に残し更に美術奨励の施設に關しても懸々整備發達せしむる必要を痛感すると同時に併せて美術行政に恒久性を樹立せしめる立

場から今回新に美術調査會を設ける事になつた、此の調査會は現在相談役細川侯等で組織されてゐる顧問會議の機構を擴大組織化して美術家、有識者、教育關係者行政關係者等一流の權威者を網羅して組織される筈でその内容委員等については未だ何等決定を見てゐないが文部當局では十分慎重調査を進めて今秋文展後に權威ある美術審議機關の誕生を期してゐる

文部當局談

美術奨励の施設に關しては今後益々整備發達せしめる必要があるが其の行政的に審議するを適當とするものに就いては成可く速かに文部省に有識者、美術家、教育關係者、行政關係者等を以て組織する調査會を設けて十分それについて審議し適當なる方策を決定して實行に移す事とした、其の際無鑑査制度の問題等についても十分審議する事とし漸を追つて適當なる改善を施すやう努力する考へなり

廿九氏既に受諾

【七〇三】文展審査員候補者の觸決は廿七日文部省から發表されたが同日午後十時までに審査員を受諾した者は合計廿九名、受諾未決定のもの第一部、西山翠峰(旅行中)、川崎小虎、堂本印象、福田平八郎、矢澤政月、矢野橋村、吉村忠夫の七氏、第二部では兩齋造、安井曾太郎、伊原宇三郎(旅行中)、金山平三、川島瑞一郎、小林萬吾(旅行中)、齋藤與里、鈴木千久馬、田邊至(旅行中)、辻水、中野利高、中村研一、長谷川昇(旅行中)、牧野虎雄の十四氏、第三部は佐藤朝山、石井鶴三、長谷川榮作の三氏、第四部は海野清、佐々木泉堂(旅行中)、富本憲吉の三氏である

二部會會員受諾決定

【七〇七】第二部會の審査員候補者辻水、中村研一氏等は廿七日午後六時から赤坂山王、山の茶屋に會合協議の結果南、安井の兩帝國藝術院會員を審査員に加へたとしても文部當局が充分に第二部會の意向を斟酌した態度を語つて結局二部會の九候補者は歩調を揃へて審査員を受諾する事に意見の一致を見た

受諾未定は十五名

【七〇七】七月廿八日に於ける受諾通告者左の如し
△第一部(川崎小虎、矢澤政月、吉村忠夫、矢野橋村、堂本印象)
△第二部(鈴木千久馬、齋藤與里)
△第三部(佐藤朝山、石井鶴三、これで第三部は候補者十三氏全部承諾)
△第四部(佐々木泉堂)結局未定のもの
△第一部の西山翠峰(旅行中)、福田平八郎兩氏、第二部の南、安井兩會員外十氏と第四部の海野清氏計十五氏となつた

日本文化講座開く

【七〇二】世界教育會議の前奏曲として同會議諸外國代表百五十名を集めて國際文化振興會主催の「日本文化講座 第一日は廿八日午前十時から富山山麓山中湖畔ニイー・グラントホテルの風雅な紫明荘に開かれ先づ座長の元駐獨大使永井松三氏の歡迎の辭について外人側を代表して世界教育聯盟會長ホール・モンロー博士が答辭を述べ原田始郎博士の「日本文化解説」の講義に入つた、午後は自由行動でハイキング、ボート、乗馬、ゴルフなどに應じし風景を満喫しながら一同歡をつくした

文化と生活の紹介に努め卅日終了した
【七〇六】今夏濠洲で開かれる國際新教育會議に日本代表として出席する鶴見祐輔氏は令嬢同伴、廿八日午後三時東京驛發特急「富士」で出發した、同氏は廿九日門司出帆のシドニー丸で濠洲に向ひ八月十四日シドニー着、九月廿日までプリズベーン、シドニー、カンベラ、メルボルン、ホバート、アデレード、パリスの七大都市で開かれる會議に出席會議終了後は飛行機で蘭領印度に渡りシンガポールより便船を求めて十月八日神戸入港歸國の筈である

情報委員會英文月報發行

【七〇三】政治の輿論化を目標と宣稱附録「週報」を發行して好評を博した内閣情報委員會では今度在外人及び外國の日本研究家たちにわが政治を誤りなく理解させることを目的とした英文月報「TO K Y O G A Z E T T E」を發行する計畫をたてゝゝゝゝが第一號を八月一日を期して一齊に賣出すことになつた

裁 判

人の道教祖正式起訴

【七〇三】妖教人の道教祖は四月六日第三次大檢舉によつて潰滅したが爾來大阪地方検事局で慎重取調べた結果動かすべからざる不敬事實の數々の證據を發見するに至つたので中央に稟請中の所廿一日午前起訴命令が到着したので検事局は最後の協議を行つたのも勝山檢事から教祖御木徳近、準祖御本郷見、同湯淺眞生、同分島賢、同神戶十郎、同丸山利雄を不敬

罪の名を以て正式に起訴するとともにかねて婦女暴行罪で北區刑務所に收容中の御木徳一をも同様に不敬罪で追起訴せしむる審判一併附した、なほ殘跡の關係豫審者は何れも起訴留保して轉向更生を待つことになつた

清原少尉假出所

【七・三】二・二六事件に連坐して無期禁錮の判決を言渡され小菅刑務所に謹慎の日を送つて來た能本市春日町清原猛雄氏次男元歩兵少尉清原康平氏(元)は郷里に居る母親(まご)を最近重態に陥つた爲め歸郷したいと希望してゐたところ去る十九日司法省行刑局から廿三日から廿五日まで三日間の假執行停止の命令が出たので同中尉はこの司法當局の温い計ひに感謝しつゝ廿三日午後零時分小菅刑務所を假出所午後一時卅分同驛列車で郷里に向つた

警 察

【七・三】廿四日郷里熊本で病める老母と對面した湯川康平元少尉(元)舊好清原(元)は附添ひの憲兵に護られて同日午後五時十五分熊本廿五日午後四時四十分東京驛頭樓で歸京再び小菅刑務所に收容された

古島一雄翁召喚

【七・三】貴族院議員古島一雄氏は廿一日午前九時五十分任意出頭形式で世田谷區經堂の自宅から麹町の東京憲兵隊に召喚され特高課の取調をうけ夕刻一先づ歸宅を許され自邸に入つた、右は去る六月廿日長野縣下に於て開催された信濃教育會總會席上二・二六事件に關し軍民離間的な講演をしたことが判明治安警察法

違反の嫌疑に依り取調を受けたものである

北代護士歸宅

【七・三】廿日東京憲兵隊に留置取調べを受けてゐた民政黨代議士北代吉氏は廿三日が第七十一議會召集日に當るので必要の場合に隨時召喚に應じるとの條件で廿二日午後一日歸宅を許された

ひとのみち再建を圖る

【七・三】大阪府警察當局は罷に人の道教團の再建計畫を認め探知廿二日朝來大阪地方勝山偵事指揮の下に府特高課員を八方に走らせ再建の中心人物と見られる徳近の實弟元同教團教長大阪市天王寺區東高津兩ノ町御木徳止(元)及び會計課長布施市永和、和田尚(元)同特級教師御木清大(元)の三名をそれゝ自宅から連行府廳地下室に留置の上本田主任警部が嚴重な取調べを開始した、この不敵極まる妖教再建計畫は徳近の手で企てられたもので年三回の便船しなない東京府下八丈島の島島に着目し同島の開發に當つてゐる飛鳥産業會社の經營權を譲渡する様交渉し既に元教師藤原學士を同島に派遣調査に當らしめてゐたのである、同人のプランによれば同島四百町歩の廣大な地域に信者家族を移住牧畜農業に従事せしめ自立自營の道を立てつゝ交通不便を幸に秘かに國策の妖教王國を建設せんとするたものである

宮崎龍介氏檢擧さる

【七・三】東京市豊島區目白三の三六三〇辯論士宮崎龍介氏(元)は某軍大事件の有難關帝容疑者として去る七月廿四日午前十一時神戸出帆の長崎丸に乗船せんとするところを神戸憲兵分隊員に檢擧され同分隊に於て取調の上廿六日秘かに東京

本隊へ護送された

秋山實川兩氏も召喚

【七・三】東京憲兵隊は某軍大事件の有力な關係容疑者として廿六日午前六時五十分麹町區麹町五ノ一一代議士秋山定輔氏を更に廿七日早朝澁谷區中野町一ノ五六二大田細通通信社長實川時次郎氏(元)を夫々召喚特高課長が取調べを行つたが兩氏は目下留置取調中の宮崎龍介氏と共にそのまゝ留置された

白蓮女史召喚

【七・三】白蓮女史は夫君龍介氏の參考人として廿八日午後一時廿五分東京憲兵隊に召喚され取調べを受け午後四時歸郷を許された

大森一壁氏召喚

【七・三】東京憲兵隊では怪文書事件の關係者としてさきに代議士北代吉氏を始め大化會長若田富美夫氏等十數名を召喚取調べてゐたが廿九日午前九時更に同事件に關聯して小石川區水道端二の六四直心道場盟主大森一壁氏外數名を召喚特高課で取調中である

社 會 ・ 雜

團基使節は福田五段

【七・三】日本棋院からドイツへ派遣される棋士は同院に於て餘衡の結果廿一日福田義五段(三)に決定、同氏は來る九月渡獨し約一ヶ年間ドイツに滞在して團基を教授することになつた

萬國博副總裁決定

【七・三】紀元二千六百年記念日本萬國博覽會では副總裁に近衛首相を推すことに

決定廿三日近衛首相の承諾を得た

東京市カード階級調

【七・三】市社會局で調査した七月一日現在のカード階級は十一萬七千八百廿五世帯四十九萬七千四百廿六人で總人口の八・二パーセントである、内男廿四萬八千六百八十四人、女廿四萬八千七百四十二人十四歳以下の兒童は廿萬九百人、十六歳以上の老衰者は一萬四千十三人である右の中直ちに救護を要する世帯數は四萬七千六百三十三世帯廿萬一千九百四十九人である

入揚券割増最高額決定

【七・三】萬國博の前賣入場券に對し抽籤で割増金をつける案は商工省原案の三千圓が高額すぎるゝとあつて内務、大藏、商工三省間で審議中であつたが一千圓を切下げ最高二千圓することに廿四日決定した

シヤム國砲艦進水

【七・三】神戸川崎造船所において建造中のシヤム國海軍砲艦アムデヤ號(二)、〇一五トンの進水式は廿四日駐日シヤム公使ミトラカム・ラクサ氏以下日通官民約四百名参列の下に同造船所で舉行された、同艦は機裝完了後明年六月引渡される豫定であるが性能左の如し

Table with 2 columns: Item and Value. 長サ 七五米, 幅 一三米四二〇, 吃水 四米二五, 排水量 二、〇一五ト, 速力 一五・五節

颱風九州を蹂躪

【七・三】九州地方は廿五日颱風の襲撃を受け九州全土の河川増水農作物人畜の被害も相當なり熊本通信局管内の電話線は

約十回線不通、電信線は宮崎縣を除く外全滅といふ慘澹たる被害を蒙つた、主たる被害状況左の通り

- △廿五日未明より正午にかけて薩摩半島は大荒れ、電信電話全部不通、全縣下の農作物の被害甚大
△長崎地方一帯は平均風速十五メートル、午後二時廿分の風速は十七メートル、八海上では高潮を呼び五島航路その他の近海航路は全部断絶、日華連絡船長崎丸は豫定より一時間遅れ午前十一時神戸から入港、出帆を廿六日に延した
△佐世保でも沿岸航路は午後より全部断

- △大分縣下別府は正午過市内商店街は殆ど店を閉ざし二百餘戸浸水、又廿五日下午三時四十分頃宇佐郡長洲町で製竹工場倒壊一家五名下敷となり四女兒壓死
△熊本縣下天草郡もつと甚しく本渡女學校は危險に陥つた、又葦北郡田浦村沖合海上で貨物帆船が翻破した
△佐賀縣午後七時迄に浸水五千六、流失二戸、各地の交通社絶し帆船漁船の流失、人畜の死傷又相當數に上つた
△福岡縣下死亡(感電死)一、負傷七、家屋倒壊二四、床上浸水二七九、床下浸水一五三三

箕面丸歸る

【七・三】メキシコ政府の依頼により昨年六月梅國水産開闢に伴大な貢獻をした九州州畑日本水産會社の新造トロール漁船箕面丸(四七二トン)は廿七日午前六時マサトラから横濱へ凱旋した、なほ同船で撞れた水産日本見學と航海術の實習のためメキシコ水産局員アンヘル・ディアス君(元)外五名も便乗して來た

盛運丸衝突沈没

【七・二六】廿八日午前十時五十分頃神戸原田汽船盛運丸(四七八二トン)・三井物産扱一は北海道安別から横浜へ向け航行中千葉野大伏煙臺を距る北東以北三十哩の洋上で英國船(ペン・モア一號五・九二〇トン)と衝突し、小甚しく約廿分で沈没したが乗組員四十五名は英國船のボートにより全員救助され同船に移乗した

濠洲の羊毛王來朝

【七・二六】廿八日午後八時神戸入港の加茂丸で濠洲羊毛九割の取引權を握る世界的ブローカーであり同國々民羊毛仲買人協議會々長エフ・ヤング氏(五〇)は、エー・アー・ヤング(三〇)を伴ひ來朝した氏は神戸一泊後廿九日東京約六週間滞在の予定である

臨時列車「富士」に追突

【七・二七】廿九日午前二時卅三分下り特急富士號が岡山驛第一プラットフォームに停車中折下り大阪發廣島行不定期第一、一〇一號列車がこれに追突し、一〇一號列車は汽罐車及び接續のボギー二輛が滅茶苦茶に大破し特急富士號は後部ボギー車を大破した、右轡車より一、一〇一列車は死者三名生命危篤三名他に重傷者廿數名、富士は輕傷八名を出した、原因は信號の誤扱である

近衛秀磨子渡米

【七・二七】近衛秀磨子は卅一日午後三時横濱出帆の郵船大洋丸で五度目の歐米タクト行脚の道についた



菊竹福日副社長逝去

【七・二七】福岡日日新聞社副社長菊竹淳氏は廿一日午後零時卅分福岡市藥院古濱町の自宅に於て逝去した、行年五十八

津田金次少將逝去

【七・二七】後備役陸軍少將津田金次氏は廿三日午後二時卅分洗滌區下落合の自邸で逝去した、享年六十三

下長根澄氏逝く

【七・二七】東京日日新聞社庶務部長下長根澄氏は廿二日午後十時五十分逝去した、享年五十一

森連山將逝去

【七・二七】滿洲專使臨時獨立守備隊司令官として勇名を馳せた森連山將は去る昭和十年八月來連星ノ浦月見丘に自適してゐたが宿痼の腎臟病が昂じ昨廿三日午後十時卅分逝去した、享年六十一

新庄實少將逝く

【七・二七】大阪鐵工所顧問海軍造船少將新庄實氏は廿四日午後七時五十分腎臟炎のため阪大病院で死去した、享年六十二

内田良平氏逝去

【七・二七】日本生産黨總裁内田良平氏はかねてから宿痼喘息のため世田ヶ谷區世田ヶ谷一ノ九七八の自邸で療養中であつたが廿六日午後十一時四十五分死去した、享年六十四

小泉三申翁逝く

【七・二七】相州鎌倉町雪の下別荘翠屏荘に咽喉を患ひ療養中であつた三申小泉東太郎氏は廿八日午前八時半頃より病態急變同九時五十分遂に逝去した、行年六十六歳

海外日本人

經濟使節動靜

使節團マンチエスター訪問

マンチエスター【七・二七】門野重九郎氏以下日本經濟使節團は廿一日マンチエスター商業會議所去權の公式歡迎午餐會に臨んだ、席上マンチエスター商業會議所會頭サー・エドワード・ホーズ氏は立つて一行歡迎の辭を述べた曰く

我々は日本の産業各部門に於ける勞働者の賃銀其他の條件が日本一般の標準から見て満足なものである事實は充分これを認める、然し日本商品の價格が安いため英國勞働者の標準を現在通り維持する限り英國産業はこれと大刀打出来ない、無制限に競争することは我々としても經濟的に又社會的に不可能である、故に我々は結局日英經濟提携の何等かの基礎を發見しこれにより世界通商の公正なる分離を確保する方法を講ずることが大切である

右に對し門野團長は使節團を代表次ぎの答辭を述べた

余は極東に於ける事態が重大化せぬ様衷心より希望する、蓋し貿易發展の爲めには平和の維持が必要だからである日本は貿易の發展を阻害する關稅障壁の撤廢を要望する、一方日本勞働者の生活標準は不斷に改善されつゝあり他日日本勞働者が現在贅澤品と目されてゐるものを必需品として要求する時代が必ず到來することを確信する

午餐會を終り使節團は午後マンチエスター市の各工場其他の産業施設を視察した

がランカンヤ・綿業者は平素は容易に見

せぬ各工場を特に使節團のために開放し懇切に案内したので使節團に頗る好印象を興へた、夜はクエーンズ・ホテルに於けるマンチエスター産業界有力者約廿名の招待晚餐會に臨み非公式に隨意なき意見の交換を遂げた

英皇帝に謁見

【七・二七】英國皇帝ジョージ六世陛下には廿二日午後三時四十分門野重九郎氏以下日本經濟使節團一行十二名をバッキンガム宮殿に召され謁見を賜つた

日英通商會談共同聲明

【七・二七】日本經濟使節團は去る五日英國を公式訪問して以來朝野の名士多數と會見日英經濟提携並に兩國通商促進策に付き協議を遂げて居たが一行は廿三日午後三時から英國産業聯盟事務所に於てバーンビー卿以下同聯盟代表者と最後の協議會總會を開演約一時間半に亘り會談した、同會議に於ては今回會談の經過全般に付て再検討を行ふと同時に東亞就中支那に關する日英經濟問題を討議したと見られる、會談終了後次の共同聲明書が發表された

今回の日英通商會談により兩國の經濟的接觸關係が確立されこれが將來に於て成果を結ぶであらうことは日英兩國代表の一致して確信する所である、我々は兩國産業の相違點を率直に且つ相互の見解に對し同情を以て討議したのであるがその結果兩國間の空氣は面目を一刷新した、日本産業聯盟會並に英國産業聯盟は夫々兩國にある共同委員會

を通し今後不斷に連絡協働するに決した更に我々は東亞經濟開發に關する日英協力の可能性について事態が好轉次第討議を再開すべきであるといふに意見一致した

グラスゴー旅行

【七・二七】經濟使節團は廿三日午後十時十分ユーストン停車場發列車でロンドンを出發スコットランドのグラスゴー並にエディンバラに向つた

【七・二七】經濟使節團は四日間に亘るグラスゴー視察旅行を終へ廿七日午前ロンドンに歸來した

惜別晚餐會

【七・二七】經濟使節團は廿七日グロヴナーハウスに於て惜別晚餐會を開きハドソン海外貿易相、吉田大使、英國商業會議所會頭リヴァアール男、前訪日經濟使節團團長バーンビー卿等日英朝野の名士約三百名出席會を極めた、席上門野團長は主賓者側を代表して左の挨拶を述べた

我々使節團は産業、通商、經濟の各領域に於ける日英の相互關係を促進する目的を以て來たのであるが各位の誠心誠意の御協力により各種の會合及び社交を通じて我々の目的は大部分達成された、特に英國産業聯盟の肝入りによつて英國各方面の首腦部と隨意なき懇談を遂げ英國の經濟活動に對し深い認識と日英兩國の共通問題に對しより良き瞭解を得ることが出来た、我々は近く英國を去るが我々は愉快な思ひ出と各方面から受けた歡待に對する感謝の念を故國へ持ち歸るであらう

これに對しバーンビー卿は日本の歐洲大戰當時に於ける功績を賞讃併せて使節團一行の努力に對し謝辭を述べた

い

産業聯盟前會長リヴァーデール卿は盛大なる晩餐會に招待を受けたことを感謝した後左の如く述べた

日本は多年英國の友人であつた、余は今後如何なる危機に當つても日英兩國が永久に友人たることを切望する

最後は吉田大使起つて左の如く述べた 門野使節團の來英はバービー使節團の訪日に對する答禮の使命を果し且つ兩國の友好關係増進に寄與したと確信する

一行は到る所で歡待を受け英國の産業を視察し當業者と虚心坦懷意見交換を行ふ機會を與へられた、余は我が使節團の來英がより明るくより繁榮なる將來を約束するものなることを希望して已まぬ、最後に余は英國各方面が一行に對し示した好意に感謝する

使節團解團

ロンドン【七二】 經濟使節團は廿七日のお別れ晩餐會を以て英國における一切の公式使命を果したので廿八日解團し柏木春日兩氏はパリに向つた、その他は暫くロンドンに滯留する豫定

パナマ邦人漁業會社

パナマ市【七三】 パナマ市の在留邦人は今回資本金五萬弗で鮪漁業會社を設立することになり廿二日その手續を終つたこれは最近パナマ地方で漸く活動を開始した個々の邦人漁業家を結合し今後更にパナマ一帯海面の鮪漁業に進出せんとするものである

總田公使信任狀捧呈

サンチアルヴァードル【七三】 メキシコ兼サンチアルヴァードル駐劄帝國公使越田佐一郎氏は廿三日午前サンチアルヴァードル大統領官邸に於て同國大統領マキシミアノ・マ

ルチネス將軍に信任狀を捧呈した

日本を語る會

リオデジャネーロ【七三】 リオデジャネーロのロジャー・クラブは訪日學生團の歸國を機として澤田大使及び學生團を招き廿三日自動車クラブに於て「日本を語る」午餐會を開催約二百名出席し盛會を極めた、北支專變勃發以來ブラジルの輿論は徹底的に日本に同情的であつた日の色澤濃厚な新聞すら一切の批評を差控へてゐる有様だが右ロジャー・クラブの日本を語る會合も輿論の反映と見られる

杉村駐佛大使着任

パリ【七四】 新任パリ駐劄帝國大使杉村陽太郎博士は廿四日午前九時十分ローマからパリに着任した、パリ到着に際し大使は次の如く抱負を語つた

日本とフランスとの友好關係は今更申述べる迄もなく極めて良好であるが余は前任者に倣つて更に日佛兩國親善關係の増進に努力したい、又文化的方面に於ては余は日佛兩國の緊密なる文化關係が世界文化に對し貢獻するところ大なるを信じて疑はない、經濟關係に於ては日佛兩國は相互利益のため協同が必要だと考へる

副島伯歸朝の途に

ヴァンクーヴァー【七三】 國際オリビック委員副島道正伯はワルシヤワ會議に出席後米國經由廿五日ヴァンクーヴァー出發の郵船平安丸で歸朝の途についたが

出發に先立ち語る

ワルシヤワ會議後英米スポーツ界の有力者と會談したが東京大會に對する熱心さは一段と昂つた觀があるこの際日本が奮闘努力しなければ世界を失望させる結果になり、東京大會には米國から選手五百名觀客五千名ドイツから選手一千二百名觀客一萬數千名が大舉押しかけてくることは間違ひない、従つて直ちにホテルその他の設備に着手せねばなるまい、これから船中でワルシヤワ會議その他の結果に付き約三萬語の報告書を作成し組織委員會に提出する積りだ

堀田駐伊大使着任

ローマ【七三】 新任ローマ駐劄帝國大使堀田正昭氏は廿五日夕刻ローマに着任した、着任に際し大使は次の如く語つた

今回日本を代表して友邦イタリアに來任したことは余の最も欣びとする所である、ローマは余が嘗て大使館書記官として數年在任したことがあり思ひ出の地である、日伊關係は現在極めて良好であるが余は此の友好關係を維持し將來一層その増進を計りたいと思ふ此の點につき余はイタリア政府及び國民の協力を切望して已まぬ

奧村調査官パリへ

ローマ【七三】 堀田大使は廿八日午前十一時卅分キリナーレ宮に伺候テアノ外相侍立の下にイタリア皇帝エマヌエル三世に對し信任狀を捧呈した、堀田大使は前後廿五分に亘り謁見を賜つたがスペイン革命政權の新任ローマ駐劄大使ガルシア・コンデ氏も相前後してキリナーレ宮に伺候同様信任狀を捧呈した

ベルリン【七三】 企畫調査官奧村喜和男氏は廿七日午前八時卅九分の列車でベルリンツォー停車場を出發パリに向つた奧村氏は過去二ヶ月に亘りベルリンをはじめハンガリー、オーストリア、スイス、スカンジナビア諸國を歴訪電氣事業に對する國家統制状態を具さに視察したがパリ、ロンドンに三週間滞在の上米國經由歸國する等

山田耕作歐洲で放送

ブリュッセル【七三】 歐洲音響行脚の途にある山田耕作氏は廿八日午後八時ブリュッセル放送局に於てベルギー王室歌劇場管絃樂團を指揮、自作の交響曲「アマメ」及び「マリア・マゲダレーネ」を演奏した

ダヴァオ邦人慘殺さる

ダヴァオ【七三】 比島カテン高地在住の沖繩縣人久保田龜介(三〇)妻歌子(三〇)及び長男浩(二)の三名は自宅に於て何者かに殺殺されて居るのを卅日午前発見された比島警察はダヴァオ日本人會社神繩縣人と協力直ちに犯人捜査を開始した

皇帝陛下御親電



東京【七三】 宮内府發表し日時局を御診念遊ばせられつゝある滿洲國皇帝陛下には廿八日夜日本天皇陛下に對し奉り左記要旨の御親電を發せられた

北支事變に關し深く陛下の憂慮を煩はす朕當に滿洲國民を統帥し貴國と完全に協力し以て兩國誠心一體の眞義を發揚すべしとの酷意に當り敬んで陛下の聖訓安泰を祝す

飯塚刑事局長引退

東京【七三】 滿洲國司法制度の整備確立のため東京控訴院判事より去る庚徳元年四月滿洲國入りした司法刑部判事局長飯塚敏夫氏は滿洲國の司法制度も確立したので引退する事となり廿三日の國務院會議で司法省復讐が可決された

教育會議議決決定

新京【七四】 滿洲國民政部では東京に於て開催される世界教育會議派遣代表を選り、そのところ廿四日左の如く決定した

司法書士官會同

新京【七三】 司法部では領事裁判權の撤廢と來る九月實施される地方に於ける司

國際寫眞新聞

全ア・ト・菊・倍・二回發行

社信通盟同法人

法機務改組を控へ七月廿六七日の兩日國務院機務室に於て各法院警察長の第一回主任書記官會議を開催した

滿洲里會議再會

新京(七二二) 第三回滿洲里會議は愈々再開の運びとなり廿九日午後三時滿洲國代表は外蒙代表を正式に訪問同六時半外蒙側より答禮訪問あり打合せの結果愈々八月二日より滿洲里に於て開催される事となつた

全國省長會議

新京(七二二) 滿洲國政府は廿一日午前九時より國務院大講堂に於て全國省長會議を開催現下の重大なる時局に對する認識を深 各地に於ける任務の遂行に遺憾なきやう訓示した

産業・經濟

液化燃料會社設立決定

新京(七二二) 滿洲國政府は石油資源に乏しい日滿兩國の現状に鑑みその對策につき種々考究中であつたが今回ガス合成法による液體燃料製造工業を目的とする特殊會社滿洲合成燃料株式會社を設立する事となり廿三日の國務院會議で法案可決した、之が設立の時は國內の豐富低廉な石炭を利用し液體燃料の自給自足を計り國防の強化に資すること甚大なるものある、べく廿九日同法を公布八月五日設立委員會及創立總會を開催する事となつた、同社の概容左の如し

- 一、資本金 五千萬圓
- 一、生産高 年産豫定十萬噸

今夏工場設立に着手

ドック鐵工會社創立

大連(七二二) 大連汽船會社から分離し新たに設立される大連船渠鐵工會社は關係機關の承認を得て愈々七月中に創立總會を開き八月一日より業務を開始する事となつた、同社の資本金は二百萬圓(全額拂込)で本社を大連に置き社長は大連汽船會社社長吉田征氏が兼務する事になつてゐる

滿洲旅館會社創設

奉天(七二二) 滿 では最近頗るに激増する滿洲國警察の便宜とオリンピックに備ふる爲め今同滿洲直營ホテル及び清國の助成下にある全滿十數ヶ所のホテルを一丸とした滿洲旅館會社を創設し一月日より業務開始の運びとなつた、同社は資本金一千萬圓(七百五十萬圓拂込、全株滿鐵持)で本店を新京に置き承德、羅津、吉林にもヤマトホテルを新設専務には鐵道總局囑託平田讓一郎氏が就任する

滿洲總輸出増大

新京(七二二) 國民政府の對日輸出禁止に關し當州消息通の談によれば是は馬糧として多量に使用するためその見地からかゝる報復手段に出でたと解されるが、輸出禁止により苦痛を感ずるのは支那在留商人及び日本内地の需要者だけでなく重要な輸出先を放棄する支那側の蒙の打撃は相當なものと思われる、先般來滿洲産物の規格統一品質改良などが業者間懸案問題となつてゐる折柄、回の支那側の對日輸出禁止は滿洲業者に反つて好利戟を與へることとなり滿洲國の對日輸出に更に拍車をかけるものと豫想される

滿拓公社愈々設立

新京(七二二) 滿洲國政府は廿八日午前十一時より臨時參議院會議を開き滿洲拓殖公

社設立に關する日滿兩國關係約調印につき審議の結果八月二日午前十一時より國務院國務總理室に於て植田全權大使と張總理との間に正式調印を行ふ

金集中策に滿銀協力

新京(七二二) 日銀並に鮮銀、臺銀の所有準備金評價換へに依る差益を以て爲替平衡資金並に産金買上資金に充當せんとする日本政府の爲替對策に對し滿洲國側の見解は左の通りである

芝浦製工場設立

新京(七二二) 滿洲國に於ける電氣増設計畫は鴨綠江水電が近く會社設立の運びに至つてゐる外第二、三花江及び鏡泊湖、牡丹江水系の國營による水力電氣、電業公司其他の火力發電と歩調を揃へて建設の歩を進めてゐるのでに從つて電氣機械製作工業の滿洲國內に於ける勃興が豫想されてゐた所今回芝浦製作所が滿洲國法人の會社を設立し奉天に工場を建設することに決定し滿洲國政府に認可を申請目下着々準備を進めてゐる

滿洲中銀産金買上高

新京(七二二) 本年上半期に於ける滿洲國中央銀行の産金買上高は百六十五萬七千餘瓦、五百九十六萬八千餘圓に達し前年同期に比して約三十萬九千餘瓦、百七十

九萬餘圓の増加である、各月の買上高左の如し(單位瓦)

一月	二四七、四〇五
二月	二二七、二四五
三月	一五一、三八五
四月	二六三、三七〇
五月	三三二、七二三
六月	五四五、四六五
合計	一、六五七、三九三

なほ過剰産金買上價格引上げと政府並びに産金會社の民間業者に對する産金獎勵の結果滿洲の採金業は最近著しく活況を呈し、あり日本よりの採金關係入滿者は急増の情勢にある

雜錄

故寺田大佐の銅像建設

海拉爾(七二二) 去る十六日逝去した興安北省警備軍顧問故寺田大佐の佛々永久に偲ぶべく同大佐を慈父の如く敬慕し大呼僱員爾地方の蒙古人自承露人の間に銅像建設の運動が持ち上つてゐるが此の相談を受けた河地官邊では非常に感奮して早速その準備に着手することとなつた

ケラー女史日本へ

大連(七二二) 來滿中の(レン・ケラー)女史は若橋氏夫妻に伴はれて廿一日午後十時着列車で大連に到着星ヶ浦ヤマトホテルに入つた、廿三日の兩日當地において講演を行つた後一旦新京に赴き再び來連廿六日午前七時瑞穂丸で日本に向つた

對リ關係

蘇聯の不法抗議

新京(七二二) チタ駐劄滿洲國石田領事代

理から外務局に達した公電によればソ聯官憲の我が領事館並に館員に對する不法態度依然改まらず最近は保護と稱して晝夜を間はず館員の行動を監視して居りチタ並びにアラゴエチエンスク駐在領事館周圍に各々十數本の電柱を設置し領事館を燈々と照らしケラーを徘徊せしめて居たが殊に昨今はチタ領事館の周圍に不法にも鐵線網を張り廻らし出入を自由に難ならしめるに至つた、在外公館並に館員に對する斯る言語に、絶する侮辱行為に對し石田領事代理は廿二日在チタ外交代表ルイヂヨフに

此の種い行為は在外公館並に館員の名譽及び國際法に於て認められたる自由行動を侵害するものであるとしてその責任を嚴重追及する旨の抗議を發すると同時に鐵線網を一方的に破壊した

新京(七二二) ソ聯官憲の在ソ滿洲國領事館に對する騷迫行為は赤軍の滿軍工作以來頗る熾烈となり廿五日にはチタのソ聯外交代表はチタ駐在滿洲國石田領事代理に對し滿洲國領事及び館員がチタ市以外の地に旅行する場合は外交代表を通じてモスクワ政府の許可を受けられたしとの通告をなした右は在ソ滿洲國領事館員を徹底的に驅逐せんとする一體左でこれに對し滿洲國側では嚴重抗議を提出しソ聯側の猛省を促す事となつた

滿洲帆船拿捕さる

ハルビン(七二二) ハルビンに達した滿報によれば滿洲國帆船一隻が去る十七日午後黑河の南方下流卡倫山の中ノ島附近に一泊の後翌十八日同島を抜錨し黑河に向け出發せんとした際擱淺したり聯兵のため不法射撃を受けたる上拿捕された

英國・英帝國

英米通商交渉

【ニューヨーク二十日】ニューヨーク・タイムズ紙は廿一日の紙上「イーデン外相の演説」と題する社説を掲げ英米關係につき次の如く論じてゐる。

イーデン英外相の外交政策に關する廿一日の聲明中米國に直接關係あるものとしてはワシントンで進行中の英米通商協定交渉に關するものだが氏はハル國務長官に呼應して國際的政治的緊迫を無くする最上の方法は通商障礙の除去にあり従來英米通商協定を妨げてゐたものはオツタワ特惠制度で最近の英帝國會議でも各自治領はその變更に反對して來たが今や自治領も英本國の對米互惠通商協定交渉を支持するに至つたと聲明した。濠洲及ニュージールランドも其後ワシントンと協議を續けて來た結果今やカナダに就つて各々獨自に米國と通商協定を締結する機運に向つてゐる様だ、最近の英米友好關係強化の空氣は協定成立を一步々々と助けてゐる。

新駐日大使出發線上

【ロンドン二十日】新任駐日英國大使サーロバート・クレギー氏は夫人令息同伴來る八月二日サウザンブロン出帆のカナダ太平洋汽船エムプレス・オブ・ブリテン號でカナダ經由赴任の途に就くこととなつた、クレギー大使は最初八月廿一日出發する筈だったが極東の情勢新發展に鑑み急遽決定を繰上げ赴任に決したといはれる。

議 會

太平洋防備の現状

【ロンドン二十日】英國下院自由黨議員ジョフレイ・マンダー氏は太平洋防備の現状に付き外務省當局の見解を試したが外務次官クラボン卿は廿三日文書を以て同議員の質問に答へ次の如く闡明した。小笠原島、奄美大島、琉球列島は日本の領土であつて委任統治領ではない、之等諸島はアリューシャン群島並に香港と共にワシントン條約第十九條「太平洋防備制限事項」に包含されて居たが同條約は一九三六年末を以て滿期失効同條約も今日存續して居ないから之等諸島に付いては各主權國が適當と認める方法によつて防備を強化出来る、但し日本の委任統治下にある島嶼は依然關稅協約委任統治條項の適用を受け統治され日本は之に陸海軍根據地乃至要港を構築することは出来ない、日米兩國政府が離にワシントン條約第十九條に包含された諸島の防備強化につき如何なる意圖を持つてゐるかは知らぬが英國としては香港に關する限り既に同條項により許容された裝備近代化を遂行してゐるだけで今後の防備強化に關しては未だ決定してゐない。

備砲口徑討論

【ロンドン二十日】英國下院は目下新ロンドン海軍條約批准案を審議中だが廿六日午後日本の新條約不参加及びこれに伴ふ主力艦備砲口徑問題につき議員から盛に質問が出たのに對しスタンホープ文相は政府の意向を代表して左の如く述べた。日本が十四吋の制限に拘束されてゐないため英國海軍としては主力艦の噸數を三萬五千噸に制限するとしても其の備砲口徑を十四吋にすべきか十六吋にする方が賢明なりやは慎重に考慮せねばならぬ、十四吋でも十六吋の敵艦がこちらへ命中する前に的確な照準で一齊射撃を行へば勝算はあるが海軍當局は日本又は他の國が三萬五千噸以上若しくは十四吋以上の備砲を有する主力艦を建造してゐる事實が判明した場合には事態に對し深甚な注意を拂ふであらう、ロンドン條約調印國はエスカレーター隊項に基き之に對抗するだけの軍艦を建造する權利を持つてゐるが英國が其の場合日本よりもつと大きく速力の早い若しくは口徑の大きい備砲を有する軍艦を造るや否やは専門家に委すべき問題である、然しながら日本が條約に調印しなくても其の規定に準據する方が利益なことを諒解し英國や其の他の諸國を困難に陥れぬ機切望する次第である。

イーデン外交委員會で説明

【ロンドン二十日】イーデン外相は廿七日夜下院外交委員會の非公開會議に臨み國際情勢の現状を説明した、その内容は明瞭だが主として北支問題並にスペイン問題を詳述委員との間に質問應答を行つたといはれる。

議會休會

【ロンドン二十日】英國議會は夏期休會の動議に基き廿一日より夏季休會に入つた休會と同時にイーデン外相は三週間の休暇をとり廿一日既に田舎へ歸養に出かけた、イーデン外相の休暇中はハリファツクス樞相が外相の事務を代行することとなつた。

愛 蘭

デ・ヴァレラ再選

【ダブリン二十日】アイルランド國民議會は總選舉の結果に基き廿一日大統領選舉を執行したが投票の結果八十二票對五十二票で現大統領イーモン・デ・ヴァレラ氏が再選された、デ・ヴァレラ氏は今回で第三回目の當選である。

反英派の不祥事件

【ベルファスト二十日】英國皇帝ジョージ六世並にエリザベス皇后陛下は歐戰式後の御遊遊のため廿八日午前ロンドンから北アイルランドのベルファストに御到着遊ばされたが廿七日夜來アイルランドの國境附近で鐵橋爆破事件あり同時に國境線に沿ふ各地で税關の焼打續出更に皇帝御到着後ベルファスト郊外でガスタンクが爆発し人心をいやが上にも刺戟したこれは何れも最近頗る悪化の形勢にあるアイルランド自由國內の反英空氣を反映するもので特に北アイルランド並に自由國內で禁止された非法法黨アイルランド共和軍一派の策動とみられる。

パレスチナ問題

【ロンドン二十日】英國議會は廿一日午後パレスチナ分離統治報告書に付き審議を行つたが野黨方面の反對は頗る猛烈で下院では自由黨を首サーターチボルド・シンクレア氏は次の如く述べた。

分離統治案に反對論

パレスチナ報告書は、一九二九年以來確固たる方針を缺きその結果統治が失敗したことを明示するものだ外國諸政府は分離統治案に恐ろしく反對しよう若し英國政府がパレスチナに對する委任統治を抛棄すれば英國に代つて同地を手に入れんとする國家なきを保し難い。

獨立を與へよ

【ジェルサレム二十日】英國議會がパレスチナ處理報告書の討議を打切り一旦同案を聯盟に附託したためアラビア、ユダヤ兩民族間の激昂は幾分靜まつた感があるがアラビア民族最高會議は廿五日聯盟委任統治委員會並に英國植民省に宛て宣言文を送りパレスチナ分離統治に飽くまで反對する旨決意を披瀝した、宣言内容次の通り。

一 パレスチナを分離し、一部を英國の獸制下に置く案には反對する。

一 將來パレスチナを獨立國とする見透しの下にフランス・シリア間乃至英國エチオピア間に締結された如き條約を英國パレスチナ間に締結することを要求する。

一 少數民族並に外國の特殊利益に對し適切な保護を加へられたい。

一 常設委任統治委員會開く。

【ジュネーヴ二十日】常設委任統治委員會は三十日後聯盟報告館に於て開會、英國政府の提出に係るパレスチナ問題報告書の審議を開始した、席上英國代表サーオームスビー・ゴリア植民相は同問題に關し次の如く述べた。

ユダヤ、アラビア兩民族の要望が根本

的に對立、妥協の望みがない以上パレ
 スチナの情勢を現在のまゝに放任する
 ことは出来ない、委員會は直ちに英國政
 府のバレンスチナ分離統治案の審議を開
 始された
 引續き委員會はこの問題を討議した結果
 英國政府に對し更に補足的な情報を出
 する様を請するに決した

對支借款

鐵道借款成立

ロンドン【三】國民政府財政部長孔祥
 熙氏は米國訪問を終へて再度ロンドンに
 歸來英國政府及財界方面と對支借款につ
 き折衝中の所の此の程遂に交渉成立三十
 日中英公司(フリテイシユ・アンド・チヤ
 イニス・コーポレーション)との間に廣
 梅鐵道公債三百萬磅及浦口蘆陽間鐵道四
 百萬磅、合計七百萬磅の新借款契約を締
 結調印了した各、借款内容次の通り

一 廣梅鐵道

金額 三百萬磅
 利率 五分

用途 廣九鐵道を石灘より廣東省梅縣
 迄延長建設す

借款の一部は建設材料の購入に
 充つ

擔保 鐵道收入並に鹽稅收入

一 浦口蘆陽鐵道
 金額 四百萬磅

利率其他の條件前者に同じ

用途 津浦鐵道南浦浦口より湖北
 省襄陽に至る鐵道を建設す
 廣梅鐵道借款は名義上ジャヤ・デイン・マ
 チソン社と怡和洋行代表が國民政府代表
 孔祥熙氏と引受契約に調印したことに
 つて居り近々ジャヤ・デイン・マチソン社
 から市場に賣出される然し現實には右鐵

道建設材料を英國より買入れるための代
 金二百七十萬磅支拂に充てる目的で事
 實上鐵道材料の賣込み代金貸付と同じこ
 となる、且つ同鐵道は廣九鐵道の補助
 線たる事實に鑑み日本始め他の對支借款
 團諸國でも英國の特種地位を認め令番照
 會があつたのに對し英國の單獨引受に承
 諾を與へたものである、一方浦口蘆陽鐵
 道は揚子江に平行する支那中部の幹線と
 して經濟的に重要意義を存するものと思
 はれるが京滬鐵道、滬杭甬鐵道以來中英
 公司の中部鐵道投資計畫はこゝに漸く實
 現するに至つた

對支借款は不人氣

ロンドン【三】國民政府財政部長孔祥
 熙氏は卅日中英公司との間に七百萬磅の
 新鐵道借款を締結調印了したが鐵道自
 體の建設については既に一九二三年建設
 契約が成立してをり別に事新しい、こと
 ではない、但し借款交渉は最近進歩したも
 ので殊に數日前英國政府當局は日本其他
 對支借款團諸國に對し右鐵道借款への共
 同參加構想案方を公式に要請したと傳へ
 られるが各國政府共未だ回答の運びに至
 らぬ構想である従つてその回答を俟たず
 借款の調印を見るに至つたのはその手續
 上多大の疑問がある結局未だ最終締結の
 段階に至つてゐないか乃至條件付調印と
 いふのが眞相ではないかと思はれる多分に
 孔祥熙氏の宣傳が働いてゐるのではない
 かと疑はれる日本政府も右英國政府の照
 會に對し近く回答すると思はれるが北支
 の事態並に該鐵道の地域關係等に鑑み反
 對の意向と見られれば本件は相當紛糾を免れ
 まいと見る向も多し、ロンドン金融市場
 でも支那の現状に鑑み假令公募するも應
 募は少く結局中英公司が事實上全額を背
 負ひ込む覺悟で始めたものと觀測されて
 ゐる

フランス

佛銀總裁更迭

パリ【三】フランス銀行總裁エミール・
 ラベイリー氏は卅日辭職し後任には現副
 總裁首席ビエール・フルニエ氏が任命
 された、尙ラベイリー氏は同行名譽總裁
 に推された

ジュネー評議員は居生る

パリ【三】佛銀總裁更迭に續いて同行
 評議員の勞働總同盟書記長ジュネー氏も
 辭職の已むなきに至らうと頻りに傳へら
 れるが當のジュネー氏は廿一日正式に辭
 職を否定した

豫算削減を決定

パリ【三】フランス政府は廿日午前閣
 議を開、佛銀總裁更迭を決定した
 後ボンネ蔵相の提案に基き公債市價安定
 制度並に豫算削減方針を採擇した、削減
 内容は未だ決定しないが大體本年度殘期
 支出から六十億フラン、來年度臨時支出
 から二百五十億フランの緊縮を行ふこと
 にならう、但し緊縮政策の結果社會事業
 の模範乃至取止には社會黨共産黨から猛
 烈反對あり削減額の割當には多大の困難
 が豫想される

佛銀準備金再評價

パリ【三】フランス政府は財政全權法
 に基き赤字克服案、豫算削減案等健全財
 政確立に向つて着々具體策を實施して居
 るが廿一日更にフランス銀行と新協定
 を締結、金準備の再評價及び公債市價安
 定基金制度の創設等重要取極を行つた、
 新協定内容次の通り

△フランス銀行金準備の再評價、フラン
 ス銀行の金準備は一九三六年十月一日
 通貨法の規定したフラン貨切下最高限
 度(一フランの金純分四十九ミリグラ
 ム)で昨年十月八日に暫定的に再評價
 を行つたが今度フランス銀行切下最低限
 度(一フランの金純分四十三ミリグラム)
 で再評價する、右對英パリティは一
 磅に付き百十二フランに相當す
 △公債市價安定基金制度の創設、公債市
 價を維持し其の變動を統制するため基
 金制度を創設する、基金はとり敢へず
 六十億フランとす

大會を開催人民戦線の方針を討議したが
 廿六日支那共和国支援の決議文を採擇し
 た
 アンヘルクロード師に授賞
 パリ【三】マリア會日本管區長として
 多年日本に於けるカトリック學校教育に
 盡された前東京帝大講師アンリ・アンベ
 ルクロード師は卅日フランス政府よりレ
 ジョンドヌール勳章を授與された

ドイツ

非兵役者に課税

ベルリン【三】ドイツ政府は國民負擔
 の均衡を圖る見地から新に九月一日から
 兵役に服さぬ國民に對し課税するに決定
 廿三日大蔵令を以てその旨發表した、
 新税の骨子次の通り
 一 一九二四年一月一日以後の出生者は
 一九三七年九月一日以降二年間所得税
 の五割、最低限度俸給の四分に相當す
 る金額を納付し一九四五年末迄所得税
 の六分、俸給の千分の五に相當する金
 額を毎年納付すべきものとす
 一 但し俸給五十二マルクに達せざる者
 には新税納付の義務なし
 以上新税に基く収入は兵役服務者の離職
 に對する補償資金として使用される管で
 ある

外人部隊派遣説に抗議

ベルリン【三】フランス大使ボンセ氏
 は廿三日午後ドイツ外務省にフォン・
 イラート外相を訪問フランス政府が人民
 戦線軍援助のため外人部隊をスペインに
 派遣したとのドイツ新聞報道は全く事實
 無根である旨抗議した

共産・社會兩黨合併運動

モントルイユ【三】フランス共産黨書
 記長トリス氏は廿四日モントルイユで
 開かれた同黨中央委員會總會席上人民戦
 線統一委員會全國大會を開催し即時共産
 黨と社會黨を合併、單一な労働者黨を結
 成すべき旨強調した

ゲーリング鐵道會社令

ベルリン【三】ドイツ經濟四年計畫
 長官ゲーリング將軍は廿五日布告を以て
 「ヘルマン・ゲーリング鐵道會社」の設置
 並に同附屬法を發表した、内容次の通り
 一 ドイツ政府は「ヘルマン・ゲーリング
 採鐵會社」を設置し國內鐵道會

△フランス銀行金準備の再評價、フラン
 ス銀行の金準備は一九三六年十月一日
 通貨法の規定したフラン貨切下最高限
 度(一フランの金純分四十九ミリグラ
 ム)で昨年十月八日に暫定的に再評價
 を行つたが今度フランス銀行切下最低限
 度(一フランの金純分四十三ミリグラム)
 で再評價する、右對英パリティは一
 磅に付き百十二フランに相當す
 △公債市價安定基金制度の創設、公債市
 價を維持し其の變動を統制するため基
 金制度を創設する、基金はとり敢へず
 六十億フランとす

社會同盟大會

パリ【三】社會同盟は廿四日來ポール・
 ボンジュール氏司會の下にパリに於て全國

社は擧げて右新設會社に参加せしむ
 一 同社は差當りバーデン並にフランク
 ニアの鐵山開發に當る
 今回の措置は實質上下ドイツ國內の鐵礦資
 源の國有と製鐵事業の國家的統制とに他
 ならず四ヶ年計畫に基く鐵鋼の自給自足
 達成を企圖したものと解される

◇ ◇ ◇
ヤスベルス追放される
 ベルリン【七・三〇】ハイデツガーと並んで
 現在ドイツ哲學の二大柱と言はれるカ
 ール・ヤスベルス博士は美術史家アウグ
 スト・グリーゼバツ博士と共に七月五
 日學校行政の都合によりハイデルベル
 グ大學教授の職を退けられた、兩教授とも
 ユダヤ人婦人と結婚してゐるためナチス
 政府の反ユダヤ清掃工作の犠牲になつた
 と見られる

イタリア

ステファニ倫敦支局再開
 ローマ【七・三〇】イタリア國營ステファニ
 通信社は來る八月二日よりロンドン支局
 を再開する旨廿一日發表した、右は英國
 新聞の反伊論調に憤慨し五月八日ロンドン
 駐在のイタリヤ新聞通信社特派員を全
 部本國に引揚げて以來のこと最近英伊
 關係改善の結果先づ通信社の特派員から
 復歸することになつたものとみられる

三萬五千噸主力艦進水
 トリエステ【七・三〇】イタリヤ海軍の新鋭
 三萬五千噸主力艦ワイットリオ・ヴェネ
 ト號は廿五日午前トリエツトの造船所に
 於て皇帝エマヌエル三世並にヘレナ皇
 后親臨の下に進水式を擧行した、新主力
 艦は一九三四年十月廿八日起工、略三年

の日子を費して竣工したもので主要性能
 左の通り
 一 排水量 三萬五千噸
 一 全長 二百卅米
 一 備砲 十五吋砲九門、六吋
 砲十二門、三吋半高
 射砲十二門
 一 艦載機 四臺
 一 速力 三十節
 一 機關 齒車タービン四基

日伊通商交渉

日伊通商協定成立
 ローマ【七・三〇】杉村大使は過般來イタリ
 ア政府當局との間にイタリヤ植民地に關
 する日伊通商協定交渉を進めて居たが廿
 三日大使のバリ赴任を前に交渉は成立し
 たと傳へられる

日伊通商協定近く調印
 ローマ【七・三〇】新任駐伊帝國大使堀田正
 昭氏は廿五日夕刻ローマに着任したが大
 使は近くイタリヤ政府との間に前任者杉
 村大使の遺土産たる日伊新通商協定の調
 印を行ふ筈である、右協定はイタリヤの
 エチオピア併合により日本とイタリヤと
 の通商關係をエチオピアを含むイタリヤ
 植民地に擴張適用せんとするもので本協
 定の調印により日伊通商關係は新たな基
 礎の上に再建されることとなり、同協
 定につき堀田大使は廿六日次の如く語つ
 た

既に御承知の通り日伊通商協定交渉は
 余の前任者杉村大使によつて開始され
 たが余はその調印が一日も早くからんこ
 とを切望する、これによつて日伊通商
 關係は強固なる基礎の上に置かれ相互
 に利益を齎すであらう

エチオピア皇帝宛の信任狀
 ローマ【七・三〇】新任ローマ駐劄帝國大使
 堀田正昭氏並にスペイン革命政權大使カ
 ルシア・コンデ氏は廿八日共にイタリヤ
 皇帝エマヌエル三世に對し信任狀を捧呈
 したが兩大使の信任狀は何れも「イタリ
 ア國王並にエチオピア皇帝エマヌエル三
 世」宛となつており事實上エチオピア帝
 國を承認したものと注目されてゐる

スペイン

伊義勇軍指揮官更迭
 ヴァレンシア【七・三〇】ヴァレンシア政廳
 側の情報によればムツソリーニ首相はこ
 の程スペイン派遣イタリヤ義勇軍總指揮
 官マンチニ將軍を罷免し後任として前エ
 チオピア駐屯軍司令バスタチコ將軍を任命
 したといはれる、バスタチコ將軍は北部戰
 線のイタリヤ軍四ヶ師改編の使命を帯び
 てゐると傳へられる

ロブレス・フランコ會見
 サン・ジャン・ドリユズ【七・三〇】スペイン
 右翼派の巨頭カトリック農民黨首ヒル・
 ロブレス氏は内亂勃發以來ポルトガルに
 亡命してゐたが廿二日檢かにサラマンカ
 に乗込みフランコ將軍と重要會談を遂げ
 たと言はれる、席上フランコ將軍はヒル・
 ロブレス氏に對しポルトガル大統領オリ
 ヴェイラ・サラザール氏と協力英國政府
 を動かして居中調停の勞を執らせる様特
 に要請したと言はれる

バルセロナ砲撃さる
 バルセロナ【七・三〇】カタロニア自治政權
 首都バルセロナは二十一日深夜革命軍所
 屬巡洋艦「カナリアス」號と覺しき軍艦
 のため砲撃を受け死傷多數を出した

ブルネテの激戦
 マドリッド【七・三〇】スペイン革命軍は十
 七日來首都マドリッドの咽喉を扼する要
 衝ブルネテに向け攻撃を集中、人民戦線
 部隊との間に猛烈な戦闘を繰返してゐた
 が政府軍は廿四日夜半途にブルネテを放
 棄しウイラヌエヴァ・デ・ラ・カナダ方面
 に潰走した、サラマンカ革命軍司令部の
 發表によればブルネテの戦闘に於ける政
 府軍死者無慮三萬に上つたと言はれる

不干渉委員會

英外相伊佛佛大使と協議
 ロンドン【七・三〇】イーデン外相は廿一日
 午後外務省にイタリヤ大使グランヂ伯續
 いてフランス大使コルバン氏を招致、暗
 確に乘上けた不干渉體制維持問題につき
 長時間に亘り會談した、但し具體的には
 何等進捗せず、廿三日開會豫定の不干渉
 分科委員會も依然離隔から脱出し得ない
 と解される

不干渉分科委員會
 ロンドン【七・三〇】不干渉分科委員會は卅
 三日午前十一時英外務省に於て開會不
 干渉參加各國大使館書記官並に海軍武
 官出席の下に技術的見地からスペイン海
 港監視案に付き協議した

英の質問書移牒案
 ロンドン【七・三〇】不干渉委員會は不干渉
 體制再確立案を鑄つて波瀾電邊廿三日の
 分科委員會も暗確に乘り上げた、散會
 したが更に來る廿六日討論を再會英國政
 府の見解を聽取することとなつた、英國
 政府は次回開會席上去る十四日提示した

妥協條項を質問書として關係各國政府へ
 移牒一週内に其の諾否を求めるとする提
 案する意圖と確聞する、質問書内容の
 通り
 一 スペイン海港に入港する船舶には國
 際監視員を同乗せしめる
 一 海上監視隊は撤廢する
 一 海上監視隊撤廢の曉スペイン海港に
 國際監視員を派駐するや否や
 一 陸上監視の全的回復
 一 スペイン兩交戰當事者に對し交戰團
 體權を賦與する、但しその範圍は海上
 に限定し其他特定の留保並に條件に服
 する

一 國際委員會監視の下に外國義勇軍を撤
 收する
 一 英國政府は至急スペイン兩政權に接
 近海港に於ける國際監視員設置問題、
 外國義勇軍撤收問題並に交戰團體權賦
 與に伴ふ條件等につき折衝する
 一 イーデン外相は廿三日午後六時前にフラ
 ンス大使コルバン氏と會談を遂げたが以
 上英國政府の方針を披瀝、協議したもの
 と見られる

イーデン獨大使會談
 ロンドン【七・三〇】イーデン外相は廿四日
 午前外務省にドイツ大使リツベントロツ
 プ氏を招致不干渉委員會の離隔切抜け方
 につき協議した

コルバン大使歸國
 パリ【七・三〇】駐英フランス大使コルバン
 氏は廿四日午前飛行機でロンドンからパ
 リに到着、直ちに外務省にデルボス外相
 を訪問し不干渉委員會の審議經過を報告
 種々協議した
質問書移牒案葬らる
 ロンドン【七・三〇】不干渉分科委員會は廿

六日午後英國外務省に於てプリマス議長
司會の下に開會時頭プリマス卿は起つて
去る十四日揭示した妥協條項を質問書の
形式で關係各國政府に移譲し一週以内
に其の諾否を求めざるやう提案した、これ
に對しイタリア代表グランヂ大使は質問
書移讓案の趣旨を攻撃し如く述べた

イタリア政府は英國政府が去る十四日
提出した不干渉妥協案を討議の基礎と
して受諾する旨既に通過してゐる、從
つて今回の質問書移讓案は右妥協案の
趣旨と相反すると思惟し反對せざるを
得ない、但し交戦團體承認問題が義
勇兵撤收問題より先決される場合に限
り質問書移讓案を承認しよう

右グランヂ大使の言明に對しドイツ代表
リツベントロフ大使並にポルトガル代
表モンテイロ大使は直にこれを支持する
旨を表明したがソヴェト代表マイスキ
大使はグランヂ大使の所説を反駁

イタリヤ政府が義勇兵の撤收を約束し
ても我々は斯る言明に信を置くことは
出来ない、ソヴェト政府はフランコ政
權を承認することには斷乎反對する
と強硬決意を示し衝擊を與へた、斯くて
前後四時間に亘り各國代表間に激論が闘
はされたが英國代表プリマス卿の提案に
より委員會は結局質問書移讓案を撤回す
ることとなり代案として来る廿九日正午
迄に英國政府妥協案の全般に亘り各國政
府の見解を通過する機要請するに止める
に決定散會した

出れない、ソヴェト政府はフランコ政
權を承認することには斷乎反對する
と強硬決意を示し衝擊を與へた、斯くて
前後四時間に亘り各國代表間に激論が闘
はされたが英國代表プリマス卿の提案に
より委員會は結局質問書移讓案を撤回す
ることとなり代案として来る廿九日正午
迄に英國政府妥協案の全般に亘り各國政
府の見解を通過する機要請するに止める
に決定散會した

六日午後英國外務省に於てプリマス議長
司會の下に開會時頭プリマス卿は起つて
去る十四日揭示した妥協條項を質問書の
形式で關係各國政府に移譲し一週以内
に其の諾否を求めざるやう提案した、これ
に對しイタリア代表グランヂ大使は質問
書移讓案の趣旨を攻撃し如く述べた

六日午後英國外務省に於てプリマス議長
司會の下に開會時頭プリマス卿は起つて
去る十四日揭示した妥協條項を質問書の
形式で關係各國政府に移譲し一週以内
に其の諾否を求めざるやう提案した、これ
に對しイタリア代表グランヂ大使は質問
書移讓案の趣旨を攻撃し如く述べた

各國の回答中、ソヴェト大使マイスキ
氏は廿八日午後英國外務省にイデー
ン外相を訪問、不干渉問題につき意見を交
換した

案に對するソヴェト政府の回答は廿九日
英國外務省に通過された、これにより主要
國政府の回答は出揃つたがその主張區々
で殆ど同一する所を知らない、各國回答
の要旨次の通り

△ソヴェト政府
スペイン兩政權に交戦團體承認を承認す
ることは絶対反對する、唯各國義勇
軍が全部撤退された暁には承認問題を
考慮しよう

△ドイツ政府
交戦團體承認と義勇軍撤收は同時に
行ふべし、英國政府にスペイン兩政權
と商議することを委囑する件には反對
する

△イタリヤ政府
交戦團體承認は英國政府がスベ
イ兩政權と商議後即時行ふべし
△フランス政府
交戦團體承認は外國義勇軍撤收後
に於てのみ行ふ

ソヴェト大使マイスキ氏は廿九日午後
チェンバレン首相を訪問、ソヴェト政府
の回答を基礎に協議した

ソヴェト大使マイスキ氏は廿九日午後
チェンバレン首相を訪問、ソヴェト政府
の回答を基礎に協議した

ソヴェト大使マイスキ氏は廿九日午後
チェンバレン首相を訪問、ソヴェト政府
の回答を基礎に協議した

ソヴェト大使マイスキ氏は廿九日午後
チェンバレン首相を訪問、ソヴェト政府
の回答を基礎に協議した

一 ソヴェト代表は依然義勇軍が全部撤
退されぬ限りフランコ政權に交戦團體
承認を認めない旨固守し

一 一方獨伊兩國代表も義勇軍撤退問題
如何に拘らず交戦團體承認が先決問
題であることを再び強硬に主張した

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る

一 一々兩國の意見全く對立した不干渉委員
會は再び行詰り状態となつた、プリマス議
長は恐らく次回迄にソヴェト及び獨伊兩
國代表等の間を斡旋し意見對立緩和に盡
力するものと見られる、變遷論者はいづ
れの國も不干渉體制崩壊の全責任を負は
されることを欲しないであらうから結局
何等かの妥協に達するであらうとしてゐ
るが他方悲觀論者は英國案が各國政府に
より支持される望みは最早殆んどないと
見て居る



ソ聯邦

檢事總長にレーニン章

モスクワ【三】 聯邦檢事總長ウイシ
ンスキー氏は「革命の法規強化に盡した功
」により廿一日ソヴェト政府からレーニン
章を授與された

ソヴェト上半期の貿易

モスクワ【三】 聯邦外貿易人民委員
部廿二日發表によれば一九三七年上半
期の輸出入總額は十三億八百四十萬ルー
ブル前年同期の十二億二千七百七十萬
ルーブルに比較して八千七百七十萬ルー
ブル増加を示してゐる、その中輸出總額は
六億三千四百六十萬ルーブル、輸入總額は
六億七千三百八十萬ルーブル、差引三千
九百二十萬ルーブルの入超となつてゐる

ユレネフ大使信任状授呈

ベルリン【三】 新任ベルリン駐劄ソ
ヴェト大使ユレネフ氏に信任状を授呈し
た

エト大使コンスタンチン・ユレネフ氏は
廿一日ヒットラー總統に對し信任狀並に
前大使の解任狀を呈呈した

政府人事異動
モスクワ【三】 聯邦中央執行委員會幹
部會は廿二日左の人事異動を發表した

食糧工業人民委員
アナスタス・ミコヤン
任聯邦人民委員會議議長
ロナヤ共和國々營農場人民委員
テイホン・ユールキン
任聯邦國營農場人民委員
一カロナヤ社會主義聯邦ソヴェト共和國
(ロナヤ共和國)中央執行委員會幹部會は
同日モスクワ・ソヴェト議長ニコライ・ア
ルガーニン氏をロナヤ共和國人民委員會
議長に任命した

駐日大使正式任命
モスクワ【三】 ソヴェト政府は廿七日
前哈爾濱總領事マイル・スラウツキ
氏をユレネフ氏の後任として駐日大使に
任命した、氏は一八九八年ウクライナの
クレメンチュクで生れ今年四十歳の壯
年である、工藝學校に學び一九一九年外
交界に入ったが其の後の経歴は次の通り
一九二〇—二二年
アラガニスタン、(ラト駐在副領事及
び總領事代理
一九二二—二三年
外務人民委員部近東局長
一九二二—二四年
ベルシヤ、タブリツツ駐在總領事
一九二四—二七年
ベルシヤ大使館一等書記官及び代理大
使
一九二八—二九年
外務人民委員部中東亞局長
一九三〇—三二年

ウズベク共和國タシケント駐在外務
人民委員部代表
一九三二年以來
哈爾濱總領事

南船組代理機關交渉顧問
【三】 浦羅駐在副領事廣岡忠氏は廿三
日朝敦賀入港のサイベリア丸で賜暇歸朝
したが最近のソヴェト事情について左の
如く語つた

北支事變は今のところソ聯に影響して
ゐない、浦羅の新聞は連日支那側の報
道を大々的に扱つてゐるが官邊は沈黙
を續けてゐる、浦羅商船組は北支に代
る北日本朝鮮郵船汽船會社の代理機關
設置交渉は順調に進み近日中に双方に
調印するところ迄進みつつある模様だ、
浦羅も今年は近年にない暑さだがこの
酷暑を耐へて連日大規模な防空演習が
行はれてゐる

ラチオ委員會に手入れ
モスクワ【三】 ソヴェト共産黨中央委
員會は廿一日ウクライナ・ラチオ委員會
議長クリク氏の黨籍を褫奪すると共に
議長職を罷免した、同時にラチオ委員
會幹部数名が罷免されたが右はウクライ
ナ・ラチオ放送局が従來屢々反革命的プ
ログラムを放送し、就中昨夏ソヴィエ
フ、カメネフ等合同本部被告の死刑執行
の際送函を演説したことが當局の忌諱
に觸れたためといはれる

ハリニアク逮捕説
パリ【三】 フチ・パリジャン紙モスク
ワ特派員の報道によれば小説家ハリニア
ク氏も文壇矯正工作の犠牲として最近速

肅正工作

ラチオ委員會に手入れ
モスクワ【三】 ソヴェト共産黨中央委
員會は廿一日ウクライナ・ラチオ委員會
議長クリク氏の黨籍を褫奪すると共に
議長職を罷免した、同時にラチオ委員
會幹部数名が罷免されたが右はウクライ
ナ・ラチオ放送局が従來屢々反革命的プ
ログラムを放送し、就中昨夏ソヴィエ
フ、カメネフ等合同本部被告の死刑執行
の際送函を演説したことが當局の忌諱
に觸れたためといはれる

捕されたといはれる同氏は反革命陰謀に連座して目下トルキスタン地方に服役中の評議家カール・ラデツク氏に救援金を送りその他「ソヴェトの敵」数名に對しても同様救援活動を行つてゐたといはれる

スーリーモフ議長失脚

モスクワ【七三】 ロシア共和国中央執行委員會幹部會は廿三日モスクワ・ソヴェト議長ブルガニン氏をロシア共和国人民委員會議長に任命しスーリーモフ議長の辭職は愈々確認された、特にスーリーモフの名を持つてゐたコーカサスの町の名が廿日イェジヨフと改名された點から見て同氏が反革命事件に關聯して失脚したことは最早間違ひないとみられる

共産青年同盟に波及

モスクワ【七三】 廿三日附共産青年同盟機關コムソルモスカヤ・ブラウダ氏の報道によれば共産中央委員會書記三名以下幹部八名は青年教育を墮落腐敗させた廉により罷免された、更に共産モスクワ市委員會書記も許すべからざる政治的不注意により反ソヴェト的「フアシストの手先」に職を與へた廉で現職を逐はれた

有力者續々逮捕

ベルリン【七三】 肅正工作は引續き全ソヴェト聯邦内の各方面に亘つて行はれてゐるが獨逸D・N・B通信社モスクワ來電によれば聯邦統制委員會議長ニコライ・アンチポフ氏、對外交文化協會々長ロモフ氏、前ベルリン駐劄大使現ロシア共和國々内商業人民委員レフ・ヒンチユク氏等の有力者が逮捕投獄されモスクワ「文化と休息」の公園長グラン女史モスクワ中央子供劇場經營者ナタリア・ザツツ女史も先頃檢査された前通信人民委員ヤーゴダ氏と知人關係にあつたためスパイの

嫌疑で逮捕されたといはれる、更にウクライナ共和国に於ても同國共産黨書記チヤタジユウイツ氏、財務人民委員レキス氏及び中央執行委員シユレ（ス氏等が逮捕され他方キエフ軍管區當局では前政治部長アメリン氏を銃殺し戦車隊長ボリセンコ將軍を逮捕したが一方コミンテルン書記局の重要メンバーたるモスクワイン氏逮捕説も傳はつてゐる

カシリン將軍罷免さる

モスクワ【七三】 ロストフ市のモロトフ報道に依ればトハチエフスキー裁判の際八判士の一人だつた北コーカサス軍管區司令ニコライ・カシリン將軍は現職を罷免されトハチエフスキー元帥と共に斷罪されたヤキール將軍麾下のキエフ軍管區司令イェモシエンコ將軍が其の後任に任命されることとなつたと、同紙は更にソヴェト國營タス通信社アゾフ海、黒海支局長ブリルツキ氏にトロツキストの烙印を押し同紙が逮捕の風説ある同社々長ドレツキ氏その他反革命事件被告の指令を忠實に實行し且つ反革命の裁判記事を掲載せずスタハノフ運動に關し事實を歪曲し報道したと攻撃してゐる

佛紙批評

ソヴェトの意圖

パリ【七三】 マタン紙は廿二日の紙上に「ソヴェト聯邦の意圖する世界的紛亂はアジアに始まらう」と題したルシヤンドル氏の論説を掲げて曰く、黒龍江事件は解決された様だが此の方面の形勢は依然不安を孕んでゐる、日ソは一觸即發の態勢にあり親獨主義とマルキシズムとは相容れぬ、黒龍江事件は國內不統一に燃みスペインから歐洲に大混亂を惹起する希望を失つたソ

ヴェト聯邦が活動を極東に向けた證據だ、英佛はソヴェト聯邦の意圖する世界的紛亂がアジアから起り得ることを知らねばならぬ、ソヴェト聯邦は人民職權政策に依り支那を自家獨逸のものとしてゐる、フランス當路者にしてフランス人が斷じて冒險を排斥するものなることをソヴェト聯邦に知らしめたならばソヴェト聯邦の好戰氣分と帝國主義は鎮靜しやう、北支の日支衝突も又世界に紛亂の種を蒔かんとするモスクワの目標の一表示である

ソ聯の秘密

パリ【七三】 廿六日附タン紙社説は「ソヴェト聯邦の秘密」と題し最近のソヴェト聯邦内部に於ける動搖につき左の如き批評を下してゐる

トハチエフスキー元帥等赤軍首腦部の處刑以來肅正運動はソヴェト聯邦の中央政府及び社會各分野に亘り急激に遂行され多大の犠牲者を生んでゐるがその慘狀は西歐人をして顔を覆はしめるものがある、吾人の判斷し得る所ではソヴェト政府は全面的にボルシェヴィズムを清算しスターリン主義とも名づくべき新制度に轉換しつゝある様だ、スターリン書記長は純マルクス主義思想並に世界革命の信條が全く空虚にして然もソヴェト聯邦に多大の危険を招来すべき所以を認識し資本主義と共産主義との何れからも等しく離れてゐる一種の開明專制主義を樹立せんとしてゐるのだ、然し上述の思想と信條とは正しくロシア革命を成就した舊ボルシェヴィキの奉ずる所であり理窟を説いて彼等を改宗させることは出来ることではない、従つてスターリン書記長は處刑、追放、罷免の擧に出でざるを得ないのだ、然しスターリン書記長

獨裁者スターリン

パリ【七三】 エコト・パリ紙外報部長ベルチナツク氏は廿七日の紙上で「反抗者と職獨裁者スターリン」と題し外交上から見たソヴェト聯邦の清黨工作の意義及び影響を次のやうに論じてゐる
一九三六年八月のゾノイエフ等の處刑に始まつた聯の清黨工作は今尚依然として續けられてゐるが最も重要な

はその權力確立の爲め右處殺方法の外に更に他の方法を執らうとしてゐる、新憲法と新選挙法とがそれだ、抑々ロシア革命は軍隊を別とすれば主として労働者に據り且つ労働者の爲めに行はれた「勞農」なる名稱があつても農民は労働者の選舉では農民は都市労働者又は知識階級出身者を選挙する様強制されてゐたが今秋實施さるべき新憲法及び新選挙法は普選、秘密投票制を採用し農民にその政治上の重要性に該當する政治的勢力を與へることとなつた、スターリン書記長の眞意は労働者及び知識階級に對抗し農民の勢力を利用しやうといふにある、ソヴェト聯邦の内政は他國民の敢て介入すべきところではないが右の諸處置が世界均衡のフアクターとしてのソヴェト聯邦の權威を強固ならしめるものでない事實だけは認めざるを得ない、ポーランド國境守備の重任に當る將軍達を「網打盡」に檢束した結果西方に對する赤軍の攻撃的、防禦的價値が大いに失墜した事も否定出来ぬ、ソヴェト聯邦の事情を西方の觀念で律する事は誤りであるが今回の事件に依りソヴェト聯邦は階級制度を維持しつゝ強力な開明專制主義國となりフアンシズム乃至國家社會主義的政體を探る事になるのではなからうか

のはトハチエフスキー元帥をはじめ將軍の死刑であつた、それは外交上何を意味するか、革命以來世界革命論と一國社會主義論との理論闘争は直接ソ聯の外交方針に影響して來たが一九三三年ヒットラー・ドイツの出現した後これに對抗するためスターリンが西歐諸國との協力政策に轉ずるや暫く鳴を靜めてゐた世界革命論は忽ちにして顔を擡げて來た、即ちドイツと手を握りこれを使喚して冒險を敢てしようとするのである、トハチエフスキー元帥はその最後の目標が他の世界革命論者と同様か否かは明かでないがこの種獨逸提攜の主張に於て異なる所なかつたかくて彼は軍隊内に於ける政治部を廢止せしめ又その程度こそ不明だが兎に角ドイツ國防軍と極秘裡に接觸した、何れにせよこんなスターリン政策反對がその清黨工作の原因であるが清黨に當り右の政策的見地の他個人的感情が混じてゐたことも疑ひない、従つて清黨の結果はスターリンの獨裁的色彩を益々濃厚にしたが一方その國際的影響としてはコミンテルンが從來のやうにソヴェト聯邦に於ける社會主義の成功を宣傳し得なくなつたことは明かである但しソヴェト聯邦の今後の政策に關しては各國の豫想は一様ではない、蓋しスターリンの獨裁的色彩強化が直ちにその外交政策安定を意味するものではないからだ、英佛としてはそれが獨逸提携に變り好戰獨逸にソヴェト聯邦の資源を利用されるやうなことがなきやう成行を監視する外はない、ポーランド外相ベツク氏はこの機會を利用してルーマニアを誘ひソヴェト聯邦に對抗する外交共同戰線を布くに至つたがこれは其の動機如何を問はず獨逸接近を招来する惧れがある

歐洲諸國

チエツコ新内閣成る

ブラハ(七三) ミラン・ホツザ氏を首班とするチエツコスロヴァキア内閣は十六日總辭職したがベネシエ大統領はホツザ氏に對し再び組閣を委囑ホツザ首相は廿一日前内閣と同様の顔顔れで組閣に成功した、但し社會黨出身のカルフス閣相は小發買上案に反對内閣不統一を惹起した責を負ひ辭職シフランケ文相が當分職相を兼攝することとなつた

ベルギー國王バリ訪問

バリ(七三) ベルギー國王レオボルド三世は從兄弟のフランドル伯を帶同廿四日正午ブリュッセルからパリに到着シフランド大統領の午宴會に臨んだ後萬國博覧會館を參觀された

カロール二世ブリュッセルへ

ブリュッセル(七三) ルーマニア國王カロール二世は廿六日午後ロンドンからブリュッセルに到着した、カロール二世はロンドン帶在中英國政府首腦に對しボエラドを誘ひ反ボルシエイズム防壁を結成する計畫を述べ英國の賛成を求めたが英國側は餘り熱意を示さなかつたといはれる

アフリカ

モントルー條約批准さる

カイロ(七三) エヂプト上院は廿一日エヂプト特權制度廢止に關するモントルー條約批准案を可決した

モロッコの特權制度廢止

ロンドン(七三) 英佛兩國政府は過般來モロッコに於ける治外法權制度廢止及び外國人の身分に關する條約制度の確立につき協議中だつたが兩國間に意見一致し英佛兩國代表は近く英國外務省に於て右に關する協定に調印することとなつた

米國

國務省一部改造

ワシントン(七三) ハル國務長官は廳に國務省内部局の一部改編を行ひ「米洲局」「歐洲局」「亞細局」の三局を設けたが更に廿一日從來の「儀典・國際會議局」を分離して「儀典局」「國際會議局」を分離して「初代儀典局長」を「米洲局」に新設シ「サマリン氏、同國際會議局長」には舊儀典・國際會議局長リチャード・サウスゲート氏を夫々任命する筈

司法改革案

民主黨院内務選舉

ワシントン(七三) 上院民主黨院内務選舉は廿一日午後執行されたがケンタツキー州選出アルベン・パークレー氏が卅八票對卅七票の極ど、所で司法改革反對論者シシッピ州選出バット・ハリソン氏を破り民主黨院内務に就任した以上表決の結果に徴するも司法制度改革問題に對する民主黨内の對立を伺ふことが出来るがルーズヴェルト大統領は選舉終了後パークレー、ハリソン兩氏をホワ

イト・ハウスに招致午餐を共にしながら兩派の意見對立緩和に付き懇談した、大統領が改革論を押し通す時は民主黨の分裂を來す惧れがあり或は此の際大憲院改革の持論を撤回するのではないかと至折衷案として大憲院を除く下級裁判所の改革案が提出されるのではないかといはれる

國防

大憲院改革案擧げ渡す

ワシントン(七三) 米國上院は六月十四日以來上院司法委員會の報告書に基き鋭意司法制度改革案につき検討を行つて居たが廿二日の本會議に於て次の妥協動議を上程七〇票對二〇票を以て可決した

一 ルーズヴェルト大統領の示唆に基き司法制度改革案は一旦司法委員會に返附す

一 司法委員會は十日以内に右原案に代り大憲院以外の下級裁判所の構成に關する改革案を起草すべし

以上上院の決定はルーズヴェルト大統領が熱心に主張する大憲院改革原案を少くとも今會期中は事實上抹殺したものだ、原案に對しては民主黨内部に於ても賛否兩派相抗争し事態を放任するに於ては或は黨の分裂をも來す惧れありガーナー副大統領が仲に入り斡旋大いに努めた結果右妥協案の成立を見るに至つたものといはれる

下級法院改革案成る

ワシントン(七三) 米國上院司法委員會は廿二日本會議の決議に基き司法制度改革に關する妥協案起草に當つた結果廿七日下級法院改革に關する法案を可決した新案は廿八日の上院本會議に於てネブラスカ州選出民主黨議員バートリック・マクアラシより報告されるがルーズヴェルト大統領の示唆に基き司法制度改革原案に代り單に下級法院の構成に關する改革

案である

主力艦二隻設計着手

ニューヨーク(七三) 米國海軍省は三萬五千噸主力艦ワシントン號及びノース・カロライナ號の起工に先立ち性能萬全主義を持して種々研究中であつたが根本方針も確立したので愈々設計に着手廿五日百人の設計技師を動員、製圖に着手した右に付きニューヨーク海軍造船所技師長チャールズ・ダン海軍大佐は廿一日次の如く言明した

ワシントン、ノース・カロライナ兩艦の設計は製圖完了迄に十四ヶ月その費用三百萬弗を要し、從つて體骨据付も急には行かない、兩艦は全く同型、建造費は各六千萬弗の豫定だが設計完了の上はワシントン號はファイラデルフィア造船所でノース・カロライナ號はフルツクリン造船所で建造する筈である

海軍根據地お流れ

ワシントン(七三) 米國上院海軍委員會は廿二日懸案の沿岸防備強化案を討論した結果重要項目たるオクラハダ沿岸防備給根據地新設費を削除し其他の沿岸防備強化費として新年度に六百九十九萬弗を支出する案を可決した、オクラハダ補給根據地案は今後數年間に亘り總額一千五百萬弗の巨費を投じて太平洋岸に於ける合衆國艦隊の一大補給根據地を新設せんとするものだが今回ルーズヴェルト大統領の一般緊縮政策に祟られて上院委員會で削除の運命に遭ひ結局その實現は困難と見られるに至つた

「空の要塞」製作

ワシントン(七三) 無敵空軍の確立を目指す米國陸軍は續々新鋭機の製作を急いでゐるが陸軍省は廿六日ボーイング航空機社に對し總額七百七十萬八千弗を以て爆撃機十三架及び部分品製造の註文を發した、右爆撃機は「空の要塞」と米國陸軍の諺稱する超大型爆撃機でライト式發動機四基付時速二百廿五哩九人乗り、機關銃五基を裝備、多量の爆彈を搭載し得る

補助艦建造上院通過

ワシントン(七三) 米國上院は廿七日特別補助艦建造案を審議可決これをルーズヴェルト大統領の許へ廻付した、右は米國海軍の既定補助艦建造計畫の一部をなし總額五千萬弗の豫算を以て補助艦六隻を建造せんとするものであるその内譯左の通り

水上機母艦、驅逐母艦、掃海艇、潜水母艦、艦隊付輕艇、給油艦

極東艦隊浦鹽親善訪問

浦鹽(七三) 米國極東艦隊司令官ヤーネル少將坐乗の巡洋艦オーガスタ號及び驅逐艦四隻はソヴエト海軍との親善交換のため目下ソヴエト極東の要港浦鹽訪問の途に在るが廿八日入港することとなつた、既にモスクワ駐米大使館附陸軍武官フレイモンズ大佐も遙々モスクワから浦鹽へ乗込み一行の到着を待ち受けてゐるがソヴエト太平洋艦隊首腦部代表も米國艦隊を海上で出迎へるため驅逐艦に搭乗浦鹽港を接臨した、米國軍艦の浦鹽港公式訪問は一九二三年以來十四年振りのことである

浦鹽(七三) 米國極東艦隊司令官ヤーネル少將坐乗の巡洋艦オーガスタ號は驅逐艦四隻を伴ひ廿八日浦鹽港に入港した、

艦隊入港と共に禮砲を撃ち埠頭附近には萬國旗が掲げられた

比 律 賓

ケソン大統領の要望

ニューヨーク【三】(ラルド・トリビニ)紙は廿一日の紙上「ケソン大統領の最近の要望」と題する社説を掲げ左の如く論じてゐる

比島大統領マヌエル・ケソン氏はワイルド・ニレグラム紙記者との特別會見に於て米國政府との間に適當な方法さへ講じられるなら比島の即時完全且つ絶對の獨立に對する要望を放棄しても良いとの意を洩らしたが右はケソン大統領が既に獨立實施期の促進を要求したのと對照し一見不可解な觀がある米國政府が比島に對し永久に保護の責任を持つのならその責任に伴ふ權力を持たねばならぬ譯だがケソン大統領は保護の責任は權力を伴はねばならぬと言ふ當然の論理に直面する用意を持つてゐるだらうか、然しケソン大統領は熱心な獨立主張者でありながら、一方全然米國政府の保護から離れることを嫌つてゐるのだから大統領今回の言明には大した矛盾もない譯だ大統領は過去數年來比島で米國政府の權力を縮小することに努力して來たが米國の保護を伴はぬ比島獨立が寧ろ茶番である所以を悟つて秘かに政府が保護を撤回せぬ様努めてゐるのだ

比島獨立の夢薄らぐ

ニューヨーク【三】夕刊紙ワイルド・ニレグラム紙は廿一日の紙上に「獨立の夢薄らぐ」と題する社説を掲げ次の如く論じてゐる

比島大統領ケソン氏は廿日の談話で米比關係再檢討を暗示したが之には比島獨立の機運が少し薄らいで來た事を示すものである、元來比島はその獨立條件として極東の利害關係國が共に比島の政治的獨立と領土保全の保障をするのを豫期して居た様だが種々の事變が實物教訓を示して居るに係らず比島の指導者は東洋では共同安全保障が何の役にも立たぬことを民衆に知らさず隠して來た傾向がある、斯く比島の獨立保全困難の他に米國と分離すれば米國の關稅の手加減が無くなるから經濟的にも比島に取つて大打撃であることが次第に判つて來た様である、併しケソン大統領の暗示によつて議會が米比關係を再檢討するか否かは疑問である

比島との絶縁を望む

ニューヨーク【三】シカゴデイリー・ニユース紙は廿六日の紙上に「比島との絶縁を望む」と題する社説を掲げ、次の如く論じてゐる

ケソン比島大統領は先日新聞記者に米國議會が比島獨立問題の再檢討をなす事を望む旨洩したがこれは比島獨立後は米比自由貿易がなくなる結果比島産業が打撃を受けること並に若し日本が侵略の決意をすれば比島の獨立が風前の燈火なることを悟つたためであらうケソン大統領の意向は比島獨立法の廢止又は通商及び海軍國防に關する米國の保護を條件とした政治的獨立らしいがこれは圖々しいどころか米國にとつて危険な提案で到底考慮の餘地はない大體米國が比島を支配下に置いたのが間違ひであり比島人は過去に於ても米國の支配を喜ばなかつた、現在も否將來も米國を好きにはならぬだらう、ケソン大統領に對する我々米國人の答へ

は「比島との絶縁は十年の代りに一、二年の間になすべし」といふにある

上院有力議員獨立線上反對

ワシントン【三】米國議會方面では極東の事態急迫と共に比島の獨立時期を繰上げて米國は早く極東から手を引くべしといふ論とそれを不可とする論とが對立してゐるが上院の有力議員の一團は獨立時間繰上げに反對を表明してゐる、前上院外交委員長たる共和黨ワイリアム・ポラー氏曰く

余は比島獨立問題は既定方針通りに進むべきだと思ふ、極東の如何なる國も比島に星條旗が懸つてゐる限り之を襲撃しないだらう、余は適當な時機が來たら直ちに比島を獨立せしむべきだと思ふが面倒な事が起きさうになつた途端に左様ならして逃げ出すべきではないと考へる

民主黨議員クロード・ペーパー氏曰く現在の極東情勢は米國が比島との關係を變更すべきではない理由を明示してゐる一體何故獨立時期を繰上げねばならなかつた、余はその判斷に苦しむ民主黨議員ジェームス・ポープ氏曰く今は比島中立問題を討議すべき適當な時期ではない

對比日米綿布協定更改

ワシントン【三】國務省は今回對比島日米綿布輸出紳士協定が更改され現協定(日本綿製品對比島輸出自額額年四千五百萬平方米)を其儘まで八月一日より一ヶ年間延長して決定した旨廿八日發表した更改交渉は去る七月二日以來ワシントンに於て米國務省及帝國大使館との間に行はれたが廿七日に至り兩者の意見一致成立を見たものである問題の日本綿製品の香港經由對比島再輸出は日本綿布輸出組

合の自制により解決、最近數ヶ月の日本品比島輸入額は協定額以内止まつてゐるので米國綿業者も頗る満足の意を表してゐる

國際平和工作

國際經濟調查局案

ベルギー國王の新提案
ブリュッセル【三】ベルギー首相ヴァン・ゼーランド博士は去る四月以來各國を歴訪して國際經濟軍縮案の打診工作を續け愈々近づく具體案を發表するがベルギー國王レオポルド三世は廿三日ヴァン・ゼーランド首相に對し長文の書翰を送り常設國際經濟調查局の新設を暗示された書翰要旨左の通り

我々が眞に戦争を回避し平和的感情に立ち還る爲めには先づ經濟問題全般の檢討に着手し全人類を脅威することの大問題の解決を圖る勇氣がなければならぬ

これがため先づ常設國際經濟調查局を設け世界各國から最も有能な經濟問題の權威者を網羅して問題の檢討に着手する必要がある、但し此等經濟問題權威者は各國政府代表の資格を離れ飽迄個人の資格で研究に参加協力することが望ましい

一 原料資源の分配交易手段の分配労働の國際的分配、農業國と工業國間の均衡獨立等の問題を解決するには現在是最も時宜を得たものと確信するが、凡そ企圖は各國政府の支持を得るのみならず全世界の社會、宗教、慈善各團體の支持する所とならう

一 斯くて各國間の接近を實現した暁我々は全人類、就中東洋諸國民に對し西歐諸國が物質的欲望より寧ろ精神的諸力を尊重する所以を示すことが出來よう

英國好感

ロンドン【三】レオポルド三世の國際經濟調查局案は英國の言論界に反響を起し廿四日のロンドン各紙はいづれも大々的にこれを報道、國際經濟調查機關を設置することは世界を戦争に驅り立てる經濟上の諸害を除去するため正に時宜を得た企てとしてゐる

佛は疑惑的

パリ【三】レオポルド三世の提案に對しフランス政府も重大關心を示しヴァン・ゼーランド首相の英米佛三國首腦歴訪の必然の結果であるとしてゐる、但し現在の國際情勢から見て政治問題を切り離して經濟問題のみの處理が果して可能か否かには多大の疑問を有してゐる

事前に米國と諒解

ワシントン【三】レオポルド三世の國際經濟調查局設置案は米國政府並に財界に多大の反響を起してゐるがヴァン・ゼーランド首相が最近米國を訪問した際ハル長官との間に世界經濟研究機關設置を申し合せた事實、而も申合せとレオポルド三世の提案内容が同趣旨である點から見て右は事前に於て既に米白兩國の間に諒解が成立してゐたと信じられ何れにせよベルギー政府は近く右提案に對する各國政府の意向を探ることになり、ハル國務省長官は廿四日新聞記者との會見に於てベルギー國王の提案につき左の通り語つたレオポルド三世の經濟調查局設置提案は眞に時宜を得たものと思ふ提案内容を未だ充分研究してないから批判は避けたい

が國內的にも國際的にも有力且公正な經濟機關は多く設立され、はされる程結構だあらゆる重要な國際問題が今日程經濟關係に依存してゐる時代は、經濟問題の研究乃至世界經濟繁榮に對しては各國共宜しく出来る限りの關心を示すべきであらう、米國は世界經濟調整につきあらゆる協力を惜しまない

英・獨(ヘロカル)ノ新聲

ベルリン【三】ベルリン政界消息通によれば英國政府は去る十六日駐英ドイツ大使フォン・リッペンロップ氏に對し新ロカルノ體制に關する覺書を提出した覺書の内容は不明だが英國政府は國際情勢の不安狀態に鑑み新ロカルノ體制問題が水く未解決の儘放置されてゐるのを憂慮し速かに交渉の再開を切望したものといはれる

國際地質學大會

モスクワ【三】第十七回國際地質學大會は廿一日からモスクワに於て開催された、日本代表早大教授徳永重康博士以下七名を始め世界五ヶ國の地質學界の權威が出席、劈頭米國代表フリーリップ・シドニー・スミス博士より開會の辭あり次でソヴェト工運工業人民委員メジュラウ氏がソヴェト政府を代表して歡迎の辭を述べ終つてソヴェト中央執行委員會議議長カリーニン氏を名譽總裁に推戴した、次いでソヴェト聯邦學士院院長コマロフ氏同副院長グブキン氏は交々立つてこの大會が科學を通して世界平和に貢獻すべきところ大なる所以を強調した、最後に會議幹部會を構成した後、グブキン氏より

「世界石油資源に關する報告に入つたモスクワ【三】國際地質學大會は廿八日次回一九四〇年度大會開催地につき投票を行つたが六十五票對五票の壓倒的大差を以て英國に決定し日本は落選したモスクワ【三】國際地質學大會は廿九日多數の決議を採擇して閉會した、大會終了後各國代表は九班に分れソヴェト聯邦各地の學術的發掘作業を行ふ

況太平洋婦人會議閉會
ヴァンクーヴァー【三】第四回汎太平洋婦人會議は去る十三日よりヴァンクーヴァー市に於て日本以下九ヶ國代表總數百廿名參加して太平洋を中心とする國際平和教育問題、婦女實業問題、人口問題等を中心として討論を進めてゐたが廿三日午後九時半各國代表の今次會議に對する批判を最終として閉會した、本會議に於ては特に決議事項はなかつたが各國代表の接觸並に相互理解の増進に少なからず成果を挙げた、尙副會長はバリーレテツシユ・ニコビヤ大學學長バリーレテツシユが推され、次回は一九四〇年ニューゼラントで開催に決定した、次回會議に於ては特に經濟的文化問題につき研究することとし

一 太平洋諸國の經濟的協調
一 太平洋沿岸諸國文化の相互交換
一 二案を宿題とすることになつた

世界人口問題會議
パリ【三】人口問題調查會世界聯盟の主權に係る世界人口問題會議は廿九日パリに於てルブラン佛大統領臨席の下に開催された、日本からはペルー棉花株式會社社長井上雅二氏が代表として出席した

國際美術教育會議
パリ【三】第八回國際美術教育會議は

ルブラン大統領後援の下に卅日午前パリに於て世界廿國代表八十一名出席して開催された、會議は来る八月五日まで開かれ美術と科學との連絡其他美術教育の振興策につき意見の交換が行はれる、日本からは東京美術學校教授田邊孝次氏を初め今井作次郎、塚本茂、杉山司七、武井勝雄、新井喜賢治、武田新太郎の七氏が出席してゐる

航空

ロシア縱斷飛行競争
モスクワ【三】モスクワ、セバストポール間二八二五軒往復飛行競争が廿四日モスクワを起點としてスポーツ用一人乗二人飛機合計十九臺參加の下に舉行された、同日中にモスクワ歸還に成功の機は九臺あり一等はダイヤモンド飛行士操縦の發動機百五十馬力一基附一人飛機で所要時間十時間五十二分である

ソヴェト空の英雄凱旋
モスクワ【三】北極圈經由米ソ連絡スターリン空路の開拓に成功したソヴェト「空の英雄」チカロフ、バイツコフ、ペリアアコフの三鳥人は廿六日汽車でモスクワに凱旋した、驛頭には外務人民委員リトヴィンフ氏以下政府高官多數、ソヴェト北極探險隊長シニツト博士等を始め約一萬の群衆歡呼して晴れの都入りを迎へた、一行は直ちにクレムリン宮殿に向つて市中を行進市民の熱狂的歡呼を浴びた

旅客機墜落慘事
ブリュッセル【三】ロツテルダム・ブリュッセル、パリ間定期旅客機一臺は廿八日午前十時卅分ブリュッセル市南方上空に於て故障を起しブライジ停止車場附近に墜落乗客十名乗員四名全部變死を遂げた

米ソ連絡飛行三番機
フエアバンクス【三】二回に亘る北極經由米ソ連絡に成功したソヴェト政府は着々スターリン定期空路實現計畫を進めてゐるがソヴェトの名飛行家シグムンド・レヴァネフスキー氏は愈々第三回米ソ連絡飛行の途に上る事になつた、今回の飛行は前二回と異つてフエアバンクス(アラスカ)で給油の上シカゴ若しくはニューイオークに著陸せんとするもので既にラヂオ技術シミルノフ、飛行技術師ベリアコフの兩氏がフエアバンクスに乗り込み米國無電局員ウィリス・グラスゴー氏と協力諸般の準備を進めてゐる

第二回大西洋橫斷飛行
ポトウツド【三】汎米航空會社のバーミユダ・クリツパー機は米國東部標準時廿八日午前六時廿八分ニューヨーク州ポトウツドを出發午後一時廿五分ニュー・ファウンドランドのポトウツドに到着したが愈々廿九日午後五時五分ポトウツドを出發アイルランド(向け第二回大西洋橫斷試驗飛行の途について)フォインズ【三】汎米航空會社のクリツパー機は卅日正午目的地北アイルランドのフォインズに到着した

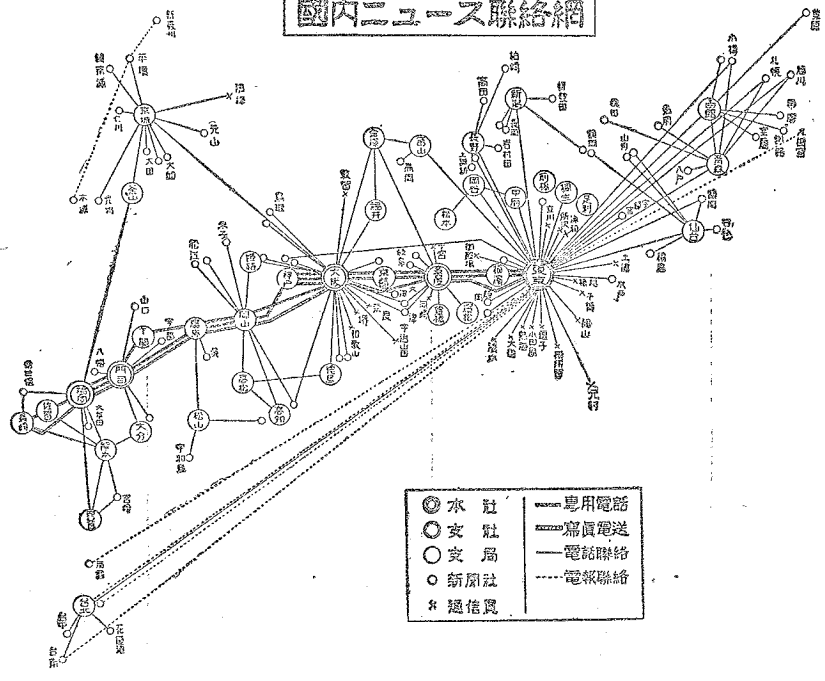
逆コース北極圈飛行
ワシントン【三】米國商業航空局は卅日知名の飛行家ジミー・マターン氏に對し一九三八年早々北極圈經由モスクワ飛行を許可したマターン氏はソヴェト飛行家の北極圈飛行の成功に刺戟され去る六月サンフランシスコ・モスクワ間無着陸飛行の計畫を發表して以來愛機双發ロツチヒード・エレクトラを以て着々準備を進めてゐる

同盟旬報
(毎月三回發行)
定 一部 卅五錢 送料一部
一ヶ月分前納 壹圓 壹錢
一年分同 拾圓 五厘

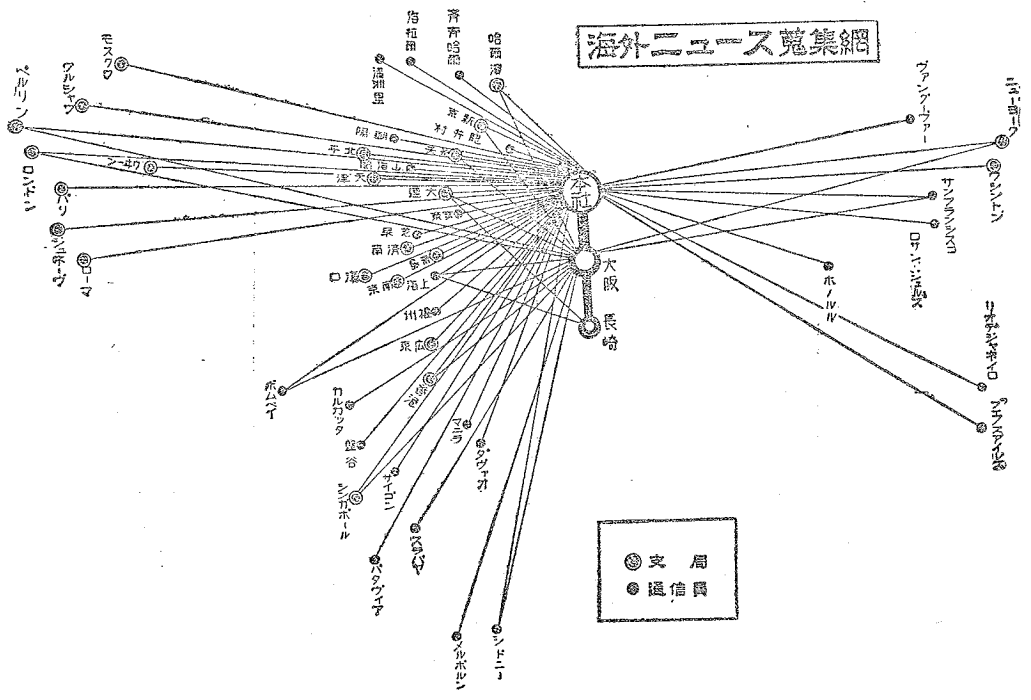
同盟旬報 (毎月三回發行) 定 一部 卅五錢 送料一部 一ヶ月分前納 壹圓 壹錢 一年分同 拾圓 五厘 網羅發行 兼印刷人 大川幸之助 東京市神田區神保町一ノ五六 印刷所 濱中製版所 發行所 社團 同盟通信社 (振替貯金口座東京八五〇〇番) 同盟旬報 綴込表紙 黛藍色布製 金字入 一部金廿五錢 半年分以上前金拂 讀者には無代贈呈 します 御申込みは「出版部」

同盟通信社通信網

国内ニュース連絡網



海外ニュース蒐集網



國際寫真新聞

全世界の姿をレンズを通して報道する、サロンにおける絶好の接待者であり、フレッシュな知見の提供者でもある。

毎月二回五日、廿五日發行、全アト菊倍判五十頁
定價 一月(二部)八十錢 一ケ年九 圓

同盟旬報

本社の通信網によつて蒐集せる國內、國際ニュースを部門別に整理輯録した時代記録の決定版であると同時に世界の動きを一目瞭然と示す。

一月三回六の日發行 四六倍判七十二頁
定價一月(三部)一圓 一ケ年十 圓

國際經濟週報

内外の諸物價、相場、經濟ニュースに加ふるに統計、調査解説記事を附した業界の羅針盤である。

毎週一回木曜日發行、四六倍判七十二頁
定價一月(四乃至五回)一圓 一ケ年十 圓

新聞寫真年鑑

全國の新聞社の寫真班が一ケ年の活動によつて得たる優秀寫真のみを輯録する。眼で見る日本社會史であり、優美華麗な書齋の友である。

一年一回十月中旬發行 全アト菊倍判二百餘頁
定價(一部)金五圓

時事年鑑

綜合年鑑として古い傳統を有する斯界の權威。社會百般重寶辭典である。

一年一回九月中旬發行 四六倍判八百頁
定價(一部)金二圓五十錢

人絹年鑑

レイヨン、ステープル・ファイバー、バルブに関する綜合辭典で、企業家は素より全商業家の好伴侶を以て任ずる。

一年一回四月發行 菊版一千三百頁
定價(一部)金五圓

ジャパン・トレード・ガイド

日本の凡ゆるる商品を世界に紹介する英文貿易年鑑である。財政、金融、産業情勢まで附説してある。

一年一回十二月發行 四六倍判九百頁
定價(一部)金二十五圓

同盟政經パンフレット

政治・經濟に関する重要な項の記事とグラフを統計で示す。海外の重要な項も概に應じて紹介する。

一年一回不定期刊行 四六判百十頁
定價(一部)五十錢

同盟通信社出版部

東京市京橋區銀座八ノ九 (振替口座東京八五〇〇番)

定價金卅五錢

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京市京橋區銀座西七丁目一番地

社團同盟通信社

電話銀座代表番(分)二二二番(5) 振替貯金口座東京八五〇〇番